

市川市の図書館

2017



市川市立図書館

はじめに

市川市の図書館は昭和 25 年に市立市川小学校内に設置されたのを嚆矢とし、60 年を超える歴史を刻んでまいりました。昭和 32 年には葛飾八幡宮境内に初めて独立した図書館が設置され、読書会の育成や独自の件名配架、青少年を対象とした少年室など、先駆的かつ本格的な公立図書館サービスを開始しました。その後、自動車図書館による巡回サービスや、行徳、信篤、南行徳の各図書館、平田図書室の整備を経て、平成 6 年には市民の念願であった中央図書館が建設され、地域図書館の支援や、新時代に対応する図書館サービスを展開してまいりました。平成 21 年には指定管理者制度を導入し、J R 市川駅に直結する再開発ビル内に市川駅南口図書館を設置しました。

このほかにも小学校内に設置された市民図書室や公民館図書室、男女共同参画センターや情報プラザなどの市の機関との連携、市内の大学図書館との相互利用や相互貸借、また民間事業者にもご協力いただきながら返却ポストを市内 12 個所に設置するなど利便性の向上に努めてまいりました。

平成 28 年度は、行徳図書館に自動貸出機等の I C 機器を導入し、蔵書管理の効率化と利便性の向上を図りました。その効果と検証をもとに、今後の中央図書館での蔵書の I C タグ貼付と機器導入に繋げてまいります。

また、大野公民館図書室と市立図書館の蔵書一元化を図ることで、市北東部地域の図書館サービスの拡充を図りました。

サービスのソフト面では、昨年と同様に地域や行政各部門と連携した企画展示やイベントを展開したほか、子育て支援に資するため乳幼児向けのカードの発行や、調べ方案内（パスファインダー）を整理し充実させる等、図書館の利用普及にも努めてまいりました。

今後も本市図書館は図書館法に基づく奉仕業務を忠実に履行するとともに、時代のニーズに応えて行くための新たな取り組みも積極的に実施してまいりますので、皆様には更なるご理解ご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月
市川市中央図書館
館長 大里 宗行

目 次

はじめに

1. 市川市の概要	・・・ 1	(11) 千葉県の公共図書館サービス指標	・・・ 47
2. 図書館の基本方針	・・・ 2	(12) 関連施設統計	・・・ 48
3. 図書館のあゆみ	・・・ 3	10. 平成28年度事業概要	
4. 図書館組織図・委員会等	・・・ 7	概況	・・・ 50
5. 図書館及び関連施設の配置図	・・・ 9	(1) 資料収集と利用状況	・・・ 50
6. 施設概要		(2) リクエストサービス	・・・ 51
(1) 中央図書館 こどもとしょかん	・・・ 10	(3) レファレンスサービス	・・・ 52
① 中央図書館フロア案内図	・・・ 11	(4) 類縁機関との連携	・・・ 52
② こどもとしょかんフロア案内図	・・・ 12	(5) 対象別サービス	・・・ 54
③ 生涯学習センター（メディアパーク		① 児童サービス	・・・ 54
市川）フロア案内図	・・・ 13	② ヤングアダルトサービス	・・・ 56
(2) 自動車図書館「みどり号」	・・・ 14	③ 障害者サービス（図書館利用に障	・・・ 57
(3) 平田図書室	・・・ 15	害のある利用者へのサービス)	
(4) 行徳図書館	・・・ 16	④ 外国人利用者へのサービス	・・・ 57
(5) 信篤図書館	・・・ 17	⑤ 団体へのサービス	・・・ 58
(6) 南行徳図書館	・・・ 18	(6) 資料別サービス	
(7) 市川駅南口図書館	・・・ 19	① 地域資料	・・・ 58
(8) 関連施設	・・・ 23	② 視聴覚資料	・・・ 59
7. 図書館コンピュータシステム	・・・ 25	(7) 主催事業	・・・ 59
8. 平成29年度予算	・・・ 30	(8) 市川駅南口図書館自主事業	
9. 平成28年度統計		(指定管理館)	・・・ 62
(1) 蔵書冊数	・・・ 33	(9) 委員会等	・・・ 63
(1-2) 分野別蔵書冊数内訳	・・・ 34	(10) 図書館刊行物	・・・ 65
(1-3) 蔵書冊数の推移	・・・ 35	(11) 視察・講師派遣等	・・・ 66
(2) 分類別貸出冊数	・・・ 36	(12) 市川市立図書館関係記事一覧	・・・ 66
(2-2) 分野別貸出冊数内訳	・・・ 37	(13) 市川市立図書館関係テレビ番組	
(2-3) 貸出点数の推移	・・・ 38	一覧	・・・ 69
(3) 蔵書回転率	・・・ 39	11. 市川図書館友の会	・・・ 70
(4) リクエスト統計	・・・ 40	12. 新聞・雑誌一覧	
(5) 登録者集計表	・・・ 41	(1) 購入雑誌一覧	・・・ 71
(6) 延べ利用者数の推移	・・・ 41	(2) 寄贈雑誌一覧	・・・ 79
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出		(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊	・・・ 81
点数の推移	・・・ 42	行物一覧	
(8) 受入・除籍冊数	・・・ 43	(4) 新聞ほか一覧	・・・ 84
(9) 自動車図書館ステーション別	・・・ 45	13. 条例・規則等	・・・ 85
統計		14. 資料	・・・ 109
(10) 市川市の図書館サービス指標	・・・ 46		

1. 市川市の概要

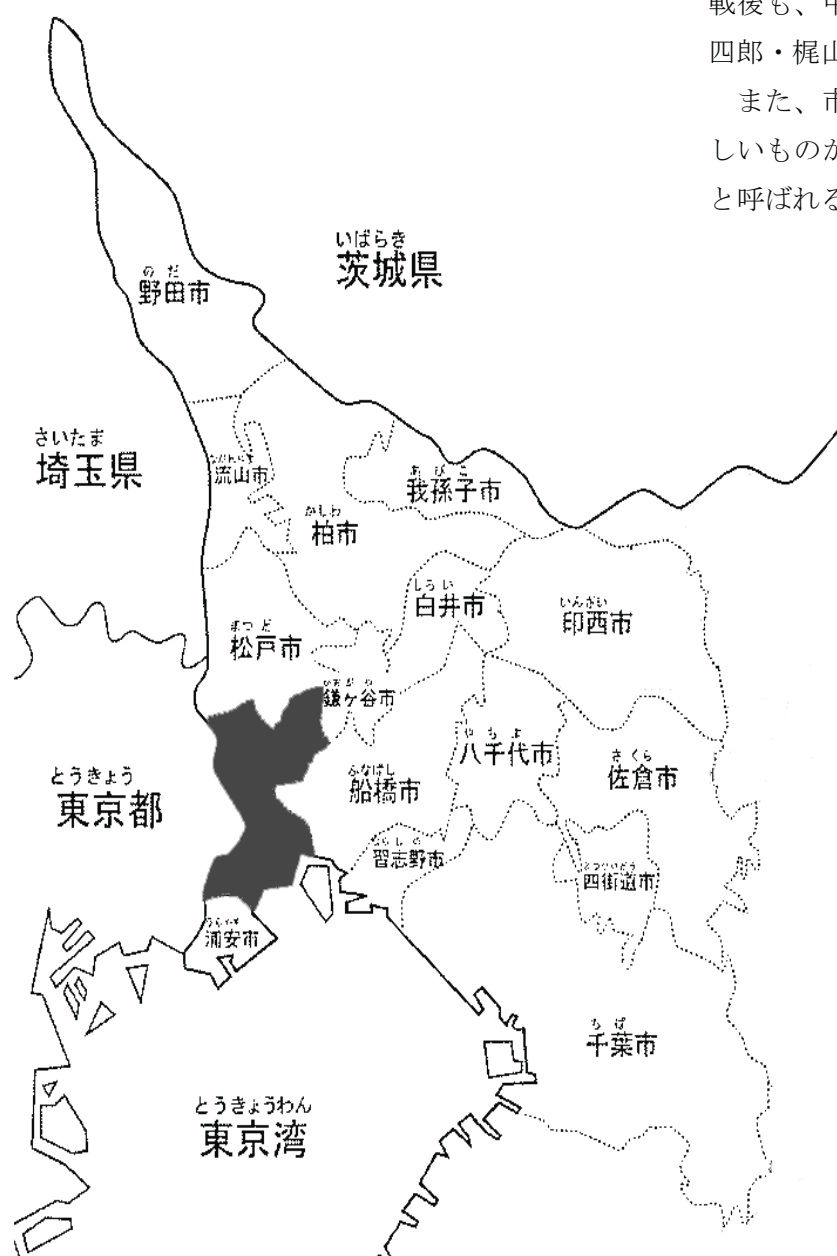
市川市は、千葉県の西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市・鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と相對している。

市域は南北に細長く、北部の台地上には50ヶ所に上る縄文貝塚、国分寺などがあり、中央には市川砂州上に千葉街道が走り、黒松に囲まれて葛飾八幡宮や中山法華経寺などが建つ。南部の低地には、旧江戸川に沿って、成田街道の面影を残す街並みや、塩田の名残をとどめる地名も多い。昭和9年に市制を施行した。

江戸・東京に近い市川市域は、自然環境にも恵まれ古くから豊かな文化を育んできた。古代には国府が置かれ、万葉時代から「真間の手児奈」伝説や「真間の継橋」が歌い継がれてきた。中世に活躍した日蓮の『立正安国論』（国宝）をはじめとする遺筆は、今も法華経寺に伝わる。近世には、市川の事蹟は『南総里見八犬伝』や『江戸名所図会』などにも記されてきた。

近代以降も、伊藤左千夫・正岡子規・郭沫若らが市川を題材にした作品を遺し、永井荷風・幸田露伴・東山魁夷・水木洋子・宗左近の終焉の地となった。戦後も、中野孝次・五木寛之・井上ひさし・能村登四郎・梶山俊夫らが住まい、活動の拠点となる。

また、市民による読書活動や芸術活動にもめざましいものがある。良好な「郊外住宅都市」「文化都市」と呼ばれる所以である。



位置 東経 139° 55′ 52″
北緯 35° 43′ 19″
(市庁舎)

面積 56.39 k m²
東西延長 8.2 k m
南北延長 13.4 k m

人口 482,544人
男 245,181人
女 237,363人
237,847世帯

(住民基本台帳人口
H29.3.31現在)

2. 図書館の基本方針

公共図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関です。

公共図書館はまた、歴史・芸術・文学などの幅広い優れた著作を収集し提供することによって児童・青少年の人格形成や、心の豊かさを求める成人市民の教養と楽しみに資するためのレクリエーション機関でもあります。

市川市立図書館はこれらの設置趣旨を基本方針として市民のための図書館運営に努め、たゆまぬサービスの向上をとおして、市民がいつでも、どこでも、誰でもが情報を得て学ぶことができ、また学習成果を発揮できるような環境を整備し、住みよい地域社会の形成に、さらには地方自治の基盤である市民の自立を支えることにより、本市の基本目標の一つである「真の豊かさを感じるまち」の実現に貢献します。

平成29年度の目標

(1) 図書館運営基本計画による評価の実施

「市川市立図書館運営基本計画」の評価指標に基づき、図書館活動の評価を行うとともに、アンケートなどにより利用満足度を測定する。いずれも高い評価を目標として進捗管理を行う。

また 図書館の運営形態についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討し、司書の採用補充も含め、将来の方向性を示す。

(2) 蔵書の収集と効率的な管理、保存について

より効果的な図書館サービスを展開するため、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき、図書館資料の収集と更新を計画的に進めると同時に、以下の蔵書管理効率化事業を推進する。

- ① 効率的な蔵書管理と自動貸出機設置による利便性の向上を図るため I C タグの導入を推進する。中央図書館蔵書への I C タグ貼付を計画的に進める。
- ② 収納スペース有効活用のため、地域行政資料を中心とした電子化を図る。

(3) 図書館サービスの向上について

より利便性と満足度の高い図書館サービスを提供するため以下の事業を実施する。

- ① さわやかな応対を心がけ、接遇能力を向上する。
- ② 利用者支援能力の向上とレファレンスサービスの充実に努める。
- ③ インターネット等を活用した情報発信機能の向上を図る。
- ④ 様々な機会を通して図書館の P R に努め利用を促進する。
- ⑤ あらゆる機会を捉えた研修を通して職員の資質向上を図る。
- ⑥ 図書館未設置地域への図書館サービスについて検討する。
- ⑦ 図書館システムの更新に向けた準備をすすめる。

3. 図書館のあゆみ

昭和25年	9月	創立開館（1日） 市立市川小学校に併設（2教室） 小暮貞次館長 職員数3名
28年	11月	館外貸出開始
30年	9月	市川市立図書館だより「まつかぜ」創刊（昭和48年3月58号まで刊行）
31年	4月	山岡寛章図書館長に就任
32年	4月	『市川市立図書館蔵書目録 昭和31年12月』発行
	5月	葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館（21日） 1階を使用、2階は教育委員会と市役所の一部が同居 職員数6名
33年	10月	お母さんの本棚開設
34年	7月	教育委員会と市役所の一部が新庁舎完成に伴い移転 図書館独自の建物となる
35年	6月	幼児用、児童用図書を件名配列 母と子の部屋、少年室を設置 全館使用開始
	11月	市川市読書会連絡協議会創立総会
36年	1月	うずしお読書会創立
37年	5月	夜間開館実施（1日）19時30分まで 6名増員し職員数17名
38年	4月	書架室積層式書架に改造
39年	3月	市川市立図書館設置条例公布（31日）
	6月	行徳分館開館（1日） 徳願寺境内 18時まで開館 職員数3名
42年	4月	貸出方式をブラウン方式に切替え 2冊2週間 村岡ゴム会長村岡信一氏より図書館建設のための指定寄付1,000万円
43年	5月	新館を境内本館隣の敷地に開館（11日）
44年	8月	子ども会文庫に対し図書のセット貸出開始（青少年課と共同）（～平成9年度）
47年	10月	田村三雄図書館長に就任
48年	8月	冷暖房設備設置
50年	9月	移動図書館みどり号開設 京成自動車工業製造
51年	11月	移動図書館第2みどり号運行 東京特殊車体製造
53年	4月	石橋賢一図書館長に就任
54年	2月	信篤図書館開館（1日） 行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館新館開館（1日） 行徳支所4、5階 職員数5名
57年	8月	弘田稔図書館長に就任
58年	10月	南行徳図書館開館（1日） 職員数4名
60年	11月	市内5館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行（19日）
62年	4月	渡井章三図書館長に就任
	10月	平田図書室開室（11日） 職員数2名
63年	4月	断続的であった司書職の採用を毎年開始（～平成5年度）
	7月	第1みどり号更新 林田製作所製造（28日登録）
	10月	中央図書館等建設準備室仮設置 職員数4名
平成元年	1月	『市川市の図書館』刊行（以降年次報告書として毎年刊行）
	4月	行徳図書館新館開館（15日） 行徳支所隣に単独館5階建て 職員数10名 八幡、行徳でCDの貸出開始
	7月	中央図書館等建設準備室設置（管理部所属）
	9月	第2みどり号更新 京成自動車工業製造（29日登録）
	10月	中央図書館等（仮称メディアパーク市川）のコンペ当選作決まる（山下設計）
2年	7月	小川俊彦図書館長に就任
3年	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業の実験開始
	11月	女性センター開館 情報資料室と書誌情報を共有しオンライン貸出を実施
4年	11月	中央図書館開館準備プロジェクト（15部会）開始
5年	7月	小学生向けおすすめの本のリーフレット「本のぽけっと」創刊
6年	4月	『市川市図書館資料収集方針』まとめる
	9月	市川図書館友の会創立（18日）
	10月	八幡本館（葛飾八幡宮境内）休館（1日～）

平成6年	10月	コンピュータシステムを更新し、学校図書室とのパソコン通信を導入
	11月	市川市中央図書館、こどもとしょかん 複合施設である市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）1階に開館（1日） 職員数39名 一般フロアに無断持ち出し防止ゲートシステム（BDS）を導入 「図書館だより」（40号～「市川図書館だより」）「Young Adult通信」創刊
7年	9月	中央図書館第1回リサイクルブック市開催（10日試行、第2回 同年10月29日）
	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施
8年	3月	市川市読書会連絡協議会解散
	4月	小倉勸図書館長に就任
	10月	中央図書館が日本図書館協会建築賞を受賞（第12回）
9年	1月	館報『まつかぜ 市川市立図書館報』（合本復刻）を刊行
	4月	千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業開始 レファレンス事例集「参考業務月報」を刊行（平成10年度「参考業務季報」平成11年度～「新・参考業務月報」）
	5月	学校、幼稚園への出張サービスを本格的に開始
10年	9月	市川市ホームページ開設 同時に図書館ホームページ開設（15日）
	4月	太刀川寛図書館長に就任
11年	4月	市民図書室の所管を生涯学習課から図書館に移管
	6月	夜間開館の試行（中央図書館：土曜日19時30分まで拡大 行徳図書館：開館を朝10時にし、火曜日から金曜日19時30分まで拡大）
12年	1月	『市川市立図書館利用者アンケート集計結果報告書』まとめる
	8月	第1みどり号廃車
	10月	コンピュータシステムを更新し、インターネットで蔵書公開を開始する 4市民図書室（福栄、塩焼、大柏、稲越）、2公民館図書室（大野、西部）に 図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
13年	3月	市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催（22日）
	4月	鈴木小夜子図書館長に就任
	10月	楽山市との友好都市締結20周年記念として「楽山市図書コーナー」設立
14年	3月	『市川の文芸風土と図書館の未来 シンポジウム記録集』刊行
	4月	漆原利一図書館長に就任 中央図書館特別コレクションに星野道夫コーナーを開設
	5月	携帯電話からの図書館資料検索サービスを開始 インターネットからのレファレンス受付開始
	9月	うずしお読書会が1000回を迎え、11月には社団法人読書推進運動協議会より2002年度第35回全国優良読書グループとして表彰される
	11月	インターネットからの予約受付開始（図書、雑誌）
15年	3月	第2みどり号廃車 自動車図書館車をCNG（圧縮天然ガス）車に更新
	4月	行徳図書館に責任者を配置 支援サービス担当を新設 職員数58名
	6月	曾谷公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	7月	情報プラザに図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始 CTIサーバを導入 中央図書館督促業務の自動化開始
	8月	中央図書館予約連絡業務の自動化開始 中央図書館の電話応答案内システム稼働開始
16年	4月	図書館連絡車による市内物流使用務を全面委託
	6月	東部公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
17年	4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、こどもとしょかんが文部科学大臣表彰を受賞
	7月	コンピュータシステムを更新し、所蔵する視聴覚資料のインターネット予約受付開始 曾谷公民館、東部公民館、情報プラザ以外の各図書館等の端末機器を入替え
	10月	千葉商科大学と協定締結、予約図書の貸出を同大学付属図書館で開始 教育センター「まなびの広場」を改修し、「文学プラザ」として開館

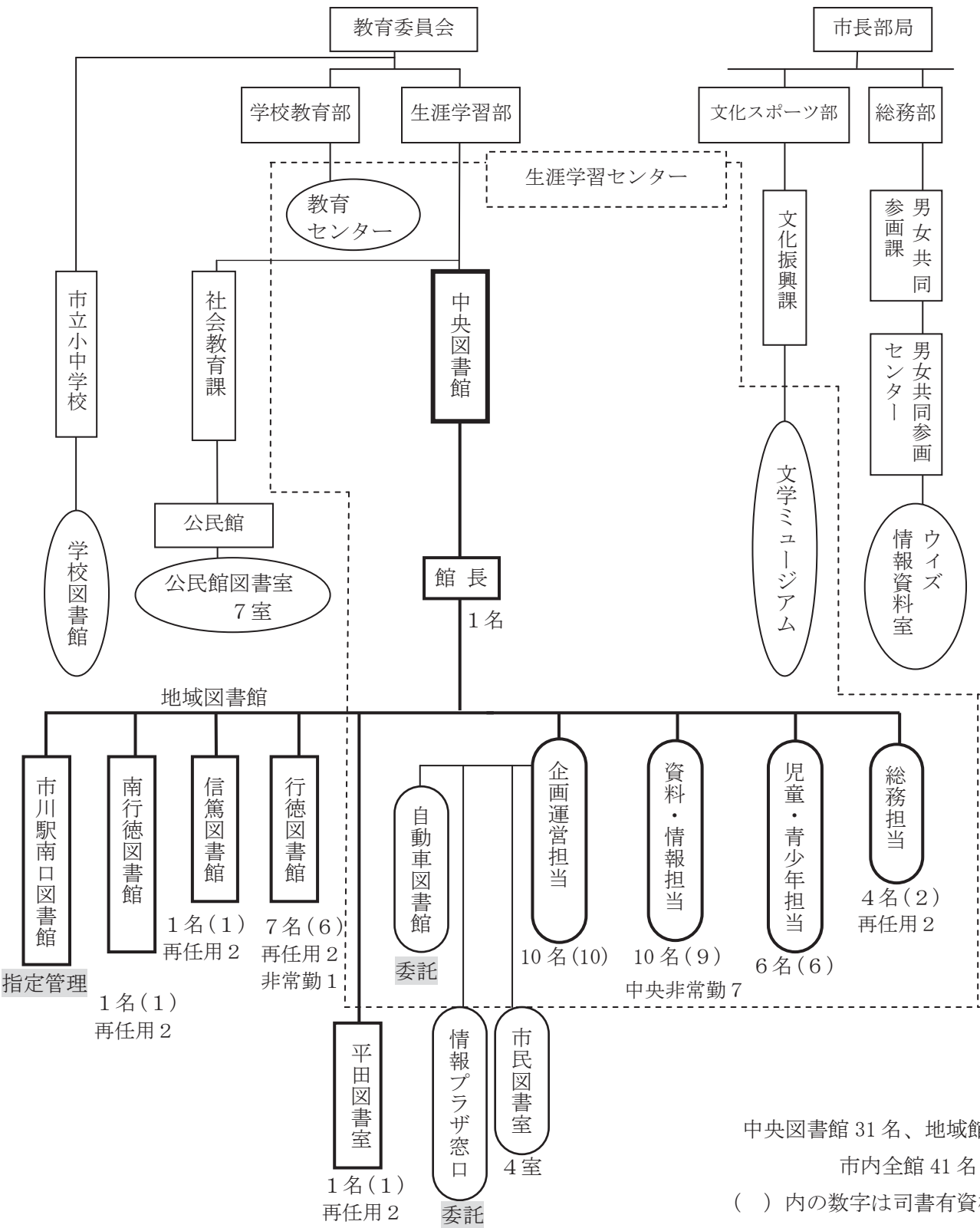
平成18年	4月	中央図書館の祝日開館試行開始 自動車図書館の貸出、返却業務を委託
	6月	中央図書館に韓国ソウル市特別区「江南区電子図書館閲覧コーナー」を設置
	7月	韓国原州市からの寄贈図書受入開始 「原州市図書コーナー」を設置
19年	10月	予約資料の宅配サービス開始
	3月	累積版冊子『本のぼけっと 1号～20号』刊行（20年3月カラー版刊行）
	4月	行徳図書館の祝日開館試行 生涯学習センターの全館管理業務を図書館に移管
	9月	インターネットからの貸出延長サービスを開始
	11月	住基カードに図書館利用券機能を追加 中央図書館でDVDの貸出開始
20年	4月	露木芳輝図書館長に就任
	6月	「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
	7月	和洋女子大学メディアセンターと相互協力に関する確認書を取り交わし、8月より和洋女子大学の資料を市立図書館で貸借可能とする
21年	4月	中央・行徳図書館の祝日開館等の本実施（中央：土日祝日の閉館を18時に変更） 市川駅南口図書館開館（30日）、ICタグによる蔵書管理システムを導入 指定管理者株式会社ヴィアックス
	6月	行徳図書館3階にパソコンルーム開設（23年11月～無線LAN接続環境を整備）
22年	2月	国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加において、礼状受理
	7月	「24時間テレビ愛は地球を救う」から障害者サービス用機器の寄贈を受ける
23年	2月	中央図書館利用者アンケート実施（以後、毎年満足度調査として実施）
	3月	東日本大震災により書架一部破損（11日） 計画停電に伴う臨時休館（14～18日） 計画停電に伴う閉館時間変更 全館17時閉館（19日～4月17日）
	4月	松本雅貴図書館長に就任、職員数55名 「市川市立図書館中期計画」（平成23～25年度）発行
	10月	地域図書館利用者アンケート実施 eモニターで貸出冊数のアンケート実施
	11月	コンピュータシステムをWebアプリケーションである富士通iLisfieraに更新 システムサーバ14台で構成 クライアントパソコン105台を更新 中央図書館に外部データベース検索結果印刷のコインベンダープリンタを導入
	24年 3月	図書館メールマガジンの配信を開始
	4月	中央図書館長に行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館の館長兼務辞令交付 条例改正により個人の図書貸出冊数を無制限から20冊へ
25年	10月	ブックディテクションシステムの更新
	2月	『市川市の図書館 昭和編』を編集、発行 中央図書館特別コレクションに渡邊二郎コーナーを開設
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を社会教育課に移管、職員数48名
	7月	宅配サービスをシルバー人材センターを利用して再開（23年4月より休止）
	10月	中央図書館書庫に可動式集密書架設置
26年	2月	市川駅南口図書館のパソコンを更新
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を図書館へ再び移管、職員数45名
	6月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
	8月	市の刊行物販売を開始 DVDの貸出を2点とする試行を開始
	11月	開館20周年記念事業として、「市川市の図書館ポスター・標語」を募集、記念講演会を開催 図書館オリジナルデザイン商品（エコバッグ・クリアファイル）の販売開始
27年	1月	図書館マナーキャンペーン実施
	3月	「市川市立図書館運営基本計画」発行
	4月	大里宗行図書館長に就任、職員数46名
	11月	中央図書館に教科書コーナー設置
	12月	図書館マナーキャンペーン実施

28年	1 月	ケーブルテレビにて「おすすめライブラリー」放送開始
	3 月	スマートフォン対応Web-OPACサービス開始
平成28年	4 月	乳幼児向け利用券発行開始
	7 月	行徳図書館資料を I C 化し、自動貸出機を設置
	12月	大野公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化
		ケーブルテレビにて「おすすめライブラリー」放送終了
平成29年	2 月	図書館マナーキャンペーン実施

4. 図書館組織図・委員会等

(1) 図書館組織図

(平成 29 年 4 月現在)



※ ○ 内の施設は、図書館と連携して事業を行っている関連施設

⋯⋯⋯ 内は生涯学習センター内の施設

図書館正規職員数

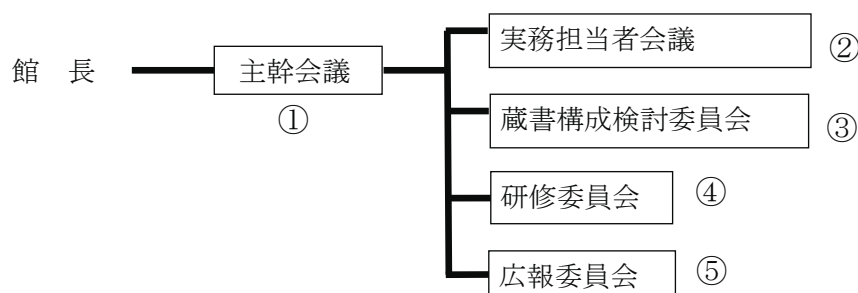
館名	担当	人数	うち司書	
図書館長		1	0	
中央	企画運営担当	10	10	100 %
	資料・情報担当	10	9	90 %
	児童・青少年担当	6	6	100 %
	総務担当	4	2	50 %
	合計	31	27	87.1%
平田		1	1	100 %
行徳		7	6	85.7%
信篤		1	1	100 %
南行徳		1	1	100 %
全館		41	36	87.8%

【参考】市川駅南口※	18	13	72.2%
------------	----	----	-------

※市川駅南口図書館は指定管理者制度を導入

(2) 委員会・会議等

(平成 29 年 4 月現在)



○各会議・委員会の役割

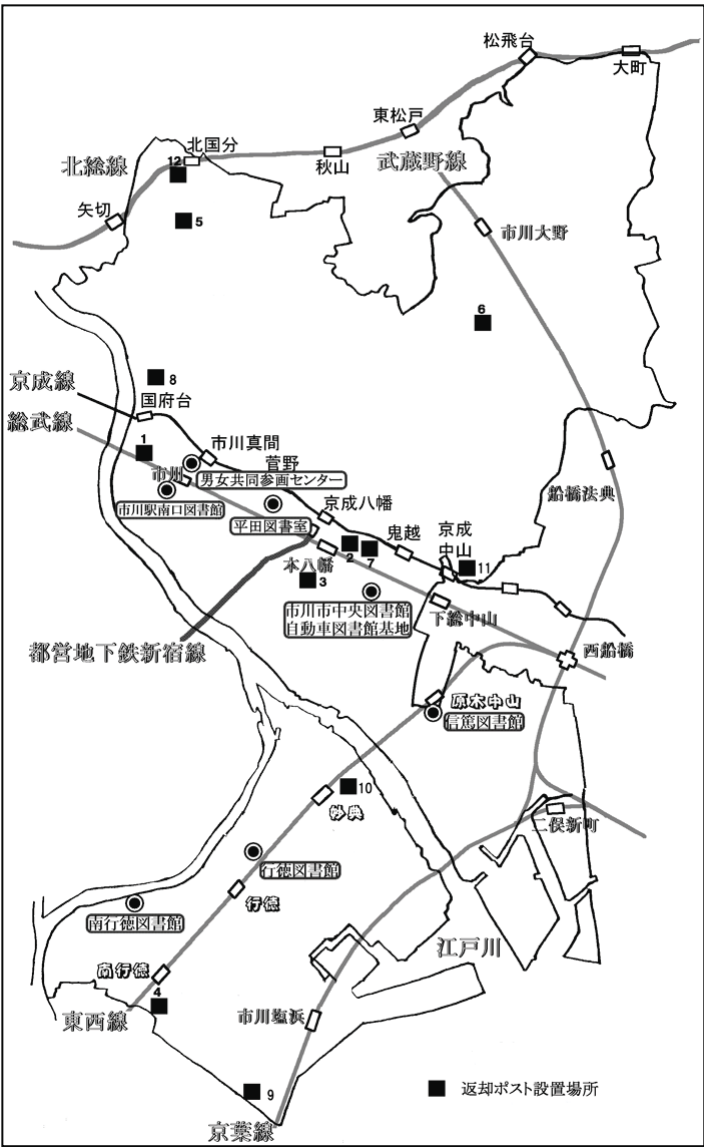
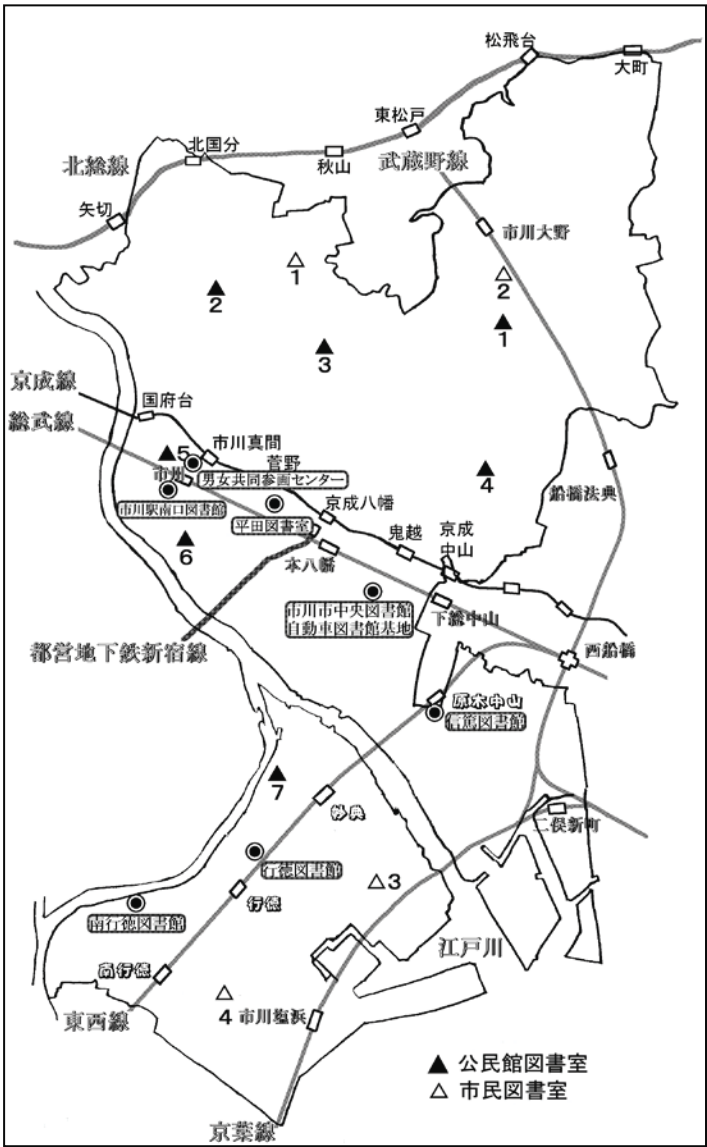
	会 議 名	討 議 内 容
①	主幹会議	中央図書館、及び全館に関わる運営全般について協議・決定を行う。館長と主幹で構成される。
②	実務担当者会議	実務的な事項について、担当者が必要に応じて、連絡・調整・実施案の作成を行う。
③	蔵書構成検討委員会	収集方針の検討、年度ごとの収集計画の立案、及び選書・蔵書構成や館内整理日の実施事項等について連絡・調整を行う。
④	研修委員会	全館の職員・非常勤職員・実習生等に対する研修のプログラムなどの企画・実施及びスタッフマニュアルの管理を行う。
⑤	広報委員会	「図書館だより」の編集や、「広報いちかわ」への情報提供等、図書館に共通の広報に関する企画・実務を行う。
その他、課題解決及び政策提案等のための対応会議を、プロジェクトを組み随時行っている。		

5. 図書館及び関連施設の配置図

平成 29 年 4 月現在

図書館と関連施設の配置図

返却ポストの配置図



No.	公民館図書室 (▲)	所在地
1	大野公民館図書室	南大野 2 丁目
2	西部公民館図書室	中国分 2 丁目
3	曾谷公民館図書室	曾谷 6 丁目
4	東部公民館図書室	本北方 3 丁目
5	市川公民館図書室	市川 2 丁目
6	市川駅南公民館図書室	大洲 4 丁目
7	本行徳公民館図書室	本行徳 12

No.	返却ポスト (■)	所在地	設置年
1	市川公民館	市川 2 丁目	H14. 5
2	旧八幡市民談話室	八幡 2 丁目	H14. 5
3	情報プラザ 2 階	南八幡 4 丁目	H14. 5
4	南行徳市民センター	南行徳 1 丁目	H14. 8
5	歴史博物館	堀之内 2 丁目	H15. 9
6	大柏出張所 (大野公民館)	南大野 2 丁目	H16. 8
7	市川市役所	八幡 1 丁目	H17. 6
8	千葉商科大学附属図書館	国府台 1 丁目	H17. 10
9	塩浜市民体育館	塩浜 4 丁目	H18. 7
10	イオン市川妙典店	妙典 5 丁目	H19. 7 H20. 4 H25. 6
11	中山窓口連絡所	中山 4 丁目	H19. 7
12	ベルクス市川堀之内店	堀之内 3 丁目	H21. 4

No.	市民図書室 (△)	所在地
1	稲越市民図書室	稲越町 518
2	大柏市民図書室	大野町 2 丁目
3	塩焼市民図書室	塩焼 5 丁目
4	福栄市民図書室	南行徳 2 丁目

6. 施設概要

平成29年4月現在

館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012㎡	-----	4,958㎡	-----	410㎡	-----
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上4階 ／地下1階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上2階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上5階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上45階 (3階部分)
建築面積	6,164㎡	-----	674㎡	304㎡	120㎡	-----
延べ床面積	6,411㎡	256㎡	2,223㎡	912㎡	360㎡	573㎡
収容可能冊数	1,000,000冊	40,000冊	155,000冊	55,000冊	36,000冊	43,500冊
うち開架	200,000冊	39,000冊	100,000冊	45,000冊	23,000冊	43,500冊
うち書庫	800,000冊	1,000冊	55,000冊	10,000冊	13,000冊	-----
開館年月日	平成6.11.1	昭和62.10.11	昭和56.10.1	昭和54.2.1	昭和58.10.1	平成21.4.30
独立・併設	併設	併設	併設	独立	独立	併設
閲覧席	358席	20席	179席	33席	16席	61席
うち一般	200席	10席	80席	23席	10席	20席
うち児童	60席	10席	63席	10席	6席	11席
その他	98席	-----	36席	-----	-----	30席
駐車場	共有 99台	-----	共有 69台	共有 20台	-----	-----
利用者端末	(※1) 32台	1台	6台	1台	1台	(※2) 7台

※1：うちWeb-OPAC 3台、ITブース 9台、江南区電子図書閲覧パソコン 1台、新聞社サイト閲覧パソコン 1台、障害者専用 1台含む

※2：うち外部データベース閲覧 3台含む

(1) 中央図書館 こどもとしゃかん

市川市鬼高1-1-4 TEL 047 (320) 3333 (機械音声応答)

047 (320) 3346 (直通)

FAX 047 (320) 3351

・交通 JR本八幡駅、JR下総中山駅より徒歩15分

京成線鬼越駅より徒歩13分
(JR本八幡駅北口よりコルトン
プラザ行無料バスあり)

・地下駐車場 (99台)

・開館時間

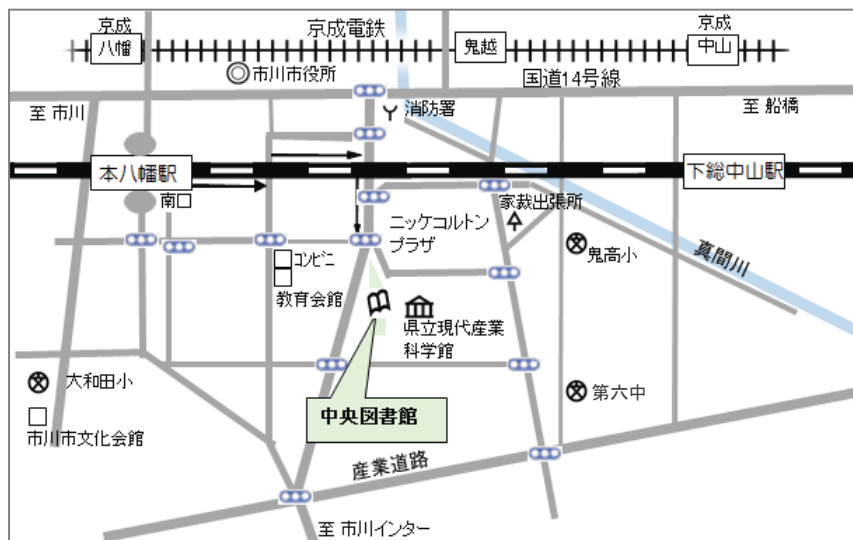
火曜～金曜 10:00～19:30

土・日・祝日 10:00～18:00

こどもとしゃかん

火曜～金曜 10:00～18:00

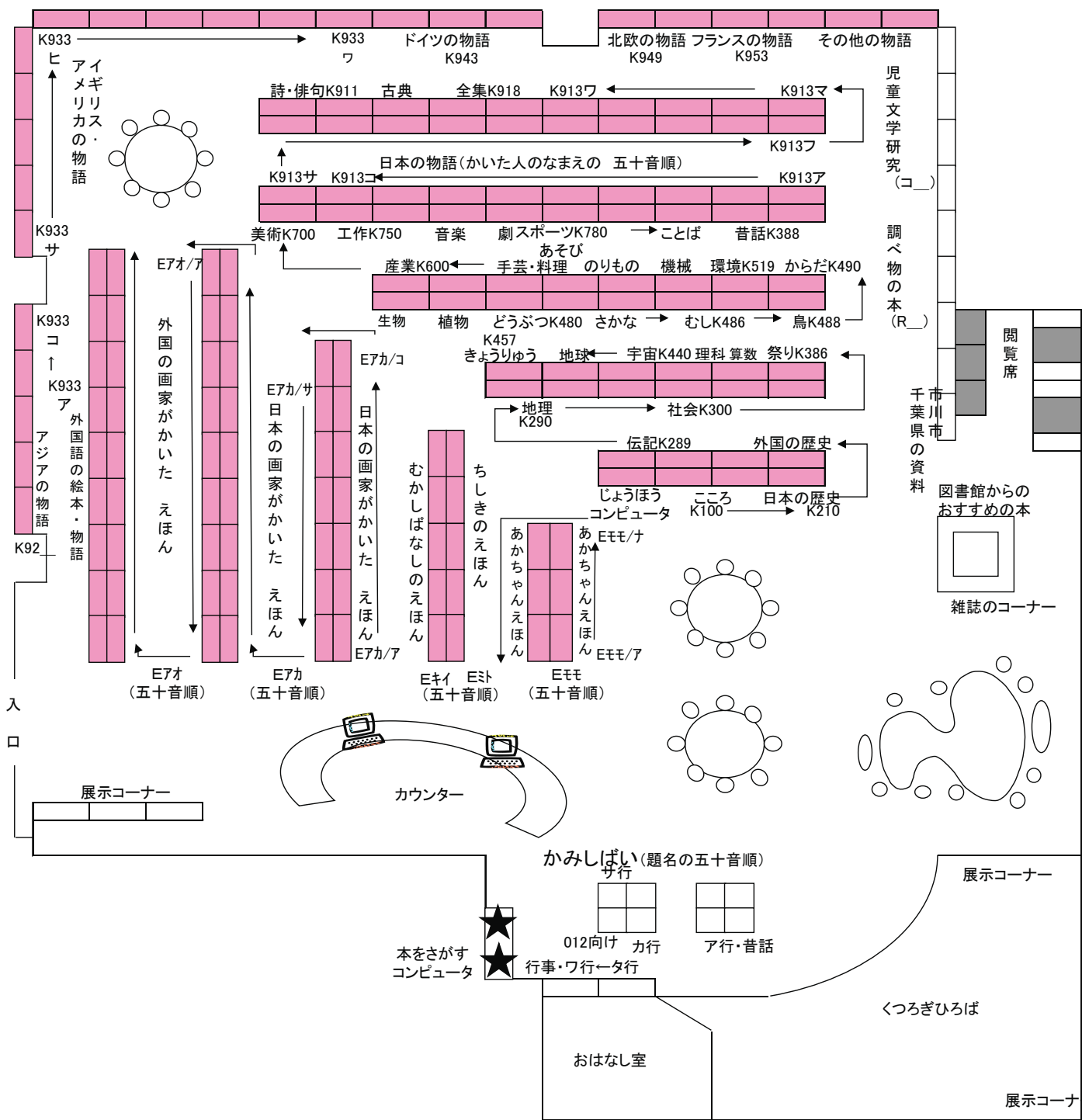
土・日・祝日 10:00～17:00



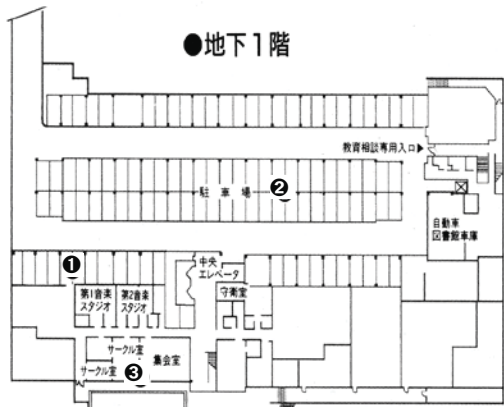
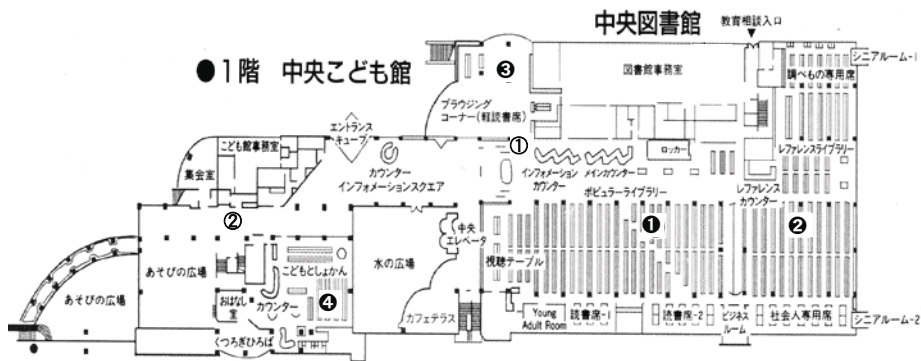
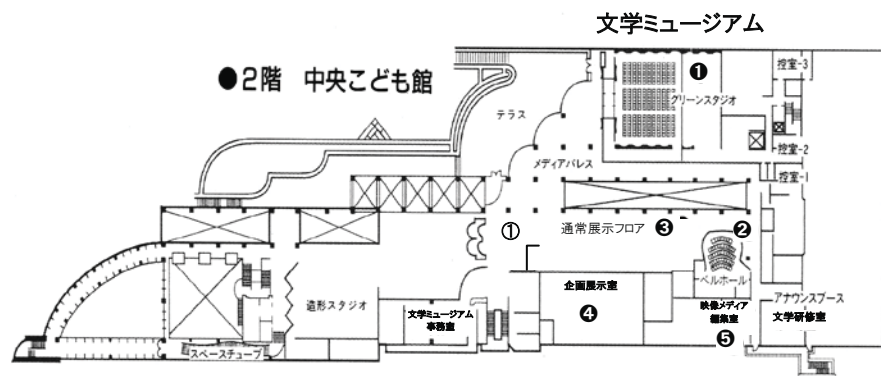
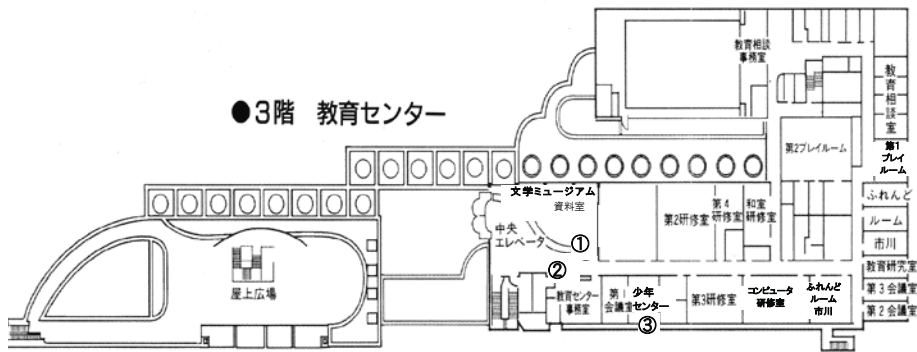
①中央図書館フロア案内図

シニア

②こどもとしゃかんフロア案内図



③生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図



3 階

①文学ミュージアム資料室：2階文学ミュージアムの資料室。

②**教育センター**：市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子どもや保護者からの教育相談を行う施設。

③少年センター：青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う施設。

2 階

①文学ミュージアム：①～⑤

①グリーンスタジオ：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。
最大で 260 人を収容し、車イスへの対応も可能。

②ベルホール：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。定員46名。

③通常展示フロア：映画・演劇・小説・
詩歌・文芸に区分し、文学の街いちかわの
魅力を展示品・写真・映像を交え、紹介。

④企画展示室：市川ゆかりの文学や映像文化に関する企画展や展覧会などを行う。

⑤映像メディア編集室：映像編集機器があり、映像や画像の編集が行える。

1 階

①中央図書館：①～④

①ポピュラーライブラリー：小説・趣味・ビジネス書など、生活に役立つ資料を備えている。中高生のためのコーナーや、CD・ビデオ・DVDのコーナーも設けている。

②レファレンスライブラリー：調べものに役立つ、専門書・辞典・郷土資料などを集めたコーナー。調べものの相談にも対応。

③ブラウジングコーナー（軽読書席）：各種新聞や雑誌をくつろいだ雰囲気の中で読める、軽読書コーナー。

④こどもとしょかん：紙芝居・絵本を含め、児童書3万点を揃え、定期的に「らっこの会・えほんの会・おはなし会」を開催。

②中央こども館:赤ちゃんから高校生まで、市川市に住む 18 歳未満の子どもたちのための遊び場。

地下 1 階

①音楽スタジオ：少人数の音楽練習に。
(担当課：2階**①文学ミュージアム**)

②地下駐車場：99 台収容。
(担当課：1 階①中央図書館)

③集会室・サークル室：読書会・図書館
ボランティア活動等に使用。
(担当課：1階①中央図書館)

(2) 自動車図書館「みどり号」

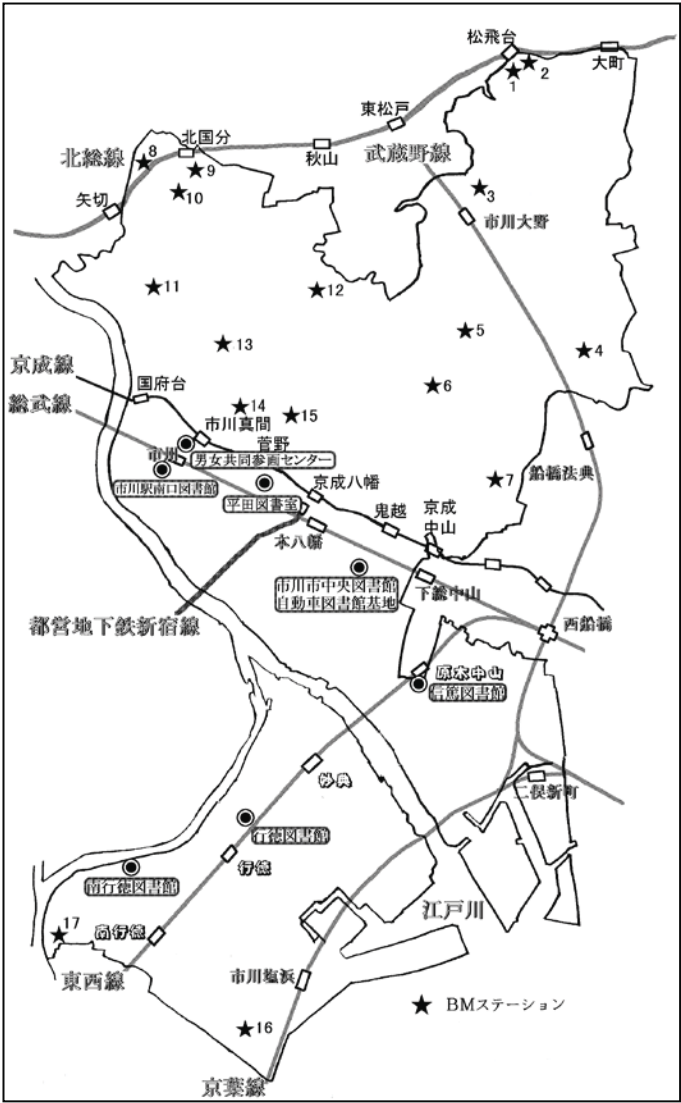
固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービス。身体に障害のある方、ご高齢の方、または乳幼児のいる家庭、地理的障害のために固定館を利用できない方等のために、北部地域を中心に運行している。中央図書館地階を基地とし、駐車場と自動車図書館用書庫を有する。

ステーション数は全17箇所、1ステーション当たり30分から50分滞在し、主に図書の貸出、返却を行う。雨などの悪天候のときには巡回を中止する。

平成18年4月より、運転業務に加え、図書の貸出・返却業務も委託している。（3年間の長期継続契約）

車両仕様

名称	みどり号
登録番号	習志野 800 さ 7405
車名	日野
型式	KK-XZU412M
定員	5人
長さ	608cm
幅	206cm
高さ	271cm
燃料	CNG(圧縮天然ガス)
総排気量	4.10kw
登録年月日	平成15年3月27日
製作	京成自動車工業
積載冊数	3,000冊



みどり号巡回表（平成29年度）

	曜日	午 前	午 後
第1・3週	水		★4 柏井小学校 柏井1-1149-1 2:00~2:40
	木	★16 塩浜体育館 塩浜4-9-1 10:20~10:50	★7 若宮児童公園 若宮3-20 3:10~3:50
	金	★15 (株)クボタ菅野ハイツ 菅野5-3-6 10:20~11:00	★12 山王公園 曾谷5-16 3:00~3:50
第2・4週	火		★9 堀之内公園 堀之内3-2 2:00~2:40
	水	★16 塩浜体育館 塩浜4-9-1 1:30~2:20	★7 島尻西公園 島尻1 3:00~3:40
	木	★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★2 市営大町第2団地 大町124 2:00~2:40
	金	★13 石橋下公園 国分2-9 10:20~11:00	★6 宮久保小学校 宮久保5-7-1 3:10~3:50
		★11 国府台児童公園 国府台5-8 10:20~11:00	★8 北国分2丁目公園 北国分2-27 3:00~3:40
			★5 大野小学校 南大野1-42-1 3:00~3:50

(3) 平田図書室

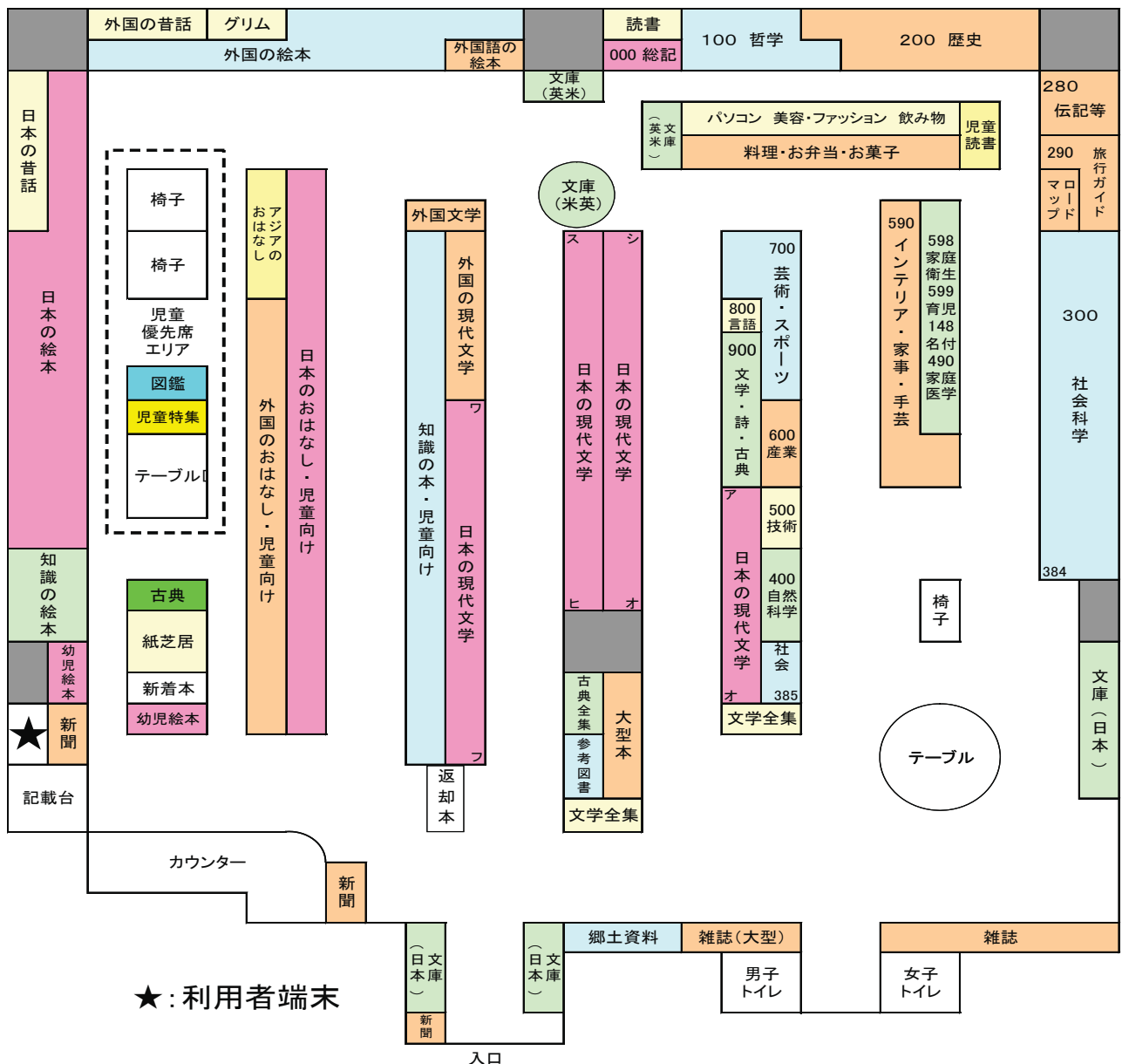
市川市平田 1-20-16

TEL 047 (321) 2243

FAX 047 (321) 2243



- ・ 交通 京成菅野駅より徒歩 8 分
JR 本八幡駅より徒歩 10 分
- ・ 開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



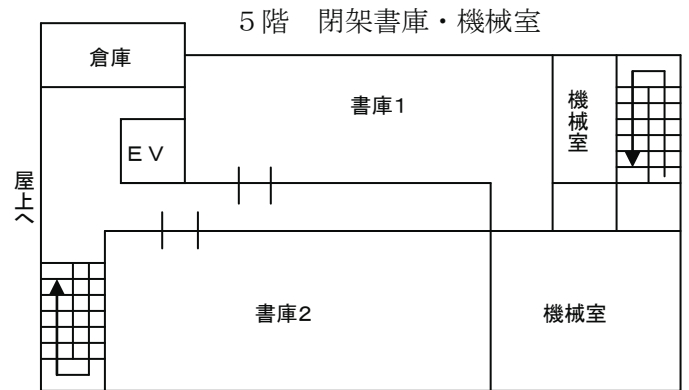
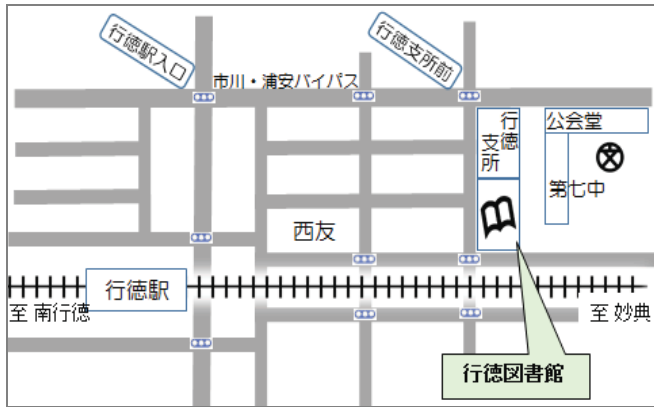
(4) 行徳図書館

市川市末広1-1-31

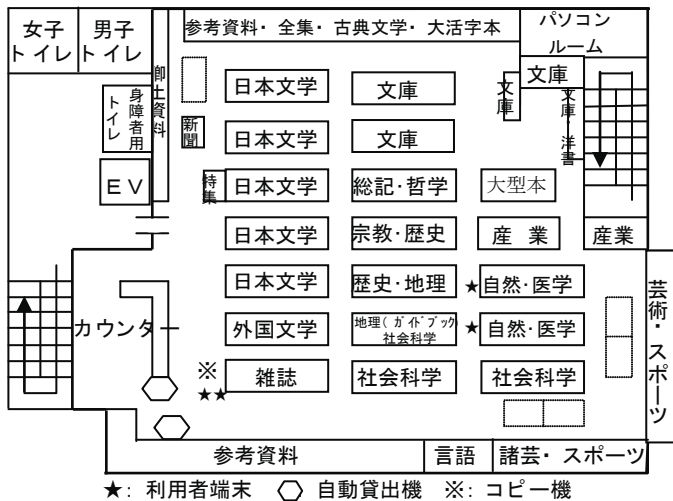
TEL 047 (358) 9011

FAX 047 (358) 9012

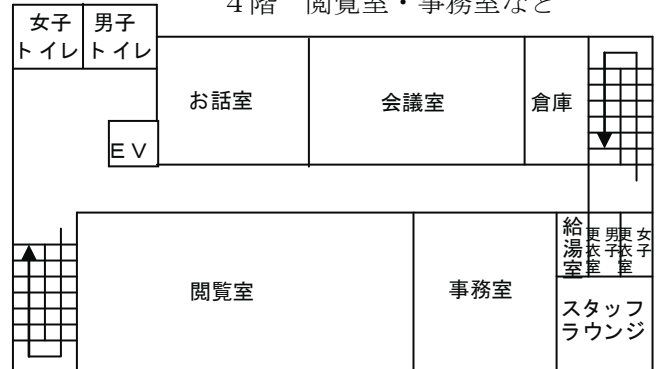
- ・交通 東西線行徳駅より徒歩5分
- ・開館時間 火曜～金曜 10:00～19:30
土・日・祝日 10:00～17:00



3階 大人の本のフロア



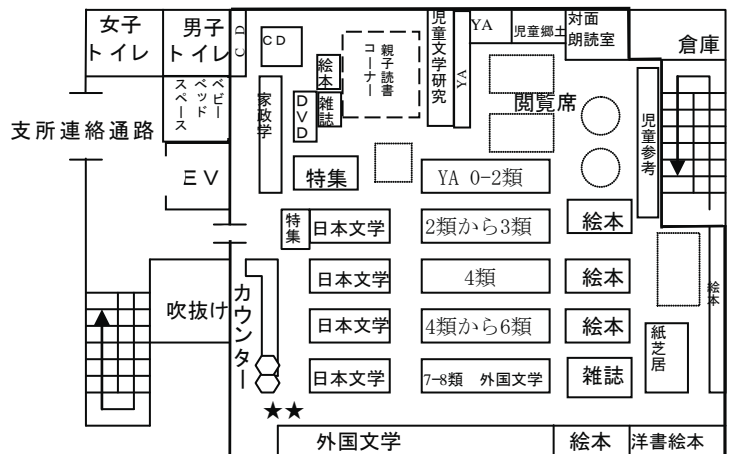
4階 閲覧室・事務室など



1階 エントランスホール・公民館



2階 子どもの本のフロア



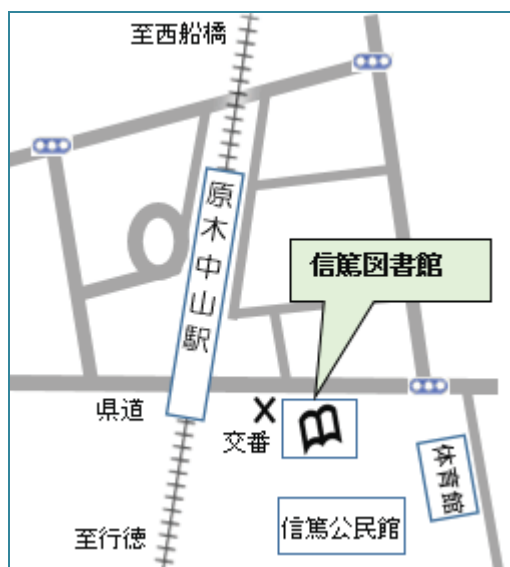
(5) 信篤図書館

市川市高谷 1-8-1

TEL 047 (328) 8831

FAX 047 (328) 8831

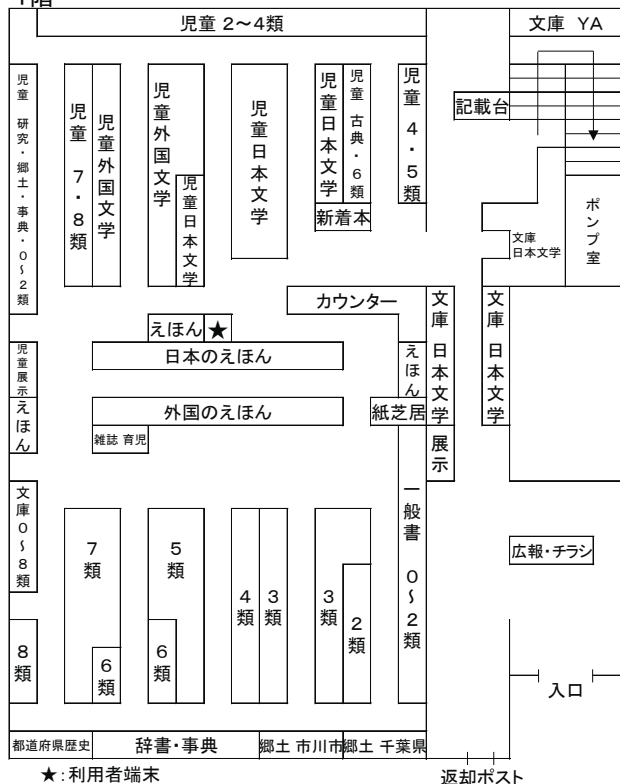
- ・交通 東西線原木中山駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



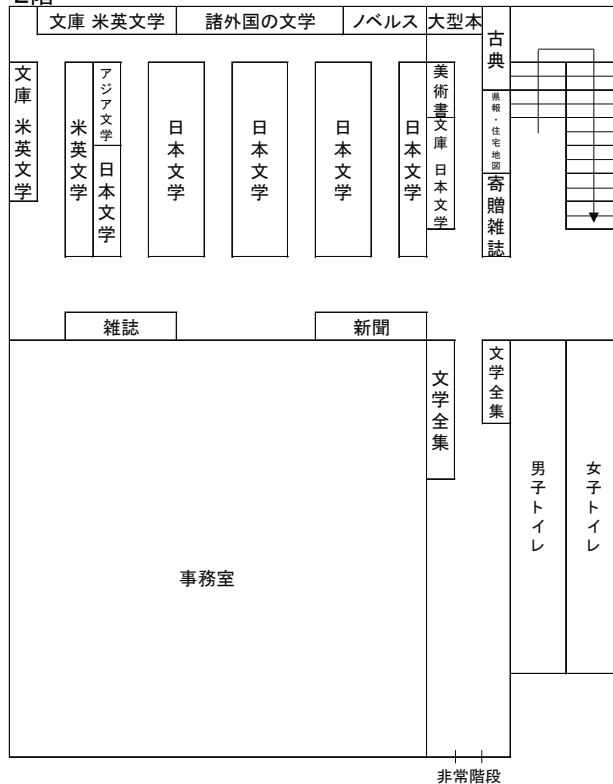
3階



1 階



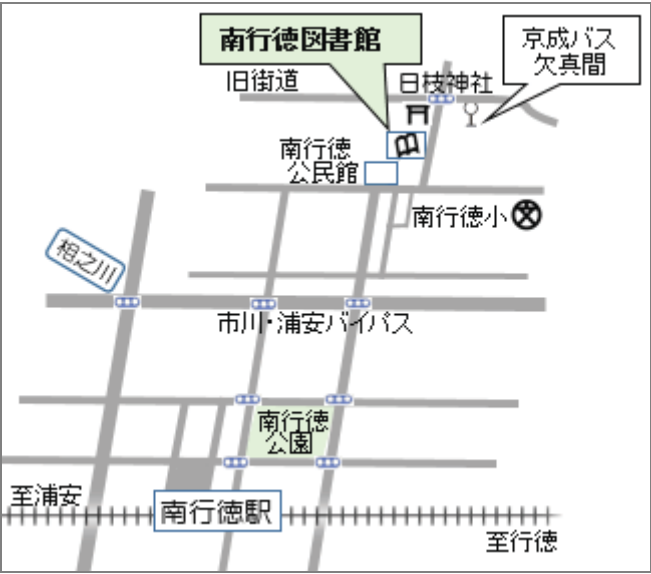
2階



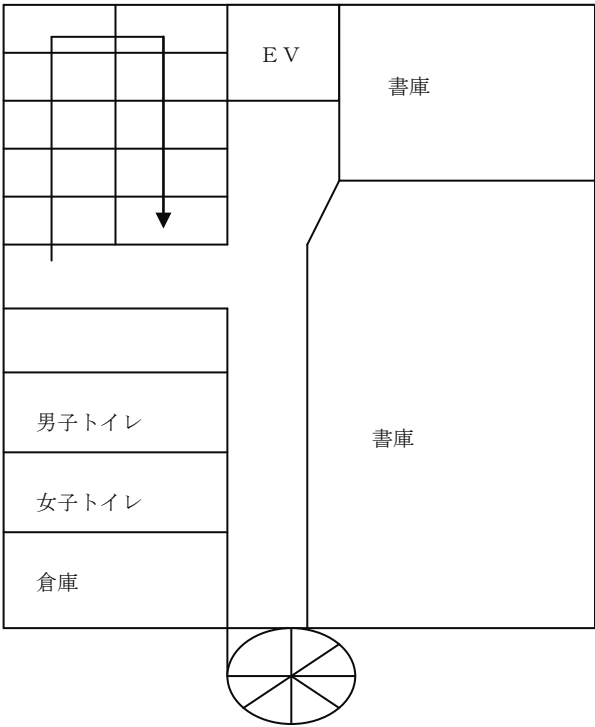
(6) 南行徳図書館

市川市相之川 1－2－4 T E L 047 (357) 4188
F A X 047 (357) 4188

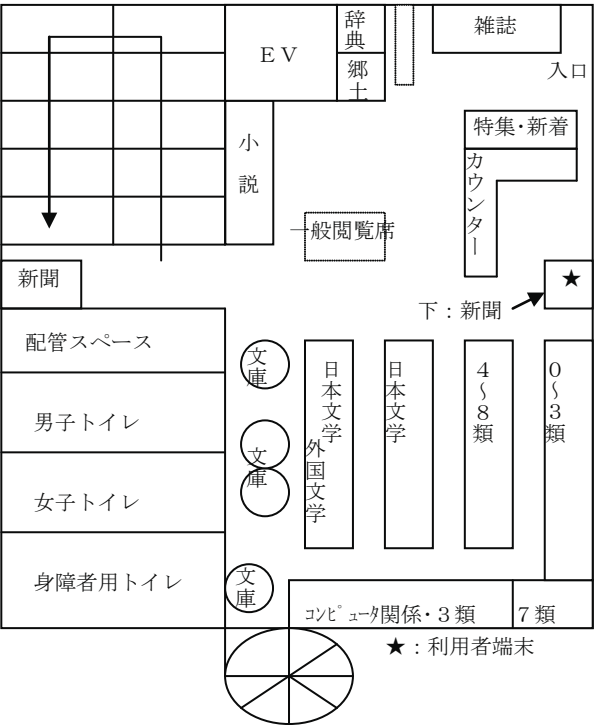
- ・ 交 通 東西線南行徳駅より徒歩15分
 J R 本八幡駅より浦安駅行きバス
 「欠真間」下車徒歩 2 分
- ・ 開館時間 火曜～日曜 9：30～17:00



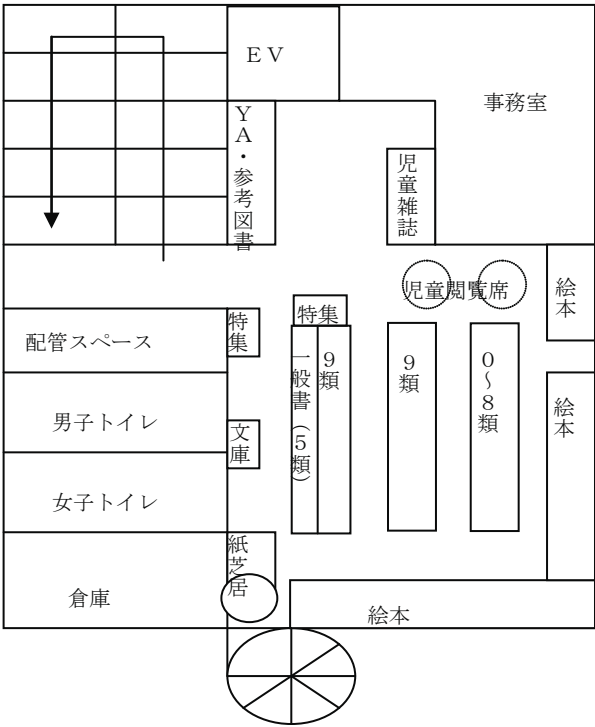
3 階（書庫）



1 階（一般書）



2 階（児童書）



(7) 市川駅南口図書館

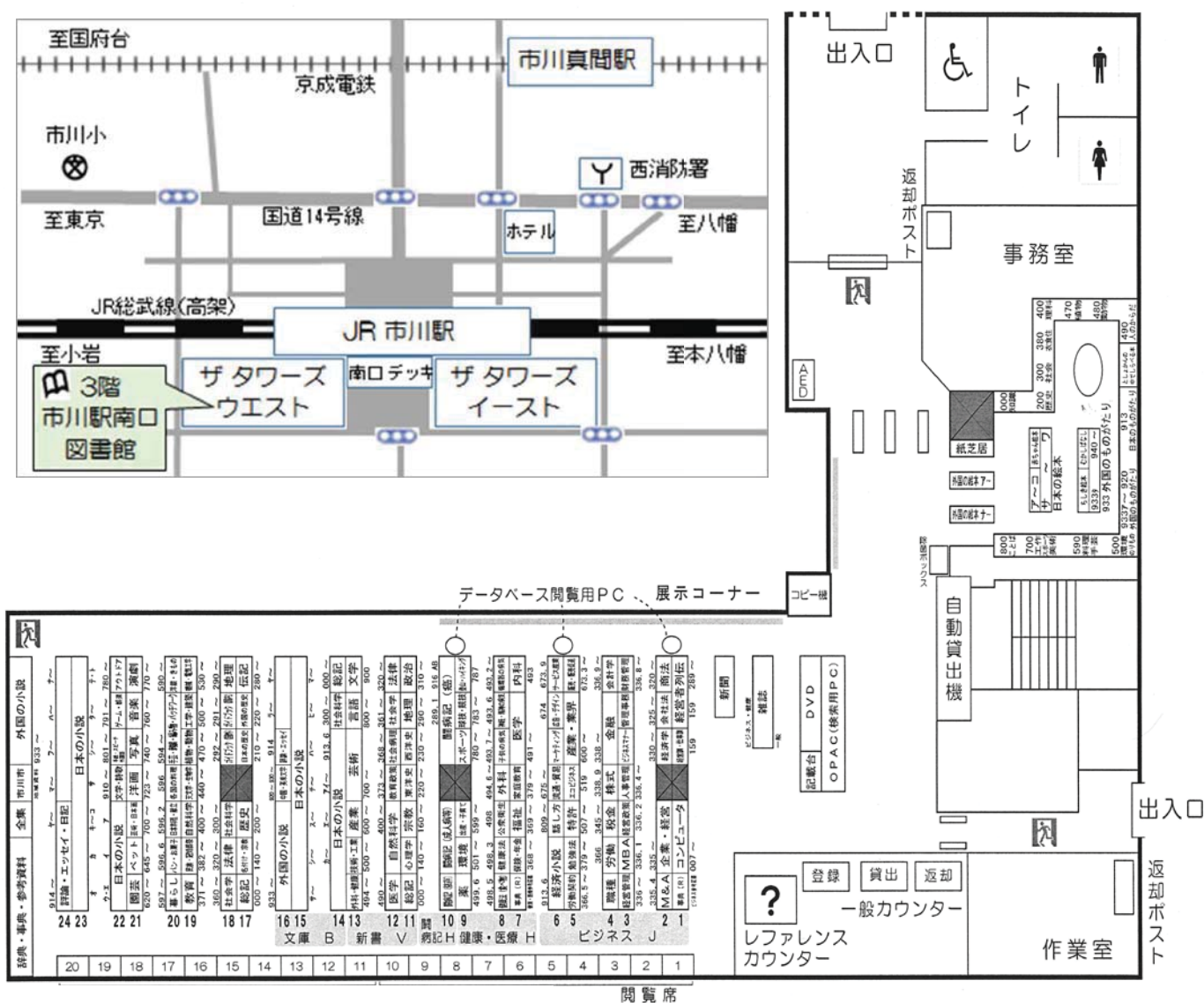
市川市市川南 1-10-1

I-linkタウンいちかわ ザ タワーズ ウェスト3階

TEL 047 (325) 6241

FAX 047 (325) 6243

- ・交 通 J R市川駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00
土・日・祝日 9:30～18:00



① 指定管理者制度導入の経過

平成19年	4月	南口図書館運営計画策定作業開始
	10月	行政経営会議（3日）において、A棟3階（図書館・保育園）のレイアウト及び図書館運営形態（直営＋一部委託）の報告を行う
20年	9月	行政経営会議（17日）、指定管理者制度導入に関する会議（25日）において、市川駅南口図書館への指定管理者制度導入が正式に決定
	11月	12月議会開催（28日）、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についての議案〔市川駅南口図書館での設置及び指定管理者に管理を行わせること、行徳図書館の祝日開館他（第31号）〕、市川市立図書館設置条例の全部改正についての議案〔中央図書館と生涯学習センターの祝日開館（第32号）〕提出
	12月	環境文教委員会（2日）、議案第31号否決、第32号可決 委員長報告・本会議議決（5日）、議案第31号及び第32号可決
21年	1月	指定管理者公募受付（16～23日）に4社応募。選定審査会による1次審査（26・27日）
	2月	選定審査会による2次審査（2日） 定例教育委員会（5日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取 2月議会開会（16日）指定管理者の指定の議案（第84号）提出
	3月	議案第84号継続審議可決（3日） 委員長報告・動議（11日）環境文教委員会審査期限付動議可決 環境文教委員会（12・16・18・19日）選定評価表の見直し、適正なモニタリングの実施、3年後の制度継続を含めた見直し等、条件付きで議案第84号可決（19日） 委員長報告・本会議議決（23日）議案第84号可決 指定管理者の告示及び通知（27日）株式会社ヴィアックス 基本協定書締結（31日）
	4月	指定管理期間の開始（3年間：21/4/1～24/3/31） 開館準備及び指定管理者研修（1～29日） オープニングセレモニー（30日）

② モニタリング

平成22年	11月	21年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（8日） 評価項目は、大項目全18項目、評価視点（評価事項）全46項目138点を設定
23年	8月	22年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（22日） 評価項目を整理し、図書館サービスに直接関連する評価視点を3項目増
24年	8月	23年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7日）
25年	2月	評価委員による評価項目検討審査会（15日）評価項目は、大項目全16項目、評価視点（中項目）全38項目102点とし、図書館サービス部分を重視する傾斜配分に改める
	3月	新評価項目での中央図書館モニタリング担当者による24年度上半期第1次評価（8日）
	6月	中央図書館モニタリング担当者による24年度全期第1次評価（14日）
	7月	評価委員会による24年度全期第2次評価（2日） 選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（31日）
	11月	中央図書館モニタリング担当者による25年度上半期第1次評価（21日）
26年	6月	中央図書館モニタリング担当者による25年度全期第1次評価（13日） 評価委員会による25年度全期第2次評価（30日）
	7月	「市川市指定管理者のモニタリングに関する実施要領」一部改正により第2次評価を選定審査会会長へ報告
	8月	平成25年度モニタリング評価の決定
	12月	中央図書館モニタリング担当者による26年度上半期第1次評価（5日）
27年	6月	中央図書館モニタリング担当者による26年度全期第1次評価（19日）
	7月	評価委員会による26年度全期第2次評価（16日）
	8月	平成26年度モニタリング評価の決定
	12月	新評価項目での中央図書館モニタリング担当者による27年度上半期第1次評価（18日）
28年	6月	中央図書館モニタリング担当者による27年度全期第1次評価（17日）
	7月	評価委員会による27年度全期第2次評価（14日）
	8月	平成27年度モニタリング評価の決定
	12月	中央図書館モニタリング担当者による28年度上半期第1次評価（22日）
29年	6月	中央図書館モニタリング担当者による28年度全期第1次評価（15日）
	7月	評価委員会による28年度全期並びに指定期間全体（24年度～28年度）第2次評価（13日）
	9月	平成28年度モニタリング評価の決定

③ 更新

平成23年	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（18日）
	8月	指定管理者公募受付（7/31～8/11）に3社応募
	10月	選考委員会による1次審査（7日）選定審査会による2次審査（19日）
	11月	定例教育委員会（10日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取
	12月	12月議会開会（25日）指定管理者の指定の議案（第39号）提出
24年	12月	委員長報告・本会議議決（2日）、議案第39号可決 指定管理者の告示及び通知（9日）株式会社ヴィアックス
	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	2回目の指定管理期間の開始（5年間:24/4/1～29/3/31）
26年	3月	変更基本協定書締結（31日）
28年	4月	変更基本協定書締結（1日）
	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（24日）
	7月	指定管理者公募受付（7/7～7/14）に2社応募
	8月	選考委員会による1次審査（9日）
	10月	選定審査会による2次審査（12日）
	12月	定例教育委員会報告（1日）（第21号）
	12月	12月議会開会（2日）指定管理者の指定の議案（第61号）提出
	12月	委員長報告・本会議議決（9日）、議案第61号可決 指定管理者の告示及び通知（21日）株式会社ヴィアックス
29年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	3回目の指定管理期間の開始（5年間:29/4/1～34/3/31）

評価一覧表 施設名:市川市市川駅南口図書館 指定管理者:(株)ヴィアックス 適用期間:平成28年度全期

No.	大項目	評価視点	1か年度		上半期	
			評価	評価点	評価	評価点
1	職員の配置・補充体制に関すること	業務遂行に必要な要員配置及び司書有資格者は確保されているか。	B	2	B	2
2※		労働関連法令を順守した雇用を行っているか。	B	2	B	2
3☆		組織の指揮命令系統・チェック機能が確保されているか。	B	2	B	2
4	個人情報の保護に関すること	利用者の個人情報 は、市川市個人情報保護条例に従って適正に管理されているか。	A	3	A	3
5☆	指定管理者の経理に関すること	会計区分は適正に管理され、決算は適正に行われているか。	B	2	B	2
6☆	文書管理に関すること	文書の管理及び保管は適切に行われているか。	B	2	B	2
7☆	提出書類に関すること	提出書類は適正なものを期日までに提出しているか。	B	2	B	2
8※	施設賠償責任保険の付保に関すること	施設賠償責任保険の加入は適切に行われているか。	B	2	B	2
9※	第三者への一括委託に関すること	一括委任、一括委託は行われていないか。	B	2	B	2
10※	施設の目的外使用に関すること	市川駅南口図書館の目的外使用は行われていないか。または、適正な目的外利用を行っているか。	B	2	B	2
11☆	市の財産の管理に関すること	市の財産の形状、形質等の変更はないか。	B	2	B	2
12☆	施設・備品の維持管理・修繕に関すること	仕様書の範囲内で適切に修繕が行われているか。	B	2	－	－
13		備品は適正に管理しているか。	B	2	B	2
14	施設の状況に関すること	委託業務の適正な履行の確認・管理が行われているか。(清掃・警備・各種保守点検)	B	2	B	2
15	事故・緊急事態の対応に関すること	事故防止、安全対策がされているか。	A	3	B	2
16		事故等の緊急時、災害発生時の対応は確保されているか。	A	3	A	3
17※		防火管理者は適正に配置されているか。	B	2	B	2
18	公共性の尊重に関すること	公の施設及び公共図書館であることを認識した管理運営が従事者まで徹底されているか。	B	2	B	2
19※	法令等の遵守に関すること	市川駅南口図書館の設置管理条例及び施行規則に定める事項を遵守しているか。	B	2	B	2
20	情報の公開に関すること	情報の公開に努めているか。	B	2	B	2
21☆	指定管理者の経営状況に関すること	指定管理者の財務状況は安定しているか。	B	2	－	－
22	図書館サービス業務に関すること	現場従事者等に対する研修は適切に行われているか。(含. 配置前研修)	A	3	B	2
23		短時間滞在型の駅前情報拠点としての特色を生かしたサービスを展開しているか。(外部データベース・ICタグ)	A	3	B	2
24		ビジネス支援サービスを積極的に展開しているか。	B	2	B	2
25		健康・医療情報提供の充実を図るための工夫がなされているか。	A	3	A	3
26		地域との連携を図ることにより機能的な図書館サービスを展開しているか。	A	3	A	3
27		行事は適切に行われているか。	A	3	A	3
28		PR活動等の努力が行われているか。	A	3	A	3
29☆		利用者登録業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
30		貸出返却業務は適切に行われているか。	A	3	A	3
31		予約業務は適切に行われているか。	A	3	A	3
32		レファレンス業務は適切に行われているか。(対応・内容について)	B	2	B	2
33		レファレンス業務は適切に行われているか。(記録・報告について)	B	2	B	2
34		資料管理業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
35		書架管理業務は適切に行われているか。(含. 月末館内整理・蔵書点検)	B	2	B	2
36	利用者アンケートの実施等に関すること	利用者アンケート調査を実施し、改善に努めているか。	B	2	－	－
37	利用者の要望及び苦情に関すること	利用者の苦情等のトラブル対応は適切に行われているか。	B	2	B	2
38		電話での対応を含む職員の接客態度は適切か。	B	2	B	2
合計点			87		78	
総合評価			良		良	

【注】評価方法について

①評価視点ごとの評価点

評価	評価点
A	3
B	2
C	1
D	0

★:B・C・Dの3段階で評価→3.5～7.11,12.21,29

※:B・Dの2段階で評価→2.8～10.17,19

その他の項目は、A・B・C・Dの4段階で評価

②総合評価の方法

全38項目(平成28年度全期)

総合評価	合計評価点
優	100点～90点
良	89点～60点
可	59点～ 点
改善	D評価あり

全35項目(平成28年度上半期)

総合評価	合計評価点
優	93点～83点
良	82点～55点
可	54点～ 点
改善	D評価あり

（８）関連施設

① 市民図書室

市民図書室は、コミュニティスクールの一環として市内小学校４校に設置された。

平成11年度より生涯学習部生涯学習課から図書館へ所管変更され、現在は中央図書館所管の非常勤職員が市民ボランティアの協力を得て本の貸出・返却・整理などを行っている。

また、ボランティアが主体となって、おはなし会、絵本の読み聞かせ会、人形劇、古本市を行うなどそれぞれ地域に密着したサービスを展開し、地域住民の活動の場ともなっている。併設されている学校との連携も重視している。

・利用（貸出）には、市立図書館とは別に、それぞれの図書室で登録が必要。借りた資料は、借りた図書室にのみ返却可能。

・図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書が検索でき、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができる。

（市立図書館の蔵書検索、返却、予約の貸出の手続きは非常勤職員が行っている。）

・市立図書館の物流便は毎週水・土曜日に巡回

・開室日 水・土・日曜

・開室時間 10:00～16:00

② 男女共同参画センター情報資料室

・市川市市川 1－24－2 市川西消防署 4 階

・TEL 047 (322) 6700

・交通 JR市川駅 京成市川真間駅より徒歩５分

・貸出日 火曜～日曜 9:30～17:00

（祝日・毎月最終火曜日は除く）

・市立図書館の物流便は、毎週水・金・日曜日に巡回する。

・床面積 93㎡

男女共同参画についての資料の収集と提供を行っている。図書館とオンライン化されており、市立図書館と共通の利用券で利用できる（貸出は10冊まで）。また、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができる。

所管は、総務部男女共同参画課だが、図書購入の費用及び運営の非常勤職員の費用は図書館の費目。

③ 情報プラザ２階

・市川市南八幡 4－2－5

・TEL 047 (314) 0811

・交通 JR本八幡駅南口より徒歩１分

・利用時間 火曜～金曜 10:00～19:30

土・日・祝日 10:00～18:00

（第４日曜日は除く）

図書館とオンライン化されており、図書館の予約図書・雑誌の受取ができる。また、図書館資料返却用のポストが設置されている。

（平成23年度より情報政策部情報政策担当から図書館へ所管変更）

市民図書室一覧

図書室名	住所・電話番号	床面積	開設年月日
塩 焼 市 民 図 書 室 （塩焼読書センター）	市川市塩焼 5－9－8 047 (397) 6823	135.0 ㎡	昭和 56 年 10 月 8 日
稲 越 市 民 図 書 室 （ひばり図書室）	市川市稲越町 518－2 047 (373) 6013	135.0 ㎡	昭和 56 年 10 月 8 日
福 栄 市 民 図 書 室	市川市南行徳 2－2－1 047 (395) 5020	112.5 ㎡	昭和 60 年 10 月 5 日
大 柏 市 民 図 書 室	大野町 2－1877 047 (338) 7897	315.0 ㎡	平成 3 年 4 月 1 日

④ 公民館図書室

市内16の公民館のうち、大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7館に公民館図書室が設置されている。公民館の運営は、社会教育課が行っており、図書室担当の非常勤職員についても、社会教育指導員として社会教育課が配置している。（大野は除く）

図書館では、図書費負担と選書の審査を行っている。

A. 大野公民館図書室…システムによる蔵書管理

平成26年度より中央図書館所管の非常勤職員が運営にあたっている。

市立図書館所蔵資料の返却、予約（図書・雑誌）の受付・受取、蔵書検索などのサービスを受けることができる。また、図書館で貸出したCDの返却を受け付けている。

平成28年12月に蔵書をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化したことで、市立図書館の利用券で貸出が可能となった。

図書の貸出点数は市立図書館と同じ20冊まで拡大された。

市立図書館の物流便が週3回巡回し、公民館1階の大柏出張所には、市立図書館資料返却用のポストが設置されている。

B. 西部・東部・曾谷公民館図書室 …受取拠点

市立図書館とは別にそれぞれの図書室で利用登録が必要となり、借りた資料は借りた図書室にのみ返却可能。

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館利用券で、市立図書館所蔵資料の予約（図書・雑誌）の受付・受取、返却、蔵書検索のサービスを受けることができる。

市立図書館の物流便が週2回巡回している。

C. 市川・市川駅南・本行徳公民館図書室

図書室の利用はBと同様。

市立図書館システムの端末は設置しておらず、市立図書館資料の貸出返却はできない。

但し、市川公民館には市立図書館資料返却用のポストが設置されている。

公民館図書室一覧（A・Bはオンライン端末設置）

平成29年10月1日現在

グループ	公民館図書室名	住所・電話番号	開室日	貸出日・時間	床面積
A	大野公民館図書室	市川市南大野 2-3-19 047 (339) 3400	火曜～日曜 9:00～17:00	火曜～日曜 9:30～17:00	127.0㎡
B	西部公民館図書室	市川市中国分 2-13-8 047 (371) 2777	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜～日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	112.0㎡
	曾谷公民館図書室	市川市曾谷 6-25-5 047 (372) 2871	火曜～日曜 9:00～17:00	水・土・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	144.0㎡
	東部公民館図書室	市川市本北方 3-19-16 047 (337) 8886	火曜～日曜 9:00～17:00	火・水・土曜 10:00～12:00 13:00～16:30	81.0㎡
C	市川公民館図書室	市川市市川 2-33-2 047 (321) 1171	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・土曜 9:30～12:00 13:00～16:30	40.5㎡
	市川駅南公民館図書室	市川市大洲 4-18-3 047 (370) 3564	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	31.4㎡
	本行徳公民館図書室	市川市本行徳 12-8 047 (359) 1351	水曜・日曜 9:00～17:00	水曜・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	170.0㎡

7. 図書館コンピュータシステム

(1) 図書館コンピュータシステムの概要

市川市立図書館では昭和 60 年にコンピュータシステムを導入。平成 6 年の中央図書館開館に際して 2 回目の更新を行い、可変長 MARC の採用、学校図書館とのパソコン通信連携を実施した。

平成 12 年 10 月に富士通の iLiswing Ver2.0 に 3 回目の更新、また平成 17 年 7 月に同社の iLiswing21/UX+に 4 回目の更新を行い、市内全域へのネットワーク拡大とインターネットでのサービス充実を行った。平成 23 年 11 月に 5 回目の更新を行い、現在は富士通の iLisfiera を採用している。

市川駅南口図書館では開館した平成 21 年 4 月に、行徳図書館では平成 28 年 7 月に、それぞれ I C タグによる蔵書管理システム iLiscomp を導入し、セキュリティゲートや自動貸出機等を設置。窓口業務や蔵書点検業務の効率化を図っている。

平成 28 年度は、特に情報セキュリティの強化に力を注ぎ、11 月に図書館システムパッケージが、Internet Explorer 11 を利用した環境下においても正常に稼動するための設定を各機器に対して行い、平成 29 年 2 月には「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に基づいた情報セキュリティ強靱化対策を行った。

(2) インターネットでのサービス

平成

- | | |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------|
| 12 年 10 月 | インターネットでの蔵書情報の公開
利用者自ら I D とパスワードにより
貸出状況・予約状況の照会が可能 |
| 14 年 5 月 | 携帯端末での蔵書検索を実施
メールでのレファレンス受付開始 |
| 10 月 | 図書館ホームページが財団法人高度
映像情報センター (AVCC) の主催する
公共ホームページ Goodsite 賞に
選出 |
| 11 月 | インターネットで図書・雑誌の予約
受付を開始 |

- | | |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15 年 7 月 | C T I サーバを導入し、段階的に
e メール及び電話による督促通知、
予約通知の自動連絡を開始する |
| 17 年 7 月 | C D ・ビデオのネット予約受付開始
図書館ホームページのリニューアル
TRC-MARC を U から T タイプに変更
蔵書検索で内容紹介、著者紹介等の
項目が検索対象となる |
| 18 年 3 月 | S S L 暗号化通信を導入
市川市が韓国ソウル市江南区電子図
書館の閲覧 I D を配布開始 |
| 10 月 | 予約資料の宅配サービスを開始 |
| 20 年 6 月 | 「青空文庫」作成電子テキストの書
誌データを W e b サーバで一括検索
開始 |
| 21 年 6 月 | TRC-MARC を全件 T タイプに塗替え
TRC 雑誌 MARC を導入 |
| 26 年 10 月 | Q R コードを利用した目録検索結果
等の読み取りサービス「スマート簡
単検索 (ALPACA)」運用開始 |
| 28 年 3 月 | スマートフォン対応 Web-OPAC サ
ービス開始 |

(3) ネットワークの拡充

平成 12 年からの市内ケーブル回線網の敷設及び全庁的なイントラネット構築に伴い、図書館未設置地区へネットワーク拠点を増設。

平成

- | | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12 年 10 月 | 市立小学校に併設の市民図書室 4 室
(塩焼・稲越・福栄・大柏) 及び大
野公民館図書室にオンライン端末を
設置し、図書館の予約本を取り寄せ
て、貸出・返却を可能とする |
| 12 月 | 西部公民館図書室にオンライン端末
を設置 |
| 14 年 5 月 | 情報システム課が情報プラザに移転
本庁一情報プラザ一生涯学習センタ
ー間が 100Mbps の回線で接続され
る |
| 15 年 2 月 | 情報プラザ 2 階電子市役所での
予約資料受渡しを実施 |
| 6 月 | 曾谷公民館図書室に端末を設置 |
| 7 月 | 情報プラザに端末を設置 |
| 16 年 6 月 | 東部公民館図書室に端末を設置 |

17 年 10 月 行徳支所まで 100Mbps の回線となり、図書館も支所より分岐して接続
千葉商科大学付属図書館に端末を設置

20 年 全庁的にネットワーク再構築が実施される

21 年 4 月 市川駅南口図書館開館に伴い、100Mbps の光回線を接続し、業務端末 9 台、OPAC 4 台、自動貸出機 3 台、セキュリティゲート 2 基を設置

26 年 4 月 大野公民館図書室で CD 返却受付の試行開始

28 年 7 月 行徳図書館に自動貸出機 4 台、セキュリティゲート 2 基を設置

11 月 図書館情報システムを Internet Explorer 11 に対応させるための設定作業を行う

29 年 2 月 大野公民館図書室の蔵書情報を図書館コンピュータシステムに組入れ、コンピュータによる蔵書管理を開始
全庁的に情報セキュリティ強化対策が実施され、図書館業務はインターネット系回線での利用となる

17 年 7 月 〔中央図書館〕日経テレコン 21 を導入
ビジネスルームのインターネット接続を 12 席対応に変更
「IT ブース」を USB キー貸出に変更

18 年 6 月 〔中央図書館〕江南区電子図書館閲覧端末を韓国語資料の書架横に設置

21 年 4 月 〔市川駅南口図書館〕閲覧席 20 席に情報コンセント（電源、LAN）を設置、フリースポットでの無線接続も可能とする
外部データベース閲覧端末 3 台を設置、プリントアウトサービスを可能とする

10 月 〔中央図書館〕毎日 News パック、ヨミダス文書館、聞蔵Ⅱブリタニカのオンラインデータベースを館内 Web-OPAC で利用者に開放

12 月 〔中央図書館〕障害者専用パソコンを入替え、インターネット接続で、点訳及び DAISY 等の音声資料対応

23 年 11 月 〔中央図書館〕コインベンダー式プリンタ導入
ビジネスルームにフリースポット導入、無線接続を可能とする
〔行徳図書館〕3 階パソコンルームにフリースポット導入、無線接続を可能とする

26 年 4 月 〔中央図書館・市川駅南口図書館〕D1-Law.com を導入

6 月 〔中央図書館〕国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」「歴史的音源」利用開始

8 月 〔中央図書館〕障害者専用パソコンを入替え

27 年 2 月 〔中央図書館〕新聞閲覧パソコンに日経ヴェリタス電子版を導入

6 月 〔中央図書館〕国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の複写サービスを開始

8 月 〔中央図書館〕新聞閲覧パソコンに主要新聞社等の Web サイト閲覧のための環境を整備

（４）図書館内インターネット接続サービス等

平成

12 年 10 月 館内利用者端末（タッチパネル式）を増設（全館 26 台、レシートプリンタ付）
〔中央図書館〕Web-OPAC（キーボード式）3 台を新設
朝日新聞記事全文検索データベースを導入
ビジネスルームに持ち込みパソコンのインターネット接続環境を整備、有線 LAN 接続で 4 席
業務端末は全館全端末が本庁イントラ経由でインターネット常時接続が可能とし、相互協力やレファレンス業務等でインターネット上の情報源を利用できるようになる

14 年 5 月 〔中央図書館〕「IT ブース」として、視聴覚ブースにインターネット用パソコンを 6 台設置、無線 LAN カード貸出により利用提供
ビジネスルームのインターネット接続を 7 席対応に変更
朝日新聞記事全文検索データベースを館内 Web-OPAC で利用者に開放

〈参考〉

①オンライン・データベース導入一覧

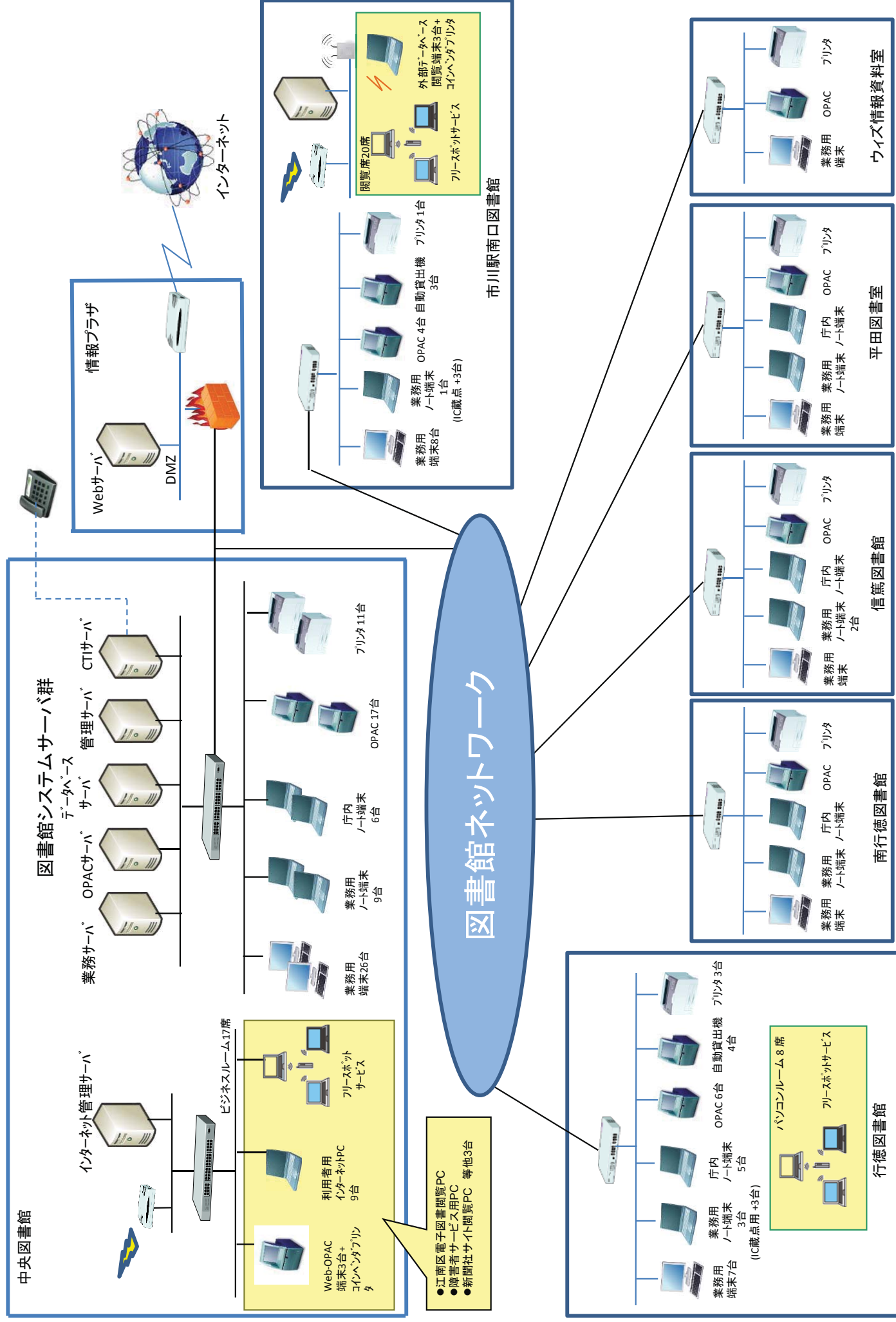
[平成 29 年 4 月 1 日現在]

	データベースタイトル	中央		駅南	
		業務	閲覧	業務	閲覧
①	聞蔵Ⅱ：朝日新聞社オンライン記事データベース	○	○	○	○
②	ヨミダス文書館：読売新聞記事データベース	○	○	○	○
③	毎日Newspack：毎日新聞記事データベース	○	○	○	○
④	日経テレコン 21〔図書館向け〕	○	○	○	○
⑤	Westlaw JAPAN：法律総合オンラインサービス	○	○	○	○
⑥	D1-Law.com：第一法規 法情報総合データベース	○	○	○	○
⑦	医学中央雑誌Web版			○	
⑧	官報情報検索サービス	○	○	○	○
⑨	ブリタニカオンラインジャパン	○	○	○	○
⑩	MAGAZINEPLUS（日外アソシエーツ）	○	○	○	○
⑪	国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」	○	○		
⑫	国立国会図書館「歴史的音源」	○	○		
⑬	日経ヴェリタス電子版		○		

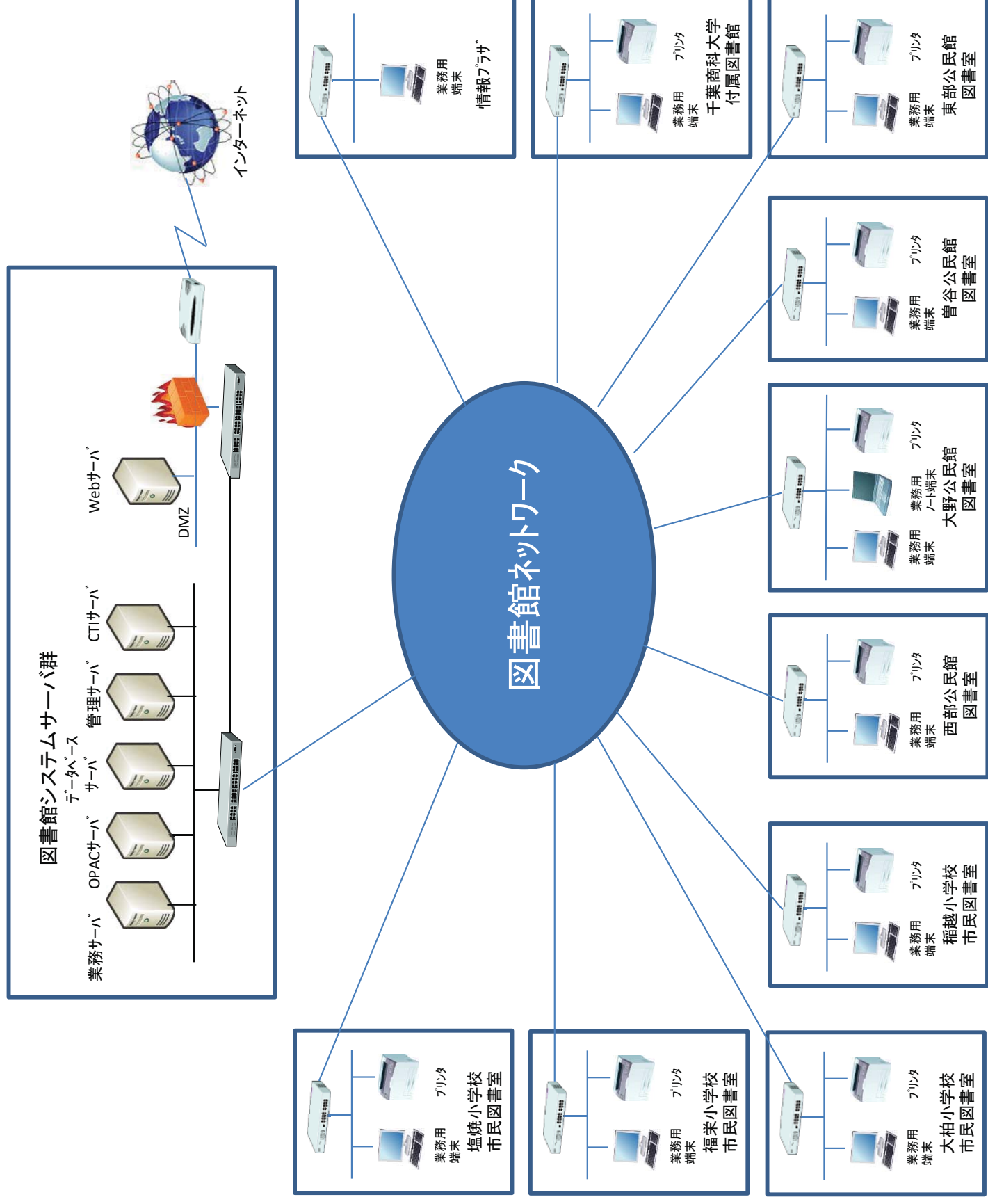
②データベース・プリント枚数(平成 28 年度)

館	枚数	<うち、デジタル化資料送信サービス分>
中央	2,872 枚	<1,467 枚>
駅南	252 枚	—

市川市立図書館システム構成図（中央図書館及び地域館）



市川市立図書館システム構成図（関連施設）



8. 平成29年度予算

(1) 市の予算

(単位：千円)

項 目	平成29年度当初予算額	平成28年度当初予算額	対 前 年 度 比
総 額	241,975,000	238,788,000	3,187,000
一 般 会 計	144,800,000	140,800,000	4,000,000
特 別 会 計	95,183,000	96,044,000	△861,000
公営企業会計	1,992,000	1,944,000	48,000

(2) 教育費

(単位：千円)

科 目	平成29年度当初予算額	平成28年度当初予算額	対 前 年 度 比
一般会計のうち教育費	11,890,000 (一般会計の8.2%)	12,447,000 (一般会計の8.8%)	△557,000
教育費のうち図書館費	341,167 (教育費の2.9%)	349,787 (教育費の2.8%)	△8,620

(3) 図書館費

(単位：千円)

	平成29年度当初予算額	細 節	平成28年度当初予算額
総 計	341,167		349,787
7. 賃 金	79,163	◎非常勤職員等雇上料 79,163	77,562
8. 報 償 費	63	◎報償金 47 ◎講師謝礼金 16	117
9. 旅 費	13	◎職員旅費 13	14
11. 需 用 費	104,083	◎消耗品費 85,133 ◎定期刊行物費 10,303 ◎印刷製本費 1,440 ◎光熱水費 3,124 ◎物品修繕料 501 ◎自動車修繕料 78 ◎施設修繕料 3,500 ◎医薬材料費 4	100,157
12. 役 務 費	27,333	◎通信運搬費 3,698 ◎手数料 23,625 ◎筆耕翻訳料 10	25,492
13. 委 託 料	95,993	◎委託料 95,993	101,810
14. 使用料及び 賃借料	19,767	◎使用料 3,226 ◎賃借料 16,541	29,272
18. 備品購入費	3,645	◎事業用機械器具費 630 ◎図書費 3,015	7,652
19. 負担金補助 及び交付金	11,107	◎負担金 11,107	7,631
27. 公 課 費	0	◎自動車重量税 0	80

(4) 館別資料費

○ 図 書 館

(単位：千円)

館 名	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
中 央	31,597 (34,015)	2,712 (3,014)	34,309 (37,029)	554 (825)	6,221 (6,454)	41,084 (44,308)
行 徳	8,503 (8,788)	303 (404)	8,806 (9,192)	427 (1,213)	1,703 (1,680)	10,936 (12,085)
信 篤	2,127 (2,127)	0 (0)	2,127 (2,127)	0 (0)	550 (540)	2,677 (2,667)
南行徳	2,127 (2,127)	0 (0)	2,127 (2,127)	0 (0)	560 (560)	2,687 (2,687)
平 田	2,130 (2,130)	0 (0)	2,130 (2,130)	0 (0)	520 (520)	2,650 (2,650)
市川駅南口	5,747 (6,475)	0 (0)	5,747 (6,475)	504 (873)	735 (735)	6,986 (8,083)
全 館 リクエスト	12,370 (12,370)	0 (0)	12,370 (12,370)	0 (0)	0 (0)	12,370 (12,370)
合 計	64,601 (68,032)	3,015 (3,418)	67,616 (71,450)	1,485 (2,911)	10,289 (10,489)	79,390 (84,850)

○ 図書館類似施設

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
男女共同 参画センター	280 (280)	0 (0)	280 (280)	0 (0)	14 (14)	294 (294)

○ 公民館図書室（大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7図書室）

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
公民館 図書室	3,300 (3,300)	0 (0)	3,300 (3,300)	0 (0)	0 (0)	3,300 (3,300)

○ 市民図書室（塩焼・稲越・福栄・大柏の4図書室）

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
市 民 図書室	1,368 (1,368)	0 (0)	1,368 (1,368)	0 (0)	0 (142)	1,368 (1,510)

○ 資料費総計

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
総 計	69,549 (72,980)	3,015 (3,418)	72,564 (76,398)	1,485 (2,911)	10,303 (10,645)	84,352 (89,954)

※ () 内は平成28年度当初予算額

※ 定期刊行物費は、新聞、雑誌及び加除式図書追録代の合計額

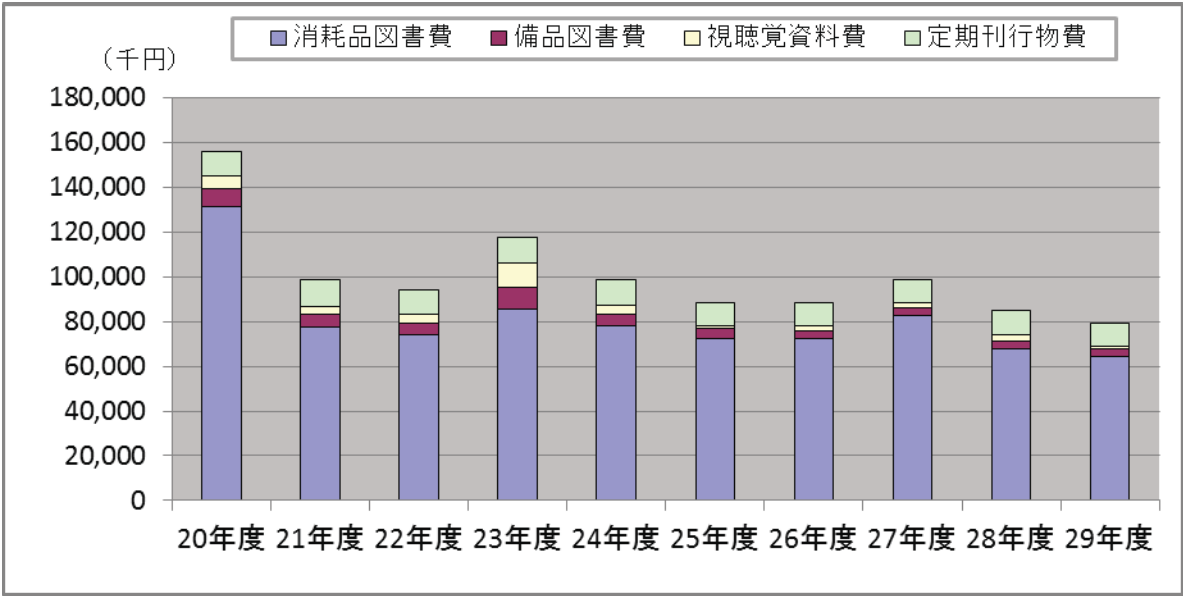
※ 資料費のより一層の有効活用を図るため、各館のリクエスト図書購入費を一本化し、「全館リクエスト」として計上

※ 歳出(予算)は切り上げ

○市川市図書館資料費当初予算額推移表

(単位：千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
図書費	139,453	83,385	79,274	95,357	83,377	77,044	75,927	86,140	71,450	67,616
消耗品図書費	131,307	77,457	73,889	85,797	78,377	72,544	72,362	82,572	68,032	64,601
備品図書費	8,146	5,928	5,385	9,560	5,000	4,500	3,565	3,568	3,418	3,015
視聴覚資料費	5,488	3,566	3,731	10,655	3,714	835	1,924	2,121	2,911	1,485
消耗品費	5,488	3,101	3,263	3,246	3,245	835	1,451	1,651	2,157	855
備品購入費	0	465	468	7,409	469	0	473	470	754	630
定期刊行物費	11,189	12,015	11,423	11,669	11,597	10,437	10,437	10,489	10,489	10,289
合 計	156,130	98,966	94,428	117,681	98,688	88,316	88,288	98,750	84,850	79,390



9. 平成28年度統計

(1) 蔵書冊数 (平成28年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,278	73	378	2,187	460	387	349	15,112
1哲学	22,245	218	741	3,230	1,235	739	720	29,128
2歴史	30,055	281	1,648	8,436	2,165	1,943	3,033	47,561
3社会科学	55,382	423	2,468	14,411	3,053	2,486	1,736	79,959
4自然科学	25,441	357	1,417	6,394	1,907	1,433	1,094	38,043
5技術	19,384	1,574	3,167	7,992	3,567	2,902	5,860	44,446
6産業	8,826	185	729	2,547	696	625	916	14,524
7芸術	34,128	395	2,157	8,886	2,635	1,683	2,828	52,712
8言語	9,756	50	435	1,808	457	380	545	13,431
9文学	50,603	5,171	9,425	26,995	16,254	9,401	7,742	125,591
郷土行政	49,395	0	513	3,728	597	655	387	55,275
参考資料	25,100	0	151	2,027	367	262	407	28,314
外国語資料	13,324	0	0	741	0	0	0	14,065
障害者資料	10,581	240	0	586	0	0	0	11,407
コーナー別資料	256,179	0	4,299	22,841	11,123	5,700	47,250	347,392
一般計	621,677	8,967	27,528	112,809	44,516	28,596	72,867	916,960

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	429	30	93	293	216	72	96	1,229
1哲学	500	21	91	219	90	64	67	1,052
2歴史	4,438	93	505	1,642	673	597	454	8,402
3社会科学	4,128	89	473	1,431	512	556	475	7,664
4自然科学	8,891	548	1,312	2,640	1,597	1,389	1,234	17,611
5技術	3,082	231	447	1,117	500	476	586	6,439
6産業	1,647	65	261	503	225	285	220	3,206
7芸術	4,003	345	608	1,335	757	636	808	8,492
8言語	850	21	150	288	136	163	137	1,745
9文学	27,355	1,723	3,932	10,139	5,209	4,960	3,346	56,664
E絵本	38,731	2,915	6,401	15,153	5,085	6,324	6,486	81,095
P紙芝居	965	150	247	446	159	256	321	2,544
児童郷土	1,478	0	7	282	84	11	0	1,862
児童参考	755	0	18	199	71	48	87	1,178
児童研究	2,870	0	0	706	131	133	0	3,840
児童計	100,122	6,231	14,545	36,393	15,445	15,970	14,317	203,023

図書計	721,799	15,198	42,073	149,202	59,961	44,566	87,184	1,119,983
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	39,133	0	1,409	6,638	1,634	1,777	1,285	51,876
ビデオ	3,948	0	0	49	0	0	0	3,997
DVD	1,826	0	0	305	0	0	978	3,109
CD	15,694	0	0	7,587	0	0	0	23,281
その他付録等	3,917	0	50	513	14	24	141	4,659
図書以外計	64,518	0	1,459	15,092	1,648	1,801	2,404	86,922

総計	786,317	15,198	43,532	164,294	61,609	46,367	89,588	1,206,905
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(1-2) 分野別蔵書冊数内訳（平成28年度）

（単位：冊）

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	16,647	0	364	2,265	329	442	296	20,343
千葉県	21,532	0	149	1,463	268	213	91	23,716
市民文庫	5,657	0	0	0	0	0	0	5,657
特別コレクション	5,559	0	0	0	0	0	0	5,559
合計	49,395	0	513	3,728	597	655	387	55,275

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	6,356	0	0	708	0	0	0	7,064
中国語	3,716	0	0	10	0	0	0	3,726
韓国語	1,620	0	0	20	0	0	0	1,640
ドイツ語	117	0	0	0	0	0	0	117
フランス語	345	0	0	1	0	0	0	346
スペイン語	312	0	0	1	0	0	0	313
ポルトガル語	126	0	0	1	0	0	0	127
イタリア語	220	0	0	0	0	0	0	220
西洋の諸言語	49	0	0	0	0	0	0	49
東洋の諸言語	463	0	0	0	0	0	0	463
合計	13,324	0	0	741	0	0	0	14,065

障害者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	3,017	0	0	0	0	0	0	3,017
音訳図書	2,699	0	0	0	0	0	0	2,699
DAISY図書	476	0	0	0	0	0	0	476
大活字本	2,825	240	0	586	0	0	0	3,651
CDブック	1,055	0	0	0	0	0	0	1,055
文芸カセット	339	0	0	0	0	0	0	339
布の絵本	128	0	0	0	0	0	0	128
その他	42	0	0	0	0	0	0	42
合計	10,581	240	0	586	0	0	0	11,407

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	20,203	0	0	1,771	1,131	1,619	0	24,724
B文庫	49,718	0	4,136	19,554	9,992	4,081	14,153	101,634
V新書	13,273	0	163	1,516	0	0	11,974	26,926
M外国文学	17,131	0	0	0	0	0	0	17,131
N環境	4,565	0	0	0	0	0	0	4,565
Jビジネス	31,513	0	0	0	0	0	12,204	43,717
X日本文学	49,928	0	0	0	0	0	0	49,928
W平和	8,938	0	0	0	0	0	0	8,938
H暮らし	26,663	0	0	0	0	0	※ 8,919	35,582
D趣味	18,239	0	0	0	0	0	0	18,239
Sスポーツ	5,181	0	0	0	0	0	0	5,181
G旅行	10,827	0	0	0	0	0	0	10,827
合計	256,179	0	4,299	22,841	11,123	5,700	47,250	347,392

※市川駅南口のHは「健康医療」

(1-3) 蔵書冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成23年度	575,311	12,776	26,504	112,584	47,249	28,208	56,399	859,031
平成24年度	579,323	8,494	26,843	107,088	48,163	28,752	61,709	860,372
平成25年度	584,972	9,231	27,144	109,418	48,586	29,334	66,363	875,048
平成26年度	598,006	9,920	27,463	109,920	47,685	27,579	69,097	889,670
平成27年度	609,978	10,469	27,521	107,595	47,273	27,230	71,575	901,641
平成28年度	621,677	8,967	27,528	112,809	44,516	28,596	72,867	916,960

b) 児童書の推移

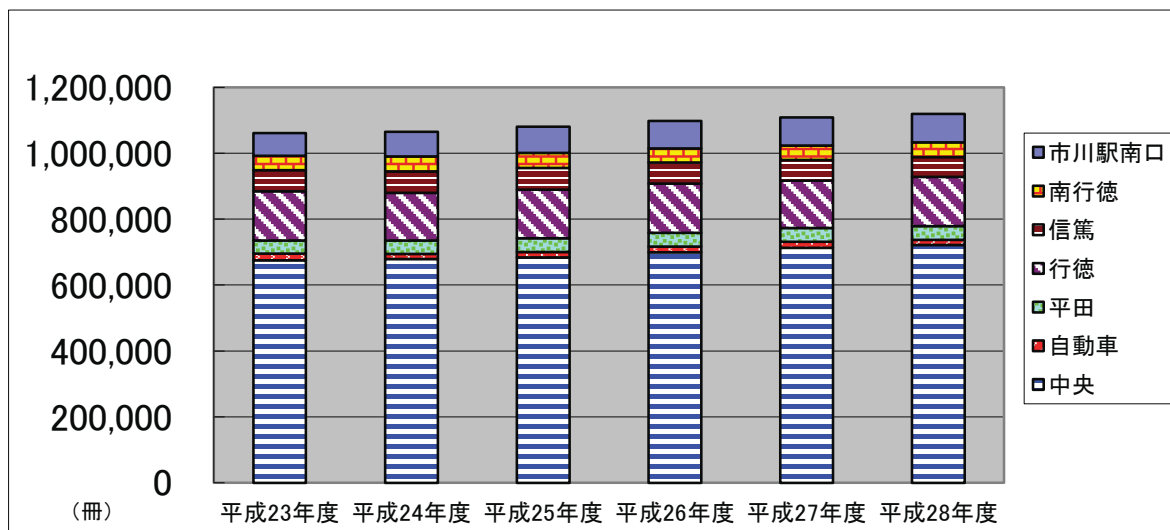
(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成23年度	99,957	7,250	13,915	36,237	16,836	16,065	12,449	202,709
平成24年度	99,794	7,069	14,019	37,393	17,184	15,990	13,041	204,490
平成25年度	99,621	7,046	14,375	38,115	16,826	16,221	13,615	205,819
平成26年度	101,774	7,338	14,534	38,832	16,383	15,682	13,865	208,408
平成27年度	103,348	7,497	14,568	35,704	16,045	15,837	14,093	207,092
平成28年度	100,122	6,231	14,545	36,393	15,445	15,970	14,317	203,023

c) 全体(図書)の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成23年度	675,268	20,026	40,419	148,821	64,085	44,273	68,848	1,061,740
平成24年度	679,117	15,563	40,862	144,481	65,347	44,742	74,750	1,064,862
平成25年度	684,593	16,277	41,519	147,533	65,412	45,555	79,978	1,080,867
平成26年度	699,780	17,258	41,997	148,752	64,068	43,261	82,962	1,098,078
平成27年度	713,326	17,966	42,089	143,299	63,318	43,067	85,668	1,108,733
平成28年度	721,799	15,198	42,073	149,202	59,961	44,566	87,184	1,119,983



(2) 分類別貸出冊数 (平成28年度)

(単位: 冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,192	70	531	4,016	520	586	2,169	13,084
1哲学	27,939	295	1,614	14,151	1,866	1,996	8,593	56,454
2歴史	22,179	524	3,672	26,555	3,902	4,384	24,191	85,407
3社会科学	37,943	479	3,285	29,569	3,127	3,566	11,665	89,634
4自然科学	20,456	414	1,565	12,958	2,273	1,697	5,473	44,836
5技術	19,326	1,761	6,375	39,012	6,801	7,522	35,165	115,962
6産業	6,298	179	878	7,044	720	1,052	4,084	20,255
7芸術	23,393	279	1,855	13,329	3,338	1,955	11,902	56,051
8言語	14,130	67	578	4,990	1,036	574	4,107	25,482
9文学	26,337	4,902	12,165	68,288	14,115	13,347	46,241	185,395
郷土行政	4,053	2	99	746	177	176	808	6,061
参考資料	843	3	4	24	18	25	24	941
外国語資料	3,894	16	22	895	16	26	301	5,170
障害者資料	6,344	74	154	553	26	27	210	7,388
コーナー別資料	618,342	1,393	19,258	140,579	35,084	23,830	222,331	1,060,817
一般計	836,669	10,458	52,055	362,709	73,019	60,763	377,264	1,772,937

(単位: 冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	703	39	107	529	97	92	351	1,918
1哲学	1,358	29	112	536	58	72	484	2,649
2歴史	5,998	119	493	3,369	336	406	1,798	12,519
3社会科学	6,130	274	322	3,652	196	525	1,772	12,871
4自然科学	15,034	822	1,022	9,847	1,130	1,476	4,300	33,631
5技術	7,146	602	926	6,282	1,187	1,286	3,373	20,802
6産業	2,084	131	303	1,110	221	400	684	4,933
7芸術	11,112	838	1,066	6,743	1,443	1,354	4,685	27,241
8言語	1,396	48	171	1,070	111	196	607	3,599
9文学	68,014	3,108	7,776	46,264	6,679	6,518	20,675	159,034
E絵本	195,709	6,614	15,768	109,425	19,062	17,164	57,077	420,819
P紙芝居	6,296	391	734	3,251	218	517	2,267	13,674
児童郷土	792	0	1	109	10	8	7	927
児童参考	101	0	1	54	2	1	7	166
児童研究	1,142	2	14	311	59	18	106	1,652
児童計	323,015	13,017	28,816	192,552	30,809	30,033	98,193	716,435

図書計	1,159,684	23,475	80,871	555,261	103,828	90,796	475,457	2,489,372
-----	-----------	--------	--------	---------	---------	--------	---------	-----------

(単位: 点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	50,055	138	3,870	24,497	4,609	5,946	11,783	100,898
ビデオ	2,171	0	8	153	10	16	44	2,402
DVD	19,963	0	219	2,747	213	210	5,516	28,868
CD	58,261	0	656	20,246	1,025	857	3,952	84,997
その他付録等	23,838	39	360	5,916	525	288	29,891	60,857
図書以外計	154,288	177	5,113	53,559	6,382	7,317	51,186	278,022

総計	1,313,972	23,652	85,984	608,820	110,210	98,113	526,643	2,767,394
----	-----------	--------	--------	---------	---------	--------	---------	-----------

塩焼市民図書室	3,126	大野公民館図書室	35,507	男女共同参画センター	8,687	図書館以外	106,138
稲越市民図書室	2,207	西部公民館図書室	10,521	情報プラザ	29,446	市民図書室	
福栄市民図書室	4,976	曽谷公民館図書室	5,358	千葉商科大学図書館	1,089	公民館図書室	
大柏市民図書室	1,775	東部公民館図書室	3,324	宅配	122	その他	
市民図書室計	12,084	公民館図書室計	54,710	その他計	39,344	合計	

他施設含む総計 **2,873,532**

(2-2) 分野別貸出冊数内訳 (平成28年度)

(単位:冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	1,482	1	66	468	81	135	566	2,799
千葉県	785	0	23	147	71	21	129	1,176
市民文庫	846	1	7	95	22	17	80	1,068
特別コレクション	940	0	3	36	3	3	33	1,018
合計	4,053	2	99	746	177	176	808	6,061

(単位:冊)

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	2,706	15	16	807	13	18	267	3,842
中国語	919	1	2	13	2	2	28	967
韓国語	137	0	0	45	1	0	1	184
ドイツ語	16	0	0	1	0	0	1	18
フランス語	56	0	4	0	0	0	3	63
スペイン語	39	0	0	20	0	0	0	59
ポルトガル語	2	0	0	1	0	0	0	3
イタリア語	6	0	0	0	0	6	0	12
西洋の諸言語	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋の諸言語	13	0	0	8	0	0	1	22
合計	3,894	16	22	895	16	26	301	5,170

(単位:冊)

障害者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	166	0	1	1	0	0	4	172
音訳図書	24	0	0	0	0	0	0	24
DAISY図書	27	0	0	0	0	0	0	27
大活字本	3,439	74	23	347	21	19	81	4,004
CDブック	2,398	0	129	205	4	8	123	2,867
文芸カセット	217	0	1	0	0	0	2	220
布の絵本等	73	0	0	0	1	0	0	74
合計	6,344	74	154	553	26	27	210	7,388

※上記貸出は郵送のうち、電算による貸出手続きをしたものも含む。

※大活字図書・CDブック・文芸カセットの貸出は、健常者への貸出を含む。

(単位:冊)

郵送貸出	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書郵送	206	0	0	0	0	0	0	206
音訳図書郵送	39	0	0	0	0	0	0	39
DAISY図書郵送	89	0	0	0	0	0	0	89
CDブック郵送	184	0	0	0	0	0	0	184
合計	518	0	0	0	0	0	0	518

※郵送は相互協力による借用資料を含む。

(単位:冊)

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	36,587	51	533	4,804	831	1,599	2,952	47,357
B文庫	177,187	573	13,348	107,261	28,547	16,220	120,977	464,113
V新書	12,251	28	809	5,363	439	483	24,640	44,013
M外国文学	9,139	31	120	661	124	184	1,086	11,345
N環境	1,344	0	5	53	15	17	83	1,517
Jビジネス	43,577	69	1,113	5,282	1,052	1,311	30,949	83,353
X日本文学	121,593	206	1,200	6,484	1,484	1,585	7,023	139,575
W平和	3,043	3	24	185	41	56	199	3,551
H暮らし	108,603	267	1,224	6,379	1,488	1,509	28,376	147,846
D趣味	38,963	92	355	1,710	421	403	2,249	44,193
Sスポーツ	13,540	12	111	570	173	69	751	15,226
G旅行	52,515	61	416	1,827	469	394	3,046	58,728
合計	618,342	1,393	19,258	140,579	35,084	23,830	222,331	1,060,817

(2-3) 貸出点数の推移 (平成28年度)

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成23年度	1,077,994	12,778	58,177	411,149	85,495	81,496	400,585	2,127,674
平成24年度	1,006,087	13,652	57,919	392,445	79,288	71,860	409,068	2,030,319
平成25年度	944,774	12,276	54,179	383,142	76,582	66,684	398,745	1,936,382
平成26年度	919,675	12,207	53,973	382,740	77,251	63,643	399,362	1,908,851
平成27年度	896,060	11,275	52,164	388,747	75,297	62,982	396,763	1,883,288
平成28年度	836,669	10,458	52,055	362,709	73,019	60,763	377,264	1,772,937

b) 児童書の推移

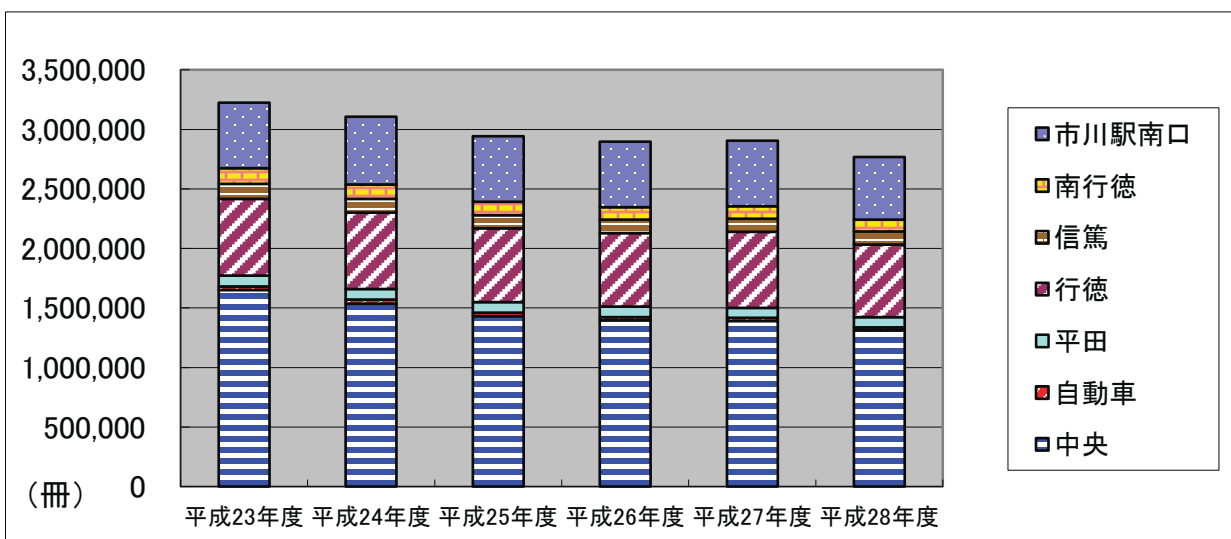
(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成23年度	330,760	16,263	25,936	167,976	33,850	39,026	98,533	712,344
平成24年度	308,505	19,622	25,672	186,205	32,316	38,366	105,116	715,802
平成25年度	296,879	16,764	26,132	179,971	28,278	36,975	96,798	681,797
平成26年度	294,853	13,985	28,383	176,847	28,404	34,765	98,229	675,466
平成27年度	323,980	13,437	27,053	190,204	30,011	33,754	100,553	718,992
平成28年度	323,015	13,017	28,816	192,552	30,809	30,033	98,193	716,435

c) 一般、児童書、視聴覚、雑誌等合計の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成23年度	1,651,839	29,395	91,330	644,132	126,612	130,685	549,940	3,223,933
平成24年度	1,535,588	33,747	90,536	639,863	117,613	119,334	568,646	3,105,327
平成25年度	1,432,031	29,291	86,983	621,029	111,152	111,906	548,863	2,941,255
平成26年度	1,395,619	26,386	88,626	618,130	112,051	105,765	550,598	2,897,175
平成27年度	1,391,724	24,912	84,726	637,415	111,411	103,736	552,165	2,906,089
平成28年度	1,313,972	23,652	85,984	608,820	110,210	98,113	526,643	2,767,394



(3) 蔵書回転率＝貸出冊数÷蔵書冊数（平成28年度）

(単位：回)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	0.46	0.96	1.40	1.84	1.13	1.51	6.21	0.87
1哲学	1.26	1.35	2.18	4.38	1.51	2.70	11.93	1.94
2歴史	0.74	1.86	2.23	3.15	1.80	2.26	7.98	1.80
3社会科学	0.69	1.13	1.33	2.05	1.02	1.43	6.72	1.12
4自然科学	0.80	1.16	1.10	2.03	1.19	1.18	5.00	1.18
5技術	1.00	1.12	2.01	4.88	1.91	2.59	6.00	2.61
6産業	0.71	0.97	1.20	2.77	1.03	1.68	4.46	1.39
7芸術	0.69	0.71	0.86	1.50	1.27	1.16	4.21	1.06
8言語	1.45	1.34	1.33	2.76	2.27	1.51	7.54	1.90
9文学	0.52	0.95	1.29	2.53	0.87	1.42	5.97	1.48
郷土行政	0.08	---	0.19	0.20	0.30	0.27	2.09	0.11
参考資料	0.03	---	0.03	0.01	0.05	0.10	0.06	0.03
外国語資料	0.29	---	---	1.21	---	---	---	0.37
障害者資料	0.60	0.31	---	0.94	---	---	---	0.65
ポピュラー	2.41	---	4.48	6.15	3.15	4.18	4.71	3.05
一般計	1.35	1.17	1.89	3.22	1.64	2.12	5.18	1.93

中央	Aヤング	B文庫	V新書	M外国文学	N環境	Jビジネス
ポピュラー	1.81	3.56	0.92	0.53	0.29	1.38
総数	X日本文学	W平和	H暮らし	D趣味	Sスポーツ	G旅行
2.41	2.44	0.34	4.07	2.14	2.61	4.85

市川駅南口	Jビジネス	H健康・医療	B文庫	V新書
コーナー別資料	2.54	3.18	8.55	2.06

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1.64	1.30	1.15	1.81	0.45	1.28	3.66	1.56
1哲学	2.72	1.38	1.23	2.45	0.64	1.13	7.22	2.52
2歴史	1.35	1.28	0.98	2.05	0.50	0.68	3.96	1.49
3社会科学	1.48	3.08	0.68	2.55	0.38	0.94	3.73	1.68
4自然科学	1.69	1.50	0.78	3.73	0.71	1.06	3.48	1.91
5技術	2.32	2.61	2.07	5.62	2.37	2.70	5.76	3.23
6産業	1.27	2.02	1.16	2.21	0.98	1.40	3.11	1.54
7芸術	2.78	2.43	1.75	5.05	1.91	2.13	5.80	3.21
8言語	1.64	2.29	1.14	3.72	0.82	1.20	4.43	2.06
9文学	2.49	1.80	1.98	4.56	1.28	1.31	6.18	2.81
E絵本	5.05	2.27	2.46	7.22	3.75	2.71	8.80	5.19
P紙芝居	6.52	2.61	2.97	7.29	1.37	2.02	7.06	5.38
児童郷土	0.54	---	0.14	0.39	0.12	0.73	---	0.50
児童参考	0.13	---	0.06	0.27	0.03	0.02	0.08	0.14
児童研究	0.40	---	---	0.44	0.45	0.14	---	0.43
児童計	3.23	2.09	1.98	5.29	1.99	1.88	6.86	3.53

図書計	1.61	1.54	1.92	3.72	1.73	2.04	5.45	2.22
-----	------	------	------	------	------	------	------	------

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	1.28	---	2.75	3.69	2.82	3.35	9.17	1.94
ビデオ	0.55	---	---	3.12	---	---	---	0.60
DVD	10.93	---	---	9.01	---	---	5.64	9.29
CD	3.71	---	---	2.67	---	---	---	3.65

総計	1.67	1.56	1.98	3.71	1.79	2.12	5.88	2.29
----	------	------	------	------	------	------	------	------

市民図書室・公民館図書室・情報プラザ等への市立図書館所蔵資料の貸出数含む総計⇒⇒

2.38

(4) リクエスト統計

平成28年度リクエスト受付施設別件数
(図書・雑誌 Web上での受付を含む)

受付館	提供件数	構成比	前年比
中央	121,269	24.90%	95.8%
自動車	2,608	0.54%	85.8%
平田	16,776	3.44%	101.7%
行徳	106,182	21.80%	97.7%
信篤	21,123	4.34%	100.7%
南行徳	23,542	4.83%	100.9%
市川駅南口	117,196	24.06%	102.6%
図書館合計	408,696	83.92%	98.9%
ウィズ	5,086	1.04%	97.6%
情報プラザ	27,934	5.74%	99.7%
塩焼市民	2,812	0.58%	81.7%
稲越市民	957	0.20%	99.8%
福栄市民	3,759	0.77%	94.8%
大柏市民	1,677	0.34%	90.1%
大野公民	18,029	3.70%	101.7%
西部公民	9,029	1.85%	88.7%
曾谷公民	5,205	1.07%	105.4%
東部公民	2,639	0.54%	91.6%
千葉商大	1,149	0.24%	117.4%
宅配	35	0.01%	94.6%
関連施設合計	78,311	16.08%	97.6%
総 計	487,007	100%	98.7%

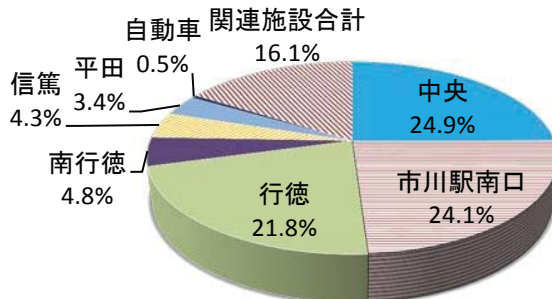
リクエスト処理別件数 (図書・雑誌)

	市内 所蔵	購入	市外 借用	提供 不能	合計
23年度	450,300	10,020	5,886	522	466,728
24年度	480,337	10,278	6,196	509	497,320
25年度	469,375	9,224	5,723	598	484,920
26年度	472,359	9,049	5,392	560	487,360
27年度	478,388	9,003	5,528	510	493,429
28年度	471,289	8,621	6,545	552	487,007

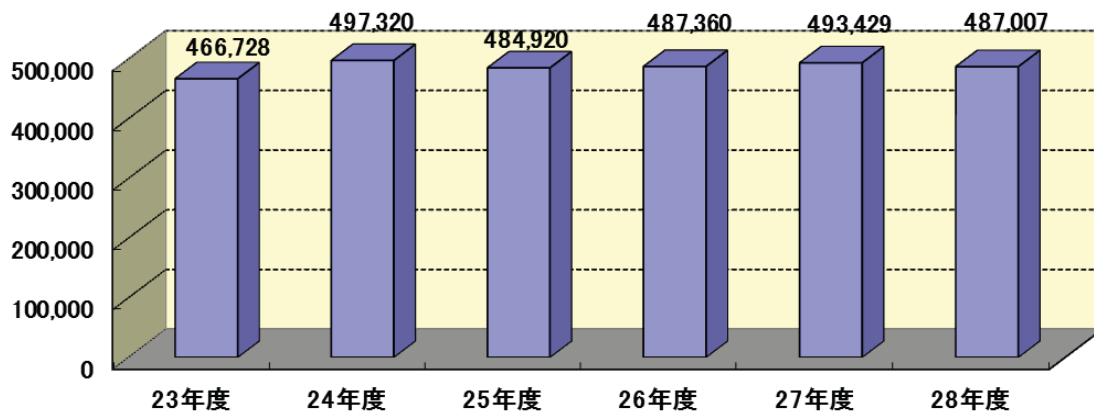
リクエスト資料別件数 (視聴覚資料)

	C D	ビデオ	D V D	合計
23年度	20,369	1,169	3,949	25,487
24年度	21,722	699	4,942	27,363
25年度	19,470	425	3,871	23,766
26年度	18,551	240	4,498	23,289
27年度	17,820	190	4,078	22,088
28年度	15,102	137	3,951	19,190

リクエスト受付施設別件数構成比



リクエスト件数の推移(図書・雑誌)



(5) 登録者集計表

(単位：人)

新規登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	全館
平成25年度	10,800	161	173	3,220	370	520	2,812	14	—	18,070
平成26年度	9,216	125	145	2,939	384	456	2,722	11	—	15,998
平成27年度	5,801	116	118	2,542	338	410	2,248	8	—	11,581
平成28年度	4,695	109	125	2,559	347	355	2,264	9	228	10,691
(計)	30,512	511	561	11,260	1,439	1,741	10,046	42	228	56,340
有効登録者数	62,934	564	1,663	22,115	3,240	3,611	22,414	77	592	117,210
内12歳以下	5,692	296	234	2,388	408	588	1,287	9	85	10,987
実利用者数	36,995	387	1,320	14,292	2,271	2,348	15,408	61	547	73,629
累積登録者数										573,506
更新者数										20,630

※新規登録者数：一年間に新しい利用券番号の付与を受けた登録者数。

※有効登録者数：有効期限内の登録者数。(有効期限は3年)

※実利用者数：一年間に資料の貸出をした利用者数。

※累積登録者数：電算導入の昭和60年度より登録者の累積件数。二重登録なども含む。(長期未利用者のデータは平成19年度削除)

※更新者数：平成28年度に更新した登録者数

※数値には団体登録等も含む

パスワード申請数 (単位：人)

平成13年度～	55,022
平成22年度	6,057
平成23年度	5,791
平成24年度	5,138
平成25年度	5,113
平成26年度	5,466
平成27年度	5,953
平成28年度	88,540

※平成13年度11月より受付(累計)

有効期限内隣接地域登録者

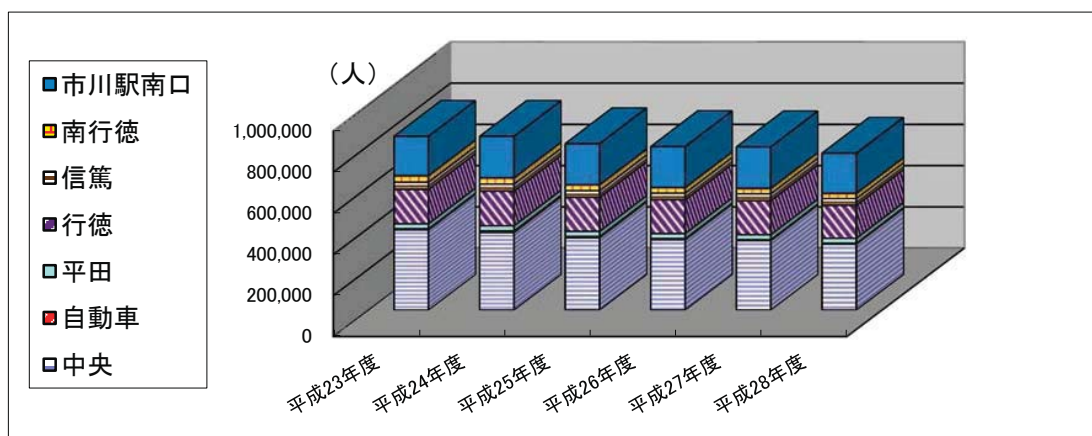
(単位：人)

	隣接	在勤	在学	障害	計
船橋市	6,134	486	231	8	6,859
松戸市	1,008	157	92	4	1,261
鎌ヶ谷市	171	50	20	2	243
浦安市	136	29	15	0	180
江戸川区	230	1	0	0	231
計	7,679	723	358	14	8,774

(6) 延べ利用者数の推移

(単位：人)

年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成23年度	390,507	5,459	24,409	166,914	34,609	31,853	190,177	843,928
平成24年度	378,081	7,434	25,040	168,605	33,299	30,566	200,824	843,849
平成25年度	352,590	6,565	24,326	164,681	32,705	28,984	198,485	808,336
平成26年度	342,579	5,898	24,390	163,570	32,779	27,363	197,889	794,468
平成27年度	338,107	5,421	23,666	165,257	33,164	26,957	200,357	792,929
平成28年度	321,266	5,074	23,931	159,743	32,850	25,720	193,545	762,129



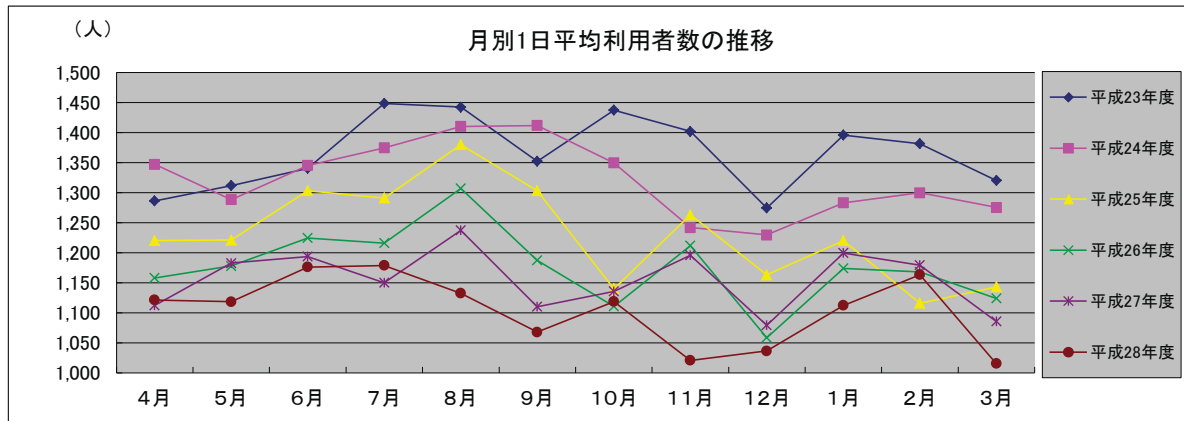
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移

※地域館では年間の開館日数が違うため、中央図書館のみの統計とした。

開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	蔵書点検
平成23年度	25	25	25	26	26	25	26	13	23	22	24	26	286	休館月
平成24年度	25	25	25	25	27	25	15	25	23	22	23	26	286	11月
平成25年度	24	26	25	25	27	24	26	21	18	22	23	25	286	10月
平成26年度	25	26	21	26	27	24	26	23	23	22	23	25	291	11月
平成27年度	25	26	21	26	26	25	26	22	24	23	23	26	293	6月
平成28年度	25	25	22	26	26	25	25	25	23	22	21	26	291	6月

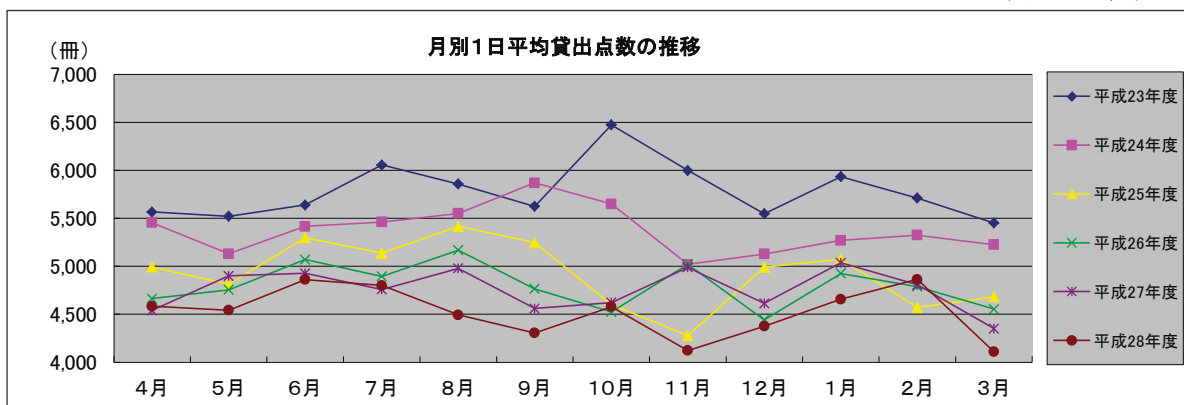
利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成23年度	32,149	32,788	33,513	37,660	37,500	33,806	37,364	18,224	29,317	30,706	33,157	34,323	390,507	
平成24年度	1,286	1,312	1,341	1,448	1,442	1,352	1,437	1,402	1,275	1,396	1,382	1,320	1,365	98.5%
平成25年度	33,677	32,209	33,627	34,363	38,076	35,290	20,245	31,045	28,279	28,221	29,893	33,156	378,081	
平成26年度	1,347	1,288	1,345	1,375	1,410	1,412	1,350	1,242	1,230	1,283	1,300	1,275	1,322	96.8%
平成27年度	29,287	31,746	32,578	32,267	37,250	31,269	29,628	26,533	20,939	26,849	25,658	28,586	352,590	
平成28年度	1,220	1,221	1,303	1,291	1,380	1,303	1,140	1,263	1,163	1,220	1,116	1,143	1,212	93.3%
平成29年度	28,949	30,625	25,711	31,619	35,290	28,495	28,877	27,873	24,347	25,826	26,870	28,097	342,579	
平成30年度	1,158	1,178	1,224	1,216	1,307	1,187	1,111	1,212	1,059	1,174	1,168	1,124	1,177	97.2%
平成31年度	27,809	30,750	25,062	29,897	32,170	27,748	29,529	26,307	25,897	27,587	27,126	28,225	338,107	
平成32年度	1,112	1,183	1,193	1,150	1,237	1,110	1,136	1,196	1,079	1,199	1,179	1,086	1,154	98.7%
平成33年度	28,027	27,959	25,876	30,649	29,441	26,694	27,969	25,514	23,838	24,469	24,427	26,403	321,266	
平成34年度	1,121	1,118	1,176	1,179	1,132	1,068	1,119	1,021	1,036	1,112	1,163	1,016	1,104	95.7%

※下段は一日平均



貸出点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成23年度	139,160	138,034	140,986	157,440	152,274	140,637	168,349	77,996	127,623	130,544	137,064	141,732	1,651,839	
平成24年度	5,566	5,521	5,639	6,055	5,857	5,625	6,475	6,000	5,549	5,934	5,711	5,451	5,776	97.6%
平成25年度	136,386	128,240	135,398	136,516	149,864	146,746	84,736	125,490	117,952	115,950	122,484	135,826	1,535,588	
平成26年度	5,455	5,130	5,416	5,461	5,551	5,870	5,649	5,020	5,128	5,270	5,325	5,224	5,369	93.0%
平成27年度	119,777	125,219	132,474	128,436	146,224	125,891	119,620	110,817	89,816	111,623	105,111	117,023	1,432,031	
平成28年度	4,991	4,816	5,299	5,137	5,416	5,246	4,601	4,277	4,990	5,074	4,570	4,681	4,921	93.3%
平成29年度	116,592	123,659	106,468	127,292	139,561	114,386	117,668	115,496	102,147	108,374	110,138	113,852	1,395,633	
平成30年度	4,664	4,756	5,070	4,896	5,169	4,766	4,526	5,022	4,441	4,926	4,789	4,554	4,796	97.5%
平成31年度	113,510	127,413	103,456	123,745	129,458	114,015	120,151	109,763	110,726	115,836	110,551	113,100	1,391,724	
平成32年度	4,540	4,901	4,926	4,759	4,979	4,561	4,421	4,989	4,614	5,036	4,807	4,350	4,750	99.7%
平成33年度	114,594	113,561	106,974	124,802	116,832	107,626	114,446	103,047	100,657	102,446	102,128	106,859	1,313,972	
平成34年度	4,584	4,542	4,862	4,800	4,494	4,305	4,578	4,122	4,376	4,657	4,863	4,110	4,515	95.1%

※下段は一日平均



(8) 受入・除籍冊数(平成28年度)

一般書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	203	14	8	10	219	2	0	7	0	-5	7	5	25	-2	-15	119	5	6	0	118
1哲学	622	34	77	16	595	7	9	5	0	11	42	8	36	-8	6	178	14	40	-9	143
2歴史	590	38	197	32	463	23	3	99	-1	-74	126	12	121	-10	7	572	21	159	-7	427
3社会科学	1,353	51	523	95	976	18	2	12	0	8	139	16	130	-14	11	761	15	113	-13	650
4自然科学	607	12	49	10	580	28	0	10	-1	17	118	2	117	-13	-10	357	11	25	-1	342
5技術	470	16	137	52	401	117	1	43	-1	74	213	12	175	-11	39	492	10	53	13	462
6産業	294	6	113	-3	184	10	0	12	0	-2	22	2	57	-1	-34	219	4	9	0	214
7芸術	653	88	53	109	797	15	0	32	-4	-21	82	0	78	-23	-19	257	11	27	-1	240
8言語	266	12	75	34	237	3	0	2	-1	0	11	1	5	-3	4	66	1	24	-3	40
9文学	330	21	648	185	-112	298	95	347	-1,548	-1,502	489	10	489	-5	5	1,164	55	335	-12	872
郷土行政	255	922	33	265	1,409	0	0	0	0	0	3	21	7	-34	-17	11	120	36	-33	62
参考資料	475	25	53	3	450	0	0	0	0	0	5	0	0	-3	2	81	0	7	-8	66
外国語資料	199	82	59	-1	221	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	14	14	2	21
障害者資料	146	120	16	2	252	0	0	8	0	-8	0	0	0	0	0	18	2	2	2	20
ポピュラー	11,229	685	6,975	88	5,027	0	0	0	0	0	259	86	305	-13	27	1,557	566	784	198	1,537
一般計	17,692	2,126	9,016	897	11,699	521	110	577	-1,556	-1,502	1,516	175	1,545	-140	6	5,871	849	1,634	128	5,214

中央 ポピュラー内訳					Aヤング					B文庫					V新書				
					670	53	462	13	274	3,151	359	1,610	207	2,107	353	3	187	-41	128
X日本文学					W平和					H暮らし					D趣味				
2,151	157	1,425	-103	780	99	5	16	9	97	1,462	34	1,793	0	-297	722	16	149	-1	588

児童書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	22	3	35	2	-8	1	0	3	-12	-14	1	1	14	1	-11	10	0	10	-3	-3
1哲学	26	2	37	0	-9	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	13	0	4	-3	6
2歴史	133	1	153	-1	-20	3	1	7	-1	-4	8	0	2	0	6	38	5	21	16	38
3社会科学	115	12	92	5	40	6	0	2	-8	-4	7	0	6	-1	0	65	1	11	-8	47
4自然科学	238	33	174	-51	46	71	1	21	-99	-48	15	8	24	-5	-6	115	23	53	6	91
5技術	118	9	66	-3	58	15	0	16	-31	-32	7	8	14	0	1	88	13	51	3	53
6産業	46	6	26	-4	22	3	1	2	-6	-4	6	3	2	1	8	23	5	3	-3	22
7芸術	120	15	97	2	40	28	1	25	-39	-35	17	0	10	4	11	78	2	44	7	43
8言語	27	4	19	-10	2	0	0	0	-2	-2	5	1	1	1	6	15	1	7	1	10
9文学	737	98	1,438	-386	-989	49	11	196	-372	-508	137	19	202	1	-45	236	18	117	-145	-8
E絵本	1,802	157	2,957	-1,577	-2,575	50	8	236	-439	-617	243	24	261	-1	5	987	53	655	30	415
F紙芝居	61	0	106	1	-44	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	29	1	9	0	21
児童郷土	6	52	0	24	82	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	16	5	0	11
児童参考	20	0	2	-10	8	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	9	0	73	-18	-82
児童研究	25	125	49	20	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	1	13	25
児童計	3,496	517	5,251	-1,988	-3,226	227	23	508	-1,008	-1,266	448	68	539	1	-22	1,719	138	1,064	-104	689

図書計	21,188	2,643	14,267	-1,091	8,473	748	133	1,085	-2,564	-2,768	1,964	243	2,084	-139	-16	7,590	987	2,698	24	5,903
-----	--------	-------	--------	--------	-------	-----	-----	-------	--------	--------	-------	-----	-------	------	-----	-------	-----	-------	----	-------

図書以外	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	4,582	372	4,616	177	515	0	0	0	0	0	535	0	507	-9	19	1,720	19	328	45	1,456
ビデオ	0	0	415	1	-414	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD	64	12	42	29	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	8	1	97	218
CD	76	1	2,750	163	-2,510	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	7	24	2	85
その他付録等	115	24	41	-6	92	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	31	27	18	0	40
図書以外計	4,837	409	7,864	364	-2,254	0	0	0	0	0	535	7	507	-9	26	1,965	61	371	144	1,799

総計	26,025	3,052	22,131	-727	6,219	748	133	1,085	-2,564	-2,768	2,499	250	2,591	-148	10	9,555	1,048	3,069	168	7,702
----	--------	-------	--------	------	-------	-----	-----	-------	--------	--------	-------	-----	-------	------	----	-------	-------	-------	-----	-------

一般書	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	12	2	160	1	-145	10	0	0	0	10	21	1	5	-9	8	374	27	211	0	190
1哲学	31	21	134	-3	-85	28	3	6	-2	23	37	3	19	-36	-15	945	92	317	-42	678
2歴史	103	11	433	-6	-325	116	11	8	-5	114	228	8	177	-33	26	1,758	104	1,194	-30	638
3社会科学	91	33	307	-1	-184	154	14	35	1	134	110	0	41	-32	37	2,626	131	1,161	36	1,632
4自然科学	97	17	94	-1	19	92	3	8	1	88	66	0	10	-36	20	1,365	45	313	-41	1,056
5技術	124	12	221	-6	-91	232	5	14	1	224	272	2	263	-180	-169	1,920	58	906	-132	940
6産業	23	6	81	-1	-53	39	1	17	2	25	40	0	24	-17	-1	647	19	313	-20	333
7芸術	82	10	600	-29	-537	83	3	13	0	73	85	2	77	-89	-79	1,257	114	880	-37	454
8言語	12	3	76	-1	-62	22	0	1	0	21	34	0	12	-47	-25	414	17	195	-21	215
9文学	516	63	1,189	-25	-635	478	19	59	-5	433	490	8	155	-118	225	3,765	271	3,222	-1,528	-714
郷土行政	4	30	150	-130	-246	4	24	7	-9	12	8	27	2	-5	28	285	1,144	235	54	1,248
参考資料	10	0	201	-5	-196	11	0	0	0	11	11	1	3	-1	8	593	26	264	-14	341
外国語資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	218	96	73	1	242
障害者資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164	122	26	4	264
ポピュラー	430	333	980	0	-217	136	95	38	5	198	3,082	13	1,564	-302	1,229	16,693	1,778	10,646	-24	7,801
一般計	1,535	541	4,626	-207	-2,757	1,405	178	206	-11	1,366	4,484	65	2,352	-905	1,292	33,024	4,044	19,956	-1,794	15,318

M外国文学					N環境					Iビジネス				
313	12	81	-1	243	44	0	9	3	38	1,236	28	321	-1	942
Sスポーツ					G旅行					W1ウ行政				
258	4	106	3	159	770	14	816	0	-32	0	0	0	0	0

児童書	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	2	3	12	0	-7	1	0	1	0	0	1	0	1	1	1	38	7	76	-11	-42
1哲学	0	0	7	0	-7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	41	5	49	-3	-6
2歴史	9	1	22	-6	-18	7	1	8	0	0	9	0	0	0	9	207	9	213	8	11
3社会科学	7	2	9	0	0	10	1	3	0	8	14	0	2	1	13	224	16	125	-11	104
4自然科学	23	6	140	-6	-117	22	4	16	0	10	77	0	2	0	75	561	75	430	-155	51
5技術	19	5	60	-2	-38	15	8	4	0	19	24	0	8	0	16	286	43	219	-33	77
6産業	6	4	26	0	-16	5	7	0	0	12	10	0	0	0	10	99	26	59	-12	54
7芸術	19	0	24	-6	-11	17	0	4	-1	12	32	0	6	0	26	311	18	210	-33	86
8言語	4	0	7	0	-3	2	0	1	0	1	1	0	0	0	1	54	6	35	-10	15
9文学	76	11	333	-117	-363	94	9	56	0	47	112	4	61	-1	54	1,441	170	2,403	-1,020	-1,812
E絵本	255	24	248	-2	29	207	10	193	-2	22	180	4	193	0	-9	3,724	280	4,743	-1,991	-2,730
F紙芝居	21	0	7	0	14	0	0	1	0	-1	25	0	0	0	25	137	1	123	2	17
児童郷土	0	1	12	-13	-24	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	6	71	18	11	70
児童参考	1	0	14	-1	-14	2	0	0	0	2	4	0	0	-2	2	37	0	90	-31	-84
児童研究	1	0	13	-13	-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	125	63	20	121
児童計	443	57	934	-166	-600	382	41	287	-3	133	490	8	273	-1	224	7,205	852	8,856	-3,269	-4,068

図書計	1,978	598	5,560	-373	-3,357	1,787	219	493	-14	1,499	4,974	73	2,625	-906	1,516	40,229	4,896	28,812	-5,063	11,250
-----	-------	-----	-------	------	--------	-------	-----	-----	-----	-------	-------	----	-------	------	-------	--------	-------	--------	--------	--------

図書以外	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	566	0	727	5	-156	622	2	525	-3	96	689	0	580	-166	-57	8,714	393	7,283	49	1,873
ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	415	1	-414
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	5	1	-126	-35	265	25	44	0	246
CD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	176	8	2,774	165	-2,425
その他付録等	0	1	1	0	0	1	1	0	1	3	3	7	4	0	6	150	67	64	-5	148
図書以外計	566	1	728	5	-156	623	3	525	-2	99	779	12	585	-292	-86	9,305	493	10,580	210	-572

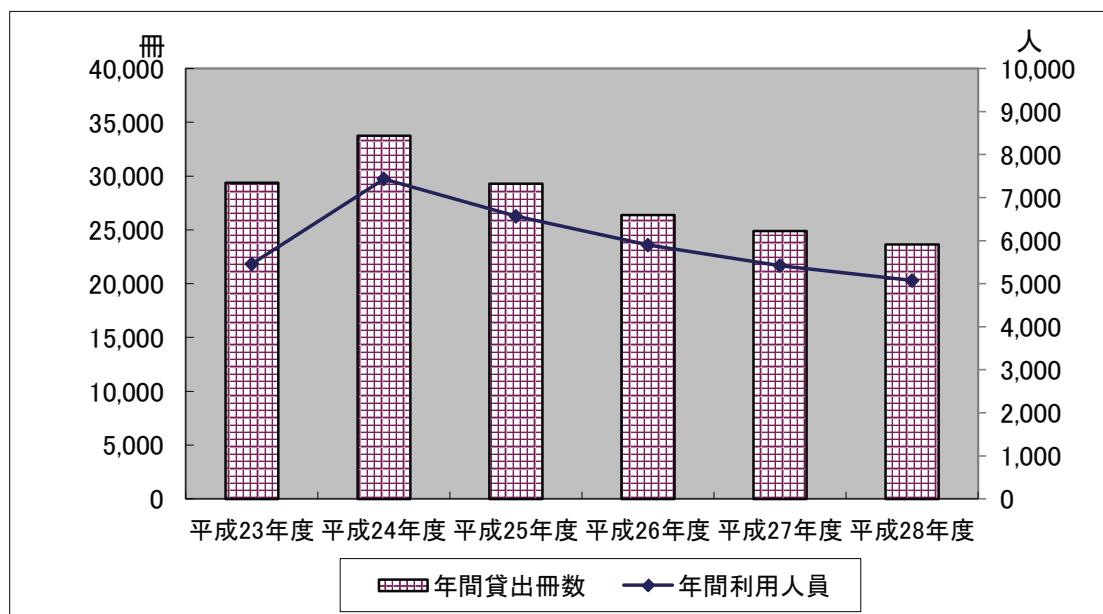
総計	2,544	599	6,288	-368	-3,513	2,410	222	1,018	-16	1,598	5,753	85	3,210	-1,198	1,430	49,534	5,389	39,392	-4,853	10,678
----	-------	-----	-------	------	--------	-------	-----	-------	-----	-------	-------	----	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------

(9) 自動車図書館ステーション別統計 (平成28年度)

	ステーション名	巡回数	貸出冊数			利用人員		
				一日平均	前年度比(%)		一日平均	前年度比(%)
1	市営大町第1団地	21	785	37.4	79.1	176	8.4	82.2
2	市営大町第2団地	21	926	44.1	121.4	207	9.9	112.5
3	養護老人ホームいこい荘	19	512	26.9	83.9	151	7.9	95.0
4	柏井小学校	21	1,937	92.2	110.3	699	33.3	102.2
5	大野小学校	20	760	38.0	104.1	202	10.1	102.0
6	宮久保小学校	20	1,653	82.7	117.0	220	11.0	94.8
7	若宮児童公園	21	568	27.0	108.0	137	6.5	106.2
8	北国分2丁目公園	19	1,460	76.8	90.5	276	14.5	87.6
9	堀之内公園	43	5,331	124.0	87.1	1,118	26.0	85.9
10	歴史博物館	20	746	37.3	64.1	123	6.2	82.0
11	国府台児童公園	20	840	42.0	92.6	187	9.4	105.1
12	山王公園	19	675	35.5	84.7	112	5.9	77.8
13	石橋下公園	19	1,582	83.3	126.4	309	16.3	137.3
14	菅野小学校	24	1,029	42.9	88.7	187	7.8	77.6
15	㈱クボタ菅野ハイツ	23	1,628	70.8	96.8	273	11.9	89.2
16	塩浜体育館	38	2,049	53.9	91.7	420	11.1	88.2
17	島尻西公園	22	924	42.0	100.5	180	8.2	96.3
	ステーション外利用※	-	247	-	96.1	97	-	102.1
	合 計	390	23,652	60.6	94.9	5,074	13.0	93.6

※ 鬼高さんしゃ祭「自動車図書館参上!」での利用等

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
年間巡回日数	150	156	155	155	155	149
年間巡回ステーション数	366	429	420	426	409	390
年間貸出冊数	29,395	33,747	29,291	26,386	24,912	23,652
一日平均	196.0	216.3	189.0	170.2	160.7	158.7
一ステーション平均	80.3	78.7	69.7	61.9	60.9	60.6
年間利用人員	5,459	7,434	6,565	5,898	5,421	5,074
一日平均	36.4	47.7	42.4	38.1	35.0	34.1
一ステーション平均	14.9	17.3	15.6	13.8	13.3	13.0



(10) 市川市の図書館サービス指標

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人口1人当たりの貸出点数(点)	貸出点数	<u>3,308,891</u>	<u>3,190,633</u>	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>
	人口	469,603	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991
		7.05	6.81	6.43	6.29	6.20	5.89
登録率(単位:%)	登録者数	<u>159,635</u>	<u>150,463</u>	<u>136,569</u>	<u>130,171</u>	<u>124,353</u>	<u>117,210</u>
	人口	469,603	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991
		34.0	32.1	32.1	27.4	25.7	24.0
実質貸出密度(点)	貸出点数	<u>3,308,891</u>	<u>3,190,633</u>	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>
	登録者数	159,635	150,463	136,569	130,171	124,353	117,210
		20.7	21.2	22.2	22.92	24.1	24.5
蔵書回転率(単位:回)	貸出点数	<u>3,308,891</u>	<u>3,190,633</u>	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>
	資料点数	1,148,219	1,152,412	1,169,458	1,187,137	1,196,227	1,206,905
		2.9	2.8	2.6	2.5	2.5	2.4
人口1人当たりの年間購入点数(点)	年間購入点数	<u>64,239</u>	<u>58,285</u>	<u>55,061</u>	<u>54,608</u>	<u>53,353</u>	<u>49,534</u>
	人口	469,603	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991
		0.14	0.12	0.12	0.12	0.11	0.10
人口1人当たりの資料点数(点)	資料点数	<u>1,148,219</u>	<u>1,152,412</u>	<u>1,169,458</u>	<u>1,187,137</u>	<u>1,196,227</u>	<u>1,206,905</u>
	人口	469,603	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991
		2.45	2.46	2.49	2.50	2.47	2.47
人口1人当たりの資料費(円)	資料購入費:A	<u>121,377,871</u>	<u>102,657,936</u>	<u>91,387,452</u>	<u>90,705,502</u>	<u>88,854,101</u>	<u>88,170,496</u>
	人口	469,603	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991
		259	219	194	191	184	181
行政効果(単位:円)	資料購入費:B	<u>118,352,704</u>	<u>99,671,548</u>	<u>88,425,661</u>	<u>87,556,430</u>	<u>85,688,011</u>	<u>84,975,860</u>
	÷購入点数	64,239	58,285	55,061	54,608	53,353	49,534
	×貸出点数	3,308,891	3,190,633	3,024,572	2,983,506	2,999,604	2,873,532
	－総経費	1,155,147,819	1,034,271,710	763,320,301	755,932,691	767,807,631	753,499,706
		4,941,089,624	4,421,940,527	4,094,015,714	4,027,709,527	4,049,730,287	4,176,060,857
貸出コスト(単位:円)	総経費	<u>1,155,147,819</u>	<u>1,034,271,710</u>	<u>763,320,301</u>	<u>755,932,691</u>	<u>767,807,631</u>	<u>753,499,706</u>
	貸出点数	3,308,891	3,190,633	3,024,572	2,978,271	2,997,695	2,873,532
		349.1	324.2	252.4	253.8	256.1	262.2

※資料購入費:Bは、資料購入費:Aより新聞費・マイクロフィルム費を除いたもの。

※資料点数・貸出点数・購入点数はAV・雑誌を含む。

※総経費は、図書館費と人件費(職員)を足したもの。

※登録者数は、有効登録者数(有効期限3年内の登録者)とした。

(11) 千葉県の公共図書館サービス指標 (平成28年度)

項目	個人貸出率 登録	人口1人あたり				人口1,000人あたり			
		個人貸出冊数		蔵書冊数		図書費 (28年度決算)		年間受入冊数	
市町村平均	39.6%	2.65冊		5.71冊		73円		134.1冊	
市町村合計	3,770人	25,189冊		54,266冊		690千円		1,275冊	
	酒々井 * 31.8	酒々井 4.97	四街道 2.92	我孫子 161	習志野 105.8	習志野 105.8	習志野 105.8	習志野 105.8	習志野 105.8
	松戸 31.4	柏 4.74	鴨川 2.86	南房総 158	八千代 100.4	八千代 100.4	八千代 100.4	八千代 100.4	八千代 100.4
	印西 * 31.4	富里 4.68	八千代 2.79	習志野 157	八千代 100.4	八千代 100.4	八千代 100.4	八千代 100.4	八千代 100.4
	船橋 * 31.1	松戸 4.57	鎌ヶ谷 2.78	市川 153	南房総 97.4	南房総 97.4	南房総 97.4	南房総 97.4	南房総 97.4
	成田 31.0	東金 4.50	流山 2.66	八街 148	茂原 94.8	茂原 94.8	茂原 94.8	茂原 94.8	茂原 94.8
	野田 * 30.3	八街 4.39	木更津 2.64	多古 139	市川 92.5	市川 92.5	市川 92.5	市川 92.5	市川 92.5
	富里 30.0	四街道 3.85	茂原 2.54	流山 138	館山 92.3	館山 92.3	館山 92.3	館山 92.3	館山 92.3
	多古 29.1	船橋 3.80	東金 2.49	松戸 137	柏 87.6	柏 87.6	柏 87.6	柏 87.6	柏 87.6
	旭 28.8	千葉 3.79	船橋 2.45	八千代 133	流山 86.0	流山 86.0	流山 86.0	流山 86.0	流山 86.0
	流山 28.5	鎌ヶ谷 3.40	銚子 2.38	東金 131	鎌ヶ谷 85.8	鎌ヶ谷 85.8	鎌ヶ谷 85.8	鎌ヶ谷 85.8	鎌ヶ谷 85.8
	浦安 * 27.1	鴨川 3.29	千葉 2.32	鎌ヶ谷 128	木更津 84.9	木更津 84.9	木更津 84.9	木更津 84.9	木更津 84.9
	鴨川 26.6	茂原 3.25	市川 2.30	柏 120	松戸 84.6	松戸 84.6	松戸 84.6	松戸 84.6	松戸 84.6
	千葉 * 26.1	木更津 3.06	柏 2.20	銚子 116	香取 83.4	香取 83.4	香取 83.4	香取 83.4	香取 83.4
	東金 26.0	館山 2.87	勝浦 2.20	旭 109	東金 82.9	東金 82.9	東金 82.9	東金 82.9	東金 82.9
	市川 23.8	香取 2.78	習志野 2.19	館山 108	銚子 81.2	銚子 81.2	銚子 81.2	銚子 81.2	銚子 81.2
	東庄 23.6	大多喜 2.65	多古 1.93	市原 107	市原 78.3	市原 78.3	市原 78.3	市原 78.3	市原 78.3
	南房総 22.9	南房総 2.45	香取 1.86	木更津 100	千葉 70.9	千葉 70.9	千葉 70.9	千葉 70.9	千葉 70.9
	柏 19.3	多古 2.23	東庄 1.66	千葉 92	東庄 70.3	東庄 70.3	東庄 70.3	東庄 70.3	東庄 70.3
	勝浦 19.0	銚子 2.01	旭 1.62	茂原 90	勝浦 70.2	勝浦 70.2	勝浦 70.2	勝浦 70.2	勝浦 70.2
	茂原 * 18.2	旭 1.58	松戸 1.22	勝浦 88	旭 62.3	旭 62.3	旭 62.3	旭 62.3	旭 62.3
	館山 * 16.6	勝浦 1.40		香取 87		香取 87	香取 87	香取 87	香取 87
		東庄 1.00		東庄 86		東庄 86	東庄 86	東庄 86	東庄 86
				大多喜 73		大多喜 73	大多喜 73	大多喜 73	大多喜 73

- (注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた
2 人口の数値は、千葉県毎月常住人口調査月報より(平成29年4月1日現在)
3 市町村平均・市町村合計欄の数値は、39市町村の平均・合計である
4 図書費には臨時的経費のうち図書費を含む
5 個人貸出登録率は累計で自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による (*印は、自治体内数)
6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある

『千葉県の図書館2017(平成29年度)』

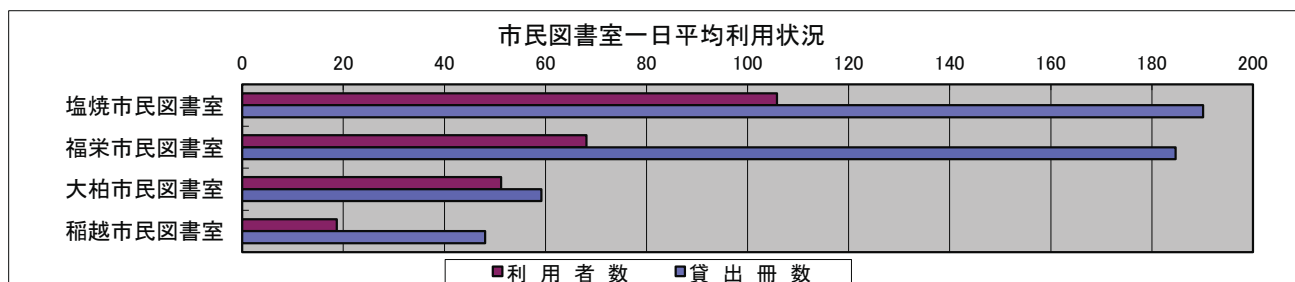
／千葉県公共図書館協会より

(12) 関連施設統計 (平成28年度)

①市民図書館

	開 日	室 数	利 用 者 数		貸 出 日 数	貸 出 冊 数		受 入 冊 数	除 籍 冊 数	蔵 書 冊 数
			一日平均	一日平均						
塩焼市民図書室		148	15,663	105.8	148	28,138	190.1	770	561	22,092
稲越市民図書室		148	2,768	18.7	148	7,117	48.1	579	556	15,925
福栄市民図書室		147	10,079	68.6	147	27,339	186.0	795	748	18,457
大柏市民図書室		147	7,526	51.2	147	8,698	59.2	309	362	18,261
計		590	36,036	61.1	590	71,292	120.8	2,453	2,227	74,735

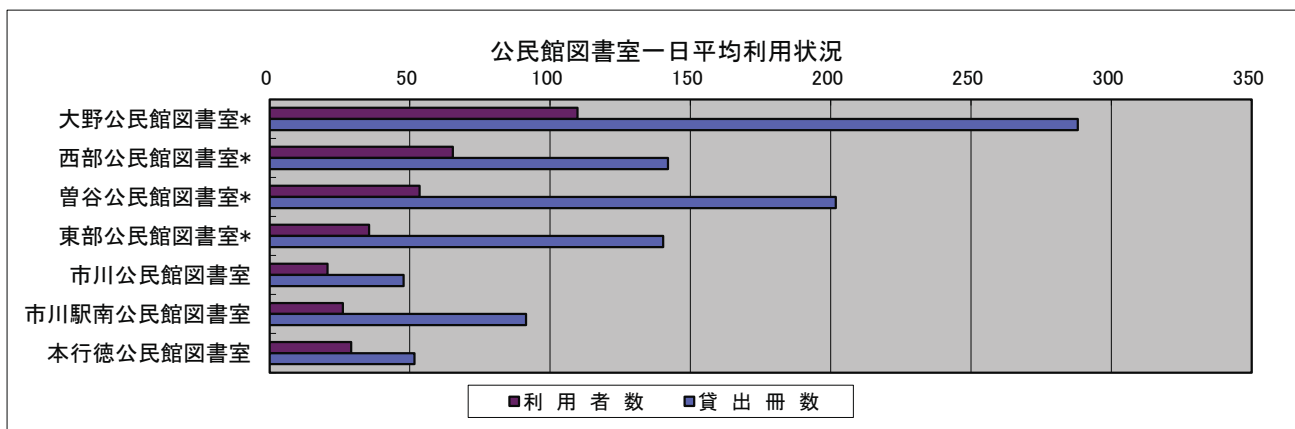
※貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



②公民館図書館

	開 日 数	利 用 者 数		貸 出 日 数	貸 出 冊 数		受 入 冊 数	除 籍 冊 数	蔵書冊数
		一日平均			一日平均				
大野公民館図書室*	291	31,945	109.8	288	82,969	288.1	7,234	226	12,585
西部公民館図書室*	297	19,392	65.3	247	35,061	141.9	439	619	15,882
曾谷公民館図書室*	327	17,482	53.5	98	19,783	201.9	559	420	17,045
東部公民館図書室*	294	10,430	35.5	99	13,892	140.3	722	1,056	14,575
市川公民館図書室	172	3,558	20.7	58	2,774	47.8	111	30,055	4,797
市川駅南公民館図書室	287	7,513	26.2	93	8,506	91.5	358	674	14,168
本行徳公民館図書室	112	3,263	29.1	112	5,788	51.7	334	79	17,366
計	1,780	93,583	52.6	995	168,773	169.6	9,757	33,129	96,418

※ *印の施設の貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



③返却ポスト

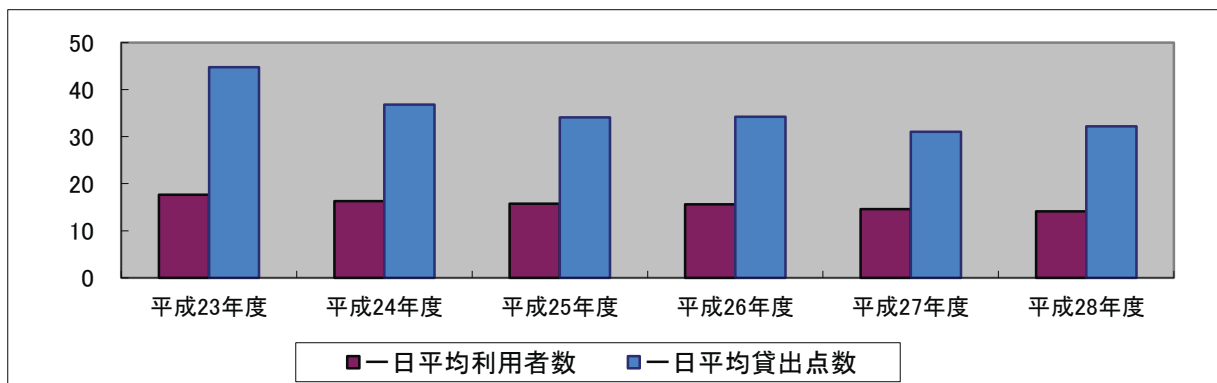
(上記のうち、市民図書館・公民館図書館での図書館資料の利用統計)

	利用者数	貸出	返却	予約
塩焼市民図書館	1,536	3,126	4,020	2,812
稲越市民図書館	542	2,207	2,602	957
福栄市民図書館	1,966	4,976	6,011	3,759
大柏市民図書館	818	1,775	2,463	1,677
市民図書館小計	4,862	12,084	15,096	9,205
大野公民館図書館	12,951	35,507	48,162	18,029
西部公民館図書館	4,386	10,521	13,617	9,029
曾谷公民館図書館	2,285	5,358	9,097	5,205
東部公民館図書館	1,399	3,324	8,859	2,639
公民館図書館小計	21,021	54,710	79,735	34,902
合計	25,883	66,794	94,831	44,107

設置場所	受付件数	構成比
情報プラザ	35,790	16.38%
八幡市民談話室	28,089	12.86%
市川公民館	11,877	5.44%
千葉商大	2,252	1.03%
歴史博物館	1,367	0.63%
ベルクス堀之内	14,615	6.69%
中山連絡所	3,586	1.64%
大柏出張所	7,467	3.42%
市役所	8,450	3.87%
イオン妙典	66,454	30.41%
南行徳市民センター	35,449	16.22%
塩浜体育館	3,108	1.42%
合計	218,504	100%

④男女共同参画センター情報資料室

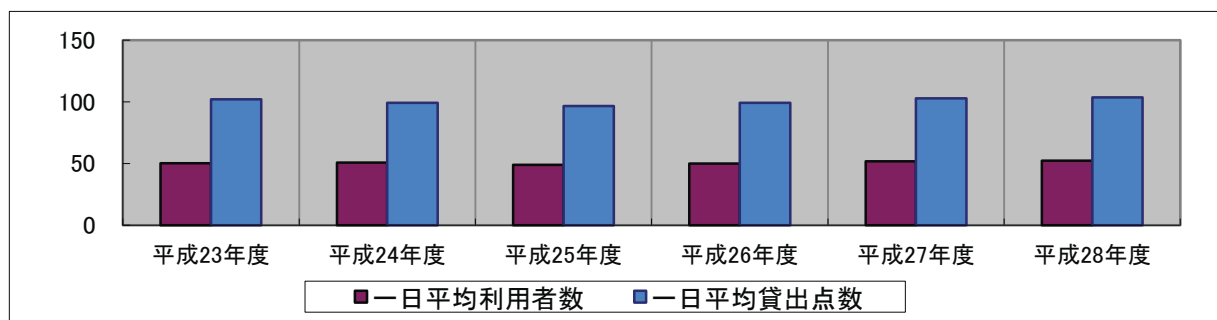
	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数		受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
			一 日 平 均		一 日 平 均			
平成23年度	263	4,634	17.6	11,779	44.8	243	5	16,281
平成24年度	265	4,316	16.3	9,748	36.8	291	488	16,084
平成25年度	268	4,228	15.8	9,135	34.1	290	577	15,797
平成26年度	271	4,236	15.6	9,269	34.2	244	85	15,956
平成27年度	268	3,917	14.6	8,320	31.0	282	92	16,146
平成28年度	270	3,816	14.1	8,687	32.2	229	26	16,349



⑤情報プラザ

	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数	
			一 日 平 均		一 日 平 均
平成23年度	274	13,800	50.4	28,016	102.2
平成24年度	284	14,428	50.8	28,190	99.3
平成25年度	283	13,853	49.0	27,355	96.7
平成26年度	285	14,224	49.9	28,319	99.4
平成27年度	286	14,814	51.8	29,423	102.9
平成28年度	284	14,878	52.4	29,446	103.7

※平成15年7月より市立図書館資料の貸出サービス開始



⑥千葉商科大学付属図書館(市立図書館所蔵資料の貸出数)

	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数	
			一 日 平 均		一 日 平 均
平成23年度	253	387	1.5	1,090	4.3
平成24年度	253	367	1.5	1,015	4.0
平成25年度	251	328	1.3	862	3.4
平成26年度	255	350	1.4	860	3.4
平成27年度	254	362	1.4	942	3.7
平成28年度	255	389	1.5	1,089	4.3

※平成17年10月より市立図書館資料の貸出サービス開始

⑦宅配

	利用者数	貸出点数
平成23年度	休止	
平成24年度	休止	
平成25年度	17	106
平成26年度	15	130
平成27年度	4	20
平成28年度	22	122

※平成18年10月より宅配サービス開始

※一時休止後、平成25年7月より再開

10. 平成28年度事業概要

概況

・イベントや連携企画等の拡充と情報発信

「本の福袋」や「ぬいぐるみおとまり会」などの好評を得ているイベントを継続・発展させるとともに、市内在住歴史研究家の渡邊大門氏による大河ドラマに絡めた講座開催、企画課の婚活支援事業の一環としてバックヤードツアーを開催するなど、地域や行政各部門と連携した企画展示・イベントの開催等を行い、各種PR活動も展開した。

・行徳図書館でのＩＣ機器導入とレイアウト変更

平成27年度に行徳図書館の蔵書へのＩＣタグ貼付が完了したことを受け、平成28年7月に同館にＩＣ機器を導入し、業務の効率化と利用者の利便性の向上を図った。カウンターと事務室の端末にＩＣアンテナを増設し、2階と3階のフロアには自動貸出機各2台と、ＩＣゲートを設置した。同時に、2階と3階のフロアのレイアウト変更も行った。

・集密書架の設置

中央図書館中3階書庫の可動式集密書架は、平成25年度の12本、平成26年度の9本、平成27年度の4本に続き、平成28年度には4本（約10,000冊分の収容数増）増設した。書庫資料の配置換えを行い、保存や利用に向けた効率的な蔵書管理を進めた。

・大野公民館図書室蔵書管理のバーコード化

図書館関連施設との連携を深める形で、大野公民館図書室蔵書をバーコード化し、市立図書館の蔵書管理と一元化した貸出・返却・蔵書検索・予約等を可能することで、効率化と利便性の向上を図った。

・市川駅南口図書館の指定管理期間の更新

3回目の指定期間（平成29年4月～平成34年3月）に向けて、指定管理者の公募、選考審査、指定議案提出、指定管理者の指定等を行った。

・調べ案内の専用スタンド設置

調べ案内（パスファインダー）を充実させるとともに専用スタンドを中央館内に設置した（6月）。

・赤ちゃんカード発行

乳幼児の母親の利用促進や子育て支援に資するため、赤ちゃんカードの発行を4月より開始した。

（１）資料収集と利用状況

①図書館の利用状況

平成28年度の図書館及び図書館関連施設（市民図書室・公民館図書室・情報プラザ・ウィズ・千葉商科大学附属図書館・宅配）の貸出点数は、2,873,532点、延べ利用者数は807,117人であった。

図書館及び図書館関連施設の図書・雑誌・視聴覚資料のリクエスト総数は506,197件であった。

②資料収集

平成28年度の全館の図書費（装備費を含む）は、7,639万円であった。行徳図書館蔵書へのＩＣタグ貼付が終了したため、前年より減少している。（平成29年度予算はp.30に掲載）

北部地域の利便性の向上のため、大野公民館図書室の蔵書をバーコード化し、貸出返却や蔵書検索等の図書館サービスを図書館システム内で行えるようにした。これに伴い、大野公民館図書室の蔵書をすべて見直し、予算による購入資料だけでなく、中央図書館からの保管転換や寄贈資料の利用などにより、以前よりも豊富な蔵書を構築することができた。

中央図書館では、書庫資料の移動を行った。行徳図書館ではＩＣタグによる蔵書管理を開始した。

中央図書館では蔵書構成検討委員会を設置し、年度ごとの収集計画の立案、選定会議の運営、逐次刊行物の選定等を協議している。資料の収集については、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分野別資料収集基準」、年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで行っている。また、書架の棚揃えを管理する書架担当制度を設け、各担当で積極的に既刊本の買い替えや不足分野の補充などを行った。

選定会議はリクエスト選定会議と新刊図書の選書会議をそれぞれ毎週開催し、未所蔵のリクエスト資料の選定と、中央図書館、市川駅南口図書館の購入資料の選定及び全館分の最終的な選書確認を行っている。

(2) リクエストサービス

① リクエストサービス

平成28年度図書・雑誌のリクエスト件数は、平成27年度より1.1%減少し、関連施設を含めた総計では1.3%減少した。視聴覚資料のリクエスト件数も13.1%減少し、全体的に減少傾向となった。

平成28年3月にスマートフォン対応Web-OPACサービスを開始し、利便性の向上に努めた。窓口での問い合わせや、館内での予約に際し、館内OPACを利用せず、スマートフォンの検索履歴を提示する利用も見られるようになった。

予約方法別に見ると、スマートフォンでの予約が28年度は7万件を超え、館内OPACでの件数を大きく上回った。一方、窓口・館内OPAC・携帯電話・インターネットでの件数は減少した。

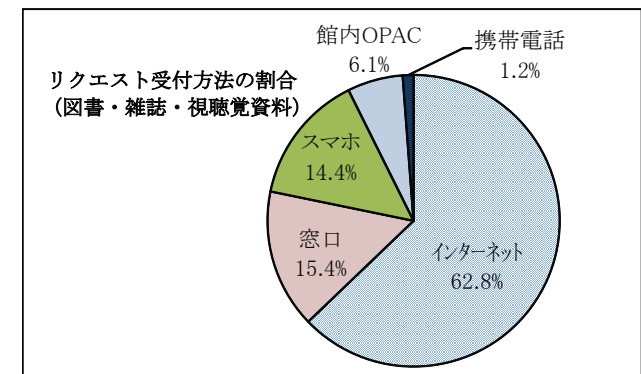
(リクエストに関する統計は、p.40「9.平成28年度統計(4)リクエスト統計」を参照)

リクエスト資料別総数

	図書・雑誌	視聴覚資料	合計
平成27年度	493,429	22,088	515,517
平成28年度	487,007	19,190	506,197

平成28年度リクエスト受付方法別総数
(図書・雑誌・視聴覚資料)

受付方法	件数	
窓口	77,992	
インターネット	318,031	428,205
スマートフォン	73,033	
館内OPAC	31,113	
携帯電話	6,028	
合計	506,197	



② 国・県・市町村図書館との相互協力

平成28年度の、市川市から県内各図書館への貸出冊数は3,722冊で、前年度より増加した。県外の図書館への貸出冊数は27冊であった。市外からの借用のうち、県立及び県内各市町村図書館からの借用冊数は6,499冊で、リクエスト全体が減少傾向にある中で昨年度より約1,000冊増加した。これはインターネットなどの情報源の多様化から、新刊の出版物だけではなく、出版されてから時間の経過した資料の利用が増加する傾向にあるものと推測される。

また、昨年度に引き続き国立国会図書館からの借用が減少しているが、これは平成26年6月に開始した国立国会図書館デジタル化資料の公衆送信サービス及び複製サービスの利用の拡大により、資料の現物を取り寄せる必要性が減っているためと考えられる。

借用提供冊数館別内訳

	平成27年度	平成28年度
中 央	2,130	2,471
自動車	36	16
平 田	300	290
行 徳	1,102	1,656
信 篤	290	424
南行徳	161	183
市川駅南口	1,509	1,505
合 計	5,528	6,545

借受先別借用提供冊数

	平成27年度	平成28年度
国立国会	6	4
千葉県立	1,217	1,486
千葉県市町村立	4,259	5,013
その他	46	42
合 計	5,528	6,545

（３）レファレンスサービス

平成28年度は、70,002件の質問が寄せられた。

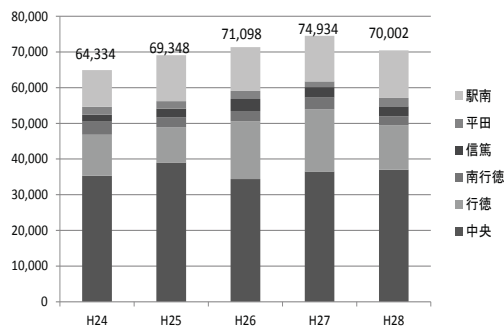
カウンターだけでなく電話やメールも含めて、利用者から受けた質問及びその調査課程・回答は「レファレンス記録票」に記録している。この記録票を基に、実際のレファレンス回答の情報を「新・参考業務月報」として記録・発行し、「レファレンス事例集」としてホームページ上に掲載するとともに、同じ事例データを、国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。レファレンス事例提供数が多かったことから、国立国会図書館より8度目の礼状が贈られた。さらに1年分をまとめて『新・参考業務年報』として市役所内部はじめ関係部署へ配布している。

また、昨年度より開始した「パスファインダー」の作成を継続し、28年度末には13点のパスファインダーを配布している。

中央図書館と市川駅南口図書館では、レファレンスの用に供するため、11種類の民間データベースを導入している。（p.27参照）また、平成26年度から開始した国立国会図書館デジタル化資料の公衆送信サービスも年々利用が増えている。地域館のレファレンスについては中央図書館がバックアップするなどし、小規模館においても、様々な市民の資料相談に応えられる体制を整えている。

レファレンス受付館別件数

中央図書館	37,016	信篤図書館	2,833
行徳図書館	12,450	平田図書室	1,901
南行徳図書館	2,467	市川駅南口図書館	13,335
		合計	70,002



（４）類縁機関との連携

①「学校図書館支援センター事業」に参加

公共図書館と学校図書館、また学校図書館相互が連携し図書資料や情報を流通させることにより、各図書館の所蔵資料を広く有効に活用し、学校での「調べ学習」、読書等の諸活動を活発に展開させ、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける児童・生徒の育成をめざしている。

ア. 参加校数

小学校	38	中学校	15
義務教育学校	1	幼稚園	6
特別支援学校	1		

イ. ネットワーク用資料の整備

複数の学校からの要望にも対応するため、中央図書館や市内図書館所蔵の資料を提供するほかにネットワーク専用資料10,673冊（平成29年3月末現在）を中央図書館で管理している。平成28年度は専用図書費として15万円を配分し、123冊を購入した。

ウ. 資料提供

参加校（園）の教職員からの依頼により、各校の学校司書（常勤）・学校図書館員（非常勤）が取りまとめ、公共図書館及び参加校（園）に対してメールで貸出依頼を行う。依頼を受けた側は、自校（館）の資料の中から依頼内容に沿った資料を選び、物流便で配送する。物流は、委託業者による週2回・各2台の運搬車が学校図書館支援センターと公共図書館と全校を結んでいる。

エ. 指導研究・調整事務

教育センター・指導課共催の公共図書館・学校図書館双方の実務担当者によるネットワーク会議及び研修会を3回実施した。

物流回数	70回
貸出冊数	6,844冊
依頼件数	528件 (小学校391件) (中学校133件) (幼稚園4件)

②大学図書館及び他機関との

ネットワーク事業

ア. 千葉商科大学付属図書館

- ・市川市国府台 1－3－1
- ・TEL 047 (373) 9798
- ・内容 18歳以上の市内在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、市立図書館窓口で紹介状の発行を申し込むことで千葉商科大学付属図書館の利用（閲覧、貸出、複写）が可能となり、現年度有効の図書館利用券が発行される。

また、市立図書館所蔵の図書、雑誌の受取、及び大学付属図書館内に設置されている返却ポストへの返却が可能である。

平成28年度新規紹介状申込みは152件。更新手続きを行った利用者は201人。

イ. 和洋女子大学メディアセンター

- ・市川市国府台 2－3－1
- ・TEL 047 (371) 1111（代表）
047 (371) 1126（メディアセンター）
- ・内容 市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター（図書館）所蔵の図書を市立図書館の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。相互間の物流は、毎週金曜日に中央図書館との間で行っている。

	件数	冊数
和洋への貸出	6	8
和洋からの借受	2	2

ウ. その他

市川市民（在勤含む）が上記以外の大学図書館を利用する場合、1回（1日）の閲覧ごとに紹介状が必要である。学生の場合は基本的に所属する大学の図書館からの紹介状による。

平成28年度に紹介状を発行した大学は以下の通り（6大学6件）。

慶応義塾大学三田メディアセンター
東京歯科大学図書館
東洋大学附属白山図書館
大正大学附属図書館
大阪市立大学学術情報総合センター
東京農業大学附属世田谷図書館

（５）対象別サービス

①児童サービス

子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような児童書の選定・収集に努め、館内展示を行うとともに、ブックリストの作成や読み聞かせの会などを実施している。さらに、教育センターなど行政各部門と連携を図り、サービスの拡大を図っている。

ア．ブックリスト

子どもの発達段階に応じたブックリストを作成し、配布している。

「本のぼけっと」基本版２号及び29号

「本のぼけっと」付録（読み聞かせリスト）

「新一年生の保護者の皆様へ」

「よんであげたいえほん」

（０～２才）（３・４才）（５・６才）

イ．館内特集展示

こどもとしょかんや、地域館の児童コーナーに、季節やテーマに沿った本の展示を行っている。

特集展示（こどもとしょかん）

展示月	特集タイトル
３月・４月	ともだち
５月・６月	おとうさんおかあさん
７月・８月	みんなちきゅうのなかまたち
９月・１０月	ファンタジーをたのしもう！
１１月・１２月	クリスマス
１月・２月	あしたははれるかな？
３月	おおきくなったらなにになる？

特集展示（行徳図書館）

展示月	特集タイトル
４月	だいすき！
５月	赤ちゃんが来た！
６月	こどもにすすめる基本図書
７月・８月	よるになにがおこる？ 戦争と平和（８月のみ）
９月・１０月	いぬとねこどっちがすき
１１月・１２月	クリスマス
１月・２月	うた！うた！うたおう！
３月	世界旅行

特集展示（信篤図書館）

展示月	特集タイトル
４月	本のポケット基本版／新一年生／ ／春／入園入学おめでとう
５月	本のポケット基本版／春
６月	お父さん・お母さん／雨／七夕
７月	本のぼけっと２９号／課題図書 ／雨／夏
８月	本のぼけっと２９号／課題図書／夏
９月	本のぼけっと２９号／夏／お月見
１０月	家族／ハロウィン／ まほうつかい・まじよの本
１１月	家族／クリスマス
１２月	クリスマス
１月	お正月／今年の干支／鬼（節分）
２月	鬼（節分）／冬
３月	本のポケット基本版／新一年生／ ／入園入学おめでとう

特集展示（南行徳図書館）

展示月	特集タイトル
４月	本のポケット基本版／ 新一年生／はる
５月・６月	雨・かえる
７月・８月	課題図書・自由研究・工作
９月	そら・ほし・うちゅう／秋／お月見
１０月	そら・ほし・うちゅう／秋／ハロウィン
１１月	かぞくっていいね／クリスマス
１２月	クリスマス／お正月
１月	お正月／冬の本／鬼（節分）
２月	冬の本／鬼（節分）／てがみ
３月	本のポケット基本版／新一年生／ お花と木

特集展示（平田図書室）

展示月	特集タイトル
４月	はるだよ～
５月	やさいをそだてよう
６月・７月	おながくはたのしいよ
８月	なつのよるは…
９月	おじいちゃんおばあちゃんありがとう
１０月	からだをうごかそう
１１月	かぞく
１２月	クリスマス
１月	とりどし
２月	あたたかいおへやのなかで
３月	おてがみ

読み聞かせ統計

	えほんの会			らっこの会			おはなし会		
	対象年齢	回数	人数	対象年齢	回数	人数	対象年齢	回数	人数
中央	4歳～小学生	78	705	0～3歳親子	83	1,120	4歳～小学生	11	49
行徳	4歳～小学生	32	279				5歳～小学生	10	40
信篤	3歳～親子	9	40						
南行徳	3歳～親子	9	30						

ウ. 読み聞かせ等

中央・行徳・信篤・南行徳の各図書館で、絵本の読み聞かせ会などを定例化して行っている。

平田図書室では、平田保育園に出向いて読み聞かせを行っている。

エ. 館内行事

中央・行徳・信篤・南行徳の各図書館で定例の読み聞かせ等のほかに、イベントを実施している。

今年度の企画として中央図書館では、5月に「緑のカーテンをつくろう」（環境政策課と共催）、6月に「昔の世界にタイムスリップ・土器にさわってみよう」（考古博物館と共催）、7月に動植物園との共催で夏のおたのしみ会「カワウソの絵本と飼育員さんのおはなし」を開催した。

中央図書館

開催日	行事名	人数
4/23	はるかぜえほんの会	37
5/22	緑のカーテンをつくろう！	44
6/11	昔の世界にタイムスリップ・土器にさわってみよう	40
7/31	夏のおたのしみ会「カワウソの絵本と飼育員さんのおはなし」	56
8/3, 10, 17	小学生のためのこわいおはなし会（3回）	98
9/10	みてみよう、ふれてみよう、虫のふしぎを調べよう！	107
10/23	秋空えほんの会	40
12/17	チーバくんとぬいぐるみおとまり会	37
12/24	冬のおたのしみ会	62
3/18	えほんのせかいであそぼう	73

行徳図書館

開催日	行事名	人数
8/24, 31	夏のおたのしみ会（2回）	16
12/14, 21	冬のおたのしみ会（2回）	15

信篤図書館

開催日	行事名	人数
7/26	生きている虫が信篤図書館にやってくる	64
7/28, 8/25	小学生のためのおはなし会（2回）	6
12/9	冬のおたのしみ会	3

オ. 出張サービス

市内の公立小学校・公立保育園・幼稚園を対象に「出張おはなし会」を行っている。

	校数	回数	人数
中央図書館	13	41	1,707
信篤図書館	2	3	244
平田図書室	1	3	126

カ. 学級招待

クラスや学年単位で図書館に来館した子ども達に対して読み聞かせなどを行っている。

	校数	回数	人数
中央図書館	5	7	90
信篤図書館	1	2	124

キ. まちたんけん

市内の小学生が授業の一環として行う「まちたんけん」として来館。

	校数	回数	人数
中央図書館	1	2	20

ク. 学級文庫

市内公立小中学校等に、対象年齢に応じたセット貸出を行った。（学校ネットワーク物流便利用）

貸出冊数 (内特別支援)	幼稚園	30冊
	小学校	4,920冊（240冊）
	中学校	300冊（60冊）
	義務教育学校	120冊

ケ. 乳幼児サービス

市川市版のブックスタート事業である、こども館事業の「たのしく絵本！はじめての一步」に選書面などで協力している。

②ヤングアダルトサービス

ア. 中央図書館

中学生以上19歳までの世代を、児童サービスの対象としてではなく、Young Adult（若い大人）としてとらえサービスを行っている。児童書、一般書の枠にとらわれず対象資料を集めたYoung Adultコーナーを、一般書のコーナー（ポピュラーライブラリー）の中に設けている。

また、グループで調べ学習等の活動ができるYoung Adult Roomに掲示板を設置し、図書館の行事で参加者が作成した作品等を掲示、展示している。

・「Young Adult通信」

Young Adult世代向けのブックリストとして年3回作成。各号、市内公立中学校のいずれかの学年の全生徒に学校ネットワーク物流便を通じて配布。同内容を図書館のホームページ上にも掲載している。

また、「Young Adult通信」に1年を通じて掲載する年間キャラクターを市内の中学生から募集している（平成28年度応募数 58件）。

館内では、Young Adultコーナーにおいて「Young Adult通信」とタイアップした形で本の展示を行っている。展示ポスターは市内の中学生から募集している。

展示月	特集タイトル
4月～6月	世界とつながる
7月～9月	色いろいろ
10月～12月	お金
1月～3月	イチオシ本

・「Young Adult通信 入門編」

Young Adult世代向けの利用案内として図書館内で配布するほかに、夏休み前に市内公立中学校1年生全員を対象に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

・「Young Adult通信 号外 新生活応援号」

春休み前に、市内公立中学校3年生全員に、学校ネットワーク物流便でお薦めの本のリストを配布している。

・Young Adult世代向け館内行事

平成26年度より、「本を愛するティーン！BLT (Book Loving Teens)による活動」という参加型の行事を新設した。BLTサンドイッチ(Bacon Lettuce Tomato Sandwich)とかけた名称を考案、使用している。

「YA POP Club」

中学生がおすすめ本のポップを作成し、本と共にYAコーナーに掲示した。本はポップ効果でよく貸し出された。また同時期に市内公立中学校にも「本のPOP大募集」としてポップを募集した。19点の応募があり、「YA POP Club」のポップと同時に掲示した。

「YAルームデコClub」

Young Adult Roomの飾り付け（デコレーション）を行った。

「YAビブリオバトル」

12月18日に市内小中学校の学校司書・司書教諭による模擬バトルを開催した。

実施日	行 事 名	人数
7月24日	YA POP Club	6
3月28日	YAルームデコClub	7

・Young Adult福袋

1月に中学生以上の19歳までの方に特におすすめの本を集めた福袋を一般フロアで貸し出し、好評だった（5セット貸出）。

・夏休み対策

夏休みの宿題支援のため、7、8月は課題図書、自由研究コーナーを作る。課題図書は貸出期間を一週間としている。

イ. 地域館

行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館においては、児童サービスの延長として、Young Adult世代向けのサービスを行っている。

資料は、中学生以上向けの児童書とYoung Adult向け文庫が中心である。

③障害者サービス（図書館利用に障害のある利用者へのサービス）

図書館を利用する上で心身等に何らかの障害がある方を対象として、それぞれの状況に応じ、図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供することを目的とする。

一般の図書の形態（墨字資料）での読書が困難な方に対して、点字図書、音訳図書、DAISY図書、大活字図書、CDブック、布の絵本・布のおもちゃ等を、ボランティア団体が製作し、または購入し、蔵書として提供している。ほかに、障害者資料として文芸カセットや字幕・手話付きビデオの蔵書もある。

中央図書館障害者サービス室にはインターネット閲覧用パソコン（音声読み上げ可能）、DAISY図書再生機、拡大読書器、音声読書器などの機器類を、行徳図書館には拡大読書器をそれぞれ備えている。

来館困難者へのサービスは、郵送貸出や代理人貸出による資料の提供を行い、視覚障害者に対しては、対面朗読も実施している。

市内公立小学校の特別支援学級と、こども発達センター内にある通園施設「あおぞらキッズ」「おひさまキッズ」へ、布の絵本・布のおもちゃ計21点を貸し出した。

布の絵本・布のおもちゃ及びマルチメディアDAISY図書の個人利用の促進を図るため、市内公立小・中学校の特別支援学級並びに須和田の丘支援学校・県立市川特別支援学校の保護者等を対象として案内パンフレットを配布した。

④外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現を目的とする。市川市に居住する外国人を図書館サービスの対象者として明確にとらえ、日本での生活・学習・娯楽に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集している。

平成28年度は英語図書242冊（行徳図書館31冊を含む）、中国語図書30冊（行徳図書館2冊を含む）、韓国語図書15冊、ドイツ語図書4冊、フランス語図書14冊、スペイン・ポルトガル語7冊、タイ語2冊の新規購入と寄贈受入を行った。

ア. 楽山市図書コーナー

平成13年、友好都市締結20周年にあたり、楽山市から中国語図書約300冊の贈呈を受けて設置したが、経年による本の劣化等により、平成18年にコーナーを終了し、従来の中国語資料の中に収めた。

イ. 江南区電子図書コーナー

市川市は、平成17年、大韓民国ソウル特別市江南（カンナム）区と情報化分野及び職員交流に関する協定を締結。その一環として、江南区がインターネット上で運営している電子図書館のID1万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館では、韓国語資料約700冊を購入追加してコーナーの充実を図り、その一画に平成18年電子図書館閲覧コンピュータを1台設置した。

ウ. 原州市寄贈韓国語資料

市川市と同じく健康都市連合に加盟している大韓民国江原道原州（ウォンジュ）市より、韓国語資料の11回目の贈呈を受けた。原州市から11冊の寄贈があり、市川市からも13冊の贈呈を行っている。

エ. 逐次刊行物（平成28年度：市内全館）

（所蔵タイトル数）

雑誌 英語11

新聞 英語5／中国語1／韓国語1

（所蔵資料に関する統計は、p.34「9. 平成28年度統計（1－2）分野別蔵書冊数内訳」を参照）

登録者数（ ）は平成28年度新規登録者数

	累積登録者数
視覚障害者	94（1）
聴覚障害者	144（0）
内部疾患・肢体不自由者	139（7）
外来困難者・その他	84（9）
合計	461（17）

（所蔵資料に関する統計は、p.34「9. 平成28年度統計（1－2）分野別蔵書冊数内訳」を参照）

⑤団体へのサービス

ア．団体としての利用

読書活動に関わる団体及び市内福祉施設・学校等で図書館資料を利用する団体へのサービス。

・登録・貸出

市川市内在住・在勤・在学者を主な構成者とし、利用に際し継続性があり図書館資料を営利目的として利用しないことを登録要件とする。更新は年度ごととする。

貸出期間は貸出日を含め図書は31日、CDは15日である。貸出冊数は図書が無制限、CDは3点。

予約は窓口のみで受け付ける。1日5タイトル、累計20点まで。団体の予約において新規の購入はしない。

・活動場所の提供

中央図書館では、図書館関連団体（以下の5団体）に活動場所として集会室・サークル室を提供している。

市川図書館友の会 市川点訳朗読友の会
点訳ビーアイ うずしお読書会
子どもの本を考える会

イ．読書会サポート

・資料の提供

読書会で使用するため同タイトルの資料が複数必要となる場合は、市内図書館の所蔵冊数内で希望冊数を用意する。原則として受取希望日の3週間前から予約を受け付ける。

千葉県立図書館において「十冊文庫」の名称で読書会向けに同じタイトルの本が10冊ずつ準備されている。市川の図書館を窓口にして取り寄せる。

登録団体数・貸出冊(点)数

	登録団体数	貸出冊(点)数
平成26年度	50	4,424
平成27年度	45	4,502
平成28年度	51	4,212

（６）資料別サービス

①地域資料

ア．地域行政資料と市民文庫

地域行政資料（市川市、千葉県に関する資料）の収集、整理を行った。地域行政資料は、市川独自の地域区分、資料分類を付与し、地域の歴史を後世に伝えるため永年保存としている。

6月～1月には、正面入り口のガラスケースを利用した「浮世絵に見る市川」の展示を行い、それにあわせて「市川市に関する浮世絵」（地域資料レファレンス 市川市ってどんな街？3）を発行、配布した。10～11月には、テーマ展示「身近な鉄道」にあわせ、ガラスケースを利用した「京成電鉄と市川市」の展示を行い、書庫で保存している貴重な資料を展示した。

また、7月～9月には、三番瀬カレンダー制作実行委員会が毎年発行しているカレンダーの過去の写真を利用した「三番瀬で会いましょう」のパネル展示を行った。

イ．特別コレクション（永井荷風・東山魁夷・星野道夫・渡邊二郎の著作及び関連著作）

特別コレクションは論文や記事、新刊書から古書まで積極的に収集し、整理を行った。

ウ．電子化とホームページによる情報発信

著作権の保護期間満了の資料を電子化して、中央図書館内のWeb-OPACで随時公開している。平成28年度は「市川市全地図」（市川市役所 1954）とオーストリアの音楽家ルドルフ・ディトリッヒ（1861-1919）の作曲した「手児奈・マーチ」を、吹奏楽版とオーケストラ版に編曲した楽譜を新たに追加した。

また、「市川ゆかりの人検索」では、28年2月に亡くなった「井上洋介」と8月に亡くなった「葉山修平」のページを追加更新した。

（所蔵資料に関する統計は、p.34「9．平成28年度統計（1－2）分野別蔵書冊数内訳」を参照）

（７）主催事業

①リサイクルブック市

図書館の不用図書、雑誌など（除籍資料および寄贈資料のうち既に所蔵していたり資料収集方針に沿わない等の理由で受け入れないもの）を有効に再活用するため、利用者へ無償で提供するリサイクルブック市を開催している。

中央図書館では市川市生涯学習センター内グリーンスタジオを、行徳図書館では行徳公民館レクリエーションホールをそれぞれ会場として、「市川図書館友の会」の協力により開催。平成14年度より「市川図書館友の会」が図書館支援のための募金活動を行っている。

そのほかの図書館においても、小規模であるがリサイクルブック市の単独開催、またはリサイクルコーナー設置を行っている。

②視聴覚資料

流通する記録媒体の変化から、映像資料についてはビデオテープからDVDへの移行を図っている。平成26年8月よりDVDの貸出点数を従来の1点から2点へと変更した（試行）。平成27年7月より行徳図書館でもDVDの所蔵を開始した。

ア．視聴覚資料（CD・ビデオ・DVD）の収集・提供に関すること

・貸出点数

1人CD3点、ビデオ2点、DVD2点（試行）。貸出期間は、貸出日を含む15日間。視聴覚資料の貸出対象及び試聴ブースの利用対象は、中学生以上の市内在住・在勤・在学者。

イ．試聴ブースに関すること

〔ブース数〕 利用時間は、いずれも1回30分以内

・中央図書館：

CD用（2台）カセットテープ用（5台）

CD用〔車椅子対応可能〕（1台）

カセットテープ用〔車椅子対応可能〕（1台）

・行徳図書館：

CD用（2台）

平成28年度リサイクルブック市等実施状況

	実 施 日	対象及び参加数	準備冊数及び提供冊数（提供率）	備 考
中央 （第23回）	平成28年10月21日（金）	図書室等 67団体	準備：18,610冊 提供：14,020冊 （提供率：75.3%）	市川図書館友の会の協力
	平成28年10月22日（土）	一般市民 1,346人		
行徳 （第19回）	平成29年1月28日（土）	一般市民 488人	準備：5,540冊 提供：3,280冊 （提供率：59.2%）	
信篤 （第18回）	平成28年10月15日（土）～16日（日）	一般市民 250人	準備：2,408冊 提供：1,823冊 （提供率：75.7%）	信篤公民館の文化祭とあわせて実施
平田	平成28年6月11日（土）～12日（日）	集計なし	準備：2,719冊 提供：1,912冊 （提供率：70.3%）	
南行徳	平成28年7月2日（土）～7月23日（土） 11月20日（日）～12月4日（日） 平成29年3月5日（日）～3月18日（土）	集計なし	準備：2,506冊 提供：2,383冊 （提供率：95.1%）	リサイクルコーナーの設置

②特集展示

平成28年度中央図書館特集展示 []は連携先

展示月	展示1	展示2	小展示・臨時展示	ガラス展示	ガラス展示	絵画ラック
4月	ものづくり	仕事で自分を スキルアップ！ 先進企業・経営者 に学ぶ成功の秘訣		浮世絵に見る 市川	広重・東海道 五十三次	広重・東海道 五十三次
5月	緑と花とともに 〔文化振興課・まち並景観整備課〕		市川市史 自然編 〔文化振興課・まち並景観整備課〕			
6月						
7月	ときめき古代ロマン	山の日	国立西洋美術館	浮世絵に見る 市川 (夏Ver.)	浮世絵に見る 市川	三番瀬
8月	〔考古博物館〕	障害者スポーツに	下総国分寺の瓦			
9月	いざ、読書 〔読書推進運動協議会〕	注目！ リオ オリンピック・パラリンピック	自殺予防週間 〔保健センター〕			
10月		身近な鉄道		京成電鉄と 市川市		読書週間ポスター
11月	アメリカ大統領の	〔現代産業科学館〕				
12月	光と影	夏目漱石 2016年没後100年 2017年生誕150年	大河ドラマを原作 で楽しもう 〔歴史と文化の研究所〕	文豪夏目漱石 の世界	市川市の図書館 と周辺の景色	
1月	いろとり鳥（どり）					
2月				桜		
3月	いろいろな不思議 小さな不思議から 大きな不思議まで	元気になるう	あれから6年／ もりもりさまの森 〔理論社〕	市川市域の空襲について① 〔歴史博物館〕	市川市域の空襲について② 〔歴史博物館〕	

平成28年度行徳図書館特集展示 []は連携先

展示月	特集タイトル
3月～4月	災害に備えよう ～忘れまい震災を～ 〔危機管理課・行徳支所〕
5月～6月	お出かけ日和
7月～8月	戦争と平和
9月～10月	おかしなお菓子
11月～12月	家族・子育て 〔子育て支援課〕
1月～2月	医療小説とその周辺
3月～	昭和の時代

③その他イベント

講 座					
開催日	館名	講座名・内容	人数	連携先ほか	場所
7/20(水)～ 9/9(金)	中央	考古博物館出張展示「下総国分寺の瓦」 展示内容：考古博物館収蔵物（国分寺出土瓦3点） 解説パネル3点		考古博物館	図書館入口
		同時開催：「下総国分寺と七重塔」講演会7/31(日)	50人		ベルホール
2/1(水)～ 3/20(月)	中央	歴史博物館出張展示「市川市域の空襲について」 展示内容：歴史博物館収蔵物（戦争による空襲の被災写真、市域に落とされた焼夷弾空筒等）		歴史博物館	図書館入口
		歴史博物館学芸員による展示説明会2/26(日)	約20人		
2/5(金)	中央	図書館活用講座 「おんな城主 直虎」	28人	渡邊大門氏 (株)歴史と文化の研究 所代表取締役	会議室
福袋					
開催日	館名	イベント名	貸出数	内容・連携先ほか	場所
1/5(木)～ 9(月)	中央	「図書館員が選んだ本の福袋」 一般 75、YA5、こども 170（セット）	244 セット	図書館員がテーマごとに 選んだ本 3 冊を袋詰めして貸出	図書館内
1/5(木)～ 12(木)	行徳	「図書館員が選んだ本の福袋」 一般 35、YA3、こども 42（セット）	80 セット		
1/5(木)～ 12(木)	信篤	「図書館員が選んだ本の福袋」	45 セット		
その他イベント					
開催日	館名	イベント名	人数	内容・連携先ほか	
10/23(日)	中央	鬼高さんしゃ祭イベント 「中央図書館バックヤードツアー」	22 人	さんしゃ祭・さんしゃ 祭実行委員会	図書館内
		鬼高さんしゃ祭イベント「秋空えほんの会」	40 人		
		鬼高さんしゃ祭イベント「自動車図書館参上!」	139 冊 貸出		生涯学習 センター 入口
11/20(日)	中央	いちかわファミリーフェスタ 2016 「家族で楽しもう!絵本の世界」	22 人	ファミリーフェスタ 参加イベント	ニッケコルトンプラザ
	中央	いちかわファミリーフェスタ 2016「出張図書館」	38 人 登録		ニッケコルトンプラザ
2/11(土)	中央	婚活支援事業「夜の図書館であなとも別世界へ・図書館バックヤードツアー」	31 人	企画課	図書館内

(8) 市川駅南口図書館自主事業（指定管理館）

講 座				
開催日	講座名	人数	講師	場所
5/8(日)	翻訳家が教える英語再スタート講座	15人	松岡哲哉氏	I-Link-ホール
9/27(火)	介護保険の上手な使い方～ケアマネ活用術	15人	岡野英樹氏	I-Link ルーム 1
10/20(木)	子育てママの再就職支援セミナー	9人	ハローワーク市川 渡邊美保子氏	I-Link-ホール
2/25(土)	ユビキノール摂取と健康長寿	6人	和洋女子大学 准教授 鈴木敏和氏	I-Link ルーム 1
イベント				
開催日	イベント名	人数	講師 等	場所
4/30(土)	親子でうたってあそぼう手あそびわらべうた	35人	(株)ヴィアックス 神保和子氏	I-Link ホール
5/6(金)、13(金) 20(金)、27(金)	公共図書館カード出張登録会	75人	市川駅南口図書館 職員	市川駅南口図書館
6/11(土)	朗読コンサート	124人	佐田玲子氏 武田肇氏 ほか	アイリンクタウン 展望施設
7/28(木)、29(金)	夏休み一日図書館員	14人	市川駅南口図書館 職員	市川駅南口図書館
8/20(土)	本の世界に入ってみよう！	51人	(株)ヴィアックス (有)OFFICE A・STEP	I-Link ルーム 1・2
7/1(金)～3(日)	オオムラサキを市川で生息させよう	-	NPO 法人市川にオ オムラサキを生息 させる会	市川駅南口図書館
10/29(土)～ 11/29(火)	私のおすすめの一冊(投稿文の掲示)	37人	利用者投稿	市川駅南口図書館
12/4(日)	えきなん 冬のおたのしみ会 (人形劇)	35人	人形劇団ポポロ	I-Link ホール
1/7(土)	はなまるで、寄席と寄席囃子！	47人	落語芸術協会 松本優子氏 桂鷹治氏 ほか	I-Link ホール
3/4(土)	プラネタリウム 星空の宅配便	84人	木村直人氏	I-Link ホール
えきなんギャラリー展示				
開催日	タイトル	作家・写真家・テーマ等		
4/1(金)～ 4/27(水)	プレーパーク写真展 ～子どもたちにもっと外遊びを！～	市川子どもの外遊びの会によるパネル展示		
4/29(金)～ 5/29(日)	山崎和久 ほどほど写真展 - 散策の詩 -	市内アマチュア写真家個展(風景写真)		
6/1(水)～ 6/29(水)	マツ・みち・まち 市川の「まち歩きガイドマップ」が出来 るまで 写真と資料展	まちづくり家づくり café ichikawa による ガイドマップ作成過程の展示		
7/1(金)～ 7/31(日)	和洋女子大学日本文学文化学類書道専修 リカレント修了生・リカレント生作品展	リカレント生徒による書道展		
8/2(火)～ 8/28(日)	筑波大附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科造形芸術科 生徒作品展	石膏デザイン・油絵等の作品展示		
8/30(火)～ 9/29(木)	ビバ！じゅん菜池！ ～残したい守りたい水辺の自然～	「蓴菜池にジュンサイを残そう市民の会」 提供の写真展		
10/1(土)～ 10/27(木)	こだわりの食@いちかわ part2 日本の伝統食文化「発酵食」を知ろう 写真展	市内在住フードディレクター 矢路川結子氏		
10/29(土)～ 11/29(火)	日々の感動を絵日記に！ ～積み重ねが生活を豊かにしてくれる～	市内在住者の水彩画		
12/1(木)～ 12/27(火)	おかげさま 神様・仏様・お猫様 - そして皆さま - 小沢竜也写真展	NPO 古書肆スクラムプロデュース写真展		
1/5(木)～ 1/29(日)	まちかどの近代建築写真展 in 市川(Ⅱ)	協力: 街角の近代建築写真展実行委員会 近代建築探訪メーリングリスト 赤レンガをいかす会		
2/1(水)～ 2/26(日)	和洋女子大学服飾造形学類卒業制作写真展	和洋女子大学生による卒業制作ショーの 写真展		
2/28(火)～ 3/30(木)	由緒あるバラの街市川展(パネル写真展)	提供・協力: 市川グリーンフィンガーズ・ 市川市花と緑のまちづくり財団		

（９）委員会等

① 研修委員会

ア．職員研修参加実績

千葉県公共図書館協会や外部機関等の主催する研修38件に、延べ144人が参加し研鑽に努めた。

イ．異動者研修

図書館外からの異動職員４人を対象に、４月５日に図書館業務の基本についての研修を実施した。

ウ．非常勤職員研修

平成28年度に採用された図書館スタッフを対象に、６月に第２回（参加者５人）、２月に第３回（参加者４人）の研修を実施した。

３月には平成29年４月に新規採用される図書館スタッフ９人を対象に新任研修を行った。

エ．図書館実習・インターンシップ

８月31日から９月13日にかけて、大学生４人（青山学院大学１人、慶應義塾大学２人、白百合女子大学１人）を対象に図書館実習を実施した。

また、８月３日から９日に、インターンシップの大学生（和洋女子大学２人）を受け入れた。

オ．職場体験学習・職場訪問

市内の小・中学生を受け入れ、職場体験指導等を行った。

カ．その他の研修

教育センター主催による市内教職員を対象とした「社会体験研修会」のうち「公共図書館体験研修会」として教諭２人、県教委主催「悉皆研修」のうち「社会奉仕体験研修」として教諭９人を受け入れた。

児童・生徒の職場体験学習の受入れ（平成28年度）

月 日	所 属	実施場所	人数	目 的
6/23～24	第二中学校	平田・南行徳	4	職場体験学習
6/29	妙典中学校	中央	6	職場体験学習
7/6	高谷中学校	中央	3	職場体験学習
7/6～7	大洲中学校	平田	2	職場体験学習
7/15	日出学園中学校	中央	1	職場体験学習
7/22	東海大付属浦安中部	中央	1	職場体験学習
10/20～21	第八中学校	平田	2	職場体験学習
10/26	ふれんどルーム	中央	1	職場体験学習
11/1～2	第四中学校	中央	4	職場体験学習
11/10～11	第五中学校	中央	6	職場体験学習
11/15～16	第七中学校	中央	6	職場体験学習
11/17～18	南行徳中学校	中央・行徳	4	職場体験学習
11/24～25	昭和学院中学校	中央	6	職場体験学習
11/29	福栄中学校	中央・行徳	11	職場体験学習
12/1～2	第三中学校	中央・平田	8	職場体験学習
1/26～27	第六中学校	中央	6	職場体験学習
2/2～3	下貝塚中学校	中央	5	職場体験学習
計	延べ 16校 1 団体 28日 76人			

教職員の体験研修の受入れ（平成28年度）

月 日	所 属	実施場所	人数	目 的
7/27～28	千葉県教育委員会	中央	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
8/4～5	千葉県教育委員会	中央	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
8/4～5	市川市教育センター	中央	2	公共図書館体験研修会
8/18～19	千葉県教育委員会	中央	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
8/18, 25	千葉県教育委員会	中央	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
8/23	千葉県教育委員会	中央	2	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
10/21	千葉県教育委員会	行徳	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
11/10	千葉県教育委員会	行徳	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
2/8	千葉県教育委員会	中央	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
計	延べ 2 団体 14日 11人			

②広報委員会

ア. 図書館刊行物・ホームページの作成

図書館刊行物や図書館ホームページの編集及び作成を行った。また、「市川市立図書館メールマガジン」を月2回発行し、送信した。市川市の公式ホームページやFacebookにも記事を提供した。

(p. 65「10. 平成28年度事業概要(10) 図書館刊行物」を参照)

イ. マスコミへの情報提供

各新聞社(市役所記者クラブ)や地域のコミュニティペーパー・放送局への情報提供を行った。

昨年に引き続き、ケーブルテレビ(J:COM 市川)「デイリーニュース」内の図書館員がお勧めする本のコーナー「お探しの一冊がココにある～おすすめライブラリー」を担当し、12月まで毎月第1金曜日に放映された。

ウ. オリジナルグッズの配布・販売

図書館オリジナルエコバッグ・クリアファイルの販売は好調で、エコバックは、黒以外は完売となった。

2月に実施した図書館マナーキャンペーンで、昨年に引き続き、動植物園のコツメカワウソやレッサーパンダの写真にマナーのお願い文を記載した特製の葉と、特製のポケットティッシュを配布した。

エ. イベントの開催

鬼高さんしゃ祭や、企画課と連携の婚活イベント、ニッケコルトンプラザで行われたファミリーフェスタに参加した。

(p. 61「10. 平成28年度事業概要(7) 主催事業」

③その他イベントを参照)

③蔵書構成検討委員会

ア. 資料収集・蔵書構成に関する検討

- ・「平成28年度市川市図書館資料収集計画」を策定し、収集計画に基づいた資料収集を行なった。
- ・中央図書館では書架担当制とし、担当による資料の更新(買い換え、除籍等)を行った。
- ・個別検討が必要な資料についての対応
- ・雑誌の休廃刊に対する対応
- ・新刊書の購入に関する選書会議の実施(毎週)

イ. 資料費の配分と調整

- ・全館の資料費の配分計画を作成・執行
- ・資料費の執行庶務

ウ. 蔵書点検・館内整理の計画と実行

中央図書館では、毎月末の館内整理日のほか、6月と2月に特別休館期間を設け、蔵書点検、書庫資料の移動等を行った。

エ. 特集展示の計画の立案と実施

- ・特集展示は年間計画を立てて実施
- ・行政等他の部署との連携による展示や講演を行った。
- ・時節に臨機応変に対応した展示を実施
(年間の展示一覧は、p. 60「10. 平成28年度事業概要(7) ②特集展示」を参照)

④その他各団体委員

- ・千葉県公共図書館協会理事・児童奉仕研究委員会委員長 主幹1人
- ・千葉県公共図書館協会児童サービス研修委員会 職員1人
- ・千葉県公共図書館協会児童奉仕研究委員会 職員1人

(10) 図書館刊行物

	タイトル	形態	刊行頻度
①	市川市の図書館 2016	A 4・製本冊子	1回／年
②	市川図書館だより 第94号「図書館に“実物”が？博物館や市役所とのコラボレーション」 第95号「行徳図書館がリニューアル！ーより快適に、使いやすくー」 第96号「ご存知ですか？スマホ版ホームページ」 第97号「平成28年度図書館利用者アンケート実施報告」	A 4・1枚	4回／年
③	新・参考業務月報	A 4・1枚	1回／月
④	新・参考業務年報 2015年度	A 4・製本冊子	1回／年
⑤	Young Adult通信 第73号「世界とつながる」 第74号「色いろいろ」 第75号「お金」	A 4・1枚	3回／年
⑥	Young Adult通信 入門編	A 4・二つ折り	1回／年
⑦	Young Adult通信 号外 新生活応援号	A 4・三つ折り	1回／年
⑧	本のぼけっと 1・2年生におすすめする本 第29号 3・4年生におすすめする本 第29号 5・6年生におすすめする本 第29号	A 4・各1枚	1回／年
⑨	地域資料レファレンス 市川市ってどんな街？ 3. 市川市に関する浮世絵	A 3・二つ折り	随時
⑩	市川市中央図書館調べ案内 3. 日本の法令について調べるには（改訂） 6. 企業情報について調べるには 7. 鳥について調べるには 8. 文学賞について調べるには 9. 自分のルーツを調べる	A 4・各1枚	随時
⑪	各種利用案内（改訂版） 1-1. 利用案内 1-2. 各館案内 2. 本の返却ポストのご案内 2-2. 自動車図書館みどり号 3. 関連施設のご案内 4-1. 予約サービス案内 4-2. インターネットでの予約 4-3. 宅配サービスのご案内 4-4. 千葉商科大学付属図書館で予約図書を受け取るには・・・ 5-1. パスワード登録のご案内 5-2. メールアドレス登録のご案内 5-3. 新着図書検索お知らせメール（SDI） 6. 貸出状況確認と貸出延長のご案内 7. 資料検索ガイド 8. 著作権と複写サービス 9-1. 外部データベースとインターネット接続利用サービス 9-2. 館内インターネット接続利用サービス		

(11) 視察・講師派遣等

①視察

月 日	視 察 者	視察場所（目的）	人数
6／16（木）	絵本の勉強会 会員	こどもとしょかん（見学）	10
6／22（水）	東洋大学社会学部福祉学科3年生	生涯学習センター（社会教育計画論レポート提出のため）	1
8／24（水）	2016 国際学校図書館協会（IASL）東京大会参加者	図書館全般（児童・青少年サービスや読書活動推進に力を注ぐ図書館等を海外からの大会参加者に紹介するため）	43
8／30（火）	柏市立図書館	図書館全般（先進市図書館の見学及び今後の事業役割・方向性について）	4
10／5（水）	愛知県今治市議会 会派「政常会」	市川駅南口図書館（指定管理者による運営・イベント等の実施について）	3
11／9（水）	山口県柳井市	生涯学習センター（行政視察）	7
12／2（金）	福島県南相馬市	生涯学習センター（施設見学・中央図書館の概要及び取り組み事業について）	5
1／18（水）	香川県高松市議会教育民生常任委員会	生涯学習センター（学校図書館支援センター事業を中心とした子供読書活動の取り組みについて）	11
3／8（水）	国際子ども図書館	生涯学習センター（学習図書館と公共図書館間の連携実態について）	2

②講師派遣等

月 日	テーマ（講師）	集会名、主催団体等（講演場所）
7／7（木）	ノンフィクションの選書について (高柳公香)	平成28年度児童サービス基礎研修会 主催：千葉県立中央図書館 (千葉県立美術館)
10／21（金）	基調講演：図書館をめぐる動向 (叶多泰彦)	平成28年度図書館職員・図書館協議会委員合同研修会 主催：岩手県図書館協会・岩手県教育委員会 (岩手県立図書館)
10／25（火）	図書館政策の動向と図書館経営 (叶多泰彦)	2016年度中堅職員ステップアップ研修（1） 主催：日本図書館協会 (日本図書館協会)
1／28（土）	図書館員の仕事 (前越裕子)	第二中学校職業教室 (第二中学校)

(12) 市川市立図書館関係記事一覧

※市川市広報の記事は除く

①執筆記事

「タイトル」 執筆者 『掲載紙』 巻号 （出版社 刊行年） 掲載ページ
「日本図書館情報学会研究委員会編 『情報の評価とコレクション形成』」（書評・紹介） 叶多泰彦／著 『国文目白』No. 56（日本女子大学国語国文学会 2017.2）158-159 ページ

②図書館紹介記事（イベント以外）

記事見出しタイトル 【コラム名】 『掲載紙』 掲載年月日 巻号 （出版社 刊行年） 掲載ページ

行徳図書館

行徳図書館がさらに便利に使いやすく 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016年7月8日、1855号 1面

市川・行徳図書館 15 万冊の蔵書に I C タグ 『千葉日報』2016 年 7 月 18 日，統合地方版 6 面
市川市行徳図書館リニューアル 『市川よみうり』2016 年 8 月 6 日，1844 号 1 面
図書館に行こう 行徳図書館に注目 【こども特集】 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016 年 8 月 19 日，1860 号 2 面
初めてのリニューアル 市川市行徳図書館 【人をつなぐ未来へつなぐ <その 66>】 『市川よみうり』2016 年 9 月 24 日，1851 号 2 面
「行徳ママを応援！読書の秋は図書館に Go！」 【こども特集】 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016 年 10 月 14 日，1868 号 2 面

貸出ベスト

今年上半期、市内で人気だった本は？図書館の貸し出しベスト 20～一般書編～ 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016 年 7 月 22 日，1857 号 2 面 『いちかわ新聞』2016 年 7 月 29 日，643 号 2 面
今年上半期、市内で人気だった絵本は？図書館の貸し出しベスト 20～児童書編～ 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016 年 7 月 29 日，1858 号 2 面 『いちかわ新聞』2016 年 8 月 5 日，644 号 2 面
今年人気だった本は？市内図書館の貸し出しベスト 10 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016 年 12 月 16 日，1877 号 5 面 『いちかわ新聞』2016 年 12 月 23 日，663 号 4 面

その他

市川市被爆講話の DVD 製作 『市川よみうり』2016 年 6 月 4 日，1836 号 8 面
市川市在住の被爆体験者の話が DVD に 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016 年 8 月 5 日，1859 号 2 面
市川市の図書館に本 180 冊を寄贈 『市川よみうり』2017 年 1 月 28 日，1867 号 8 面

③イベント紹介記事

記事見出しタイトル 【コラム名】 『掲載紙』 掲載年月日 巻号 (出版社 刊行年) 掲載ページ

災害に備えよう一忘れまい震災を（行徳図書館特集展示） 2016 年 3 月～4 月

忘れまい大震災を！行徳図書館で特別企画展 『京葉タイムス』2016 年 4 月 3 日，718 号 7 面	※イベント告知
----------------------------------------------------------	---------

はるかぜえほんの会 4 月 23 日

子どもと本をつなぐ楽しい空間 こどもとしゃかん「はるかぜえほんの会」 『いちかわ新聞』2016 年 4 月 22 日，630 号 2 面	※イベント告知
-------------------------------------------------------------------------	---------

行徳図書館おはなし会 4 月 27 日

行徳図書館イベントおはなし会 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016 年 4 月 22 日，1844 号 5 面	※イベント告知
おはなし会 【情報スクランブル】 『市川よみうり』2016 年 4 月 23 日，1831 号 7 面	※イベント告知

行徳図書館えほんの会 5 月 11 日、18 日

行徳図書館えほんの会	※イベント告知
『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016 年 5 月 6 日，1846 号 12 面	
えほんの会・おはなし会 【いちかわネット】	
『月刊いちかわ』2016 年 5 月 1 日，5 月号 No.558 14 ページ	

緑のカーテンをつくろう！ 5月22日

緑のカーテンをつくろう！ 【ミニニュース】 『千葉日報』2016年5月20日，県西版8面	※イベント告知
緑のカーテンをつくろう！ 【情報スクランブル】 『市川よみうり』2016年5月21日，1834号 6面	※イベント告知

昔の世界にタイムスリップ・土器にさわってみよう 6月11日

こどもとしょかん昔の世界にタイムスリップ・土器にさわってみよう 【おでかけ情報】 『コミュニティペーパー行徳新聞』2016年6月3日，1850号 12面	※イベント告知
こどもとしょかん昔の世界にタイムスリップ・土器にさわってみよう 『いちかわ新聞』2016年6月10日，636号 2面	※イベント告知
昔の世界にタイムスリップ・土器にさわってみよう 【ミニニュース】 『千葉日報』2016年6月10日，県西版9面	※イベント告知
昔の世界にタイムスリップ 土器にさわってみよう 【情報スクランブル】 『市川よみうり』2016年6月11日，1837号 4面	※イベント告知

生きている虫が信篤図書館にやってくる！ 7月26日

市川「生きた虫捕りに“Go”」 『千葉日報』2016年7月27日号，県西版8面	※写真記事
--------------------------------------------	-------

小学生のためのこわいおはなし会 8月3日、10日、27日

小学生のためのこわいおはなし会 『月刊いちかわ』2016年8月1日，8月号 No.561 16ページ	
真っ暗な部屋でこわいおはなし 『毎日新聞』2016年8月4日，千葉版25面	※写真記事

みてみよう、ふれてみよう、虫のふしぎを調べよう！ 9月10日

みてみよう、ふれてみよう、虫のふしぎを調べよう！ 【情報スクランブル】 『市川よみうり』2016年9月3日，1848号 6面	※イベント告知
虫好き集まれ！触って、観察してみよう 『いちかわ新聞』2016年9月9日，648号 2面	※イベント告知
虫好き集まれ！触って、観察してみよう 『コミュニティペーパー行徳新聞』2016年9月9日，1863号 4面	※イベント告知

博物館学芸員によるギャラリートーク 9月

考古博物館所蔵の国分寺出土瓦やパネルの展示 【情報スクランブル】 『市川よみうり』2016年9月3日，1848号 6面	※イベント告知
----------------------------------------------------------------	---------

市川市中央図書館リサイクルブック市 10月22日

中央図書館イベント リサイクルブック市 『いちかわ新聞』2016年10月14日，653号 4面	※イベント告知
市川市中央図書館リサイクルブック市 【情報スクランブル】 『市川よみうり』2016年10月15日，1854号 5面	※イベント告知

秋空えほんの会 10月23日

中央図書館イベント 秋空えほんの会 『いちかわ新聞』2016年10月14日，653号 4面	※イベント告知
秋空えほんの会 【情報スクランブル】 『市川よみうり』2016年10月15日，1854号 5面	※イベント告知

いちかわファミリーフェスタ 2016 11月20日

楽しもう「家族の日」 いちかわファミリーフェスタ 2016 『コミュニティペーパー行徳新聞』2016年11月11日，1872号 8面	※イベント告知
-----------------------------------------------------------------------	---------

11月20日は「家族の日」 いちかわファミリーフェスタ 2016 『いちかわ新聞』2016年11月11日, 657号 2面	※イベント告知
------------------------------------------------------------------	---------

南行徳図書館えほんの会 12月18日

南行徳図書館 えほんの会 【図書館イベント】 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016年12月16日, 1877号 5面	※イベント告知
------------------------------------------------------------------	---------

行徳図書館おはなし会 12月21日

行徳図書館 おはなし会 【図書館イベント】 『コミュニティーペーパー行徳新聞』2016年12月16日, 1877号 5面	※イベント告知
-----------------------------------------------------------------	---------

新春企画「図書館員が選んだ本の福袋」 2017年1月

図書館「本の福袋」 『読売新聞』2017年1月7日, 10面	※写真記事
-----------------------------------	-------

田島征三さん講演会 4月9日

童話の作者からとっておきの話を聞く 『いちかわ新聞』2017年3月24日, 675号 3面	※イベント告知
--------------------------------------------------	---------

(13) 市川市立図書館関係テレビ番組一覧

J:COM 市川「マイタウンいちかわ」

放送日	放送内容
7/16 (土)	vol.16 特集「近くて便利 個性いろいろ地域の図書館」 行徳図書館 I C タグ蔵書管理システム セキュリティゲート 自動貸出機
8/20 (土)	vol.21 特集「夏に体験! ボランティア」 市川図書館友の会 中央図書館で配架作業 夏休み体験ボランティア
11/26 (土)	vol.35 ウィークリーヘッドライン「いちかわファミリーフェスタ 2016」 出張図書館 こどもとしょかんの司書が年齢別おすすめの図書紹介
3/4 (土)	vol.49 特集「地域の「和」と交流の拠点」 千葉商科大学×市川市 包括協定 千葉商科大学付属図書館市立図書館との利用提携

J:COM 市川「デイリーニュース」

放送日	放送内容
4/1 (金) 5/6 (金) 6/3 (金) 7/1 (金) 8/5 (金) 9/2 (金) 10/7 (金) 11/4 (金) 12/2 (金)	コーナー「お探しの一冊がココにある～おすすめライブラリー」
8/4 (木)	小学生のためのこわいおはなし会
12/19 (月)	チーバくんとぬいぐるみおとまり会 ぬいぐるみお迎え

11. 市川図書館友の会

F I L (Friends of ICHIKAWA LIBRARY)

①発足

平成6年9月18日

○行徳図書館（第19回）平成29年1月28日
行徳公民館3階レクリエーションホール
入場者490人

②目的

市川市中央図書館でのボランティア活動を通じて図書館と図書館員を応援し、人と人との触れ合いを目的とする。

3. 図書館見学会

平成29年2月15日八千代市立中央図書館
参加人数14人

③会員数

97人(平成29年4月1日現在)

4. 夏休み体験ボランティア講座

平成28年7月26日、27日、28日、30日、31日に中学生、高校生対象の体験ボランティアを実施。
参加人数28人

④役員（平成28年度）

会 長：椎名昭洋
副会長：尾高有子 橘智子
会 計：富田道子 関和子
監 事：平原俊材 藤井敏子

⑦日常活動

実践活動を円滑に運営するため、活動内容ごとに5つの部で構成されている。

⑤入会手続

会員資格 会の目的に賛同する人
会 費 ・個人会員 年額 1,000円
・賛助会員 年額 5,000円
特 典 一切なし

1. アレンジ部

返却された本の配架と書棚の整理作業を行っている。活動日数291日、延べ1,389人、1日平均4.8人。

2. レファ・サポート部

レファレンスカウンター等からの書庫出納と本の修理を行っている。活動日数196日、総活動時間691時間、月平均23人。

3. インフォメーション部

- ・新入会員、夏休み体験ボランティアへの案内。
- ・総会の司会とリサイクルブック市のアナウンスを担当。
- ・フロア案内を8月に実施。
- ・毎月第3水曜日に学習会を開催。

4. 広報部

- ・会報「F I L通信」85号、86号、87号を発行。
- ・「広報いちかわ」に募集告知を2回掲載。

5. 総務部

入会申込みと継続会費受付を毎月第1・第3日曜日に図書館入り口で行っている。
本年度新入会員受付は13人
内訳：4月1人、5月0人、6月2人、7月1人
8月3人、9月1人、10月1人、11月1人
12月3人、1月0人、2月0人、3月0人

⑥活動内容（平成28年度）

1. 図書館講座

○第1回図書館講座 平成28年6月4日
「新入会員基礎講座」
DVD「図書館の達人」視聴
会員による開架書庫の説明
参加人数8人

○第2回図書館講座 平成28年9月24日
「リニューアルした行徳図書館」
講師：行徳図書館主幹 浮ヶ谷隆一
参加人数20人

○第3回図書館講座 平成28年12月4日
第1部「バックヤードツアー」
講師：中央図書館主幹 山岸裕朋
参加人数20人
第2部「図書館とインターネット」
講師：中央図書館副主幹 富居隆之
参加人数21人

2. リサイクルブック市の運営と募金活動

○中央図書館（第23回）平成28年10月22日
グリーンスタジオ
入場者1,346人

12. 新聞・雑誌一覧

(1) 購入雑誌一覧

平成29年11月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
アイ	愛犬の友	誠文堂新光社	隔月刊	①							ウ-4	偶月 25日	
アイ	アイデア	誠文堂新光社	季刊	⑤							キ-1	3・6・9・12月10日	
アイ	AERA	朝日新聞出版	週刊	③		①					ア-2	毎週月曜日	
アイ	AERA with Kids	朝日新聞出版	季刊	③	②				③		イ-1	3・6・9・12月5日	
アイ	AERA with Baby	朝日新聞出版	隔月刊	③							イ-1	奇月 15日	16年4月号で休刊
アカ	赤ちゃん和妈妈	赤ちゃん和妈妈社	月刊	③							イ-1	毎月 25日	
アク	アクアライフ	エムビージェー	月刊	①							ウ-4	毎月 11日	
アク	アクセス	地方小出版流通センター	月刊	①							ア-1	毎月 1日	
アサ	アサヒカメラ	朝日新聞出版	月刊	◎		③					ウ-2	毎月 20日	
アサ	朝日ジャーナル	朝日新聞社	週刊	◎									92年5/29日号で休刊
アス	明日の友	婦人之友社	隔月刊		②				③			偶月 5日	
アニ	アニメージュ	徳間書店	月刊	③							エ-1	毎月 10日	
アネ	Ane Can	小学館	月刊						②			毎月 7日	16年12月号で休刊
アン	an・an	マガジンハウス	週刊	①		①					ア-3	毎週水曜日	
アン	&Premium	マガジンハウス	月刊	①							ア-3	毎月 20日	
アン	アントレ	リクルート	季刊	③							カ-2	3・6・9・12月27日	
イキ	いきいき	ユーリリーグ	月刊	①							ア-3	毎月 10日	16年5月よりハルメクへ変更
イコ	NHK囲碁講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
イツ	一個人	ベストセラーズ	月刊					①				毎月 10日	
イナ	田舎暮らしの本	宝島社	月刊	⑤							ア-5	毎月 3日	
ウア	25'ans	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 28日	
ウィ	We	フェミックス	隔月刊							◎		偶月 10日	
ウィ	with	講談社	月刊					①				毎月 28日	
ウィ	We learn	日本女性学習財団	月刊							◎		毎月 1日	
ウィ	WiLL(月刊ウィル)	ワック	月刊	③							ア-2	毎月 26日	
ウエ	WEDGE(ウェッジ)	ウェッジ	月刊						③			毎月 20日	
ウエ	Web designing	マイナビ出版	隔月刊	①							ケ-3	偶月 18日	
ウエ	VERY(ヴェリイ)	光文社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ウォ	VoCE(ヴォーチェ)	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 23日	
ウォ	VOLT	徳間書店	季刊						③			3・6・9・12月26日	14年11月号で休刊
ウシ	潮	潮出版社	月刊	③							ア-2	毎月 5日	
ウツ	美しいキモノ	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	季刊	③		③					ア-4	2・5・8・11月20日	
ウマ	UMA LIFE馬ライフ	メトロポリタンプレス	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
エイ	HR(エイチアール)	グラフィティ	隔月刊	①							エ-1	偶月 10日	
エイ	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊	③		①			②		ア-5	毎月 9日	
エキ	Expert Nurse	照林社	月刊						⑤			毎月 20日	
エウ	eclat(エクラ)	集英社	月刊						②			毎月 1日	
エコ	エコノミスト	毎日新聞社	週刊	③			①				カ-1	毎週月曜日	
エコ	The Economist [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週土曜日	
エス	SFマガジン	早川書房	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 25日	
エス	Esquire [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 28日	
エッ	ESSE	フジテレビジョン	月刊	①			①	①			ア-4	毎月 7日	
エム	MJ無線と実験	誠文堂新光社	月刊	①							ウ-3	毎月 10日	
エル	ELLE DÉCOR	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊			③			②			奇月 7日	
エン	園芸ガイド	主婦の友社	季刊	⑤							ウ-2	3・5・9・12月8日	
エン	演劇界	演劇出版社	月刊	◎							イ-2	毎月 5日	
オス	oz magazine	スターツ出版	月刊	①		①	①				ア-3	毎月 12日	
オソ	おそい・はやい・ひくい・たかい	ジャパンマシニスト社	隔月刊	◎		⑤					オ-1	奇月 25日	
オト	男の隠れ家	三栄書房	月刊	①							ア-4	毎月 27日	
オト	おとなの週末	講談社	月刊		①	①						毎月 15日	
オム	OHM	オーム社	月刊	③							キ-3	毎月 5日	
オル	オール讀物	文藝春秋	月刊	◎	①	①	①	①			ウ-6	毎月 22日	
オレ	オレンジページ	オレンジページ	月2回	①	①	①		①			ア-5	毎月2・17日	
オン	音楽の友	音楽之友社	月刊	③		③					ウ-5	毎月 18日	
カカ	化学	化学同人	月刊	③							キ-3	毎月 18日	
カカ	科学	岩波書店	月刊	③							ケ-2	毎月 28日	
カカ	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤							キ-3	毎月 1日	13年4月号から寄贈へ
カカ	かがくのとも	福音館書店	月刊	◎		◎	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
カク	岳人	ネイチュアエンタープライズ	月刊	③							イ-3	毎月 15日	
カサ	Casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊	③							ア-5	毎月 10日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
カソ	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊	③	②	③		②			イ-1	3・6・9・12月5日	
カッ	学校図書館	全国学校図書館協議会	月刊	◎							ア-1	毎月 7日	
カッ	CUT(カット)	ロッキング・オン	月刊				①					毎月 19日	
カツ	かつくら	新紀元社	季刊	⑤							エ-1	1・4・7・10月25日	13年春号より図書登録(桜雲社)
カツ	活字倶楽部	雑草社	季刊	⑤							エ-1	1・4・7・10月25日	12年冬号より「かつくら」へ変更
カテ	家庭画報	世界文化社	月刊	③		①					ア-3	毎月 1日	
カハ	ガバナンス	ぎょうせい	月刊	③							オ-3	毎月 1日	
カウ	月刊空手道&フルコンタクト	福昌堂	月刊	③							イ-4	毎月 27日	16年2月号で休刊
カン	考える人	新潮社	季刊	③							エ-3	1・4・7・10月4日	17年春号で休刊
カン	環境と公害	岩波書店	季刊	◎							キ-3	1・4・7・10月25日	
カン	がんサポート	エビデンス社	月刊						③			毎月 16日	16年6月号で休刊
カン	関東東北じやらん	リクルートホールディングス	月刊	①							ウ-1	毎月 1日	
キカ	機械技術	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 25日	
キキ	企業診断	同友館	月刊						⑤			毎月 27日	
キネ	キネマ旬報	キネマ旬報社	月2回	◎		③					イ-2	毎月 5・20日	
キャ	CAPA	学研パブリッシング/学研マーケティング(発売)	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
キャ	GALAC	放送批評懇談会	月刊	③							キ-1	毎月 6日	
キャ	Cancam	小学館	月刊			①						毎月 23日	
キョ	教育	かもがわ出版	月刊	◎							オ-1	毎月 10日	
キョ	教育ジャーナル	学研マーケティング	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
キョ	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊	①	①	①	①	①	②		イ-1	毎月 21日	
キョ	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
キル	キルトジャパン	日本ヴォーグ社	季刊	③							ア-5	3・6・9・12月の4日	
キン	銀花	文化出版局	季刊	◎							イ-2	2・5・8・11月25日	10年春号で休刊
キン	近代柔道	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
クウ	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊	③	②						ア-4	奇月 20日	
クウ	Good Housekeeping [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
クヨ	月刊クレーヨン	クレヨンハウス	月刊	③							イ-1	毎月 3日	
クラ	暮しの手帖	暮しの手帖社	隔月刊	◎	②	⑤	②	②			ア-4	奇月 25日	
クリ	COURIER JAPON	講談社	月刊	③					③		ア-2	毎月 25日	16年4月号で休刊
クル	月刊ぐるっと千葉	ちばマガジン	月刊	◎		①					ア-3	毎月 21日	
クレ	CREA	文藝春秋	月刊	①		①					ア-4	毎月 7日	
クレ	CREA TRAVELLER	文藝春秋	季刊	③			②				ウ-1	3・6・9・12月10日	
クロ	クロワッサン	マガジンハウス	月2回	①	①	①	①	①			ア-3	毎月10・25日	
クン	群像	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 7日	
ケア	ケアマネジャー	中央法規出版	月刊	③							ク-3	毎月 27日	
ケイ	ケイコとマナブ 首都圏版	リクルート	月刊	①							ア-3	毎月 25日	16年6月号で休刊
ケイ	経済界	経済界	月刊						③			毎月 22日	
ケイ	経済セミナー	日本評論社	隔月刊						③			奇月 27日	
ケイ	芸術新潮	新潮社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 25日	
ケイ	毛糸だま	日本ヴォーグ社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月5日	
ケテ	GOETHE(ゲーテ)	幻冬舎	月刊						②			毎月 24日	
ケン	現代思想	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ケン	現代詩手帖	思潮社	月刊	◎							エ-3	毎月 28日	
ケン	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	◎							ア-1	3・6・9・12月15日	
ケン	建築知識	エクスナレッジ	月刊	⑤							ク-1	毎月 20日	
ケン	建築文化	彰国社	隔月刊	◎							ク-1	隔月 25日	04年12月号で休刊
ケン	剣道日本	スキージャーナル	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
コウ	工業材料	日刊工業出版プロダクション/日刊工業新聞社(発売)	月刊	③							ク-1	毎月 15日	
コウ	航空情報	酣燈社	月刊	③							ウ-1	毎月 21日	
コウ	公募ガイド	公募ガイド社	月刊	①							ア-3	毎月 9日	
コカ	小型全国時刻表	交通新聞社	月刊		①							毎月 20日	
コク	国文学	学燈社	月刊	◎							エ-3	毎月 10日	09年7月号で休刊
コク	国語と国文学	東京大学国語国文学会	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	
コク	国文学解釈と鑑賞	ぎょうせい	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	11年10月号で休刊
コク	国文学 解釈と教材の研究	学燈社	月刊	◎							エ-3		09年7月で休止
ココ	こころの科学	日本評論社	隔月刊						③			偶月 25日	
コス	COSMOPOLITAN [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
コト	kotoba	集英社	季刊	⑤							ア-2	3・6・9・12月の6日	
コト	ことばの翼 詩歌句	北溟社	不定期	◎							エ-3	不定期	
コト	子どもと科学よみもの	科学読物研究会	月刊	◎							子供	毎月 1日	
コト	こどもとしゃかん	東京子ども図書館	季刊	◎		⑤					子供	1・4・7・10月20日	
コト	子どもと昔話	小澤昔ばなし研究所	季刊	◎							子供	1・4・7・10月20日	
コト	子供の科学	誠文堂新光社	月刊	③		③					子供	毎月 10日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
コト	こどもの図書館	児童図書館研究会	月刊	◎		⑤					子供	毎月 25日	行徳13年3月号で中止
コト	こどものとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(0・1・2)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(年少版)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤				子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(年中向き)	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
コト	月刊こどもの本棚	日本こどもの本研究会	月刊	◎							子供	毎月 15日	
コト	子どもの館	福音館書店	月刊	◎							子供		83年3月号で休刊
コト	こどもブティックCUCITO	ブティック社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月28日	14年秋号で休刊
コト	月刊子ども論	クレヨンハウス	月刊	◎							子供	毎月 26日	06年3月号で休刊
コハ	Cobalt	集英社	隔月刊	①		①					エ-1	偶月 1日	16年5月で休刊
コモ	Como	主婦の友社	季刊	③	①						イ-1	2・5・9・12月7日	17年夏秋号で休刊
コル	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	月刊	③		①					イ-4	毎月 21日	
コワ	碁ワールド	日本棋院	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	
サイ	CYCLE SPORTS	八重洲出版	月刊						③			毎月 20日	
サイ	saita	セブン&アイ出版	月刊	①	①						ア-3	毎月 7日	
サタ	THE TIMES MAGAZINE[英語]	THE TIMES	週刊	①							イ-5	毎週	新聞付録
サッ	SOCGER MAGAZINE ZONE	ベースボール・マガジン社	月刊	③		①					イ-4	毎月 24日	16年9月号より「サッカーマガジン」に改題
サツ	サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③		①					イ-4	毎月 24日	
サニ	THE21	PHP研究所	月刊	①							カ-1	毎月 10日	
サヒ	SAPIO	小学館	月刊			③						毎月 4日	
サフ	SURFIN' LIFE	DIVER株式会社	隔月刊	③							イ-3	偶月 10日	
サフ	Surftrip JOURNAL	樫出版社	年3回	③							イ-3	4・7・10月24日	
サラ	サライ	小学館	月刊	①		①	①				ア-2	毎月 10日	
サラ	サラサーテ	せきれい社	隔月刊	③							ウ-5	奇月 2日	
サン	サンキュ!	ベネッセコーポレーション	月刊	①		①					ア-3	毎月 2日	
サン	サンデー毎日	毎日新聞社	週刊	③	①						ア-2	毎週火曜日	
サン	3分クッキング	KADOKAWA	月刊	③							ア-5	毎月 16日	
サン	散歩の達人	交通新聞社	月刊	①	①						ウ-1	毎月 21日	
ジェ	JR時刻表	交通新聞社	月刊			①						毎月 20日	
ジェ	JJ	光文社	月刊	①							ア-4	毎月 23日	
ジェ	JTB時刻表	JTBパブリッシング	月刊	①			①	①	半年		ウ-1	毎月 20日	
ジェ	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊	①							エ-2	毎月 6日	
ジェ	JK Fan 空手道マガジン	チャンプ	月刊	③							イ-4	毎月 23日	
シカ	月刊自家用車	内外出版社	月刊	①							ウ-4	毎月 26日	
シキ	CQ ham radio	CQ出版社	月刊	①							ウ-3	毎月 19日	
シシ	CG(CAR GRAPHIC)	カーグラフィック	月刊				①					毎月 1日	
シゼ	しぜん	フレーベル館	月刊	◎							子供	毎月 1日	13年3月号で中止
シソ	思想	岩波書店	月刊	◎							エ-3	毎月 29日	
シテ	CDジャーナル	音楽出版社	月刊	①							ウ-5	毎月 20日	
シト	児童心理	金子書房	月刊	③							オ-1	毎月 12日	
シナ	シナリオ	シナリオ作家協会	月刊	◎							イ-2	毎月 3日	
シヤ	月刊社会教育	国土社	月刊	◎							オ-1	毎月 18日	
シヤ	社会教育	日本青年館「社会教育」編集部	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
シヤ	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊	①							ウ-5	毎月 23日	
シヤ	JAPAN FITNESS	ジャパンフィットネス	月刊	③							イ-3	毎月 28日	
シユ	週刊朝日	朝日新聞出版	週刊	③		①		①			ア-2	毎週火曜日	
シユ	週刊金曜日	金曜日	週刊	①		①					ア-2	毎週金曜日	
シユ	週刊新潮	新潮社	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	①		①		①	①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊プロレス	ベースボール・マガジン社	週刊	③							イ-4	毎週水曜日	
シユ	週刊文春	文藝春秋	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週水曜日	
シユ	自遊人	自遊人	季刊			③						3・6・9・12月26日	
シユ	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊	⑤							ク-1	偶月 19日	
シユ	住民と自治	自治体研究社	月刊	③							オ-3	毎月 11日	
シユ	出版ニュース	出版ニュース社	旬刊	③							ア-1	毎月1・11・21日	
シユ	月刊ジュニアエラ	朝日新聞出版	月刊		③							毎月 15日	
シユ	JUNON	主婦と生活社	月刊			①						毎月 23日	
シユ	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ウ-2	毎月 21日	
シユ	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	月刊	③	①						ウ-2	毎月 21日	
シユ	ジュリスト	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
シヨ	NHK将棋講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
シヨ	将棋世界	日本将棋連盟	月刊	①		①					ウ-4	毎月 3日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
シヨ	商業界	商業界	月刊						③			毎月 1日	
シヨ	小説現代	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説新潮	新潮社	月刊	◎	①	①		①			ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説推理	双葉社	月刊	◎							ウ-6	毎月 27日	
シヨ	小説すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 17日	
シヨ	小説宝石	光文社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シヨ	情報の科学と技術	情報科学技術協会	月刊	◎							ア-1	毎月 1日	
シヨ	女性展望	市川房枝記念会	隔月刊							◎		毎月 10日	
シヨ	初等教育資料	東洋館出版社	月刊	⑤							オ-1	毎月 28日	13年3月号で中止
シヨ	乗馬ライフ	ウイズファクトリー トロポリタンプレス(発売)	月刊	③							イ-3	毎月 25日	16年11月号からUMA LIFEへ変更
シン	Think !	東洋経済新報社	不定期						⑤			1・4・7・10月25日	15年AUTUMNで中止
シン	新建築	新建築社	月刊	⑤							ク-1	毎月 1日	
シン	新潮	新潮社	月刊	◎		③			①		ウ-6	毎月 7日	
シン	新潮45	新潮社	月刊	③							ア-2	毎月 18日	
シン	新電気	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 1日	
シン	新聞ダイジェスト	新聞ダイジェスト社	月刊	③							カ-1	毎月 15日	17年5月号で休刊
シン	人民画報[中国語]	人民画報社 輸入元:穂高書店	月刊	③							イ-5	毎月 1日	14年12月号で中止
スイ	SWIMMING MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-3	毎月 11日	
スウ	数学セミナー	日本評論社	月刊	③							エ-2	毎月 12日	
スウ	数理科学	サイエンス社	月刊	③							エ-2	毎月 20日	
スキ	SKI GRAPHIC	芸文社	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
スク	SCREEN	近代映画社 ジャパンプリント(発売)	月刊	①							イ-2	毎月 21日	
ステ	すてきにハンドメイド	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
ステ	Stereo	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 19日	
スト	STRIKER DX	学研マーケティング	季刊	③							子供	3・6・9・12月12日	
スト	STORY	光文社	月刊	①	①	①					ア-3	毎月 1日	
スハ	すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 6日	
スホ	Sports Graphic Number	文藝春秋	隔週刊	③		①			①		イ-3	隔週木曜日	
スホ	Sumai 住まいの設計	扶桑社	隔月刊	⑤		③					ア-5	奇月 21日	
スマ	smart	宝島社	月刊	①							エ-1	毎月 24日	
スミ	墨	芸術新聞社	隔月刊	◎							イ-2	奇月 1日	
スモ	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 28日	
セイ	税理	ぎょうせい	月刊	③							カ-2	毎月 20日	
セイ	清流	清流出版	月刊	②							ア-4	毎月 1日	
セイ	正論	産経新聞社	月刊	③							ア-2	毎月 1日	
セカ	世界	岩波書店	月刊	◎		③					ア-2	毎月 8日	
セツ	設備と管理	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 11日	
セフ	SEVENTEEN	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
セン	選択	選択出版	月刊	⑤							ア-2	毎月 1日	
セン	宣伝会議	宣伝会議	月刊						③			毎月 1日	
ソウ	装苑	文化出版局	月刊	③		①					ア-5	毎月 28日	
ソウ	壮快	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ソト	ソトコト	木楽舎	月刊	⑤							ア-4	毎月 5日	
ソフ	Software Design	技術評論社	月刊	①							ケ-3	毎月 18日	
タイ	大法輪	大法輪閣	月刊	◎							エ-3	毎月 8日	
タイ	DIME	小学館	月刊	①		①					ア-4	毎月 16日	
タイ	TIME アジア版[英語]	輸入元:タイムインク社	週刊	③		①					イ-5	毎週火曜日	
タイ	ダイヤモンド ZAi	ダイヤモンド社	月刊	①		①			②		カ-2	毎月 21日	
タウ	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊	◎	①			①			ア-1	毎月 6日	
タウ	たくさんのふしぎ	福音館書店	月刊	◎		⑤		⑤			子供	毎月 3日	南行徳13年4月号で中止
タザ	Tarzan	マガジンハウス	月2回	①							イ-4	第2・4木曜日	
タツ	卓球王国	卓球王国	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
タツ	Touchdown	タッチダウン	月刊	③							イ-4	毎月 30日	16年10月号で休刊
タヒ	旅の手帖	交通新聞社	月刊	①	①	①		①			ウ-1	毎月 10日	
タマ	たまごクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	
タン	短歌	KADOKAWA	月刊	◎							エ-3	毎月 25日	
タン	ダンスファン	白夜書房	月刊	③							イ-3	毎月 27日	17年12月号で休刊
タン	DANCE MAGAZINE	新書館	月刊	③							イ-2	毎月 27日	
タン	dancyu	プレジデント社	月刊	③		①					ア-5	毎月 6日	
チイ	ちいさい・おおきい・よわい・つよい	ジャパンマシニスト社	季刊	◎	②	⑤					イ-1	1・4・7・10月25日	
チイ	ちいさなかがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤		⑤			子供	毎月 3日	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	毎月 29日	
チハ	Chiba Walker(千葉ウォーカー)	KADOKAWA	隔週刊	◎							ア-3	隔週火曜日	09年4月号で休刊
チホ	地方史研究	岩田書院	隔月刊	③							オ-2	偶月下旬	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
チホ	地方自治	ぎょうせい	月刊	◎							オ-3	毎月 5日	
チャ	チャイルドヘルス	診断と治療社	月刊						⑤			毎月 1日	
チャ	CHANTO	主婦と生活社	月刊	①		①					ア-3	毎月 7日	
チュ	中央公論	中央公論新社	月刊	◎		③					ア-2	毎月 10日	
チュ	中等教育資料	ぎょうせい	月刊	⑤							オ-1	毎月 28日	13年3月号で中止
チリ	月刊地理	古今書院	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
チリ	治療	南山堂	月刊	⑤					⑤		ク-3	毎月 1日	駅南13年3月号で中止
チル	チルチンびと	風土社	季刊	⑤							ア-5	3・6・9・12月11日	
ツク	創	創出版	月刊	◎							ア-2	毎月 7日	
ツリ	つり人	つり人社	月刊	①		①					ウ-2	毎月 25日	
テア	テアトロ	カモミール社	月刊	◎							イ-2	毎月 13日	
ティ	DVD&ブルーレイで一た	KADOKAWA	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	
ティ	ディテール	彰国社	季刊	③							ク-1	3・6・9・12月15日	
テツ	鉄道ジャーナル	鉄道ジャーナル社	月刊	①							ウ-1	毎月 21日	
テツ	鉄道ピクトリアル	電気車研究会	月刊			①						毎月 20日	
テツ	鉄道ファン	交友社	月刊	③							子供	毎月 21日	
テニ	Tennis Magazine	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
テレ	TVガイド 関東版	東京ニュース通信社	週刊	①							ウ-3	毎週水曜日	
テン	点字ジャーナル	東京ヘレン・ケラー協会	月刊	①							障害	毎月 25日	
テン	天然生活	地球丸	月刊			③	①					毎月 20日	
テン	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	③							ク-2	毎月 5日	
トウ	Tokyo Walker	KADOKAWA	月刊	①							ア-3	毎月 20日	
トウ	東京カレンダー	東京カレンダー	月刊						②			毎月 21日	
トウ	東京人	都市出版	月刊	③							ア-2	毎月 3日	
トウ	陶磁郎	双葉社	季刊	◎							イ-2	不定期	06年48号で休刊
トウ	ドゥーパ!	学研マーケティング	隔月刊						③			奇月 8日	
トウ	陶遊	新企画出版局	隔月刊	◎							イ-2	奇月 25日	12年2月号で休刊
トク	特選街	マキノ出版	月刊	①				①			ア-4	毎月 3日	
トク	特別支援教育研究	東洋館出版社	月刊	◎							オ-1	毎月 28日	
トシ	図書館界	日本図書館研究会	隔月刊	◎							ア-1	奇月 17日	
トシ	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	◎							ア-1	毎月 22日	
トブ	飛ぶ教室	光村図書出版	季刊	◎							子供	1・4・7・10月25日	13年SPRINGより図書登録
トホ	土木技術	土木技術社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	
トラ	ドライバー	八重洲出版	月刊		①							毎月 20日	
トラ	トランジスタ技術	CQ出版社	月刊	③							キ-2	毎月 10日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月下旬	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版	日経ナショナルジオグラフィック	月刊	③							ク-2	毎月 30日	
ナシ	NURSING	学研メディカル秀潤社	月刊	③							ク-3	毎月 20日	
ニコ	nicola(ニコラ)	新潮社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
ニッ	日経アーキテクチュア	日経BP社	月2回	⑤							ク-1	毎月10・25日	
ニッ	日経WOMAN	日経BP社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ニッ	日経エンタテインメント!	日経BP社	月刊			①						毎月 4日	
ニッ	日経おとなのOFF	日経BP出版センター	月刊				①		②			毎月 6日	
ニッ	日経会社情報	日本経済新聞社/日本経済新聞出版社(発売)	季刊	⑤							カ-2	3・6・9・12月15日	17.2春号で休刊
ニッ	日経コミュニケーション	日経BP社	月刊	①							ケ-5	毎月 1日	17年7月号で休刊
ニッ	日経コンピュータ	日経BP社	隔週刊	①							ケ-4	隔週末曜日	
ニッ	日経サイエンス	日経サイエンス	月刊	③		③					ク-2	毎月 25日	
ニッ	日経ソフトウェア	日経BP社	隔月刊	①							ケ-2	奇月 24日	
ニッ	日経デザイン	日経BP社	月刊	③							キ-1	毎月 24日	
ニッ	日経トップリーダー	日経BP社	月刊	①							カ-1	毎月 1日	
ニッ	日経TRENDY	日経BP社	月刊	①		①	①				カ-1	毎月 4日	
ニッ	日経パソコン	日経BP社	月2回	①							ケ-4	第2・4月曜日	
ニッ	日経PC21	日経BP社	月刊	①		①	①	①	①		ケ-2	毎月 24日	
ニッ	日経ビジネス	日経BP社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
ニッ	日経ビジネスAssocie'	日経BP社	月刊		①	①		①				毎月 10日	
ニッ	日経ヘルス	日経BP社	月刊	①				①			イ-1	毎月 2日	
ニッ	日経マネー	日経BP社	月刊	①	①	①	①				カ-1	毎月 21日	
ニッ	日経メディカル	日経BP社	月刊						③			毎月 10日	
ニホ	日本カメラ	日本カメラ社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ニホ	日本古書通信	日本古書通信社	月刊	③							ア-1	毎月 15日	
ニホ	日本児童文学	日本児童文学者協会/小峰書店(発売)	隔月刊	◎							子供	奇月 9日	
ニホ	日本の参考図書:四季版	日本図書館協会	季刊	◎							図書	1・4・7・10月	
ニホ	日本の美術	ぎょうせい	月刊	◎							イ-2	毎月 12日	11年10月号で休刊
ニホ	日本歴史	吉川弘文館	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ニユ	Newsweek 日本版	阪急コミュニケーションズ	週刊	③		①					ア-2	毎週火曜日	
ニユ	月刊Newsがわかる	毎日新聞社	月刊	◎		③					エ-1	毎月 15日	
ニユ	Newtype	KADOKAWA	月刊			③						毎月 10日	
ニユ	Newton	ニュートンプレス	月刊	◎		①					ク-2	毎月 26日	
ニユ	THE NEW YORKER [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週木曜日	14年3月31日号で中止
ネイ	nature [英語]	輸入元:OCS	週刊	⑤							イ-5	毎週木曜日	13年3月28日号で中止
ネコ	猫びより	辰巳出版	隔月刊	①							ウ-4	偶月 12日	
ネハ	ネバーランド	てらいんく	不定期	◎							子供	2・5・8・11月5日	10年Vol.14で中止
ネン	ねんきん生活。	主婦と生活社	季刊					③				1・4・7・10月15日	15年5月号で休刊
ノジ	ノジュール(nodule)	JTBパブリッシング	月刊			③						毎月 28日	
ノマ	ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月 1日	
ノン	non・no	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 20日	
ハイ	Hi Wind	マリン企画	季刊	③							イ-3	3・6・9・12月5日	16年7月号で休刊
ハイ	俳句	KADOKAWA	月刊	◎		③					エ-3	毎月 25日	
ハイ	BiCYCLE CLUB	樫出版社	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	
ハウ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊	③							カ-1	毎月 10日	
ハウ	HOUSING	リクルート	月刊	⑤			①	①			ア-5	毎月 21日	
ハス	HERS	光文社	月刊	①							ア-4	毎月 12日	
ハス	バスケットボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ハッ	パッチワーク通信	パッチワーク通信社	隔月刊	③							ア-5	偶月 22日	15年6月号で休刊
ハッ	B=PASS	シンコーミュージック・エンタテイメント	月刊	①							エ-1	毎月 27日	
ハト	鳩よ!	マガジンハウス	月刊	◎							エ-3		02年5月号で休刊
ハド	Badminton MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
ハナ	Hanako	マガジンハウス	月2回	①				①			ア-3	第2・4木曜日	
ハナ	花時間	KADOKAWA	季刊	③							ア-3	3・6・9・12月7日	15年7月号で休刊
ハハ	母の友	福音館書店	月刊	◎		①	①		②		子供	毎月 3日	
ハヤ	ハヤカワミステリマガジン	早川書房	隔月刊	◎		①					ウ-6	奇月 25日	
ハル	ハルメク	ハルメク	月刊	①							ア-3	毎月 10日	
ハレ	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ハン	判例時報	判例時報社	旬刊	◎							オ-3	毎月1・11・21日	
ハン	判例タイムズ	判例タイムズ社	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
ハン	バンドジャーナル	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 10日	
ビシ	Business i. ENECO	日本工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	
ビシ	ビジネスチャンス	ビジネスチャンス	隔月刊						③			偶月 22日	
ビシ	ビジネス法務	中央経済社	月刊						⑤			毎月 21日	
ビシ	美術手帖	美術出版社	月刊	◎							イ-2	毎月 17日	
ビツ	BIG tomorrow	青春出版社	月刊						③			毎月 25日	
ビツ	Hit&Run	ベースボール・マガジン社	不定期	③							子供	不定期	
ビテ	ビデオSALON	玄光社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ビハ	BE-PAL	小学館	月刊	③		①					イ-3	毎月 10日	
ビフ	Pee Boo	ブックローン社	季刊	◎							子供		98年30号で休刊
ビロ	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	
ビラ	ひらがなタイムズ [英語]	ヤック企画	月刊	③							イ-5	毎月 20日	
フォ	Forbes Japan	プレジデント社	月刊	①							カ-1	毎月 25日	
フク	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊	③							ク-3	毎月 9日	
フシ	婦人画報	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
フシ	婦人公論	中央公論新社	月2回	③	①	①	①	①			ウ-6	第2・4火曜日	
フシ	婦人之友	婦人之友社	月刊	③							ウ-6	毎月 12日	
フラ	FRaU	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 12日	
フラ	プラス1リビング	主婦の友社	季刊	⑤	①						ア-5	3・6・9・12月7日	
フリ	BRIDGE	ロッキング・オン	不定期	③							ウ-5	不定期	15年6月号80号で中止
フル	フルコンタクトKARATE	福昌堂	月刊	③							イ-4	毎月 23日	15年7月から「月刊空手道」と統合
フル	BRUTUS	マガジンハウス	月2回			①						毎月1・15日	
フル	プレジデント	プレジデント社	月2回	①			①		①		カ-1	第2・4月曜日	
フル	PRESIDENT WOMAN	プレジデント社	月刊	①					①		ア-3	毎月 7日	
フル	プレジデント Family	プレジデント社	季刊	③			②		②		イ-1	3・6・9・12月5日	
フル	Pre-mo	主婦の友社	季刊			①						1・4・7・10月15日	
フル	プレーン	宣伝会議	月刊	③							キ-1	毎月 1日	
フロ	フローリスト	誠文堂新光社	月刊	③							ウ-2	毎月 8日	
フン	文学	岩波書店	隔月刊	◎							エ-3	奇月 25日	16年11・12月号で休刊
フン	文学界	文藝春秋	月刊	◎							エ-3	毎月 7日	
フン	文藝	河出書房新社	季刊	◎							ウ-6	1・4・7・10月7日	
フン	別冊文藝春秋	文藝春秋	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 8日	15年3月号で休刊
フン	文藝春秋	文藝春秋	月刊	◎	①	③	①	①	①		ア-2	毎月 10日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ブン	文藝春秋SPECIAL	文藝春秋	季刊	⑤							ア-2	2・5・8・11月26日	17年秋号で休刊
ベース	Baseball Clinic	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-1	毎月 17日	
ベビ	Baby-mo	主婦の友社	季刊			①		①				3・6・9・12月15日	
ペン	pen	阪急コミュニケーションズ	月2回	③							ア-4	毎月1・15日	
ボイ	Voice	PHP研究所	月刊	①							ア-2	毎月 10日	
ボウ	法学教室	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 28日	
ボウ	法学セミナー	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 12日	
ボウ	訪問看護と介護	医学書院	月刊	⑤							ク-3	不定期	
ボウ	法律時報	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 27日	
ボク	ボクシングマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ボス	月刊BOSS	経営塾	月刊						③			毎月 22日	
ホビ	Hobby JAPAN	ホビージャパン	月刊	①							ウ-3	毎月 25日	
ホーム	HOMES & GARDENS [英語]	輸入元:紀伊國屋書店	月刊	③							イ-5	毎月 10日	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	毎月 25日	16年5月から寄贈へ変更
ホン	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	③		①					ア-1	毎月 10日	
マイ	毎日が発見	KADOKAWA	月刊	①				①			ア-3	毎月 28日	
マッ	Mac Fan	マイナビ	月刊	①							ケ-1	毎月 29日	
マト	Mart	光文社	月刊	①				①	③		ア-4	毎月 28日	
マリ	Marine Diving	水中造形センター	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
ミセ	ミセス	文化出版局	月刊	①	①		①				ア-3	毎月 7日	
ミセ	ミセスのスタイルブック	文化出版局	季刊	③							ア-5	2・4・6・10月12日	
ミタ	三田文学	三田文学会	季刊	◎							エ-3	1・4・7・10月の11日	
ミミ	MIMI	全日本ろうあ連盟	季刊	③							ク-3	3・6・9・12月15日	
ミュ	ミュージカル	ミュージカル社	隔月刊	①							イ-2	奇月 5日	
ミョ	Myojo	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 23日	
ミン	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	◎							ア-1	毎月 10日	
ムジ	MUSICA	FACT	月刊	①							ウ-5	毎月 15日	
メ	目の眼	目の眼	月刊	◎							イ-2	毎月 1日	
メフ	メフィスト(小説現代別冊)	講談社	年3回	◎							ウ-6	不定期	16年Vol.1で休刊
メン	MEN'S EX	世界文化社	月刊			①						毎月 6日	
メン	MEN'S CLUB	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 24日	
メン	MEN'S NON・NO	集英社	月刊	①							ア-4	毎月 10日	
モア	MORE	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 28日	
モエ	MOE	白泉社	月刊	③		①					エ-1	毎月 3日	
モタ	Motorcyclist	八重洲出版	月刊	③							ウ-4	毎月 1日	
モタ	別冊MOTOR CYCLIST	八重洲出版	隔月刊	③							ウ-4	偶月 15日	15年5月号で休刊
モタ	Motor Magazine	モーターマガジン社	月刊	③		③					ウ-4	毎月 1日	
モタ	モダンリビング	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 7日	
モノ	monoマガジン	ワールドフォトプレス	月2回	①							ア-4	毎月2・16日	
モン	文部科学時報	ぎょうせい	月刊	⑤							オ-1	毎月 25日	12年3月号で休刊
ヤサ	やさしい畑	家の光協会	隔月刊	③							ウ-2	奇月 3日	
ヤマ	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	③		①					イ-3	毎月 15日	
ユウ	ゆうゆう	主婦の友社	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
ユホ	ゆほびか	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ユリ	ユリイカ	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ヨウ	幼稚園	小学館	月刊	①							子供	毎月 1日	
ヨム	yomyom	新潮社	季刊	◎							ウ-6	2・5・8・11月1日	17年冬号で休刊
ライ	light&life	東京ヘレン・ケラー協会	月2回	①							障害	毎月1・15日	
ラク	ラグビーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ラン	ランナーズ	アールビーズ	月刊	③		①					イ-3	毎月 22日	
ラン	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	月刊						③			毎月 22日	
リー	LEE	集英社	月刊			①	①	①			ア-3	毎月 7日	
リカ	RikaTan理科の探検	SAMA企画 文理(発売)	隔月刊	③							ク-2	偶月 26日	
リク	月刊陸上競技	講談社	月刊	③							イ-4	毎月 14日	
リタ	READER'S DIGEST[英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 5日	
リュ	留学ジャーナル	留学ジャーナル	季刊	③							エ-2	3・6・9・12月の10日	
リョ	旅行読売	旅行読売出版社	月刊	①							ウ-1	毎月 28日	
レキ	歴史街道	PHP研究所	月刊		①	①						毎月 6日	
レキ	歴史人	ベストセラーズ	月刊	③							オ-2	毎月 6日	
レキ	歴史読本	KADOKAWA	季刊	③							ウ-6	1・4・7・10月6日	15年秋号で休刊
レコ	レコード芸術	音楽之友社	月刊	③							ウ-5	毎月 20日	
レタ	レタスクラブ	KADOKAWA	月刊	①			①				ア-5	毎月 25日	
ロッ	Rockin' on	ロッキング・オン	月刊			①						毎月 1日	
ロッ	ROCKIN' ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	①							エ-1	毎月 30日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ワラ	和楽	小学館	隔月刊	③		③					ア-3	奇月 1日	
ワソ	ワンダーフォーゲル	山と溪谷社	年6回						③			奇月 10日	

購入タイトル数	386	331	36	106	37	38	43	3
---------	-----	-----	----	-----	----	----	----	---

注1:所蔵館名欄○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。
 注2:配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。
 注3:網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

(2) 寄贈雑誌一覧

平成29年11月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
アウ	あうる	図書館振興財団	季刊	◎							ア-1	12年冬号より「図書館の学校」に変更
アフ	aff(農林水産省広報誌)	農林水産省	月刊	①			○				キ-1	
イイ	月刊いちかわ	(株)エピック	月刊	①登		◎登					ア-2	
ウオ	Voters	明るい選挙推進協会	隔月刊	②							オ-3	
ウマ	馬の科学	日本中央競馬会競走馬総合研究所	季刊	②							イ-3	
エシ	ACE 建設業界	日本建設業連合会	月刊	①							ク-1	
エス	ESTRELA	統計情報研究開発センター	月刊	①							オ-2	
エヌ	NABAニュース・レター	NABA	不定期							○		
エネ	エネルギーレビュー	エネルギーレビューセンター	月刊	②							キ-2	
エフ	FFIジャーナル 食品・食品添加物研究誌	FFIジャーナル編集委員会	季刊	②							キ-2	
エマ	エマック(EMAC)	日本財団学生ボランティアセンター	年4回	②							オ-2	Vol.9で休刊
カカ	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤登							キ-3	
カク	学遊園	丸善	半年刊	◎登							オ-1	07年26号で休刊
カワ	河	河発行所	月刊	◎登							エ-3	
カン	環境儀	国立環境研究所	季刊	③							キ-3	
カン	季刊 環境研究	日立財団	季刊	◎登							キ-3	17年3月号で休刊
キョ	行政&情報システム	行政情報システム研究所	隔月刊	①							オ-2	
キョ	月刊 京都	白川書院	月刊	②登							ウ-1	
クラ	くらし塾きんゆう塾	金融広報中央委員会	季刊	②							カ-2	
クロ	クローバー	ジェイ・ブロード	年3回	③登							ク-3	
コウ	公営企業	地方財務協会	月刊	①							オ-3	
コウ	航空と文化	日本航空協会	年2回	②							キ-1	
コウ	皇室	扶桑社	季刊	③登							オ-2	
コウ	交通科学	交通科学研究会	年2回	③							キ-1	
コウ	広報	日本広報協会	月刊	①							オ-2	
コウ	高齢社会をよくなる女性の会会報	高齢社会をよくなる女性の会	隔月刊							○		
コク	国土交通	国土交通省	隔月刊	②							キ-1	
コク	国立国会図書館月報	国立国会図書館	月刊	◎登							ア-1	
コヒ	Coffee Break	全日本コーヒー協会	年2回	③							キ-2	
コヒ	コピライト	著作権情報センター	月刊	◎							ア-1	13年3月号で寄贈中止
コミ	The Community	第一生命財団	年2回	②							ア-2	
コリ	Koreana	韓国国際交流財団	季刊	②							オ-3	
サイ	菜果フォーラム	日本青果物輸入安全推進協会	年4回	②							キ-1	
サナ	サ～ナ sana	イフ	不定期	②登							ク-3	
サブ	SUBWAY	日本地下鉄協会	年4回	②							キ-1	
シヴ	Civil Engineering Consultant	建設コンサルタンツ協会	季刊	③							ク-1	
シチ	自治体国際化フォーラム	自治体国際化協会	月刊	②			○				オ-2	
シテ	city & life	第一生命財団	年3回	②							オ-3	
シニ	しにか	大修館書店	月刊	◎							オ-2	04年3月号Vol.15で休刊
シホ	司法の窓	最高裁判所	不定期	⑤							オ-3	
シャ	JAXA's	宇宙航空研究開発機構	隔月刊	③							ク-2	
シャ	シャープ技報	シャープ株式会社研究開発本部	年2回	②							キ-2	15年3月号で休止
シャ	JAF Mate	JAF	月刊	①							ウ-4	
シュ	首都高	首都高速サービス推進協会	季刊	②							キ-1	
シュ	春秋	春秋社	月刊	◎登							ア-1	
ショ	食品安全	内閣府食品安全委員会	年4回	②							キ-2	
ショ	書齋の窓	有斐閣	隔月刊	◎登		①	○				ア-1	
シン	人民日報(海外版日本月刊)	日本新華僑通信社	月刊	①							オ-3	
シン	心理臨床の広場	日本心理臨床学界	年2回	③							ク-3	
セイ	青春と読書	集英社	月刊	◎登							ア-1	
セカ	世界と議会	尾崎行雄記念財団	年3回	①							オ-3	
ソウ	創文	創文社	季刊	◎登							ア-1	
ソウ	総務省広報誌	総務省	月刊	②			○				オ-2	
ソハ	蕎麦春秋	リベラルタイム出版社	季刊	②登							カ-1	
タノ	たのくら	明光企画	月刊			◎登						07年12月で休刊
タハ	食べもの通信	食べもの通信社	月刊	①							キ-2	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	16年5月号で寄贈中止・購入へ

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
チュ	中国図書	内山書店	月刊	◎							ア-1	12年2月号で休刊
ツウ	通信文化	通信文化協会	月刊	①							キ-2	
ツハ	翼の王国	ANA「翼の王国」編集部	月刊	①							ウ-1	
テン	電撃文庫MAGAZINE	KADOKAWA	月刊	①登							エ-1	
トウ	とうきょうの地域教育	東京都教育委員会	隔月刊	②							オ-1	
トク	TALK TALK	経心会	年刊	②							ア-2	
トシ	図書	岩波書店	月刊	◎登	○	①	○				ア-1	
トシ	図書館の学校	図書館振興財団	季刊	◎登							ア-1	
ト	都道府県展望	全国知事会	月刊	◎							ア-2	11年3月号で休刊
ナミ	波	新潮社	月刊	◎登							ア-1	
ニチ	にちぎん	日本銀行	季刊	②							カ-2	
ニツ	日経情報ストラテジー	日経BP社	月刊						①登			16年5月号で寄贈中止
ニュ	THE NEW YORKER [英語]	CONDE NAST PUBLICATIONS	週刊	③							イ-5	
ノン	のんびる	パルシステム生活協同組合連合会	月刊	①登							ア-4	
ハイ	俳句界	文学の森	月刊	③登							エ-3	
ハワ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊						①登			17年3月号で寄贈中止
ハウ	ハウジング・トリビューン(Housing Tribune)	創樹社	月2回	①							ク-1	
ハス	Her Story	世界平和女性連合	月刊	②							オ-2	
ハッ	はっぴーママ	明光企画	隔月刊	②登		◎登					イ-1	13年9・10月より「ママともぐらす」へ変更
ファ	ファイナンス	財務省	月刊	①							カ-2	
フィ	Fishing Cafe	シマノ	年3回	②登			○				ウ-2	
フト	武道	日本武道館	月刊	①登							イ-4	
ホウ	法苑	新日本法規出版	年3回	②							オ-3	
ホウ	防災ニュース	日本防災協会	年4回	②							オ-2	
ホウ	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	②							オ-2	
ホウ	ほうてらす	日本司法支援センター(法テラス)本部	季刊	②							オ-3	
ホス	Hostelling Magazine	日本ユースホステル協会	季刊	②							ウ-1	
ホーム	ホームエコノミストワイズ	山雄	月刊	①							ア-3	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	
ホン	本が好き!	光文社	月刊	◎							ア-1	10年1月号で休刊
ホン	本郷	吉川弘文館	隔月刊	◎登		①					ア-1	
ホン	本の旅人	角川書店	月刊	◎登							ア-1	
ホン	本の話	文藝春秋	月刊	◎							ア-1	11年10月号で休刊
ママ	ママともぐらす	明光企画	隔月刊	②登		◎登					イ-1	
マモ	MAMOR	扶桑社	月刊	②登							オ-2	
ミス	みすず	みすず書房	月刊	◎登							ア-1	
ミス	mr partner for real life	ミスター・パートナー	隔月刊	②登					②登		ア-3	
ミス	水とともに	水資源機構	月刊	①							ク-1	
ミト	緑と水のひろば	東京都公園協会	季刊	②			○				ウ-1	
ミラ	未来	未来社	季刊	◎登							ア-1	
ミラ	未来へげんき	日本原子力研究開発機構	季刊	②							キ-3	
ミル	ミルククラブ	中央酪農会議	季刊	②							キ-1	
ミン	みんてつ	日本民営鉄道協会	季刊	②							キ-1	
ミン	みんなの生涯学習	東京都教育庁	季刊	②							オ-1	14年8月号より「とうきょうの地域教育」へ変更
ムン	mundi	国際協力機構	月刊	②							オ-3	
ユビ	UP	東京大学出版会	月刊	◎登							ア-1	
ラメ	ラ・メール(LA MER)	日本海事広報協会	隔月刊	②							キ-1	17年3-4月号で休刊
リハ	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	②登							カ-1	
レキ	歴史研究	歴研	月刊	①							オ-2	
レキ	歴博	国立歴史民俗博物館	隔月刊		○	◎登	○					
ロウ	労働判例	産労総合研究所	月2回	◎登							オ-3	

寄贈雑誌タイトル数 90 87 2 6 8 0 1 2

注1: 所蔵館名○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。「登」は所蔵登録あり。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けは休刊、中止を示す。

(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧

平成29年4月1日現在

	タイトル	発行機関	配架・分類※
1	アエルデ(浦安・行徳)	株)スターツ	製本登録(I/A7)
2	赤レンガ通信	赤レンガをいかす会	黄ファイル(I/A6)
3	あしなみ(葦波)	市川市少年センター	緑ファイル
4	あっさり君:浦安市郷土博物館ニュース	浦安市郷土博物館	ピンクファイル
5	eパートナーちば	ちば県民共生センター	青ファイル
6	いちかわ 商工会議所報	市川商工会議所	緑ファイル
7	市川市医師会会報	市川市医師会	図書登録(I/P5)
8	いちかわ市議会だより	市川市議会	BOX(いちかわ市議会だより)
9	いちかわ市史編さんだより	市川市史編纂室	緑ファイル
10	いちかわし農業委員会だより	市川市農業委員会	緑ファイル
11	いちかわ白ばら:せんきよ	市川市明るい選挙推進協議会・市川市選挙管理委員会	緑ファイル
12	市川図書館だより	市川市中央図書館	緑ファイル(I/R1)
13	いちかわ夢マガジン:市川市メールマガジン	市川市	緑ファイル(I/F5)
14	市川よみうり	市川よみうり新聞社	BOX(市川よみうり)
15	いちぼ:いちかわのボランティアNPO情報誌	市川市市民部ボランティア・NPO課	緑ファイル(I/N0)
16	生命のにぎわいとつながり: 生物多様性ちばニュースレター	千葉県環境生活部自然保護課	青ファイル
17	Event Guide:市川市文化振興財団の催し物案内	市川市文化振興財団	緑ファイル
18	West Wind:メディアセンター報	和洋女子大学メディアセンター	黄ファイル
19	West Library(千葉県立西部図書館だより)	千葉県立西部図書館	青ファイル
20	SSU市川会報	SSU市川	黄ファイル
21	江戸川	江戸川を守る会	図書登録(C20.02/S9)
22	FIL通信	市川市図書館友の会	緑ファイル(I/R1)
23	沖	沖発行所	BOX(沖)
24	思いやり交通千葉	千葉県交通安全対策推進委員会	青ファイル
25	かいづか	市川市博物館友の会	緑ファイル
26	かずさDNA研究ニュースレター	かずさDDNA研究所	BOX(かずさDNA研究ニュースレター)
27	学校図書館支援センター通信(ネット配信)	市川市学校図書館支援センター	図書登録(I/Q4)
28	鎌ヶ谷市史研究	鎌ヶ谷市教育委員会	図書登録(C22.4)
29	かわらば〜ん!	ASA	黄ファイル
30	瓦版 大木戸:千葉県立房総のむら館報	千葉県立房総のむら	青ファイル
31	監査結果	千葉県	青ファイル(C10/F7)
32	監査結果の報告について	市川市監査委員会	緑ファイル(I/F7)
33	企業情報	千葉県中小企業振興センター	青ファイル(C10/K5)
34	教育いちかわ(ネット配信)	市川市教育委員会	BOX(市川市役所教育委員会)
35	教育広報夢気球	千葉県教育委員会	青ファイル
36	行政監査の結果に基づく措置結果	千葉県	青ファイル(C10/F7)
37	行徳文化ホールI&I イベントカレンダー	行徳文化ホールI&I	BOX(行徳文化ホールI&I)
38	クオリティライフいちかわ(ネット配信)	市川市市民生活課	緑ファイル
39	Green Port Report	成田国際空港株式会社	BOX
40	京成らいん	京成電鉄	BOX(京成らいん)
41	芸文協ちば	千葉県芸術文化団体協議会	青ファイル
42	京葉タイムズ	有)行徳ニュース	BOX(京葉タイムズ)
43	月刊いちかわ	エピック社	BOX(月刊いちかわ)
44	県警からのお知らせ	千葉県読売防犯協力会	青ファイル
45	けんこうChiba	ちば県民保健予防財団	青ファイル
46	県水だより	千葉県水道局	BOX(県水だより)
47	考古・歴史博物館だより(ネット配信)	市川市立考古博物館/歴史博物館	緑ファイル
48	国府台経済研究	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
49	広報いちかわ	市川市	専用ファイル(I/F5)
50	国際交流つうしん	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
51	国際交流伝言板	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
52	こちら119番	市川市消防局	緑ファイル
53	kototoi(1~4号)で終了	菊谷文庫	図書登録(I/A2)
54	コミサポだより/コミュニティサポートだより	コミュニティーサポート委員会	緑ファイル
55	コミュニティーペーパーいちかわ新聞	株)明光企画	BOX(コミュニティペーパー市川新聞)
56	コミュニティークラブ遊びの情報	市川市教育委員会地域教育課	緑ファイル
57	コミュニティーペーパー行徳新聞	行徳新聞社(明光企画)	BOX(コミュニティペーパー行徳新聞)
58	コルトン ハビネス プレス	ニッケコルトンブラザ	黄ファイル
59	しいむじな: 房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター	房総の山のフィールド・ミュージアム	青ファイル
60	CUC:View & Vision	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)

	タイトル	発行機関	配架・分類※
61	C'n	千葉市美術館	ピンクファイル
62	JICAシニアボランティア千葉	千葉県JICAシニアボランティアの会	黄ファイル
63	市史研究いちかわ	市川市役所	図書登録(I/B0)
64	自然通信	自然通信社	製本棚へ(1部のみのため)
65	City Voice :市川の街から	市川市	製本登録(I/F5)
66	写真で綴る千葉県の百年	京葉銀行	専用ファイル(C10/C1)
67	淑徳大学アーカイブズ・ニュース	淑徳大学アーカイブズ	黄ファイル
68	じゅんかんニュース(ネット配信)	市川市環境清掃部	緑ファイル
69	情報紙一寸法師	読売新聞一寸法師事務局	黄ファイル
70	昭和学院短期大学紀要	昭和学院短期大学	図書登録(I/Q3)
71	市川自然博物館だより	市立市川市自然博物館	緑ファイル
72	新・参考業務月報	市川市中央図書館	ファイル(I/R1)
73	新樹	中津攸子	図書登録(I/A5)
74	すずがも通信:行徳野鳥観察舎友の会会報	行徳野鳥観察舎の会	緑ファイル
75	瀬流	三番瀬フォーラム	製本(1991-2003)
76	千本銀杏	風の会	BOX(市川市内その他)
77	たかつぼ通信: 大利根 川のフィールドミュージアムレター	千葉県立中央博物館大利根分館	青ファイル
78	楽しい働き方暮らし方 (ワークライフバランスを進める情報誌)		BOX(千葉県内その他)
79	地域新聞 市川北部版(553~)	地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
80	地域新聞 市川中央版(533~)	(株)地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
81	地域新聞 中山版(541~)	(株)地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
82	地域新聞 本八幡版(533~)	地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
83	地域新聞 八幡北版(533~)	(株)地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
84	知識は旅をする(千葉県立東部図書館だより)	千葉県立東部図書館	青ファイル
85	ちばNPO・ボランティア活動ニュースレター	千葉県環境生活部	青ファイル
86	ちば魚~きんぐ	京葉銀行	専用ファイル(C10/L3)
87	千葉が語る日本一	京葉銀行	専用ファイル(C10/A0)
88	ちば経済季報	千葉経済センター	BOX(ちば経済季報)
89	千葉県議会時報	千葉県議会事務局	図書登録(C10/H5)
90	ちば県議会だより	千葉県議会	BOX(千葉県議会だより)
91	千葉県行政関係資料(新着案内)	千葉県文書館行政資料室	青ファイル
92	千葉県財政事情	千葉県	青ファイル(C10/G2)
93	千葉県史研究	千葉県史料研究財団	図書登録(C10/B0)
94	千葉県職員措置請求の監査結果の公表	千葉県	青ファイル(C10/F7)
95	千葉県生物多様性センター研究報告	千葉県環境生活部自然保護課	図書登録(C10/U6)
96	千葉県毎月常住人口調査	市川市総務部	青ファイル(I/M2)
97	ちば県民だより	千葉県総合企画部	BOX(ちば県民だより)
98	千葉県立中央図書館だより	千葉県立中央図書館	青ファイル(C10/R3)
99	千葉県立中央博物館研究報告 人文科学	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
100	千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
101	中央博物館だより(千葉県立中央博物館)	千葉県立中央博物館	青ファイル10/R3(51~)
102	ちば里山新聞	ちば里山センター	黄ファイル
103	千葉市史編さんだより	千葉市史編さん担当	ピンクファイル
104	千葉生物誌	千葉県生物学会	図書登録(C10/U6)
105	ちばの統計	千葉県総合企画部統計課	青ファイル(C10/M1)
106	ちばの博物館	千葉県博物館協会	青ファイル
107	千葉文化(千葉県立中央図書館報)	千葉県立中央図書館	青ファイル
108	ちばまなびの森	千葉市生涯学習センター	ピンクファイル
109	中央学院大学社会システム研究所紀要	中央学院大学社会システム研究所	図書登録(C22.1/Q3)
110	中央学院大学商経論叢	中央学院大学商学部	図書登録(C22.1/Q3)
111	中央学院大学人間・自然論叢	中央学院大学商学部・法学部	図書登録(C22.1/Q3)
112	町丁別世帯人口表	市川市	緑ファイル(I/M2)
113	定年時代ー千葉版ー	朝日新聞編集センター	BOX(定年時代)
114	鉄道で行く千葉	京葉銀行	専用ファイル(C10/C1)
115	都市計画道路3・4・18号ニュース紙(ネット配信)	市川市道路交通部	緑ファイル(I/S2)
116	利根川文化研究	利根川文化研究会	図書登録(C20.05)
117	なかやま	中山法華経寺	黄ファイル
118	中山参道どっと混む	千葉商科大学	図書登録(I/C1)
119	夏休み体験ボランティア	市川市	緑ファイル(I/N0)
120	なのはな通信	なのはなメイト	BOX(なのはな通信)
121	成田山仏教研究所紀要	成田山仏教研究所	図書登録(C23.2)
122	ニューライフ千葉	千葉県広報協会	製本登録(C10/A5)
123	干潟を守る	千葉の干潟を守る会	ファイル綴り(I/T0)

	タイトル	発行機関	配架・分類※
124	ひまわり倶楽部	ちばざん総合研究所	BOX(千葉県内その他)
125	史	現代史懇話会	図書登録(I/A5)
126	ふみくら	千葉市文庫連絡協議会	黄ファイル
127	ふれあい:市川市子ども会・育成会だより	市川市子ども会育成会連絡協議会	緑ファイル
128	文通	小泉文人後援会 千葉県議会議員	BOX(議会・議員・選挙)
129	ヘルシースクールだより(ネット配信)	市川市教育委員会保健体育課	緑ファイル/電子文書
130	房総芸文協	房総芸術文化協会	図書登録(C21.1/R0)
131	房総大地のめぐみ	京葉銀行	専用ファイル(C10/L1)
132	房総の郷土史	千葉県郷土史研究連絡協議会	図書登録(C10/B0)
133	房総の文化財	千葉県教育振興財団	青ファイル
134	房総文化	和洋女子大学房総文化研究所	図書登録(I/Q3)
135	ほくそう	北総鉄道	BOX
136	まいたうん:市川・本八幡版	加藤新聞舗	BOX(まいたうん市川・本八幡)
137	槇:文学同人誌	文学グループ槇の会	図書登録(C34.1/W0)
138	真木(千葉県俳句作家協会会報)	千葉県俳句作家協会事務局	青ファイル
139	松戸史談	松戸史談会	図書登録(C22.8/A6)
140	真間:季刊→2009霜月で休刊	真間山弘法寺	製本登録(I/X3)
141	ママとも+ふらす 東京ベイ・千葉	㈱明光企画	BOX(ママとも+)
142	ミーティアムガイド:市川市公民館主催講座情報	市川市教育委員会公民館センター	BOX(ミーティアムガイド)
143	みどりのふおーらむ:市川緑の市民フォーラム会報	市川緑の市民フォーラム	黄ファイル
144	みどりの道:外環千葉県区間情報誌	国土交通省関東地方整備局	BOX(みどりの道)
145	ミュージアムレター	文学ミュージアム	BOX(ミュージアムレター)
146	みる つくる かたる:千葉県立美術館報	千葉県立美術館	青ファイル
147	ミレニアム	社)千葉県医師会	BOX(ミレニアム)
148	UNESCOいちかわ	市川市ユネスコ協会	黄ファイル
149	読売地域防犯ニュース	読売新聞	黄ファイル
150	LOUNGE ラウンジ	千葉銀行広報室	BOX(Lounge)
151	例月出納検査結果の報告について	市川市監査委員	緑ファイル(I/F7)
152	歴博	国立歴史民俗博物館	BOX(歴博)
153	わが街中山	中山町会「中山の歴史」編集部会	図書登録(I/C1)
154	和洋教育	和洋国府台女子中学校・高等学校	図書登録(I/Q3)
155	和洋女子大学、和洋女子短期大学関係	和洋女子大学・和洋女子短期大学	BOX(和洋女子大/和洋女子短大)
156	和洋女子大学紀要	和洋女子大学	図書登録(I/Q3)

注1:配架分類欄の色は分類しているファイルの色を示す。(緑:市川市 青:千葉県 ピンク:県内他市町村 黄:団体・民間施設)

(4) 新聞ほか一覧

平成29年11月1日現在

ヨミ	タイトル	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南
アサ	Asahi Weekly[英語]	○					
アサ	朝日新聞	◎	○	◎	○	○	○
アサ	朝日中高生新聞	○					
オヤ	おやばと(寄贈)	○		①			
カン	官報	⑤		⑤			
キャ	Campus Scope(寄贈)	○					
コウ	高校生新聞(寄贈)	○					
コウ	公明新聞	○					
サン	産経新聞	○		○			
サン	サンケイスポーツ			○			
シャ	社会新報	○					
シャ	The Japan Times[英語]	○		○			
シュ	週刊読書人	○					
シュ	自由民主	○					
シン	しんぶん赤旗	○					
シン	人民日報 海外版[中国語]	○					
スホ	スポーツニッポン	○					
セイ	政府刊行物新聞(寄贈)	○					
タイ	The Times [英語]	○					
チハ	千葉県報(寄贈)	⑤		①	①	①	①
チハ	千葉日報	◎		○			○
チュ	中小企業振興(寄贈)						①
テン	点字毎日	○					
トウ	東亜日報 日本版[韓国語]	○					
トウ	東京新聞	○		○			
ニッ	日刊工業新聞	○					
ニッ	日刊スポーツ	○	○	○	○	○	
ニッ	日経ヴェリタス	○					○
ニッ	日経産業新聞	○					
ニッ	日経MJ(流通新聞)	○					
ニホ	日本経済新聞	◎	○	○	○	○	○
ニュ	The New York Times[英語]	○		○			
フク	福島民報(寄贈)	○					○
フク	福島民友(寄贈)	○					○
マイ	毎日小学生新聞	○					
マイ	毎日新聞	◎		○			
ミン	MINSHIN Press(寄贈)	○					
ユエ	USA TODAY [英語]	○					
ヨミ	読売新聞	◎	○	○	○	○	○

注1: 所蔵館名欄 ◎縮刷版あり ○所蔵あり ①1年保存 ⑤5年保存

注2: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

保存状況

新聞原紙

中央(原則として1年)

平田・行徳・信篤・南行徳(6ヶ月)

駅南(3ヶ月)

※朝日新聞、読売新聞、毎日新聞の地方版のみ新聞原紙

中央: 平成22年1月～所蔵

「萬朝報」 明治25年11月～大正9年12月
「日本」 明治22年2月～明治39年6月

マイクロフィルム * 現在閲覧休止

「千葉日報」 昭和32年～平成7年

「市川市民新聞」 昭和27年～昭和42年

「京葉新聞」 昭和43年～平成13年

「京葉子ども新聞」昭和40年～昭和56年

「朝日新聞縮刷版」

「朝日新聞縮刷版復刻版」

中央: 明治21年7月～

欠号: 昭和13年1～2月

欠号: 昭和14年9月

欠号: 昭和15年5月

欠号: 昭和27年11月

欠号: 昭和29年4月

欠号: 昭和30年12月

欠号: 昭和31年3月, 5～12月

欠号: 昭和34年11月

欠号: 昭和35年11月

欠号: 昭和39年10月

欠号: 昭和41年8月

欠号: 昭和45年11月

欠号: 昭和49年6月, 8月

欠号: 昭和50年2月

行徳: 昭和57年3月～

「読売新聞縮刷版」

昭和33年9月～

欠号: 昭和41年8月

「読売新聞縮刷版復刻版」

昭和20年1月～昭和23年12月

「毎日新聞縮刷版」

昭和32年11月～12月

昭和56年3月～昭和59年12月

平成20年1月～

「日本経済新聞縮刷版」

昭和52年1月～昭和54年12月

昭和55年4月～

「千葉日報縮刷版」(平成16年4月～CD-ROM化)

昭和52年4月～平成16年3月

欠号: 昭和60年7月 欠号: 昭和63年7月

欠号: 昭和61年7月 欠号: 平成元年7月

欠号: 昭和62年7月

「千葉日報製本版」

平成16年4月～12月

「千葉日報原紙」

平成17年1月～

13. 条例・規則等

○市川市立図書館の設置及び管理に関する条例

平成20年12月12日

条例第39号

改正 平成23年12月 7 日 条例第45号

市川市立図書館設置条例（昭和39年条例第47号）の全部を改正する。

（設置）

第 1 条 本市は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書館を設置する。

（名称及び位置等）

第 2 条 図書館の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名称	位置
市川市行徳図書館	市川市末広1丁目1番31号
市川市信篤図書館	市川市高谷1丁目8番1号
市川市南行徳図書館	市川市相之川1丁目2番4号
市川市市川駅南口図書館	市川市市川南1丁目10番1号

2 前項に定めるもののほか、本市に市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「生涯学習センター条例」という。）に基づき、市川市中央図書館を設置する。

（平23条例45・一部改正）

（事業）

第 3 条 図書館においては、法第3条各号に掲げる事項を実施する。

（館外貸出しを受けることができるもの）

第 4 条 法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会が適当と認めるものは、この限りでない。

（館外貸出しの登録）

第 5 条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ教育委員会の登録を受けなければならない。ただし、生涯学習センター条例第10条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平23条例45・一部改正）

（登録の申請等）

第 6 条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の申請をしなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請をしたものが第4条に規定するものであるときは、その登録をするもの

とする。

3 教育委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第9条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第7条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第8条 教育委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第4条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第5条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第9条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（生涯学習センター条例第11条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 教育委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

(1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。

(2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(3) 生涯学習センター条例第14条第2項第2号に該当するとき。

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第10条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び生涯学習センター条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第11条 図書館資料のうち貴重図書その他教育委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(開館時間)

第12条 図書館の開館時間は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。
ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
市川市行徳図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後5時）まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	午前9時30分から午後5時まで
市川市市川駅南口図書館	午前9時30分から午後9時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで

(休館日)

第13条 図書館の休館日は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
市川市行徳図書館及び市川市市川駅南口図書館	1 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） 2 毎月末日（その日が1に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） 3 1月1日から同月4日まで 4 12月28日から同月31日まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	1 月曜日 2 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） 3 毎月末日（その日が1若しくは2に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1及び2に掲げる日、日曜日並びに土曜日以外の日） 4 1月2日から同月4日まで 5 12月28日から同月31日まで

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館を利用するもの（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が図書館の施設、附属設備又は図書館資料（以下「施設等」という。）を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他図書館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(損害賠償)

第15条 施設等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第16条 教育委員会は、市川市市川駅南口図書館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 法第3条各号（第5号を除く。）に掲げる事項を行うこと。
- (2) 図書館利用券を交付し、及び再交付すること。
- (3) 館外貸出しの承認を行うこと。
- (4) 入館を禁じ、及び退館を命ずること。
- (5) 施設等の維持管理（軽微なものに限る。）を行うこと。

(6) その他前各号に掲げる業務を行うに当たり必要な行為をすること。

- 3 指定管理者が行う市川市市川駅南口図書館の管理の基準は、市川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年条例第2号）に定めるもののほか、第4条、第6条第3項及び第4項並びに第9条から第14条までに定めるところによる。この場合において、これらの規定の適用については、第4条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第6条第3項本文中「教育委員会は、登録」とあるのは「指定管理者は、教育委員会が登録」と、同条第4項中「教育委員会に」とあるのは「指定管理者に」と、第9条及び第10条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第12条ただし書及び第13条ただし書中「教育委員会が必要と認める」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得た」と、第14条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）第2条第1項、第12条及び第13条の規定（市川市市川駅南口図書館に係る部分に限る。）並びに第16条の規定は、同月30日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市立図書館設置条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、新条例第5条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、新条例第6条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

〇市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成21年 3 月31日
教育委員会規則第 6 号

改正 平成23年 3 月25日教委規則第 2 号
平成24年 3 月14日教委規則第 2 号
平成28年 3 月31日教委規則第 5 号

市川市立図書館規則（平成 6 年教育委員会規則第11号）の全部を改正する。

（趣旨）

第 1 条 この規則は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（運営状況の評価等）

第 1 条の 2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 追加）

（蔵書の構築）

第 2 条 教育委員会は、図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 教育委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適応するか否かを調査し、適合すると認めたときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 教育委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 一部改正）

（館内利用）

第 2 条の 2 教育委員会は、図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 追加）

（レファレンスサービス）

第 3 条 教育委員会は、図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他教育委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 教育委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 教育委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第 2 項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

（平24教委規則 2 ・ 一部改正）

（登録の申請等）

第 4 条 条例第 6 条第 1 項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を教育委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書（様式第 1 号）

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書（様式第2号）及び団体構成員名簿（様式第3号）

2 前項の場合において、当該申請をするもの（団体にあっては、その代表者）は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため教育委員会が適当と認める書類（本市に勤務し、又は通学する者において、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため教育委員会が適当と認める書類）を提示しなければならない。

3 前2項の規定は、条例第5条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第6条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第5条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。

4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第5条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

（平23教委規則2・一部改正）

（登録の実施）

第5条 条例第6条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿（様式第4号）に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

(1) 住所及び氏名（団体にあっては、その名称及び代表者の氏名）

(2) 登録年月日及び登録番号

（図書館利用券）

第6条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券（様式第5号）とする。

（図書館利用券の再交付の申請）

第7条 条例第6条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

(1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書（個人用）（様式第6号）

(2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書（団体用）（様式第7号）

（変更の届出）

第8条 条例第7条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書（様式第8号）

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書（様式第9号）

（図書館資料の貸出しの予約等）

第9条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、教育委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 教育委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則2・追加）

（図書館資料の複製等）

第10条 教育委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

(平24教委規則2・旧第9条繰下)

(障害者サービス)

第11条 条例第6条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

(指定管理者による管理)

第12条 指定管理者が市川市市川駅南口図書館の管理を行う場合におけるこの規則の規定の適用については、第2条の2、第3条、第7条、第9条及び第10条第1項から第3項までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平24教委規則2・旧第10条繰下・一部改正)

(補則)

第13条 この規則に定めるもののほか、市川市立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

附 則 (平成28年3月31日教育委員会規則第5号)

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

平成6年9月28日

条例第22号

改正 平成15年6月25日 条例第42号
平成17年9月22日 条例第38号
平成19年12月20日 条例第44号
平成20年12月12日 条例第40号
平成23年12月7日 条例第45号
平成25年3月25日 条例第20号
平成28年9月28日 条例第40号

(設置)

第1条 本市は、市民が生涯にわたって学習する機会を広く提供することにより、市民の生涯学習の振興及び普及を図るため、生涯学習センターを設置する。

(名称及び位置)

第2条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市生涯学習センター

位置 市川市鬼高1丁目1番4号

(事業)

第3条 生涯学習センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習支援体制の整備充実に関すること。
- (3) 生涯学習のための指導者及び助言者の養成及び研修に関すること。
- (4) その他生涯学習の振興及び普及を図るために必要な事項に関すること。

(施設等)

第4条 前条の事業を行うため、生涯学習センターに次の表の左欄に掲げる施設を置き、各施設の主な業務は、同表の右欄に定めるとおりとする。

施設名	業務
市川市中央図書館	図書館法（昭和25年法律第118号）第3条各号に掲げる事項に関すること。
市川市文学ミュージアム	(1) 文学、映像等に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 (2) 文学、映像等の調査研究に関すること。 (3) 文学、映像等に係る講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 施設及び附属設備の利用に関すること。
市川市教育センター	(1) 教育課程の調査研究に関すること。 (2) 教育関係職員の研修に関すること。 (3) 教育関係資料及び情報の収集、作成及び提供に関すること。 (4) 教育相談に関すること。
市川市中央こども館	(1) 児童の健全な遊びの指導に関すること。 (2) 児童の健康増進の指導に関すること。 (3) 児童の生活相談に関すること。 (4) 子育てを支援するものと児童との交流を図ることその他児童の健全な育成に関すること。 (5) 児童厚生員及び遊びの指導者等の養成に関すること。

2 市川市文学ミュージアム（以下「文学ミュージアム」という。）は、次に掲げるもので構成する。

- (1) 通常展示フロア
- (2) 企画展示室
- (3) グリーンスタジオ（控室を含む。）
- (4) ベルホール

- (5) 文学研修室
- (6) 映像メディア編集室
- (7) アナウンスブース
- (8) 音楽スタジオ
- (9) 資料室

3 市川市教育センター（以下「教育センター」という。）に所長その他の必要な職員を置く。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（運営）

第5条 生涯学習センターは、生涯学習センターを構成する各施設相互の連携を図ることにより、生涯学習に関する総合施設として有機的に運営されなければならない。

（使用することができるもの）

第6条 市川市中央こども館（以下「中央こども館」という。）を使用することができるものは、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者並びにこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用の許可等）

第7条 文学ミュージアム（第4条第2項第2号から第8号までに掲げるものに限る。以下この条、次条第1項、第20条及び第21条第1項において同じ。）を使用しようとするものは、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないことができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用しようとするものが営利を目的として使用するおそれがあるとき。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第21条第1項第6号において「暴力団」という。）の利益になるとき。
- (5) その他文学ミュージアムの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

3 中央こども館を使用しようとするものは、規則で定める名簿に住所、氏名その他規則で定める事項を記入しなければならない。

4 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館を使用させないことができる。

- (1) 中央こども館を使用しようとするものがその事業に係る目的に適合しない目的で中央こども館を使用しようとするとき。
- (2) 中央こども館を使用しようとするものが前条第2項に規定するものに該当しないとき。
- (3) 中央こども館を使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (4) 中央こども館を使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (5) その他中央こども館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

5 市長は、文学ミュージアムの管理運営上必要があると認めるときは、第1項の許可について条件を付けることができる。

（平17条例38・全改、平19条例44・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用料）

第8条 前条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するもの及び市が行う特別の企画による展示を観覧する者は、市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に定める使用料を納めなければならない。

2 中央こども館の使用料は、無料とする。

3 生涯学習センターの自動車駐車場（以下「駐車場」という。）を使用するものは、市川市使用料条例に定める使用料を納めなければならない。ただし、次に掲げる自動車を駐車する場合については、この限りでない。

- (1) 道路交通法（昭和35年法律第105号）第39条第1項に規定する緊急自動車
- (2) 身体障害者、知的障害者又は精神障害者が乗車している自動車
- (3) 市が主催する講座、講演会、研修会等において講師を務める者が乗車している自動車
- (4) 市川市中央図書館（以下「中央図書館」という。）、中央こども館等においてボランティア活動を行う者

が乗車している自動車

(5) その他使用料を徴収する必要がないものとして市長が特に認める自動車

4 前項の使用料は、自動車が駐車場から出場する際に、駐車場を使用したものから徴収する。

(平15条例42・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正)

(館外貸出しを受けることができるもの)

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料(以下「図書館資料」という。)の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めるものは、この限りでない。

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(館外貸出しの登録)

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例(平成20年条例第39号。以下「図書館条例」という。)第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録(以下「登録」という。)の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(登録の申請等)

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例(平成16年条例第37号)第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード(第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。)の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(変更の届出)

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

(平20条例40・追加)

(登録の取消し)

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第9条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録(第10条第3項の登録の更新を含む。)を受けたとき。

(平20条例40・追加)

(館外貸出しの承認等)

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（図書館条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。
- (3) 図書館条例第9条第2項第2号に該当するとき。

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(館外貸出しを受けることができる図書館資料等)

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び図書館条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(館外貸出しの制限)

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(開館時間)

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
中央図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後6時）まで
文学ミュージアム	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで。ただし、第4条第2項第9号に掲げるものにあつては、午前10時から午後5時までとする。
教育センター	午前10時から午後5時まで
中央こども館	午前10時から午後6時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後5時）まで

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(休館日)

第18条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に

定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
中央図書館、文学ミュージアム及び中央こども館	(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） (2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） (3) 1月1日から同月4日まで (4) 12月28日から同月31日まで
教育センター	(1) 月曜日 (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日） (4) 1月2日から同月4日まで (5) 12月28日から同月31日まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（駐車場の供用日等）

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあっては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

（平20条例40・追加）

（使用権の譲渡等の禁止）

第20条 第7条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するものは、その使用する権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第9条繰下、平25条例20・一部改正）

（使用の停止等）

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、文学ミュージアムの使用を停止し、使用の許可を取り消し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 文学ミュージアムを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。
- (5) 文学ミュージアムを使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) 暴力団の利益になるとき。
- (7) その他文学ミュージアムの管理運営上支障があるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館の使用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 中央こども館を使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 中央こども館を使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 中央こども館を使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 中央こども館を使用するものが使用の際に指示された事項に違反したとき。
- (5) 中央こども館を使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) その他中央こども館の管理運営上支障があるとき。

（平15条例42・平17条例38・平19条例44・一部改正、平20条例40・旧第10条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正）

(入館の制限等)

第22条 委員会又は市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、生涯学習センターを利用する者(第1号及び第2号において「利用者」という。)に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他生涯学習センターの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第11条繰下・一部改正)

(駐車の拒否等)

第23条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車が駐車場の施設、設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第19条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

(平20条例40・追加)

(意見聴取)

第24条 市長は、必要があると認めるときは、第7条第2項第4号又は第21条第1項第6号に該当するかどうかについて、千葉県市川警察署長の意見を聴くことができる。

(平19条例44・追加、平20条例40・旧第12条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(損害賠償)

第25条 生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平19条例44・旧第12条繰下、平20条例40・旧第13条繰下・一部改正)

(中央図書館の分館の設置等)

第26条 中央図書館の奉仕機能を充実させるため、中央図書館に分館を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市中央図書館平田図書室

位置 市川市平田1丁目20番16号

2 市川市中央図書館平田図書室(以下「平田図書室」という。)の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。

- (1) 月曜日
- (2) 祝日法に規定する休日(その日が月曜日に当たるときは、その翌日)
- (3) 毎月末日(その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日)
- (4) 1月2日から同月4日まで
- (5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

(平19条例44・旧第13条繰下、平20条例40・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則(文学ミュージアム、中央子ども館及び駐車場にあっては、規則)で定める。

附 則 (抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。
(市川市教育センター設置条例の廃止)
- 3 市川市教育センター設置条例(昭和36年条例第9号)は、廃止する。
(市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止)
- 4 市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例(昭和63年条例第20号)は、廃止する。

附 則 (平成15年6月25日条例第42号)

この条例は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 (平成17年9月22日条例第38号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年11月15日から施行する。

附 則 (平成19年12月20日条例第44号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成20年12月12日条例第40号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例(次項において「旧条例」という。)に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則 (平成23年12月7日条例第45号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

附 則 (平成25年3月25日条例第20号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。(平成25年7月規則第41号で、同25年7月20日から施行)

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第7条第1項の規定により教育委員会から使用の許可を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第7条第1項の規定により市長から使用の許可を受けたものとみなす。

附 則 (平成28年9月28日条例第40号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、平成28年10月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 平成29年4月1日以降に改正後の第4条第2項第2号に規定する企画展示室、同項第5号に規定する文学研修室、同項第6号に規定する映像メディア編集室、同項第7号に規程するアナウンスブース及び同項8号に規定する音楽スタジオを使用しようとするものに係る使用の許可及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例

の施行前においても、改正後の第 7 条第 1 項、第 2 項及び第 5 項、第 8 条第 1 項、第 21 条第 1 項並びに第 24 条の規定の例により行うことができる。

○市川市中央図書館の管理に関する規則

平成6年10月18日
教育委員会規則第9号

改正 平成8年2月7日教委規則第1号
平成10年6月10日教委規則第7号
平成15年8月13日教委規則第11号
平成17年2月16日教委規則第3号
平成18年3月22日教委規則第1号
平成19年10月24日教委規則第14号
平成19年12月20日教委規則第18号
平成21年3月19日教委規則第4号
〔題名改正〕
平成23年3月25日教委規則第2号
平成24年3月14日教委規則第1号
平成25年7月12日教委規則第5号
〔題名改正〕
平成28年3月31日教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例(平成6年条例第22号。以下「条例」という。)第27条の規定に基づき、市川市中央図書館(分館を含む。以下同じ。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則4・平25教委規則5・一部改正)

(運営状況の評価等)

第2条 教育委員会(以下「委員会」という。)は、市川市中央図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(蔵書の構築)

第2条の2 委員会は、市川市中央図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めたときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・旧第2条繰下・一部改正)

(館内利用)

第2条の3 委員会は、市川市中央図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 市川市中央図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(レファレンスサービス)

第3条 委員会は、市川市中央図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス(そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。)を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項

(4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項

(5) その他委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、市川市中央図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・一部改正)

(登録の申請等)

第4条 条例第11条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を委員会に提出して行うものとする。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書(様式第1号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書(様式第2号)及び団体構成員名簿(様式第3号)

2 前項の場合において、当該申請をするもの(団体にあっては、その代表者)は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため委員会が適当と認める書類(本市に勤務し、又は通学する者にあっては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため委員会が適当と認める書類)を提示しなければならない。

3 前2項の規定は、条例第10条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第11条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第10条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。

4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第10条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平成23教委規則2・一部改正)

(登録の実施)

第5条 条例第11条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿(様式第4号)に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

(1) 住所及び氏名(団体にあっては、その名称及び代表者の氏名)

(2) 登録年月日及び登録番号

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券)

第6条 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券(様式第5号)とする。

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券の再交付の申請)

第7条 条例第11条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

(1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書(個人用)(様式第6号)

(2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書(団体用)(様式第7号)

(平21教委規則4・全改)

(変更の届出)

第8条 条例第12条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書(様式第8号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書(様式第9号)

(平21教委規則4・全改)

(図書館資料の貸出しの予約等)

第8条の2 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則1・追加）

（図書館資料の複製等）

第9条 委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を委員会に提出しなければならない。

3 委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

（平21教委規則4・追加）

（障害者サービス）

第9条の2 条例第11条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により市川市中央図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（自動車図書館）

第9条の3 委員会は、図書館資料を広く市民の利用に供するため、市内を巡回する自動車図書館により図書館資料の貸出し等を行うものとする。

2 自動車図書館が巡回する場所、貸し出す図書館資料その他自動車図書館の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（補則）

第10条 この規則に定めるもののほか、市川市中央図書館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

附則（平成28年3月31日教育委員会規則第5号）

（施行期日）

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針

平成21年 3 月 30 日

改正 平成25年12月20日

平成26年 8 月 26 日

(趣旨)

第 1 条 この指針は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則（平成21年教育委員会規則第 6 号）

第 2 条及び市川市中央図書館の管理に関する規則（平成 6 年教育委員会規則第 9 号）第 2 条の 2 の規定に基づき、市川市立図書館の資料収集、保存及び除籍等について必要な事項を定める。

(蔵書構築の基本)

第 2 条 市川市の図書館（以下、「図書館」という。）は、すべての市民が、教養、調査研究及びレクリエーションのために、各自の自由な意思に基づいて利用する生涯学習の場であるとともに、地域文化の発展を支え、住みよい地域社会の形成に寄与する教育機関であるという公共図書館の基本的役割を果たすために、ユネスコ公共図書館宣言（1994年採択）の精神に則り、蔵書の構築を行うものとする。

(収集にあたっての基本的姿勢)

第 3 条 図書館は、図書館の自由に関する宣言（1979年改訂 社団法人日本図書館協会総会決議）前文の本旨に基づき、市民のニーズを総合的に勘案して収集に努める。

2 対立する意見のある問題については、バランスを考慮し、できるだけ客観的な立場で書かれている資料を幅広く収集する。

3 著者の思想的、宗教的又は党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。

4 図書館に置かれる専門的職員（以下、「図書館員」という。）の個人的関心や好みによって選択しない。

5 個人、組織又は団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり紛糾をおそれて自己規制したりしない。

6 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館又は図書館員が支持することを意味しない。

(収集資料の範囲)

第 4 条 収集する資料の範囲は、国内で刊行される資料を中心とし、幅広く多様な形態のものを収集する。ただし、書き込むこと、切り取ること若しくは組み立てることを目的として作られた資料又は著しく破損しやすい資料は原則として収集しない。

(収集資料の種類)

第 5 条 収集する資料の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 図書（一般図書、参考図書、児童図書及び外国語図書）
- (2) 逐次刊行物
- (3) 地域資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) 障害者用資料
- (6) 電磁的記録
- (7) その他

(資料別収集方針)

第 6 条 資料の種類別収集方針は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書

- ア 一般図書については、市民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資する資料を収集する。ただし、学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集は原則として収集しない。
- イ 参考図書については、市民の調査研究に必要な辞典、事典、便覧、統計、目録、索引及び書誌等を幅広く収集する。
- ウ 児童図書については、子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような資料を収集する。
- エ ヤングアダルト図書については、児童図書又は一般図書の枠にとらわれず、中学生及び高校生を対象とした資料を幅広く収集する。
- オ 外国語図書については、多文化サービスを展開させるため、各種言語で書かれた資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

- ア 新聞については、主要な全国紙を中心に収集する。
- イ 雑誌については、各分野における最新の動向が提供できるように、各分野の主要なものを幅広く収集する。
- ウ 年鑑、年報及び白書については、(1)ア及びイの規定を準用する。
- エ 法規集及び判例集については、最新の情報を提供できるように、加除式資料を収集する。

(3) 地域資料

- ア 地域資料は、市川市及び千葉県に関する資料とし、これらのうち市川市に関する資料については、文化的、地理的特性に立脚した特色ある資料を、図書を中心に、パンフレット、地図等形態にとらわれず、幅広く積極的に収集する。ただし、古文書は収集しない。
- イ 地域資料の逐次刊行物については、系統的に収集する。
- ウ 市民文庫は市民の著作、伝記及び評論について収集する。
- エ 市川市の行政資料については、積極的に収集する。
- オ 特別コレクション（永井荷風、東山魁夷、星野道夫及び渡邊二郎）については、網羅的に収集する。ただし、直筆原稿及びオリジナル作品は原則として収集しない。

(4) 視聴覚資料

- ア 録音資料については、市民の趣味、教養及びレクリエーション等に資するため、クラシック音楽、ポピュラー音楽、児童音楽、演芸及び文学作品等の基本的作品及び代表的演者による作品を中心に収集する。
- イ 映像資料については、活字ではなく音と映像によって情報を得るという視聴覚資料の特性を生かせるような、映画、記録及び演芸等の基本的作品を中心に、図書館での貸出許諾が得られているものの中から収集する。

- (5) 障害者用資料 障害者用資料については、図書館利用が困難な市民の要求に応えるため、点字資料、録音図書、大活字本、布の絵本及び字幕・手話入りビデオ等を収集する。

- (6) 電磁的記録 電磁的記録については、必要に応じて収集する。

(中央図書館及び地域図書館の収集方針)

第7条 図書館は、各々の館の規模、機能及び地域性に応じ、概ね次の各号に掲げる方針に基づいて資料収集を計画的に行い、体系的な蔵書の構築を図るものとする。

- (1) 中央図書館においては、図書館の中心館として、地域図書館、分室及び図書館関連施設等への協力及び支援を行うため、以下に掲げる資料を幅広く収集する。

ア 市民の生活、趣味及びレクリエーション等に資する資料。

イ 調査研究に役立つ、基本的、入門的乃至専門的資料。ただし、細分化された個別の高度な専門的資料を除く。

(2) 地域図書館及び分室においては、市民の身近な図書館として、地域性を考慮し、資料を収集する。

(収集計画)

第8条 前条の規定を実施するために、各々の館の資料収集計画を別に定める。

(収集資料の選定)

第9条 収集資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(寄贈資料等の収集)

第10条 寄贈資料及び寄託資料等の受入れについては、前条の規定を準用する。

(資料の保存)

第11条 各資料の利用方法、利用度又は利用年限を考慮し保存する。

2 図書館として体系的な資料構成を図るため、中央図書館又は各地域図書館で保存する資料を選択し、効率的な保存を行う。

3 市川市に関する資料については、地域の歴史を後世に伝えるため保存する。

4 逐次刊行物の保存年限については、別に定める。

(除籍の目的)

第12条 常に適正な資料構成を維持し、また資料を更新し、活力ある蔵書の充実を図るために除籍を行う。

(除籍の対象資料)

第13条 除籍の対象となる資料及び基準は次の各号のとおりとする。

(1) 汚損・破損

ア 汚損・破損が甚だしく、修理不可能又は修理する価値がないと認めたもの。

イ 一部汚破損が甚だしく全体が利用に耐えないもの。

(2) 不用

ア 時間の経過によって、内容が古くなり、保存価値がなくなったもの。

イ 時間の経過によって、利用の可能性が低下したもの。

ウ 新版・改訂版又は同種資料の入手によって、代替可能となったもの。

(3) 数量更正 すでに受入れの済んでいる資料を分冊若しくは合冊しようとするもの。

(4) 移管 市川市の内部において所属換えをするもの。

(5) 亡失

ア 3回の資料点検を経て、調査してもなお所在不明なもの。

イ 貸出資料のうち督促等の努力にもかかわらず、10年以上回収不能なもの。

ウ 利用者が汚損・破損又は紛失した資料で、やむを得ない事情により現品での弁償が不可能なもの。

エ 不可抗力による災害その他の事故により汚損・破損又は紛失した資料で、その発生事実が証明されたもの。

(除籍資料の選定)

第14条 除籍資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(補則)

第15条 前各条に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める

附 則 この指針は、平成21年4月1日から施行する。

○図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 平成23年12月14日法律第122号

第一章 総則

(この法律の目的)

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に關して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

一 大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの

二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（入館料等）

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

（図書館の補助）

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

（都道府県教育委員会との関係）

第二十五条 都道府県教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

（国及び地方公共団体との関係）

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

（入館料等）

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

（図書館同種施設）

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

市川市教育振興基本計画

第2期【平成26年度～30年度】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



平成26年1月
市川市教育委員会

【基本的方向と施策の体系】

基 本 的 方 向				施 策
目 標		施 策 の 方 向		
1 子 ど も の 姿	自分や他人を大切に し、社会の中でたくま しく生きていくことの できる子どもを育てる	1-1	自分を大切にし、他人を思いやる気持ちを養い、 豊かな心を育む	P15 ⑧人と関わる力を身に付ける活動の充実 ⑨命を大切にする教育の推進 ⑩道徳教育の充実 ⑪体験活動の充実 ⑫読書教育の推進
		1-2	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図り、 活用する力を育成する	P18 ⑬豊かな学力を育成する取り組みの推進
		1-3	健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する	P20 ⑭健康な生活習慣を身に付ける取り組みの推進 ⑮食育の推進 ⑯体力向上の取り組みの推進
		1-4	社会的な問題に関する認識を深め、意欲と実践力 を育む	P23 ⑰生涯学習の充実 ⑱情報教育の推進 ⑲キャリア教育の推進 ⑳防災教育の推進
		1-5	日本や郷土・市川の歴史や文化を学び、国際社会の 中で生きる力を育む	P26 ㉑歴史や文化に関する教育の推進 ㉒外国語教育・国際理解教育の推進
2 家 庭 ・ 学 校 ・ 地 域 の 姿	自らの役割と責任を担 いながら、たがいに連 携して教育の向上に取 組む家庭・学校・地 域を実現する	2-1	家族の心のつながりを大切にし、心身の成長を育 む家庭の教育力の充実を目指す	P29 ㉓家庭教育の充実に向けた取り組みの推進 ㉔子育てに関する学習機会や相談機会の提供
		2-2	子どもと教職員とのつながりを大切にし、子ども 一人一人の夢を育む学校の教育力の向上を目指す	P31 ㉕教職員の指導力の向上 ㉖学校間の連携とその成果に基づく学校運営の改善 ㉗教職員が子どもと向き合う時間の拡大 ㉘特色ある学校運営を支える関係機関の充実
		2-3	人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支 える地域の教育力の向上を目指す	P34 ㉚地域を支える人材の育成と地域活動を支援する システムの充実
		2-4	家庭・学校・地域のつながりを大切にし、市川の 教育力の向上を目指す	P36 ㉛家庭・学校・地域の連携を図る取り組みの推進 ㉜家庭・地域と連携した学校の活性化
3 市 川 の 教 育 の 姿	教育環境の整備を図 り、質の高い市川の教 育を推進する	3-1	幼児期の教育を推進するための環境を整える	P39 ㉝生きる力の基盤を育む教育の推進 ㉞子育て支援の充実
		3-2	一人一人に即した教育的支援を推進する	P41 ㉟特別支援教育の推進 ㊱子どもや保護者を支援する体制の充実 ㊲教育機会均等の確保
		3-3	安全・安心で充実した教育環境を実現する	P43 ㊳子どもの安全・安心を確保する家庭・学校・地域の 取り組みの推進 ㊴放課後の子どもの居場所づくりの推進 ㊵学校の危機管理体制の充実 ㊶いじめ、暴力行為などへの対応の強化 ㊷安全で質の高い教育環境の整備
		3-4	生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する	P46 ㊸生涯学習機会の充実 ㊹図書館機能を活用した学習活動の充実 ㊺博物館などの活用を通じた学習活動の推進 ㊻公民館を活用した地域の学習拠点づくり ㊼文化財の保護と活用
		3-5	責任ある教育行政を確立する	P49 ㊽教育委員会機能の充実に向けた取り組み

◇施策の方向 3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する

《施策一覧》

3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する

◎ 生涯学習機会の充実

◎ 図書館機能を活用した学習活動の充実

◎ 博物館などの活用を通じた学習活動の推進

◎ 公民館を活用した地域の学習拠点づくり

◎ 文化財の保護と活用

子どもから大人まで、一人一人がそれぞれのライフステージに応じて、自主的、主体的に活動できるように、多様な学習ニーズにも的確に応えられる体制づくりが必要です。また、学んだ成果を地域社会に還元することができるよう努め、地域の教育力の向上を図ることも大切です。

市川市では、多様な学習ニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効に活用し、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を目指します。

◆施策の内容◆

3-4-1 生涯学習機会の充実

一人一人に十分な文化・スポーツ活動の機会や多様な学習情報を提供するため、情報発信を積極的に行うとともに、相談体制の充実を図ります。また、関係機関と連携・協働することにより、さまざまな分野で学んだ成果を地域で活用することのできる機会を充実します。

成果指標	現状（H25）	目標（H30）
「生涯学習に関する情報提供や相談体制は十分だと思う」と回答する人の割合	46%	50%

3-4-2 図書館機能を活用した学習活動の充実

誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス^{*1}の充実、図書館ネットワーク^{*2}の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。

成果指標	現状（H25）	目標（H30）
「図書館に満足している」と回答する人の割合	91% （H24）	95%

*1 レファレンスサービス・・・事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス

*2 図書館ネットワーク・・・図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム

資料（2）

参考：図書館記載部分を抜粋

市川市生涯学習推進計画

第四次【平成27年度～平成31年度】



平成27年4月 市川市教育委員会



いつも新しい流れがある いちかわ

グローバル化、少子高齢化、知識基盤社会への対応を図る
生涯学習推進「6つの方向性」

（1）市民の学習ニーズに対応した 生涯学習の環境づくり

- 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
- ライフステージに応じた生涯学習機会の充実
- 地域支援活動を目指す人材の育成

（2）ネットワークの充実

- 行政内の情報交換、事業面での連携強化
- 高等教育機関・NPO・民間企業等を含めたネットワークの連携強化
- 育成した地域支援人材とコーディネーター、社会貢献活動を計画する団体等との連携強化

（3）自然・風土・歴史・文化的資産の保護と活用

- 市内に残る貴重な自然・風土・歴史・文化的資産を保護し、次世代に引き継いで行くため、学習資源としての活用を推進

（4）家庭教育支援

- 保護者の学びを支援する体制の充実
- 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進

（5）学校教育支援

- 家庭・学校・地域の連携強化
- 児童生徒の社会体験・生活体験の充実

（6）地域活動支援

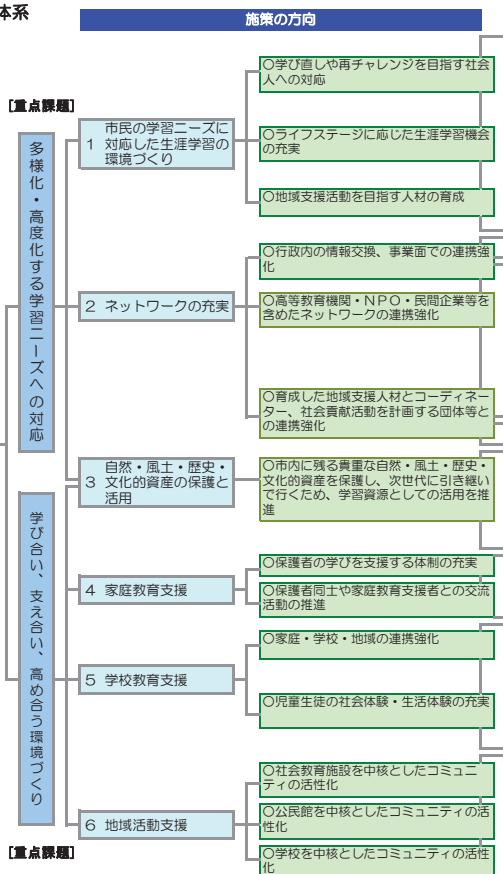
- 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
- 公民館を中核としたコミュニティの活性化
- 学校を中核としたコミュニティの活性化

多様化・高度化する
学習ニーズへの対応

高め合う環境づくり
学び合い、支え合い

10

4 推進の体系



主な取り組み/学習機会	関連する取り組み/学習機会
1-4 学校支援実践講座 1-8 学校施設開放 1-13 子どもの会育成 1-14 青少年指導者育成 1-19 市民アカデミー 1-20 公民館主催講座 1-22 観察会・散策会 1-24 教育普及 1-25 夏休みイベント 1-26 自然講座 1-27 野鳥の名札付け・環境整備 1-28.40.46 広報活動 1-32 レファレンスサービス 1-39.45 縄文体験フェスティバル	3-1 男女共同参画センター講座 3-2 人権啓発講演会 5-1.3.4 各種関係団体の育成・支援 5-2 情報提供事業 5-5 ボランティア活動等啓発 5-7 ボランティア・NPO 活動の拡充 5-8 消費生活センター相談・啓発 8-1 スポーツ指導者育成 8-4 健康スポーツ教室 8-6 スポーツ推進負担金 8-8 大会等派遣参加費用補助 8-9 総合型地域スポーツクラブ
1-29.30.31 自然の家 1-33 子どもの読書 1-34 地域行政資料 1-35.41 展示事業 1-36.37.38.42.43.44 教育普及 4-2 文学ミュージアム 6-1 高齢者健康相談 6-2 高齢者クラブ 6-3 シルバー人材センター事業 6-4 シニアカレッジ教養講座 6-5 いきいきセンター 6-7 8 グランド・ゴルフボール大会 6-9 長寿ふれあいフェスティバル 6-10 町歩き 6-11 いきいき健康教室 8-2 スポーツ推進委員会活動 8-3 市民スポーツ振興 8-7 体育協会補助	1-3 コミュニティサポート 1-29.30.31 自然の家 1-33 子どもの読書 1-34 地域行政資料 1-35.41 展示事業 1-36.37.38.42.43.44 教育普及 4-2 文学ミュージアム 6-1 高齢者健康相談 6-2 高齢者クラブ 6-3 シルバー人材センター事業 6-4 シニアカレッジ教養講座 6-5 いきいきセンター 6-7 8 グランド・ゴルフボール大会 6-9 長寿ふれあいフェスティバル 6-10 町歩き 6-11 いきいき健康教室 8-2 スポーツ推進委員会活動 8-3 市民スポーツ振興 8-7 体育協会補助
※原則として本表内の行政関連全事業が対象	
1-3 コミュニティサポート 1-12 青少年相談員連絡協議会 1-19 市民アカデミー 1-36.38.42.44 教育普及 1-37.39.43.45 縄文体験・フェスティバル 1-40.46 広報活動 5-2 情報提供 5-3.4 各種関係団体の育成・支援 5-7 ボランティア・NPO 活動の拡充 7-3 子どもの発達相談室 8-2 スポーツ推進委員会活動 8-7 体育協会補助	1-1 家庭教育学級 1-4 学校支援実践講座 1-13 子どもの会育成 1-14 青少年指導者育成 1-20 公民館主催講座 1-24 教育普及 1-32 レファレンスサービス 1-33 子どもの読書 1-34 地域行政資料 1-35.41 展示事業
※原則として本表内の行政関連全事業が対象	
1-5 史跡公園化 1-6 指定文化財維持管理 1-21 常設展・企画展 1-22 観察会・散策会 1-23.40.46 広報活動 1-24 教育普及 1-25 夏休みイベント 1-26 自然講座 1-27 野鳥の名札付け・環境整備 1-28.40.46 広報活動	1-29.30.31 少年自然の家 1-34 地域行政資料 1-35.41 展示事業 1-37.39.43.45 縄文体験・フェスティバル 4-1 東山稲妻記念館 4-2 文学ミュージアム 4-3 市川の文化人展・収蔵作品展 4-4 市史編さん 4-5 街回遊展 4-7 文化の広かた回遊マップ
1-1 家庭教育学級 3-1 男女共同参画センター講座 3-2 人権啓発講演会 5-1 各種関係団体の育成・支援 5-2 情報提供事業 5-5 ボランティア活動等啓発 5-7 ボランティア・NPO 活動の拡充 5-8 消費生活センター相談・啓発 8-1 スポーツ指導者育成 8-4 健康スポーツ教室 8-6 スポーツ推進負担金 8-8 大会等派遣参加費用補助	1-3 コミュニティサポート 1-9 体験学習 1-29.30.31 少年自然の家 1-33 子どもの読書 1-34 地域行政資料 1-35.41 展示事業
1-2 社会教育活動助成 1-3 コミュニティサポート 1-4 学校支援実践講座 1-9 体験学習 1-17 環境美化啓発 1-20 公民館主催講座 1-21 常設展・企画展 1-23 教育普及	1-29.31 少年自然の家 1-33 子どもの読書 2-1 学習支援推進 2-2 校内・まなびくらぶ 5-2 情報提供事業 5-5 ボランティア活動等啓発事業 7-4 中高年保育ボランティア 8-5 スポーツ推進団体補助 8-8 大会等派遣参加費用補助
1-1 家庭教育学級 1-10 コミュニティクラブ 1-11 子どもの居場所づくり 1-15 少年指導員 1-20 公民館主催講座 1-35.41 展示事業 1-36.37.38.42.43.44 教育普及 1-39.45 縄文体験フェスティバル 1-40.46 広報活動 3-2 人権啓発講演会 8-3 スポーツ振興	1-1 家庭教育学級 1-2 社会教育活動助成 1-4 学校支援実践講座 1-8 学校施設開放 1-16 少年健全育成 1-19 市民アカデミー 1-24 教育普及 2-1 学習支援推進 2-2 校内・まなびくらぶ 3-1 男女共同参画センター講座
1-1 家庭教育学級 1-11 子どもの居場所づくり 1-15 少年指導員 1-20 公民館主催講座 1-35.41 展示事業 1-36.37.38.42.43.44 教育普及 1-39.45 縄文体験フェスティバル 1-40.46 広報活動 3-2 人権啓発講演会 8-3 スポーツ振興	4-2 文学ミュージアム管理運営 6-1 高齢者健康相談 6-4 シニアカレッジ教養講座 6-5 いきいきセンター 6-6 スポーツ推進委員会 8-2 スポーツ推進委員会 8-4 健康スポーツ教室 8-5 スポーツ推進団体補助 8-6 スポーツ推進負担金 8-8 大会等派遣参加費用補助 8-9 総合型地域スポーツクラブ

平成 28 年度 市川市立図書館評価報告書

平成 29 年 11 月

1. 趣旨

この報告書は、「図書館法」(昭和 25 年法律第 118 号) 第 7 条の 3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成 24 年文部科学省告示第 172 号)、「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」(平成 21 年教育委員会規則第 6 号) 第 1 条の 2 及び「市川市中央図書館の管理に関する規則」(平成 6 年教育委員会規則第 9 号) 第 2 条に基づき、平成 28 年度の市川市立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

2. 評価内容

「市川市立図書館運営基本計画」第 3 章 実施計画編(平成 27 年度～平成 29 年度)の具体的な施策に沿って行った取り組み内容と、目標値等の達成度に基づき、平成 28 年度の市川市立図書館の評価を行った。

3. 評価の基準について

市川市立図書館の「7 つの施策の方向」の各項目について、取り組み内容と目標値の達成度を総合して A～D の 4 段階評価を行った。これに基づき、総合結果として「3 つの柱」についての取り組みを 4 段階評価で表した。(3 つの柱と 7 つの施策については市川市立図書館運営基本計画 p.7 を参照)

実施内容	評価
十分達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった。)	A
概ね達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた。)	B
やや不十分だった。(実施したが、十分な成果をあげることができなかった。)	C
不十分だった。(実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。)	D

4. 自己評価結果

平成 28 年度は、「市川市立図書館運営基本計画」の 3 つの柱のうち「子どもの成長をサポートする図書館」「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」の 2 つについては、全ての項目で目標値を超えることができ A 評価となった。特に、関係部署との連携によるイベントの拡大実施に努め、利用者アンケートでは高い満足度が示された。「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、関連施設との連携を強化し図書館サービスの充実に努めたが、利用登録者数が目標値に達しなかったため B 評価となった。

全体としては、7 つの施策の方向のうち 6 つが A 評価であったため、28 年度の目標はほぼ達成でき、一定の成果をあげたといえる。

5. 平成 28 年度市川市立図書館評価に対する外部有識者からの意見 …詳細は別紙 1

外部有識者 2 名(図書館情報学)から、平成 28 年度の市川市立図書館評価についてご意見をいただき、自己評価は概ね適切であると認められた。また、実施結果や評価方法に対していただいた課題やアドバイスについては、今後の図書館運営に活かしていく。

6. e-モニターによるリーディングプラン(平成 28 年度結果) …詳細は別紙 2

市川市立図書館運営基本計画の策定時に、市民モニターが重要と考える具体的施策について、e-モニターによるアンケートを行い、選ばれた施策を「e-モニターによるリーディングプラン」とした。これらの施策について、平成 28 年度の実施結果をまとめた。

平成 28 年度「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果

総合結果

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

評 価	<input type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input checked="" type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
-----	--------------------------------------	-------------------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

利用しやすい情報環境の整備を進め、生涯学習機会の拡充に努めるなど、大部分の項目で目標を達成した。大野公民館図書室の蔵書を市立図書館の蔵書管理と一元化したことで、北部地域の利便性の向上を図ることができた。行徳図書館では IC タグの利用により、効果的に蔵書管理が行われるようになった。関連施設との連携によるサービスは、近隣商業施設との共催イベントへの参加や乳幼児利用券の PR など、例年以上に活発に行った。登録者の拡大は継続的な課題であるため、類縁機関との連携の強化やイベントなどを活かして進めていく必要がある。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

評 価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
-----	-------------------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

関連施設との新規共催イベントの実施など、全館で児童に対してのサービスを積極的に展開し、全項目で目標を達成した。ヤングアダルトサービスや学校図書館支援事業においても、本の紹介や素話などの面で児童図書館員の専門性を活かした活動を展開した。今後はこれまでの事業の見直しを行いながら、中学校への出張サービスなど新たな取り組みも視野に入れ、子どもの読書に関する環境整備に努め、図書館に親しむ機会を増やし利用の拡大を進めていく。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

評 価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
-----	-------------------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

地域行政資料の収集、資料の電子化や図書館ホームページからの情報発信など、様々な媒体によるサービスの充実に努め、全項目で目標を達成した。関連各部署との連携の幅が広がり、多様な展示を行うなど、市民に市川の情報や魅力を伝えていく環境整備が進み、刊行物の販売等、行政の情報拠点としての役割も定着してきた。今後は図書館が収集した情報が地域の課題解決につながるよう、効果的な発信や内容の充実を図っていく。また、地域行政資料の劣化対策と保存のため、資料の電子化を積極的に進め、市民が広く利用できるよう努めていく。

28 年度の取り組み内容

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1ー(1)「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①蔵書の維持と更新	・新規資料の受入れと劣化資料の買い替え	受入れ冊数 50,000冊	受入れ冊数 45,125冊	A
②利用に応じた様々な形態の資料の充実	・利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討	調査・検討 の実施	調査・検討 の実施	
	・障害者向け資料の充実	受入れ点数 200点	受入れ点数 286点	
③効果的な蔵書管理	・行徳図書館の図書への IC タグの貼付と、全館的な IC タグによる蔵書管理についての検討	IC タグによる 管理計画の策定	計画の策定と 一部実施	
④資料保存のための書庫の確保	・中央図書館の書庫への可動式集密書架の計画的な設置	設置	設置(4台)	

実績と評価	大野公民館図書室の蔵書管理を、ブラウン式からバーコード式に移行し、市立図書館と一元化した。寄贈資料の大半を大野公民館図書室の蔵書に利用したことで、市立図書館内の資料更新数は目標値に達しなかったものの、当該図書室の貸出は大幅に伸び、蔵書が有効に利用された。行徳図書館は 7 月から IC タグでの蔵書管理を開始したが、それに伴う自動貸出機の利用数は目標を大きく上回る結果となり、効果的な蔵書管理が進んだ。また、資料の電子化については地域資料や音楽配信サービスについて検討を始めた。
課題	資料の収集については、限られた予算を有効に執行し、的確な資料選定を行っていく。また、従来の紙媒体による情報の収集・提供・保存だけでなく、新しい媒体や方法による蔵書の構築についても検討する必要がある。資料管理面では、IC 機能の全館での活用が課題である。
方向性	図書館全体で市民の学びを支えられるよう、引き続き各図書館の役割やニーズを意識した資料の選定を行うとともに、中央図書館が地域図書館の蔵書構成面での支援を行っていく。効果的に蔵書を管理するため、全館的な IC 化を計画的に進めていくほか、媒体に応じた資料の保存・活用の方策を検討・実施していく。

施策の方向 1ー(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①レファレンスサービスの充実	・レファレンスツールおよび事例集の作成	発行	発行(19回)	A
	・市内外の図書館等との連携の強化 (レファレンス協同データベースへの事例提供)	実施	実施(207点)	
	・レファレンスツールとしてのデータベースの拡充等、市民の学習要求や調査研究に応える環境の整備	実施	実施	
②利用しやすい情報環境の整備	・利便性向上のための、ICT関連機器の更新及び導入計画の策定	機器設置(行徳)	機器設置(行徳)	
	・図書館ホームページのお知らせ機能やデータベース等の充実	拡大実施	実施	
③生涯学習機会の拡充	・図書館サービスのPRと、利用の促進	実施	実施	
	・イベントの開催や、地域イベントへの参加協力	実施	実施	

実績と評価

中央図書館での国立国会図書館デジタル化資料送信サービスは、閲覧・複写サービスともに昨年度より利用が増え定着してきている。同サービスの拡大のため、2月に国立国会図書館職員による行徳図書館職員への研修を実施し、調査研究のための環境整備を進めた。ICT関連機器の導入については、29年度に中央図書館にICタグを貼付するための予算立てと、機器導入の検討を行った。

図書館の利用促進については、子育て世代向けの乳幼児利用券を新たに作成し、保健センターでの4ヵ月あかちゃん講座の際に、継続的に登録のPRを行った。ほかにも、自動車図書館の展示や、近隣の商業施設等との共催イベント「ファミリーフェスタ」に参加し、館外で図書館サービスのPRを展開した。また、市内在住の歴史研究家を招いて主催講座を開催し、生涯学習機会の提供に努めた。

課題

効果的なレファレンスツールを作成・準備し、中央図書館だけでなく地域館等でのレファレンスにも的確に回答できるよう、図書館のネットワーク機能を充実させるとともに、利便性の向上のため、ICT関連機器の導入を進めいく必要がある。また、図書館未利用者の来館に繋がるようなイベントの企画と積極的な広報活動が課題である。

方向性

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを行徳図書館にも導入し、行徳地域の利便性の向上を図る。また、調べ方案内等はホームページへ掲載していく。図書館利用を促進するため、イベントの開催や広報活動を積極的に行っていく。

施策の方向 1ー(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実	・関連施設との連携による図書館サービスの拡充と利用の拡大 (図書館利用登録者数の拡大)	前年度比増 (前年度124,353人)	117,210人	B
②大学図書館との連携と利用の促進	・市民の大学図書館利用のための紹介状の発行	実施	実施(158件)	
	・市内大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互PRと利用の促進	実施	実施	
	・大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ	実施	実施(6名)	
③ボランティアとの連携強化	・図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援	実施	実施(6回)	
	・障害者サービス関連のボランティアと連携した、障害者向け資料の作製と収集	実施	実施(35タイトル)	

実績と評価

大野公民館図書室の蔵書を刷新しバーコード化したことで、図書館の蔵書管理と一元化した貸出・返却、蔵書検索、予約等が可能となり、北部地域住民の利便性の向上につながった。また、大野公民館図書室での図書館利用券の新規登録受付を開始したほか、近隣の商業施設等との共催イベントでは「出張図書館」として利用登録の呼びかけを行い、図書館サービスの拡充に努めた。しかし一方では、図書館利用機能付住基カードの期限切れや返納が進んだことで統計上の登録者が減少し、登録者数については目標値の達成までには至らなかった。

市内大学図書館との連携では、大学図書館で行われている見学ツアーや特集展示等について、市立図書館で市民へ継続的にPRを行っていることが相互の利用促進につながっている。また、大学生の図書館実習やインターンシップの受入れも積極的に行い、大学とのネットワークを強化し充実させることができた。

課題

利用登録者数については、新規利用者の獲得が喫緊の課題である。また、図書館が未設置である、市北部地域へのサービス拡充を目的として、北東部の大野公民館図書室に続いて、北西部における図書館関連施設の活用を検討する必要がある。

方向性

大学や関連施設との連携を強化し、図書館サービスの拡充と北部地域をはじめとする地域住民の利便性の向上を目指す。また、ボランティアとの連絡を密にし、質の高い図書館サービスの提供に努めていく。

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2ー(1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①児童・青少年資料の充実	・子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新	(受入れ冊数) 9,000冊	(受入れ冊数) 9,009冊	A
②行事の実施と情報の発信	・子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信	各種行事の 拡大実施	各種行事の 拡大実施	
③レファレンス・読書相談の実施	・調べ物に役立つ資料の充実や探し方についての案内の実施	実施	実施	
	・大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施	実施	実施	
④ヤングアダルトサービスの実施	・中学・高校生のもつ課題解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供	実施	実施	
	・図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行	実施	実施(10回)	

実績と評価

子どもの読書のための環境整備に積極的に取り組んだ。資料の充実については、乳幼児向け絵本の買い替えを重点的に行った。イベントについては、中央図書館で毎年好評の「ぬいぐるみおとまり会」等を実施したほか、他施設との共催イベントも多数行った。イベント終了後はアンケートを実施し、参加者の意見のフィードバックに努めている。地域館においても、「生きている虫がやってくる」や本の「ふくぶくろ」、「本の世界に入ってみよう」など、本や図書館への興味を引き出すイベントを実施した。また、ブックリスト「本のぼけっと29号」を発行し、学校を通じ市内小学生に配布した結果、掲載した図書の利用が増えた。

子どもの本についての相談は、大人からの相談も含め日常的に対応しているが、新しい企画として商業施設との共催イベント「ファミリーフェスタ」で絵本の選び方講座を開設したところ、多数質問が寄せられ好評だった。

ヤングアダルトサービスとしては、中学・高校生の課題解決支援の一環として、「世界とつながる」「お金」などの展示を実施し、連動して「ヤングアダルト通信」を発行した。また、「YA ルームデコClub」などの参加型イベントや、学校を通じて募集した本のPOP等の作品の館内展示など、図書館に親しめる企画の実施に力を入れた。

課題

読み聞かせの会の参加者が低年齢化しているため、赤ちゃん向けプログラムを検討する必要がある。また、ヤングアダルト世代が図書館に足を運ぶきっかけとなる新しい企画を計画し、PRしていくことが課題である。

方向性

展示については、各年齢層にあったものを関連機関と連携しながら積極的に実施し、子どもたちの本への興味を引き出していく。読み聞かせの会では、赤ちゃん向けにわらべうたを主としたプログラムを実施する。ヤングアダルト向けのイベントについては、中学・高校生からアイディアを募集し今後の企画に活かしていく。

施策の方向 2ー(2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①出張おはなし会・学級招待の実施	・「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実	拡大充実	拡大充実	A
②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート	・教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力	参加・協力	参加・協力 (資料依頼件数528件)	
	・学校図書館向け貸出資料の更新	実施	実施	
	・こども館等と連携した児童サービスの拡大	実施	実施	

実績と評価

出張おはなし会及び学級招待については依頼数が56回と前年度より倍増した。特に、出張おはなし会では、児童図書館員の専門性を活かした素話や科学遊びを取り入れたプログラムを実施したところ、子どもたちの反応も良く、幼稚園や小学校の先生方からも好評だった。また、今まで依頼のなかった幼稚園や小学校からの申し込みも増加し、目標以上の成果を上げることができた。

前年度に続き、「公共図書館の利用を学ぶ」等の校外学習として図書館を活用してもらい、職場体験学習(中学生)の参加者も増加した。学校での調べ学習に関しては、依頼内容も複雑化してきたが、公共図書館の幅広い蔵書を活かした資料提供ができた。また、今年度は環境政策課と連携した「緑のカーテンをつくろう」など他部署との連携イベント企画を積極的に行い、調べ学習に繋がるような、親子で楽しめるイベントを実施した。

課題

出張おはなし会や学級招待の際に、図書館に興味を持ってもらう工夫をし、図書館への来館、登録につなげることが課題である。また、調べ学習については、多様化する要求に応えられる資料の収集が課題である。

方向性

出張おはなし会や学級招待に参加した子どもたちが、本や図書館に興味を持ち、図書館利用につながるように工夫をしていく。また、中学校への出張サービス等を検討する。引き続き調べ学習に対応していくため、最新の情報が提供できるよう、資料の更新を進めるとともに、蔵書の十分な活用を図る。

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-1「市川市の歴史・文化の保存と継承」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①地域資料の収集と提供	・地域行政資料の収集と整理	(蔵書冊数) 53,000冊	(蔵書冊数) 55,275冊	A
②地域資料の保存	・著作権保護期間満了の資料の電子化	実施	実施	
③地域情報の積極的な発信	・図書館ホームページの地域資料に関するコンテンツの追加及び更新	実施	実施	

実績と評価

地域行政資料は、寄贈を中心に、新刊書から古書まで積極的に収集を行い、蔵書冊数の目標値に達した。また、中央図書館の利用者アンケートでは、「地域情報資料の充実」についての満足度が、92.2%と非常に高い数値となっている。

地域行政資料を保存していくため、著作権保護期間が満了した「市川市全地図」(1954)と、「手児奈マーチ」(楽譜)を電子化し、館内のPCで公開した。ホームページからの情報発信としては、「市川ゆかりの作家」に平成28年に亡くなられた「井上洋介」「葉山修平」のページを追加した。

中央図書館では「京成電鉄と市川市」の展示をディスプレイケースを使って行い、書庫に保存している貴重な資料を公開した。また、「三番瀬で会いましょう」のパネル展示を行ったほか、リーフレット「市川に関する浮世絵」(市川市ってどんな街3)を発行、配布するなど、地域情報の積極的な発信に努めた。

課題

地域行政資料を永く保存していくための十分なスペースの確保と資料の劣化対策を計画的に進めることが課題となっている。また、収集保存している資料について、広く市民が利用できる環境を整備する必要がある。

方向性

地域行政資料の積極的な収集と受入れに努め、引き続き資料の充実を図る。資料の劣化対策として、著作権保護期間満了の資料の電子化を計画的に進めていく。地域行政資料を広く活用できるように、地域情報データベースを随時更新しコンテンツの充実を図るとともに、ホームページ等を利用した情報発信を行っていく。

施策の方向 3-2「行政の情報拠点としての役割」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①行政情報の市民への提供	・行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施	拡大実施 (前年度20回)	拡大実施 (31回)	A
	・入手しにくい市の刊行物等の販売	実施	実施	
②行政各課への情報発信	・図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各課への発信	実施	実施	

実績と評価

行政各部署や関連団体と連携した展示は、新たに、まちなみ景観整備課、千葉県立現代産業科学館、読書推進運動協議会等と実施した。その他の部署とも継続した連携が実現できているほか、他課が生涯学習センターで講演会を開催する際には、関連資料の展示依頼も増え、連携の幅も広がった。考古博物館主催の講演会開催時には、普段見ることのできない貴重な博物館所蔵品を図書館資料とあわせて展示し、多くの人に関心を持ってもらうことができた。歴史博物館出張展示「市川市域の空襲について」では、熱心にメモを取る利用者や、関連書の問合せがあった。また、市の刊行物等の販売や、市民向け冊子類の配布の場所としても定着しつつある。

行政各課へ向けた情報発信としては、各部署での政策研究等に活かせるよう、調べ方案内やレファレンス事例を発信した。

課題

図書館が行政の情報拠点として認識され、活発に利用されるために、市民のニーズにあった地域行政情報の発信を分かりやすく行うことが課題である。また、行政各部署へ向けて、図書館サービスについての定期的なPRを行い、更に連携を強化していく必要がある。

方向性

関連団体等と連携して、市川への理解と愛着が深まるような魅力的な展示やイベントを企画するほか、市民生活に役立つ行政情報を市民に積極的に提供していく。また、図書館の活用法を行政各部署にPRし、地域の課題解決やまちづくりに活かせるよう情報発信していく。

3つの柱に対する、図書館の自己評価、今後の課題等について、外部有識者(図書館情報学)2名から意見をいただいた。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

- ・B評価となっていますが、A評価でも差し支えないと思います。施策の方向1-(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」で、利用登録者数が前年度比の6%弱の減となった結果を受けたもののようですが、住基カードの期限切れ等による減少だとすれば、それほど問題にしないでよいように考えます。重視すべきは、累積された名目の登録者数よりも、1年間に蔵書を借りたり、部屋や機器を利用したりした有効登録者数ではないでしょうか。指標の設定を変更する必要があるように思います。引き続き、北部地域の利便性の向上など、サービスの更なる進展を望んでいます。
- ・公民館図書室の蔵書の一元管理の効果がすぐに表れていることから、どこからでもデータが利用できること(知的アクセス)と「身近な場所」にサービスポイントがあること(物理的アクセス)の両者が重要であることがあらためて明確になった。ここまでの取り組みは評価されるべきである。一方、北西部における物理的アクセスの拡充に向けた検討が進められることを期待したい。また、行徳図書館のICタグ化もすぐに効果を発揮していることを踏まえ、すでに予算化されている中央館のICタグ化がスムーズに進むことを期待したい。乳幼児利用券の作成など、子育て世代に対応した取り組みは、利用者のニーズを踏まえた特筆すべきものであると考えられる。課題となっている図書館未利用者への働きかけ(新規利用者の獲得)についても、市民のあいだに、図書館(資料・情報)利用に対してどのようなニーズがあるかを丁寧に把握・分析していくことによって、乳幼児利用券のような新たな試みを生み出していけば、自然と達成できていくという側面があると思われる。図書館(資料・情報)の利用は、市民にとっては目的ではなく、あくまで手段である。市民のあいだにある(しばしば自覚されていない)資料・情報を必要とする場面(動機)を積極的に探っていくことがニーズ(いわゆる潜在的ニーズ)の把握につながることを、蛇足ながら、補記しておきたい。市川の強みであるレファレンスサービスの質的向上が、中央館のみならず、地域館等においても、さらにはかられていくことは歓迎したい。サービス向上が「ロコミ」で新規来館者を増やすことにつながる可能性も少なくないと思われる。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

- ・A評価で問題ありません。子どもへのサービスは全国的にも傑出しており、とくに行事の実施や学校等との連携は、目に見える形で多彩なサービスが展開されています。ヤングアダルトに対し、ビブリオバトルなどの参加型イベントを開催するとか、児童に対し、出張おはなし会や学級招待でブックトークを実施するとか、子どもたちを読書へいざなう新しい試みに期待しています。
- ・商業施設との共催や市他部署との連携によるイベントなど、図書館外とのネットワークをつくり、活かしている点は、図書館に足を運ぶ子どもばかりが図書館のサービス対象なのではなく、むしろ、図書館に足をあまり運ばない子どもたちにうまく働きかけて、図書館(資料・情報)に対する認識・理解の向上をはかる機会となるという意味で、大いに評価されるべきである。同じ意味で、図書館開催のイベント告知やブックリストの配布などを、すでに実施されているとおり、学校を通じて行うことは効果があると考えられるが、今後は、学校以外の多様なルートも徐々に開拓していくことを期待したい。子どもや親子が立ち寄る場所、目にするところは市内にいろいろあると思われる。読書から遠ざかる年代とされる中高生に向けた取り組みを強化している点も大いに評価されるべきである。とくに課題解決支援の一環として中高生にとって興味を持つテーマを設定した展示など、ニーズを踏まえたものとなっていることが推測できる。中高生にも多様なニーズがある。生の声を聞いてニーズをつかんでいくという意味でも、中高生自身が企画・運営に積極的に加わっていくような取り組みも検討されていくとよいのではないだろうか。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

- ・A評価で問題ありません。地域資料は公立図書館の根幹をなすもので、その充実ぶりは、利用者アンケートの満足度92.2%に示されているとおりです。引き続き、地域資料の電子化やインターネットでの情報発信を進めるとともに、行政各部署との連携を通して行政情報の拠点として機能するよう願っています。
- ・利用者アンケートで地域情報資料の充実が極めて高い満足度を得ている点は特筆すべきである。図書館の取り組みが適切に進められている証左である。デジタル化・ネットワーク化がさらに進み、グローバルにさまざまな情報が入手できるようになれば、公共図書館は、今後、いっそう地域性を要求されていくと思われる。市川の歴史・文化を保存・継承していくために、資料・情報の面で図書館の役割は極めて大きい。地域資料のデジタル化・公開は有効な取り組みであることから、さらに推進していくことを期待したい。その際、市内関係機関や地域住民などが持つ資料・情報を、関係機関・住民などと協力して、収集・整備・保存・公開(デジタル化を含む)していく枠組みづくりを進めることも、長期的な課題として検討されてよいと思われる。市民生活を支える行政にとっても情報は重要である。図書館がある意味で主体的に取り組むべき領域であり、市川では、市内関係機関や市他部署などとの継続的な連携のもと、着実に成果が出ている点は大いに評価されるべきである。引き続き、取り組みが進められることを期待したい。

総 評

- ・千葉県内でトップクラス、全国的にも上位の水準にある図書館だけに、A評価はきわめて妥当だと理解しています。すでに高いレベルに到達しているため、現状の維持だけでも相当な困難があるはずですが、改善の成果が毎年見られることは立派です。さらに適切な評価とするためには、利用者アンケートやマスコミの報道など、数字だけでなく観点も加えて、評価の精度を高めることが望まれます。
- ・全国的に見ても積極的・継続的な図書館活動を展開しており、三つの柱についても成果が得られている点を大いに評価したい。図書館関係者のたゆまぬ努力に敬意を表したい。自己評価も妥当であると考えられる。贅沢な要求だと言われてしまうかもしれないが、ランガナタンがいうとおり、図書館は成長する有機体であるとするならば、現在の成果に留まることなく、常に市民のニーズを見極めながら、よりよいサービスを追求していく姿勢をさらに確固たるものにしていくことを希望したい。とはいえ、図書館関係者のみがすべてを負うわけではない。市内関係機関・市他部署はもとより、市民を含めて、利用者との「協働」(単なる協力でなく)を進めていくなかで、よりよいサービスをつくりあげていくことが、今後の方向性として重要なポイントになるであろうことを付言しておきたい。

e-モニターによるリーディングプラン

市川市立図書館運営基本計画の策定時に、市民の声を広く集め本市図書館の運営に反映していくため、e-モニターによるアンケートを実施し、市民モニターが重要と考える施策について尋ねました。

7つの施策の方向の中で、「特に重要」という回答が多かった具体的施策を、図書館運営を俯瞰的に把握することができる主要施策として位置づけ、「e-モニターによるリーディングプラン」としました。

これら施策について、平成28年度の実施結果を報告します。

市民モニターが重要として選んだ具体的施策

1 つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持

○具体的施策 利用に応じた様々な形態の資料の充実

施策の方向 1-(2) 図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実

○具体的施策 利用しやすい情報環境の整備

施策の方向 1-(3) 関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供

○具体的施策 関連施設との連携による、各地域における図書館サービスの充実

2 つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1) 発達に応じた豊かな読書のための環境整備

○具体的施策 行事の実施と情報の発信

施策の方向 2-(2) 公共図書館と学校等との連携の強化

○具体的施策 調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

3 つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-(1) 市川市の歴史・文化の保存と継承

○具体的施策 地域資料の収集と提供

施策の方向 3-(2) 行政の情報拠点としての役割

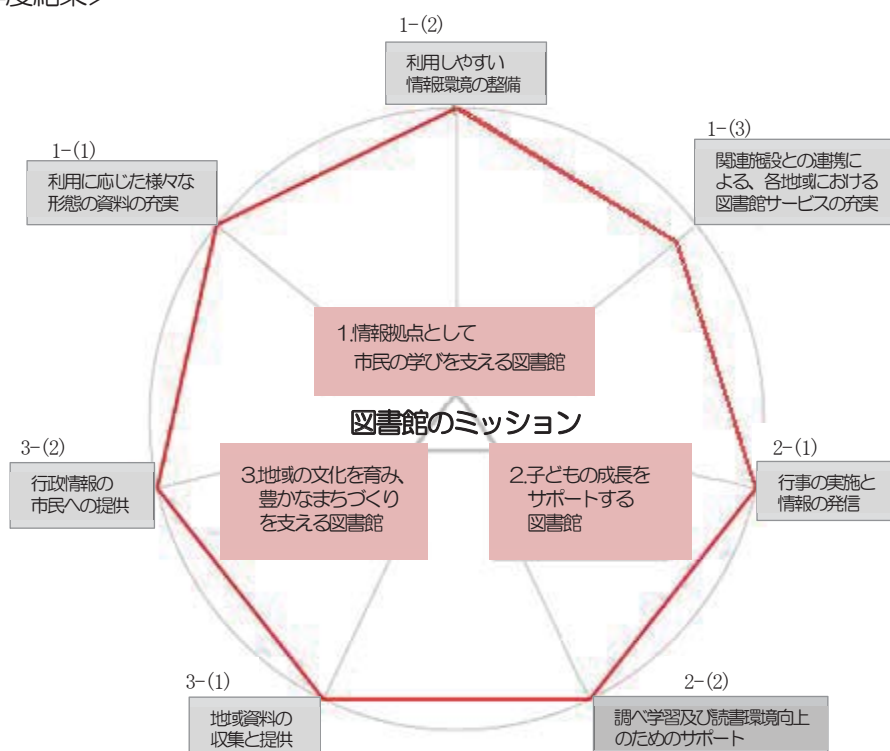
○具体的施策 行政情報の市民への提供

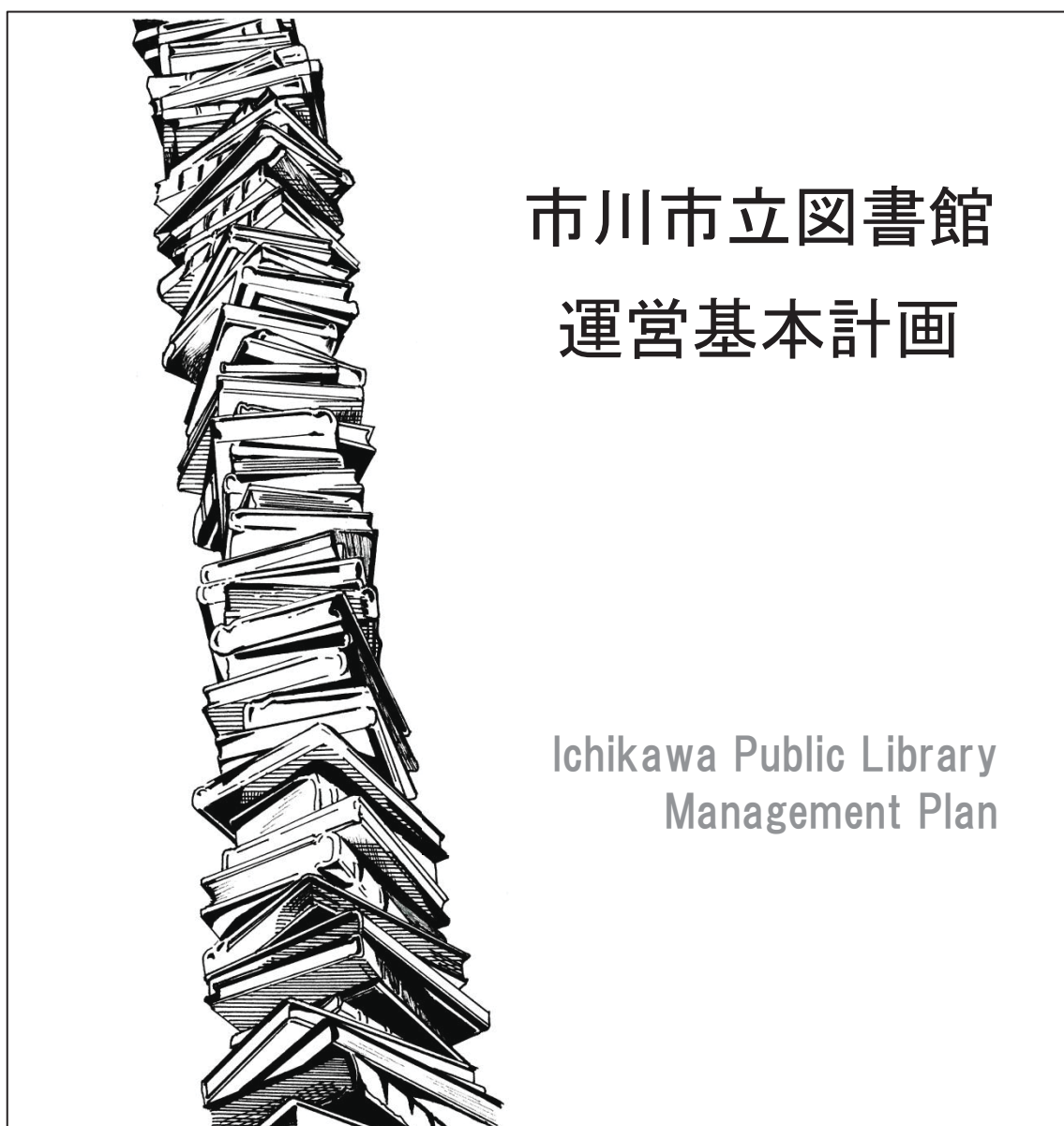
<リーディングプラン 平成28年度結果>

市民モニターが重要として選んだ7つ具体的施策のうち、6つについては目標を達成することができました（取り組み内容については、p.1～4参照）。

施策の方向 1-(3) の「関連施設との連携による、各地域における図書館サービスの充実」については、大野公民館図書室での図書館サービスの充実に努め、貸出の伸びも見られましたが、目標としていた利用者登録数の「前年度比増」にはわずかに届きませんでした。今後も関連施設との連携を強化し、市内各地域で図書館サービスが利用されるよう努めていきます。

今回、目標が達成できた6つの具体的施策についても、拡大実施に努め、サービスの充実に努めてまいります。





市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

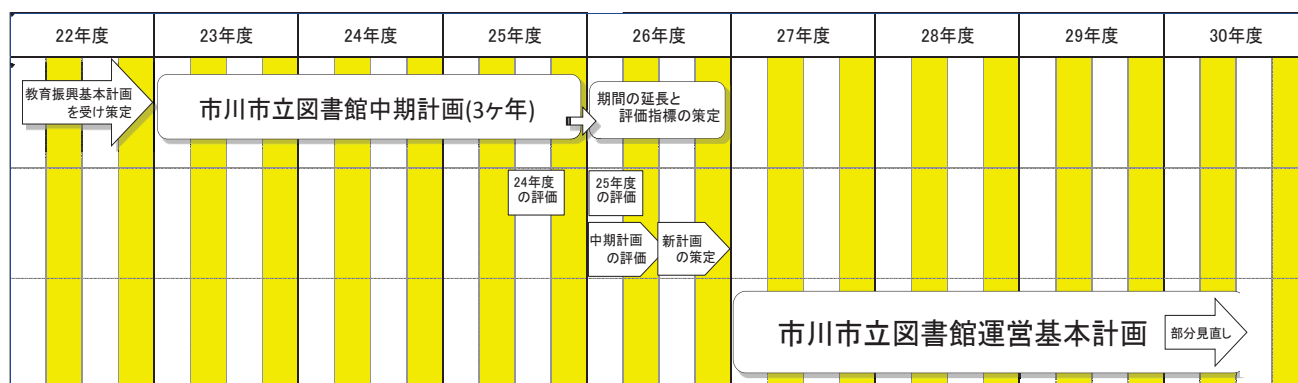
平成 27 年 3 月

第 1 章 計画の策定にあたって

1. 計画期間

本計画は、「市川市立図書館中期計画」(平成 23 年度～平成 25 年度)を見直し、平成 27 年度に新たに「市川市立図書館運営基本計画」として策定するものです。

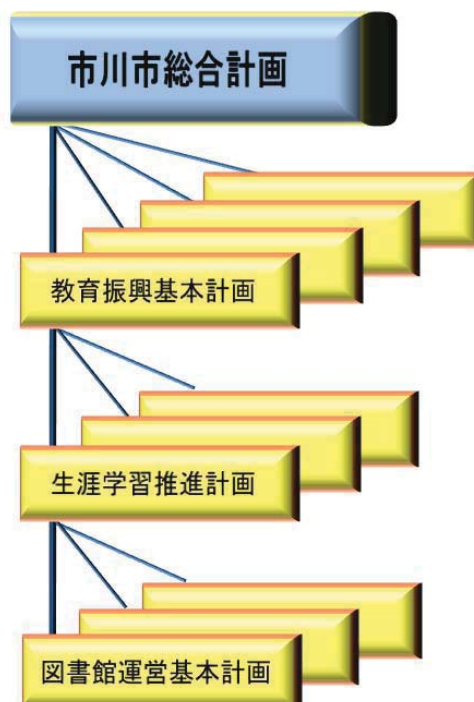
本計画の第 2 章は、これからの本市図書館のあるべき姿を示すものですが、社会情勢や市民ニーズの変化に応じ、概ね 3 年ごとに見直しを図るものとしします。また、第 3 章の実施計画では、3 年ごとの期間で実施していく具体的事業を掲げていますが、その実施結果についての評価に基づき、次の 3 年には改めて実施事業を計画するものとしします。



* 計画作成期間に当たる平成 26 年度についても、計画に基づいた図書館評価を行うため、市川市立図書館中期計画の一年間の延長を行っています。

2. 計画の位置付け

本計画は、「市川市基本構想」(平成 12 (2000) 年)、「市川市総合計画第二次基本計画」(平成 23 (2011) 年)の下、教育に関する部門計画の「市川市教育振興基本計画」(平成 26 (2014) 年から第 2 期)、さらに、生涯学習部門の個別計画である「市川市生涯学習推進計画」(平成 27 (2015) 年から第 4 次)の下に策定するものです。



3. 計画の成り立ち

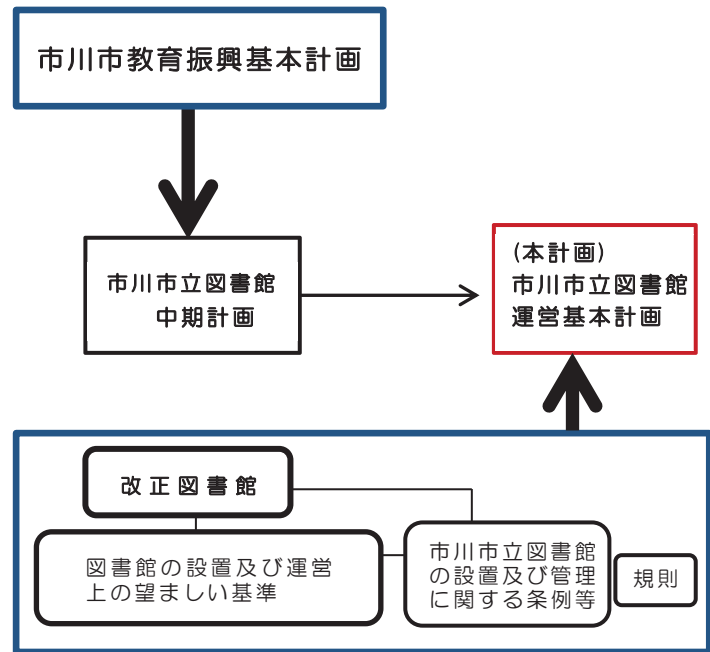
「図書館法」（昭和25年法律第118号 平成23年12月最終改正）の平成20年（2008）の改正にともない、公共図書館の運営状況についての自己評価と公表が努力義務となりました。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年（2012）に告示されましたが、図書館は図書館事業の基本的運営方針を策定し、運営の状況について自ら点検及び評価・公開するよう努めるものとされています。

指定管理者の運営である市川駅南口図書館では、年2回のモニタリングを行い、うち1回は外部有識者を交えてモニタリングを実施しているものの、市直営の図書館については、定期的な評価の実施はありませんでした。

これらのことから、平成24（2012）年に「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」を改正し、図書館の評価とその公開を実施することとしました。

これまでの評価は、市川市教育振興基本計画に基づき策定された「市川市立図書館中期計画」を拠り所としてきましたが、同計画期間終了に伴い、新たに将来のあるべき姿を示す図書館運営計画を策定する必要から「市川市立図書館運営基本計画」を策定するものです。



「図書館法」

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するように努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

4. 計画の策定経過

計画の策定に当たり、社会教育委員会議、e-モニター制度、パブリックコメント等により、様々な市民意見を聴取し計画案を作成し、市川市教育委員会議に諮りました。

策定経過

時 期		内 容
平成 26 年	2月13日	策定方針についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
	4月3日	策定方針について（議決）（定例教育委員会議）
	4月23日	策定方針についての意見聴取（関係各課）
	9月26日 ～10月6日	e-モニターの実施
	10月25日	計画（素案）についての意見聴取（図書館ボランティア）
	11月15日 ～12月14日	計画（素案）についての意見聴取（パブリックコメント）
	11月20日	計画（素案）についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
平成 27 年	2月5日 ～3月6日	パブリックコメント実施結果公表
	2月5日	計画（案）について（定例教育委員会議）
	2月12日	計画について（報告）（市川市社会教育委員会議）
	4月	「市川市立図書館運営基本計画」の施行

5. 現状と課題

(1) 図書館サービスの現状

日本の公共図書館は、1960年代後半から貸出しを中心としたサービスを展開し、市民の支持を広げながら、現在では高度情報化、少子・高齢化や国際化社会への急激な進展の中で、地域における身近な問題解決のための機関として、また芸術や文化に気軽に触れることのできる「市民の書斎」として、生涯学習の拠点となる重要な役割を担うよう変化してきました。

本市では5館1室（直営による中央・行徳・信篤・南行徳・平田図書室、及び指定管理による市川駅南口図書館）及び自動車図書館による体制で図書館サービスを実施し、市民図書室、公民館図書室、男女共同参画センター情報資料室、情報プラザ（委託）等の市の施設や、千葉商科大学付属図書館と連携して図書館ネットワークの整備と拡充を進めてきました。

また平成21年に蔵書構築に関する基準を設け、資料面での充実を図るとともに、多様な市民要望に対応できるよう、千葉県立図書館、国立国会図書館、和洋女子大学メディアセンター等の各種図書館と相互貸借による連携を強化し、幅広い情報の提供を行ってきました。また、子ども読書活動の推進、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、多彩な事業を展開することでも図書館としての役割を遂行できるよう努めてまいりました。

(2) 図書館計画の実施状況

市川市教育振興基本計画に基づいて、平成23年度に「市川市立図書館中期計画」（以下「中期計画」という）を策定し、3ヵ年の計画期間の中で具体的施策として掲げた全ての事業に取り組むことができました。特に電算システムでは、市民要望を取り入れた新着図書検索お知らせメール（SDI）サービスの開始やログイン機能の改善等を行い市民が資料や情報入手するための利便性の向上を図り、児童サービスでは初めて参加する子どものためのえほんの会など、年齢に応じた様々なイベントを実施しました。他にも、特別コレクションの充実など市川に関する資料の収集や、ICタグの地域図書館への導入計画の策定及び予算化を進めました。一方、視聴覚資料の購入等、予算として割り当てられなかったため、目標達成が一部困難なものがありましたが、実施計画の目標は概ね達成できたといえます。

中期計画が示す方向は、本市図書館のサービスの基本であるため、新たな課題に対応した目標も加えながら今後も継続し、充実させていく必要があります。中期計画の6つの柱は、相互に関連する部分も多いため、整理を行い、目指す目標を明確にしていきます。また、中期計画では年度ごとの目標をできる限り数値によるものとしていましたが、本計画においては、数値・取り組み内容・満足度等から、より適切な評価を行い、次の事業展開に繋げてまいります。

（３）今後の課題と方向性

計画で掲げた施策を確実に進め、市川市立図書館のあるべき姿を実現させるためには、組織や施設といったサービス基盤の整備を進める必要があります。また、限られた資源を有効に活用するためには、業務プロセスの見直しやコスト削減などの効率性の向上も重要です。人的なリソースシフトについては、市川版 ABC 分析等を通じて中央図書館を中心に進めてきたところですが、今後も長期的視点に立って、正規職員・非正規職員等の配置について点検するとともに、業務委託や指定管理者制度についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討していきます。また地域の課題に対する取り組みへの支援については、図書館だけで行うのではなく、地域における産学官民の多様な主体との連携・協力を通じて実現していきます。

施設面では、施設管理についての全庁的な方向性に沿って、老朽化する施設の修繕を計画的に進め、また市内各地域へのバランスのとれた図書館サービスを展開できるよう、地理的な分布や事業効果等も踏まえ、図書館だけでなく関連施設やその空間の有効活用も含め、関係各方面と調整を図り、将来的なサービスポイントの再配置についても検討を進めます。

物流については、市内連絡便の運行ルートや運行頻度を見直し、効率的・効果的な資料の流通体制の実現に努めます。また、関連施設等との連携が進む中、自動車図書館についても利用実態の検証を通じて、巡回地域や巡回頻度だけでなく、利用対象や巡回施設などについても見直していきます。

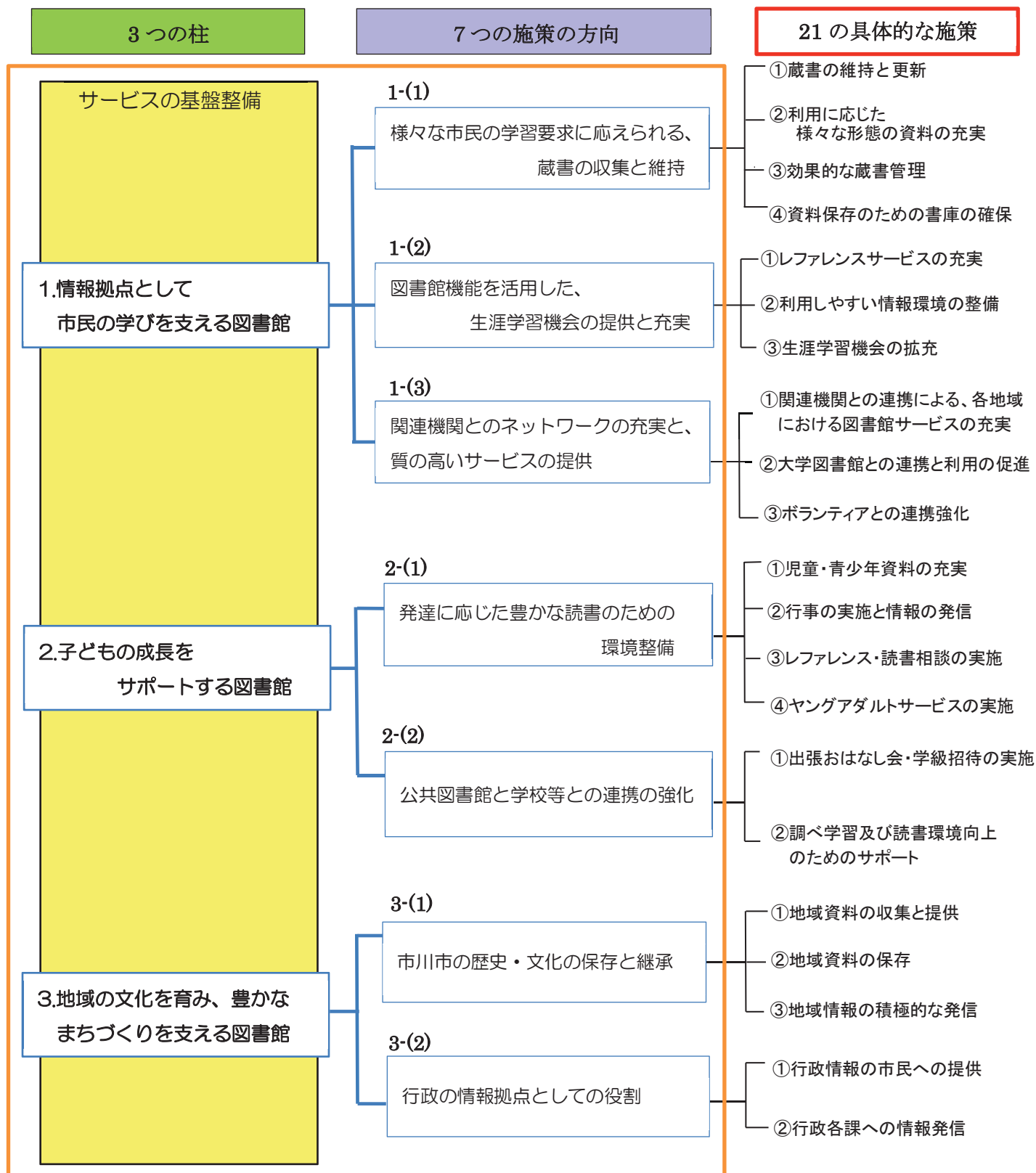
今後の時代の変化を見据え、それに対応できる図書館であり続けるために、全てのサービスを支える基盤としての職員の資質の向上を図り、多様で高度な図書館サービスの実現をめざします。



6. 本計画の構成

本計画は3つの柱の下に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けます。
これらを確実に実施していくために、3ヶ年ごとに具体的な施策に基づく実施計画を策定します。

市川市立図書館運営基本計画 体系図



第2章 市川市の図書館サービスの目指すもの

公立図書館は、図書館法に基づいて地方公共団体が設置する公の施設であると同時に、教育委員会が管理運営する教育機関でもあり、教育や文化、生活や仕事、精神的自由などに深い関わりを持っています。「知識基盤社会」において知識や情報の重要性が増すなか、地域の知識・情報・文化の拠点としての公立図書館の存在意義は高まっています。本市図書館ではこのような状況を踏まえ、効果的な図書館サービスのための施設や組織の基盤整備を進めるとともに、本市の実情に即した事業展開を行っていきます。

今後の目指すべき方向性を本市図書館の使命と位置付け、3つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の果たすべき役割を明確にしながら多様な事業を展開し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

現代の図書館には、趣味や教養を深める役割だけでなく、市民のもつ様々な課題の解決のための資料を迅速かつ的確に提供することが求められています。

このため、市川市の図書館は、身近な図書館として市民の興味やニーズに対応するとともに、社会情勢や生活の変化に応じ、必要とされる情報の収集及び提供や調査・研究の支援を行い、市民の学びを支えていきます。

また、すべての市民がより高質なサービスを等しく享受できるよう、ICTを活用したサービスを展開するほか、図書館資源を利用するに当たっての、居住地域や心身の障害等による利用しにくさを解消できるような工夫を行うとともに、職員の能力の向上や関係機関との連携によるサービスの充実を目指します。

（１）「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

①蔵書の維持と更新

日常生活の疑問や仕事上の疑問等、各種課題解決に対応できるよう資料の充実に努め、利用に応じた適正な蔵書の維持と更新を図ります。

②利用に応じた様々な形態の資料の充実

市民の趣味、教養等に資するため、図書・雑誌や視聴覚資料の充実を図ります。図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向け資料の収集に努めます。また、電子資料等、新しい形態での資料の収集・提供についての調査と、導入についての検討を進めます。

③効果的な蔵書管理

ICタグ等による効果的な蔵書管理や、自動貸出機等の導入による貸出・返却業務等の効率化を進め、職員の人的な能力を、案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

④資料保存のための書庫の確保

市川市として必要な資料を適正に保存していくため、書庫の増設に努めます。また、ICTの進展等に合わせた資料の収集や保存についても検討していきます。

（２）「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

①レファレンスサービスの充実

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。そのため、印刷資料とインターネット等による電子媒体を組み合わせた高度な情報提供といった、図書館のハイブリッド化の進展に対応できるよう継続的に職員研修を行い、司書のレファレンス技量の向上に努め、国立国会図書館・千葉県立図書館・その他専門機関との連携体制を強化しレファレンスの充実を図ります。また、地域館においても市民が専門的な調査支援等のサービスが受けられるよう中央図書館がバックアップします。

②利用しやすい情報環境の整備

電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報にたどり着けるような環境の整備を進めます。また、図書館ホームページの機能の向上を図り、ＩＣＴによる各種図書館サービスへのアクセスの拡大を目指します。

③生涯学習機会の拡充

大学、企業、ＮＰＯ、行政等の多様な主体との連携を促進することにより、地域の抱えるそれぞれの課題に対応し、実情に即した生涯学習機会を提供していきます。また、子育てや起業など地域の活性化に繋がるような情報の提供に努めます。

（３）「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実

公民館等、関連施設との連携や活用等について調整を行い、各サービスポイントにおけるサービス内容の変更・整理を進め、市全域で質の高い図書館サービスが提供できるよう努めます。

②大学図書館との連携と利用の促進

市民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるよう、大学図書館と連携するとともに、利用促進のための市民へのPRを行います。

③ボランティアとの連携強化

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動を応援します。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携を充実させていきます。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

地域社会が子どもの読書環境を整えていくことは、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく上で大変重要です。そのため図書館では、子どもたちが幼い頃から本に親しみ多種多様な興味を見出せるように、資料を充実させるとともに、レファレンスや読書相談などにきめ細かく対応していきます。また、読み聞かせやブックリストの発行、子ども向けのイベントの開催などを関連機関と連携を図りながら継続的に行い、子どもと本を結びつける活動を積極的に展開していきます。

（１）「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

①児童・青少年資料の充実

子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような、資料の収集・更新に努めます。

②行事の実施と情報の発信

子どもと本を結びつけるために、年齢に応じて読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどのイベントを開催し、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。更に、年齢別のブックリストの作成と配布を行い、子どもの読書活動を支援します。また、子どもに関わる様々な部署との連携を深め、子どもの読書活動に関する情報発信に努めます。

③レファレンス・読書相談の実施

子どもたちの興味や関心を本に結びつけ、読書の楽しみを知ることができるよう、読書相談を行います。また、調べ学習に対応し適切な資料や情報にたどり着けるよう、レファレンスサービスを充実させます。子どもを取り巻く大人に対しても、的確な読書相談に努め、読み聞かせ講座などを開催します。

④ヤングアダルトサービスの実施

本離れが著しい中学生・高校生のヤングアダルト世代に向けて、進路や就職、生き方、多文化や国際化社会等への理解を深められるような資料の充実と提供に努めます。また、参加型イベント等の実施により、図書館の利用促進を図ります。

（２）「公共図書館と学校等との連携の強化」

①出張おはなし会・学級招待の実施

学校等へのお出張おはなし会や、図書館への学級招待などを通じて、子どもが図書館や本に親しむきっかけを提供し、図書館利用の促進を行うとともに、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける力の育成をサポートします。

②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

学校図書館支援センター事業を通じて調べ学習をサポートし、学校図書館だけでは対応しきれないレファレンスにも応じていきます。学習指導要領に沿って計画的な学校向け貸出図書を更新を図り、学習活動に役立つ資料の充実に努めます。また、児童生徒のキャリア教育をサポートするため、図書館での職場体験の受入れを継続的に行います。

図書館だけでなく、子育て支援にかかわる部署や施設とも連携及び協力をし、子どもたちの読書活動を充実させるよう努めます。



3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

市川の歴史や文化についての郷土資料は、市川への理解と愛着を深め、地域の魅力を高める大切な市民の財産です。また、市川市の行政資料は、市民と行政が環境、教育、福祉など様々な分野において、市川のまちづくりに協働して取り組み、地域の課題解決へと導くための重要な手がかりとなります。これら地域資料を収集し、体系的に整理し保存することは、図書館が責任を持って行うべき重要な任務です。

本市図書館は、市民誰もが地域の情報にアクセスできるように環境を整え、行政の情報拠点としての役割を果たします。また、市川の魅力を発信し、豊かなまちづくりに貢献できるよう努めていきます。

(1)「市川市の歴史・文化の保存と継承」

① 地域資料の収集と提供

地域社会の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域または地域に関わりが深い個人や団体が作成、発行した資料の積極的な収集を進めます。また、刊行物として発行されないインターネット上の地域情報の取得に努めます。利便性の向上を図るため、資料や情報を体系的に整理し、提供していきます。

② 地域資料の保存

地域の歴史や文化、行政の記録を後世に継承していくために、地域の資料や情報を蓄積し、保存に努めます。また、貴重な資料の劣化防止のための電子化を進めます。

③ 地域情報の積極的な発信

市民が地域について学ぶ機会を拡げるため、地域資料の電子化を図り、広く利用できる環境を整備し、ホームページ等を活用した地域情報の発信を行っていきます。

(2)「行政の情報拠点としての役割」

① 行政情報の市民への提供

行政の情報窓口として、行政各部署と連携し、市民生活に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。また、行政への市民参加を促し、市川のまちづくりにおいて、市民と行政が協働して地域の課題解決に取り組めるよう支援します。

② 行政各課への情報発信

市の行政各部署の政策決定、行政事務に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。関係各課の課題解決のためのレファレンス機能を強化し、積極的に情報を発信していきます。

第3章 実施計画編（平成27年度～平成29年度）

第2章で掲げた3つの柱の下、7つの「施策の方向」と21の「具体的な施策」に基づき、平成27年度～平成29年度の実施事業を定めます。また、事業の計画、評価指標設定を通じた計画的事業の展開を点検・評価し運営や事業の改善へとつなげるPDCA（PLAN（計画）－DO（実施）－CHECK（評価）－ACT（調整・改善））のマネジメント・サイクルに沿った運営を行なうため、各事業の実施状況、指標の達成度及び満足度等から、総合的に毎年の評価を行い公表していきます。

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

◇具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」

実施事業 1 新規資料の受入れと劣化資料の買い替え

数値目標等	継続的な資料の受入(購入と寄贈の合計冊数)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	50,000冊	50,000冊	50,000冊

◇具体的な施策② 「利用に応じた様々な形態の資料の充実」

実施事業 1 利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討

実施事業 2 障害者向け資料の充実

数値目標等	それぞれの障害に配慮した資料の充実(受入れ点数)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	200点	200点	200点

◇具体的な施策③ 「効果的な蔵書管理」

実施事業 1 行徳図書館の図書へのICタグの貼付と、全館的なICタグによる蔵書管理についての検討

◇具体的な施策④ 「資料保存のための書庫の確保」

実施事業 1 中央図書館の書庫への可動式集密書架の計画的な設置

施策の方向 1-(2) 「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

◇具体的な施策①「レファレンスサービスの充実」

実施事業 1 レファレンスツール及び事例集の作成

数値目標等	レファレンス事例集及びレファレンスツール(パスファインダー等)の発行		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	発行	継続発行、発展	継続発行、発展

実施事業 2 市内外の図書館等との連携の強化

実施事業 3 レファレンスツールとしてのデータベースの拡充等、市民の学習要求や調査研究に應える環境の整備

◇具体的な施策②「利用しやすい情報環境の整備」

実施事業 1 利便性の向上のための、ＩＣＴ関連機器の更新及び導入計画の策定

実施事業 2 図書館ホームページのお知らせ機能やデータベース等の充実

◇具体的な施策③「生涯学習機会の拡充」

実施事業 1 図書館サービスの PR と、利用の促進

実施事業 2 イベントの開催や、地域イベントへの参加協力

施策の方向 1-(3) 「関連機関とのネットワークの充実と、 質の高いサービスの提供」

◇具体的な施策①「関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実」

実施事業 1 関連施設との連携による図書館サービスの拡充と利用の拡大

数値目標等	図書館利用登録者の拡大(登録率)		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	前年度比増	前年度比増	前年度比増

◇具体的な施策②「大学図書館との連携と利用の促進」

実施事業 1 市民の大学図書館利用のための紹介状の発行

実施事業 2 市内大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互 PR と利用の促進

実施事業 3 大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ

◇具体的な施策③「ボランティアとの連携強化」

実施事業 1 図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援

実施事業 2 障害者サービス関連のボランティアと連携した、障害者向け資料の作製と収集

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1) 「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

◇具体的な施策①「児童・青少年資料の充実」

実施事業 1 子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新

数値目標等	受入れ冊数（購入と寄贈の合計冊数）		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	9,000 冊	9,000 冊	9,000 冊

◇具体的な施策②「行事の実施と情報の発信」

実施事業 1 子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信

数値目標等	ブックリスト、読み聞かせの会、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための様々な取り組み		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	各種行事の実施	継続実施及び拡大	継続実施及び拡大

◇具体的な施策③ 「レファレンス・読書相談の実施」

実施事業 1 調べ物に役立つ資料の充実や探し方についての案内の実施

実施事業 2 大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施

◇具体的な施策④ 「ヤングアダルトサービスの実施」

実施事業 1 中学・高校生のもつ課題解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供

実施事業 2 図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行

施策の方向 2-(2) 「公共図書館と学校等との連携の強化」

◇具体的な施策① 「出張おはなし会・学級招待の実施」

実施事業 1 「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実

◇具体的な施策② 「調べ学習及び読書環境向上のためのサポート」

実施事業 1 教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力

実施事業 2 学校図書館向け貸出資料の更新

実施事業 3 こども館等と連携した児童サービスの拡大

施策の方向 3-(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

◇具体的な施策① 「地域資料の収集と提供」

実施事業 1 地域行政資料の収集と整理

数値目標等	地域行政資料の蔵書冊数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	52,000 冊	53,000 冊	54,000 冊

◇具体的な施策② 「地域資料の保存」

実施事業 1 著作権保護期間満了の資料の電子化

◇具体的な施策③ 「地域情報の積極的な発信」

実施事業 1 図書館ホームページの地域情報に関するコンテンツの追加及び更新

施策の方向 3-(2) 「行政の情報拠点としての役割」

◇具体的な施策① 「行政情報の市民への提供」

実施事業 1 行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施

実施事業 2 入手しにくい市の刊行物等の販売

◇具体的な施策③ 「行政各課への情報発信」

実施事業 1 図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各課への発信

平成 29 年 3 月 28 日
市川市立図書館

1. 実施について

(1) 調査の目的

市川市中央図書館と地域図書館(4 館)における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に活かすため、来館者アンケート調査を実施した。

- (2) 調査概要 実施日 : 平成 29 年 1 月 28 日(土)、29 日(日)、2 月 1 日(水) : 行徳図書館
平成 29 年 2 月 10 日(金)～12 日(日) : 中央・信篤・南行徳図書館、平田図書室
実施時間 : 各館開館時間中
実施場所 : 中央図書館 (こどもとしゃんを含む)
地域図書館 (行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館・平田図書室)
対象者 : 中学生以上
回答者数 : 中央図書館 有効回答数 300 以上を目標とする
行徳図書館 有効回答数 200 以上を目標とする
信篤・南行徳図書館、平田図書室 有効回答数 各館 50 以上を目標とする

(3) 調査実施状況

実施場所	実施期間	配布数	回収数	回収率 (%)
中央図書館	2/10(金)～2/12(日)	704	677	96.2
信篤図書館		82	81	98.8
南行徳図書館		125	125	100
平田図書室		139	139	100
行徳図書室	1/28(土)、1/29(日)、2/1(水)	325	303	93.2
合 計		1,375	1,325	96.4

(4) 集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていないため、設問ごとに回答者数は異なる。

アンケート結果概説

図書館を利用した満足度を設問 3 と 4 で尋ねた。「総合的な満足度」は中央図書館 98.2%、行徳図書館 90.5%、信篤図書館 90.1%、南行徳図書館 88.7%、平田図書室 96.2% となり、全体として非常に高い結果となった。

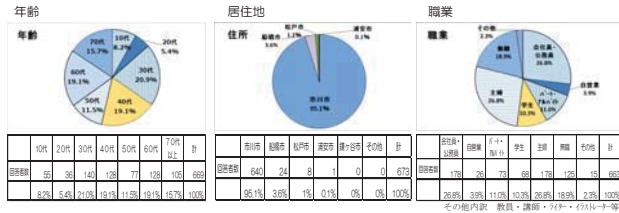
項目別にみて満足度が高かったのは、「職員の対応」「本の案内・調べもの相談」「図書館でのイベント」で、この三項目については、各館 90%以上の満足度を得ることができた。また、行徳図書館では、今年度導入した自動貸出機の利用についての満足度を尋ねたが、93.8%と非常に高い数値となった。

これらに比べると、「図書の充実(全般)」についての満足度が低くなっており、自由記入でも新しい資料や種類の増加を望む声が多かったため、引き続き、計画的に資料の更新を行うとともに、収蔵スペースの小さい館においても、図書館ネットワークの活用により、充分な資料・情報の提供ができるよう努める必要がある。

中央図書館 アンケート結果

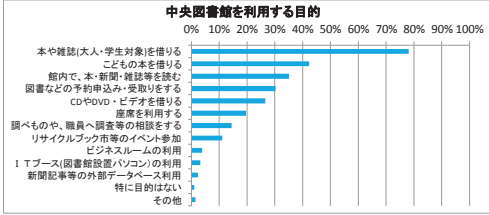
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢については、30 代が 20.9 パーセントと最も多く、続いて 40 代と 60 代が同数となった。今年度はこどもとしゃんでの回収率が高く、回答者の年齢に反映されたものと考えられる。居住地別では市内在住者が 95.1%、隣接市在住者が 4.9%という結果になった。職業別では、会社員・公務員と主婦が同数で 26.8%と最も高かった。



問 1. 中央図書館の利用目的について

問 2 では中央図書館の利用の目的について尋ねた。(複数回答可)
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で 78.1%、続いて「こどもの本を借りる」が 42.4%という結果になった。地域館では「図書などの予約申込み・受取り」を選択した人が 5 割前後ののに対し、中央図書館では 30.3%と地域館より低くなっている。一方、「調べものや、職員への調査等の相談」を目的として選んだ人は 14.5%と地域館より割合が高く、昨年から 5.1 ポイント上がった。

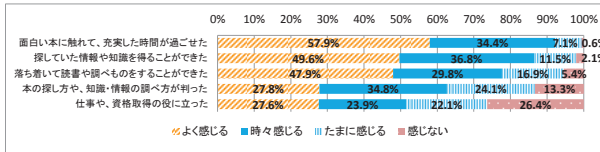


利用目的	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象)を借りる	529	78.1%
こどもの本を借りる	287	42.4%
館内で、本・新聞・雑誌等を読む	238	35.2%
図書などの予約申込み・受取りをする	205	30.3%
CDやDVD・ビデオを借りる	180	26.6%
座席を利用する	133	19.6%
調べものや、職員へ調査等の相談をする	98	14.5%
リサイクルブック市等のイベント参加	75	11.1%
ビジネスルームの利用	26	3.8%
I Tブース(図書館設置パソコン)の利用	22	3.2%
新聞記事等の外部データベース利用	16	2.4%
特に目的はない	7	1.0%
その他	10	1.5%

回答者数 677 人 複数回答可

問 2. 図書館を利用した成果

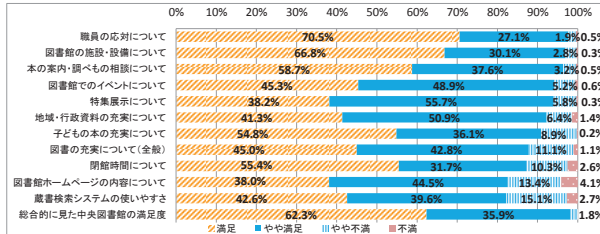
「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じている人が最も多く、続いて「探していた情報や知識を得ることができた」「落ち着いて読書や調べものをするのができた」の順となった。この三つについては、ほとんどの人が図書館を利用した成果を感じたと回答している。今後、図書館を活用して読書や調べものに役立ててもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	374	57.9%	222	34.4%	46	7.1%	4	0.6%	646
探していた情報や知識を得ることができた	311	49.6%	231	36.6%	72	11.5%	13	2.1%	627
落ち着いて読書や調べものをするのができた	283	47.9%	176	29.8%	100	16.9%	32	5.4%	591
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	158	27.8%	198	34.8%	137	24.1%	76	13.3%	569
仕事や、資格取得の役に立った	150	27.6%	130	23.9%	120	22.1%	143	26.4%	543

問 3・4. 中央図書館の満足度

問 3 と問 4 では、中央図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が 97.6%と最も高く、続いて「図書館の施設・設備」が 96.9%、「本や調べものの相談について」も 96.3%と非常に高い数値となった。図書館で実施しているイベントや特集展示については、利用(参加)したことがある人の満足度は、約 94%となった。今後もイベント等の内容の充実を図るとともに、PR に努めたい。「図書の充実について(全般)」は 87.8%となり、昨年より 1.8 ポイント下がった。問 5 の自由記入でも資料に対する要望が最も多いため、計画的に各分野の資料の更新を進めたい。今回、中央図書館では「閉館時間について」の設問を設け、満足度は 87.1%となった。閉館希望時間を、全回答者の 2.8%が記入しており、20 時～22 時まで、休日 19 時～20 時まで、週に一回遅い日を設けて欲しいなど意見が分かれた。総合的な満足度については、98.2%と非常に高い数値となり、不満と回答した人はいなかった。引き続きこの満足度を維持できるよう、サービスの充実にも努めたい。



調査票 677 記入者 194 未記入 483 (記入率 28.7%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) I T に関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	5 2	一般書、児童書とともに新しい本を増やしてほしいという要望が多い。専門書が意外にあり助かる。特集展示が楽しみなど。
2 A V 資料に関する記入	1 4	C D の充実についての要望が多い。新しいものを望む声が多い。ビデオから DVD の移行を進め、数を増やして欲しい。
3 施設に関する記入	2 1	トイレの改善や照明を明るくして欲しいという声が多い。売店や自動貸出機の希望があった。
4 座席に関する記入	9	座席を増やしてほしいとの要望が多い。パソコンが利用できる席を増やして欲しいという声があった。
5 I T に関する記入	1 9	メルマガで子供の行事予定を配信して欲しい。H P で自分の貸出し履歴が見たい。子どももネットで予約ができるなど。
6 マナーに関する記入	1 3	話し声、携帯電話のマナーが気になる。静かな環境を保って欲しいという声が多い。
7 職員に関する記入	1 2	職員が親切という声が多い。書架整理する人は静かにしてほしい。
8 運営に関する記入	4 6	休館日を少なくして欲しい。延滞者への督促を強化して欲しい。街の返却ポストや、予約受け取り可能な場所を増やしてほしい。イベントや展示が増えるといい。閉館時間を早くして欲しい。
9 感想	3 5	本が豊富で大好きな場所。本の福袋が良かった。いつもありがとうなど感謝のこぼれ多数。
10 その他の記入	6	特になしと記入。

行徳図書館 アンケート結果

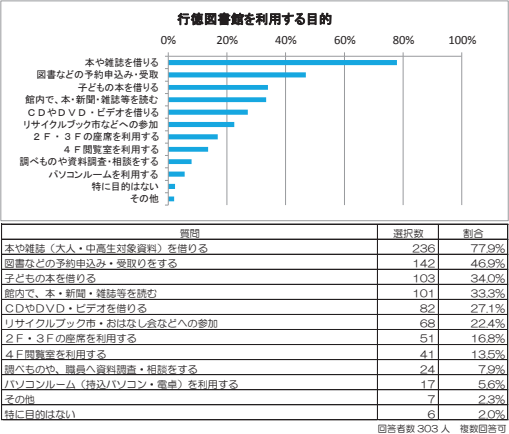
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、40代が24.9%と最も多く、続いて50代、30代の順となっている。昨年は60代が最も多かったが、アンケート期間中、リサイクルブック市が開催されていたため、利用者層に影響があったと考えられる。居住地別では回答者の約99%が市内在住であり、職業別では会社員・公務員が最も多く33.9%だった。



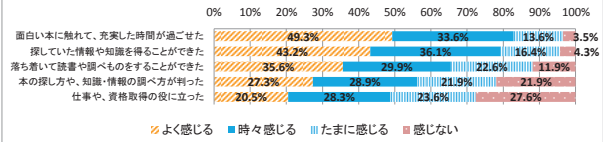
問1 行徳図書館の利用目的について

問1では行徳図書館の利用目的について尋ねた。(複数回答可)
最も多かった回答は「本や雑誌を借りる」で、77.9%だった。続いて「図書などの予約申込み・受取りをする」が46.9%、「子どもの本を借りる」が34.0%の順となった。逆に、「調べものや資料調査・相談をする」が7.9%と低い結果のため、調べものに関する資料の更なる充実や職員のレファレンス技能の向上に努めた。



問2 図書館を利用した成果

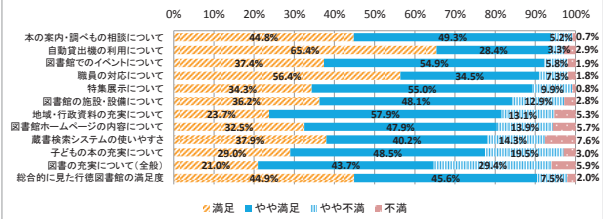
「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」「探していた情報や知識を得ることができた」と感じている人が約95%と非常に多かった。「落ち着いた雰囲気の中で読書や調べものをするのができた」と感じている人も9割近くいることがわかった。
今後も、図書館を活用し読書や調べものに役立ててもらえるようサービスの向上に努めた。



	よく感じる	時々感じる	感じることもある	感じない	計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	141 49.3%	96 33.6%	39 13.6%	10 3.5%	286
探していた情報や知識を得ることができた	121 43.2%	101 36.1%	46 16.4%	12 4.3%	280
落ち着いた雰囲気の中で読書や調べものをするのができた	93 35.6%	78 29.9%	59 22.6%	31 11.9%	261
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	71 27.3%	75 28.9%	57 21.9%	57 21.9%	260
仕事や、資格取得の役に立った	52 20.5%	72 28.3%	60 23.6%	70 27.6%	254

問3・4 行徳図書館の満足度

問3と問4では、行徳図書館のサービスについての満足度を尋ねた。‘満足’と‘やや満足’を合わせた満足度は、「本の案内・調べもの相談について」が最も高く94.1%となった。今年度7月より導入した、自動貸出機の利用についての満足度は93.8%で、高い数値を示した。「図書館でのイベント」や「職員の対応」についても9割以上の高い満足度となっている。これらに比べると、「図書の実用(全般)」についての満足度は低く、64.7%となっている。資料については計画的な収集を図り、更新に努めていく。
総合的に見た行徳図書館の満足度は90.5%となり、昨年度の85.4%より5.1ポイント上がった。今後も満足度の向上に努めた。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
本の案内・調べもの相談について	60	44.8%	66	49.3%	7	5.2%	1	0.7%	134
自動貸出機の利用について	157	65.4%	68	28.4%	8	3.3%	7	2.9%	240
図書館でのイベントについて(リサイクルブック市・おはなし会など)	98	37.4%	85	54.2%	9	5.8%	3	1.9%	195
職員の対応について	155	56.4%	95	34.5%	20	7.3%	6	1.8%	275
特集展示について	45	34.3%	72	55.0%	1	0.9%	1	0.8%	131
図書館の施設・設備について	104	36.2%	138	48.1%	37	12.9%	8	2.8%	287
地域・行政資料の充実について	27	23.7%	66	57.9%	15	13.1%	6	5.3%	114
図書館ホームページの内容について	63	32.5%	93	47.6%	27	13.0%	11	5.7%	194
図書検索システムの使いやすさについて	85	37.9%	90	40.2%	32	14.3%	17	7.6%	224
子どもの本の充実について	49	29.0%	82	48.6%	33	19.5%	5	3.0%	169
図書の充実について(全般)	60	21.0%	125	43.7%	84	29.4%	17	5.9%	286
総合的に見た行徳図書館の満足度	132	44.9%	134	45.6%	22	7.5%	6	2.0%	294

問5. 自由記入

調査票303 記入者118 未記入185 (記入率83.9%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	43	蔵書数を増やしてほしいという要望と、新刊を早く購入してほしいという希望のほか、行徳地域をカバーする図書館としての役割も同時に求められ、専門書や調べものの図書の充実を望む声が多かった。
2 A V資料に関する記入	5	C D、D V Dの資料の充実を望む声があった。
3 施設に関する記入	18	閲覧室のエアコン交換や、2階・3階の図書の移動等に喜ぶ声がある一方、閲覧室が狭い、3階が手狭な感じ等の意見もあった。また、トイレの洋式化や行徳の他地域への図書館新設を望む声があった。
4 座席に関する記入	13	全体的に座席数を増やしてほしいとの要望が見られた。またパソコンルームの問仕切りや、中高生の閲覧席を明確にしてほしいとの声もあった。
5 ITに関する記入	16	予約システムが使いにくいという意見のほか、中央図書館のようにインターネットが利用できるパソコンを常設してほしいとの意見があった。
6 マナーに関する記入	2	学生のマナーに対する意見。
7 職員に関する記入	11	職員の対応がよいと評価のある一方、職員の対応に格差を感じるとの意見もあった。
8 運営に関する記入	28	平日の開館時間を早めて欲しいという希望があった。土・日曜は開館時間の延長の希望があった。
9 感想	8	快適に利用している。満足などの好印象の意見が多い。
10 その他の記入	2	特になしとの記入。

信篤図書館 アンケート結果

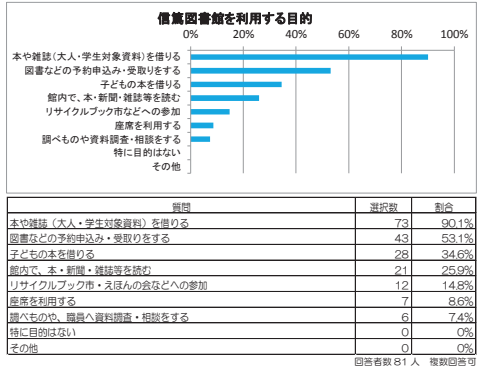
年齢・居住地・職業について

今回のアンケートでは、30代から70代の回答者の割合がほぼ均等になった。居住地別では、市内在住者は9割以上を占め、船橋市在住者が7.5%あり、他館に比べて市外利用者の割合が高くなっている。職業別では、主婦が37.9%、会社員・公務員が29.1%でこの二つで7割近くを占めた。



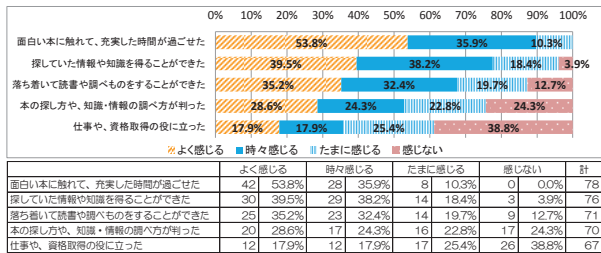
問1 信篤図書館の利用目的について

問2では信篤図書館の利用目的について尋ねた(複数回答可)。
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で90.1%となり、続いて「図書などの予約申込み・受取りをする」が53.1%と半数以上、「子どもの本を借りる」が34.6%という順になった。昨年と同様に「館内で、本・新聞・雑誌を読む」「座席を利用する」は他館に比べて少なく、資料を借りることを目的とする人が多い傾向が見られた。



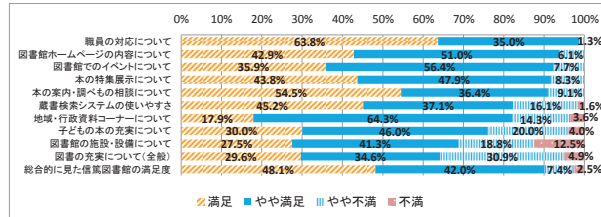
問2. 図書館を利用した成果

回答者全員が、「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じたと回答している。また「探していた情報や知識を得ることができた」と感じる人も 96.1%に及び、この二つについては、ほとんどの人が図書館を利用した成果を感じていると言える。今後も、地域の方に役立つ図書館と感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



問3・4 信濃図書館の満足度

問3と問4では信濃図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」については98.8%と非常に高い数値となった。続いて「図書館ホームページの内容」については93.9%となり、問1の利用目的の回答で予約資料の受取が多かったことから、本の予約等をするために、ホームページを活用していただいているためと考えられる。一方、「図書館の施設・設備」については施設の古さから満足度が他の項目に比べて低くなっている。また、「図書（の充実）」の満足度も64.2%に留まっているため、資料の更新に努めたい。
総合的な満足度は90.1%あり、一定の満足度は得られている。今後も更に満足度が上がるよう、サービスの向上に努めたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計
職員の対応について	51 63.8%	28 35.0%	1 1.3%	0 0%	80
図書館ホームページの内容について	21 42.9%	25 51.0%	3 6.1%	0 0%	49
図書館でのイベントについて(リサイクルブック市・えほんの会など)	14 35.9%	22 56.4%	3 7.7%	0 0%	39
本の特集展示について	21 43.8%	23 47.9%	4 8.3%	0 0%	48
本の案内・調べもの相談について	24 54.5%	16 36.4%	4 9.1%	0 0%	44
蔵書検索システムの使いやすさについて	28 45.2%	23 37.1%	10 16.1%	1 1.6%	62
地域・行政資料コーナーについて	5 17.9%	18 64.3%	4 14.3%	1 3.6%	28
子どもの本の充実について	15 30.0%	23 46.0%	10 20.0%	2 4.0%	50
図書館の施設・設備について	22 27.5%	33 41.3%	15 18.8%	10 12.5%	80
図書の充実について(全般)	24 29.6%	28 34.6%	25 30.9%	4 4.9%	81
総合的に見た信濃図書館の満足度	39 48.1%	34 42.0%	6 7.4%	2 2.5%	81

問5. 自由記入

調査票 81 記入者 19 未記入 62 (記入率 23.5%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	6	小説の新刊が少ない、文庫本の充実、女性用の雑誌の種類を増やしてほしいという要望。絵本の福袋をまたやってほしい、特集コーナーで出会った本のお礼など。
2	AV資料に関する記入	0	
3	施設に関する記入	4	施設の老朽化をあげる意見が多く、トイレの整備についての要望などがある。新しくなれば利用が増えるのでは？など。
4	座席に関する記入	1	意外とよい、雑誌もゆっくり読める。
5	ITに関する記入	0	
7	職員に関する記入	5	対応がよく満足している、相談に乗ってもらえて助かるという声がある。スタッフに注意する声が大きいなど。
8	運営に関する記入	2	土日の開館に感謝、本を消毒する機械を入れてほしいなど。
9	感想	2	いつも気持ちよく利用できている、満足しているなど。
10	その他の記入	1	特にないの記入。

南行徳図書館 アンケート結果

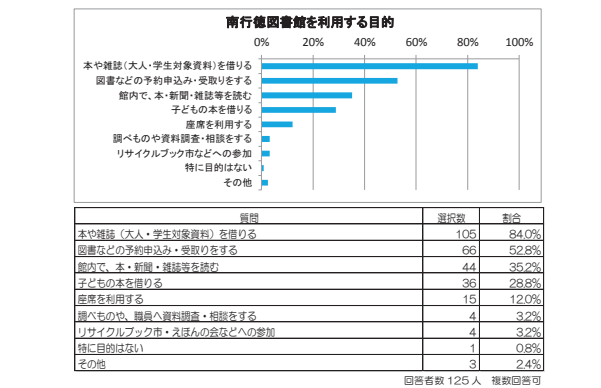
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢は40代が25.6%と最も多く、続いて50代、60代が同じ割合となった。居住地別ではほとんどの人が市内在住者である。土・日曜日のアンケート回収率が高かったこともあり、職業としては、会社員・公務員が37.9%と最も多く、次に主婦が22.6%という結果になった。



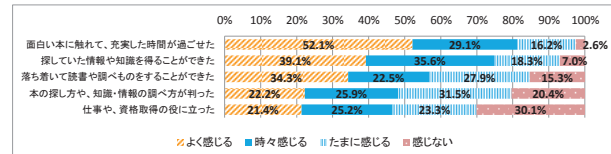
問1. 南行徳図書館の利用目的について

問1では南行徳図書館の利用目的について尋ねた。(複数回答可)
各種サービスのなかで最も多かった回答は、「本や雑誌を借りる」で84.0%となり、次に「図書などの予約申込み・受取りをする」が52.8%と半数以上になった。他館に比べ座席数が少ない図書館だが、「館内で、本・新聞・雑誌等を読む」を目的として選択した人も35.2%あった。



問2. 図書館を利用した成果

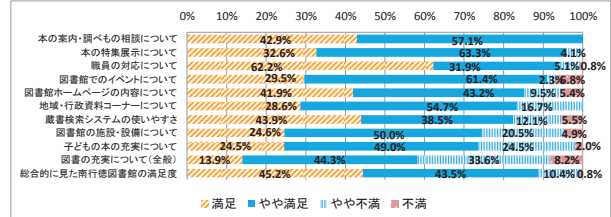
昨年同様、ほとんどの人が「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じたと答えている。また、9割以上の人が「探していた情報や知識を得ることができた」と回答している。今後も図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	61 52.1%	34 29.1%	19 16.2%	3 2.6%	117
探していた情報や知識を得ることができた	45 39.1%	41 35.6%	21 18.3%	8 7.0%	115
落ち着いて読書や調べものをするのができた	38 34.3%	25 22.5%	31 27.9%	17 15.3%	111
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	24 22.2%	28 25.9%	34 31.5%	22 20.4%	108
仕事や、資格取得の役に立った	22 21.4%	26 25.2%	24 23.3%	31 30.1%	103

問3・4 南行徳図書館の満足度

問3と問4では、南行徳図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「本の案内・調べもの相談」が最も高く100%となった。続いて、「本の特集展示」についての満足度が95.9%となり、展示資料を利用した人で、「不満」と回答した人はいなかった。「職員の対応」についても94.1%と非常に高い満足度になった。これらに比べ、「図書の充実(全般)」についての満足度が58.2%と低くなっている。蔵書については、寄贈本なども積極的に活用し充実を図りたい。
総合的な満足度は88.7%となり、一定の満足度は得られているが、更に満足度が上がるようサービスの向上に努めたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
本の案内・調べもの相談について	21	42.9%	28	57.1%	0	0%	0	0%	49
本の特集展示について	16	32.6%	31	63.3%	2	4.1%	0	0%	49
職員の対応について	74	62.2%	38	31.9%	6	5.1%	1	0.8%	119
図書館でのイベントについて(リサイクルブック市・えほんの会など)	13	29.5%	27	61.4%	1	2.3%	3	6.8%	44
図書館ホームページの内容について	31	41.9%	32	43.2%	7	9.5%	4	5.4%	74
地域・行政資料コーナーについて	12	28.6%	23	54.7%	7	16.7%	0	0%	42
蔵書検索システムの使いやすさについて	40	43.9%	35	38.5%	11	12.1%	5	5.5%	91
児童書・児童コーナーについて	30	24.6%	61	50.0%	25	20.5%	6	4.9%	122
子どもの本の充実について	12	24.5%	24	49.0%	12	24.5%	1	2.0%	49
図書館の充実について(全般)	17	13.9%	54	44.3%	41	33.6%	10	8.2%	122
図書の充実について(児童書・児童コーナー)	56	45.2%	54	43.5%	13	10.4%	1	0.8%	124

問5. 自由記入

調査票125 記入者33 未記入92 (記入率26.4%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) I Tに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	7	新しい本や、資料の量・種類の増加についての要望が多い。
2	A V資料に関する記入	0	
3	施設に関する記入	9	狭い、老朽化が激しい。暖房がついていても底冷えするので建て直しを希望など。
4	座席に関する記入	1	閲覧スペースを増やして欲しい。
5	I Tに関する記入	1	H Pからの予約は便利だが、使いにくい(スマートフォン)。
6	マナーに関する記入	2	マナーの悪い人がいるので注意してほしい。
7	職員に関する記入	2	職員が親切。職員の話し声が気になるなど。
8	運営に関する記入	2	開館時間を長くして欲しい。
9	感想	9	調べ物のために利用したいが、数地的に無理なので本の貸借の中継局として利用している。近くの図書館として存続してもらいたい。いつもありがとう等。
10	その他の記入	1	特になしという記入。

平田図書館 アンケート結果

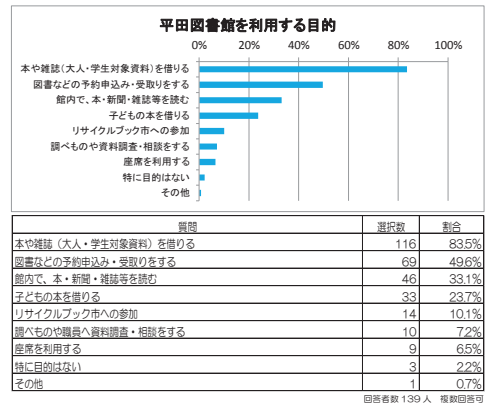
年齢・住まい・職業について

回答者の属性については、数年同じような傾向となっている。70代以上、60代が多く、この二つの世代で半数近くを占めた。居住地別では市内在住者がほとんどである。職業別では、主婦が3割近くを占めており、続いて、会社員・公務員と無職が同数となった。



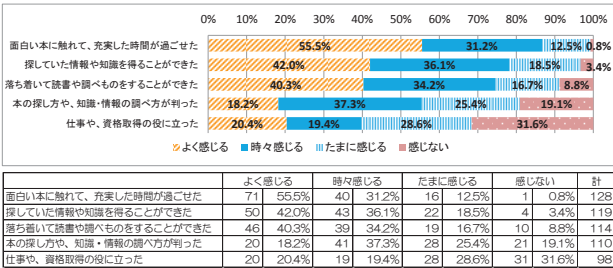
問1. 平田図書館の利用目的について

問2では平田図書館の利用目的について尋ねた。(複数回答可)
最も多かったのは「本や雑誌を借りる」で83.5%となり、「図書などの予約申込み・受取りをする」が49.6%と約半数となった。続いて「館内で新聞・雑誌等を読む」が33.1%となっている。「子どもの本を借りる」を選択した人は23.7%で、他館に比べ割合が低くなっている。



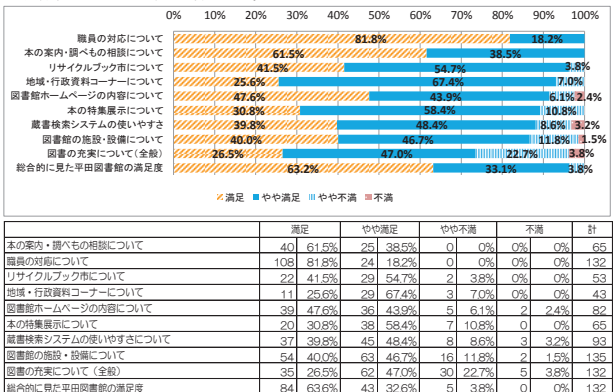
問2. 図書館を利用した成果

ほとんどの回答者が、「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じたと答えた。また、96.6%の人が、「探していた情報や知識を得ることができた」と図書館を利用した成果を感じていることが分かった。今後とも地域の方に様々な情報がでるよう、サービスの向上に努めていく。



問3・4 平田図書館の満足度

問3と問4では平田図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
‘満足’と‘やや満足’を合わせた満足度は、「職員の対応」と「本の案内・調べもの相談」が100%という結果になった。他の項目に比べ「図書館の施設・設備」「職員の充実(全般)」については若干満足度が低くなっているが、総合的な満足度は96.3%と非常に高かった。
規模の小さい図書室であるが、資料の案内や取り寄せ、職員の丁寧な対応により、気軽に相談できる地域の図書館としてサービスの充実に努めていく。



問5. 自由記入

調査票139 記入者38 未記入101 (記入率27.3%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) I Tに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	15	新しい図書の希望、品数の充実を望む声があった。小さい図書館なので特色をだしてみようかという意見があった。
2	A V資料に関する記入	0	
3	施設に関する記入	5	階段しかないで、エレベーターがほしい。男子トイレに洋式がほしい、本のレイアウトに関する提案などがあった。
4	座席に関する記入	0	
5	I Tに関する記入	4	一字一句、正確でないと、検索できないのが不便との意見があった。
6	マナーに関する記入	0	
7	職員に関する記入	2	対応に対して、感謝の言葉があった。私語が気になるという意見もあった。
8	運営に関する記入	5	もう少し遅くまで開館してほしい。また、逆にもう少し早く開館してほしいという意見もあった。
9	感想	9	とても居心地がいい、ほっとする、楽しんでる、元氣なうちは利用したい、などの感想があった。
10	その他の記入	5	特になしという記入。

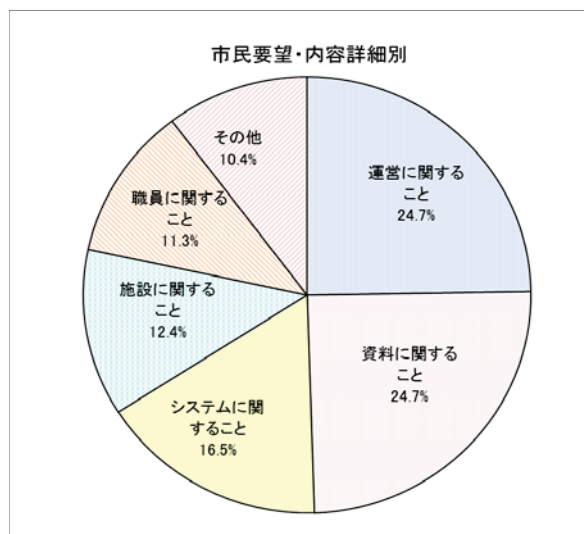
資料（6）

市民要望（平成 28 年度）

市民要望・手段別		件数
文 書	ブラウザ（W e b）	44
	投稿箱	14
	利用者の声ほか（館内投稿）	16
窓口		17
電話（F a x を含む）		6
合計		97

市民要望・内容分類別		件数
「質問」	…利用案内、施設案内等について 問合せ	9
「意見」	…対応の違い・悪さ、間違い等について	41
「苦情」		12
「要望」	…現状していないことに対して	17
「その他」	…情報提供、相談、宣伝、許諾など	18
合計		97

市民要望・内容詳細別		件数
運営に関すること		24
資料に関すること（寄贈・レファレンスを含む）		24
システムに関すること（ホームページ含む）		16
施設に関すること（備品を含む）		12
職員に関すること（接遇・手続きミスを含む）		11
その他		10
合計		97



運営に関すること

- 開館時間について
- 本の貸出冊数について
- 閲覧席の利用について
- 館内利用のマナーについて
- レファレンスという言葉がわかりにくい
- レファレンス講座を開いて欲しい
- 更新手続きの簡略化について
- 複写申請の手続きについて

資料に関すること

- ビデオの貸出点数について
- 教科書について
- CD の購入について
- ミュージックライブラリの導入について
- 公民館図書室での相互協力図書の扱いについて
- 地域図書館での、中央図書館の禁帯図書閲覧について

システムに関すること

- 図書館蔵書検索システムの画面展開と操作性の向上について
- 貸出履歴記録機能（読書通帳機等）や Web での参照機能について

職員に関すること

- 利用者のマナー違反を注意して欲しい（子ども連れ、複数雑誌の占有等）

施設に関すること

- トイレの環境について
- 館内照明の照度と温度について
- 水飲み場について
- 複写機について
- 花壇について

市 川 市 の 図 書 館

2 0 1 7

平成29年（2017）12月発行 第1版 ￥200

編集・発行 市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号 生涯学習センター内

T E L 047（320）3333（機械音声応答）

047（320）3346（直通）

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/index.html>
